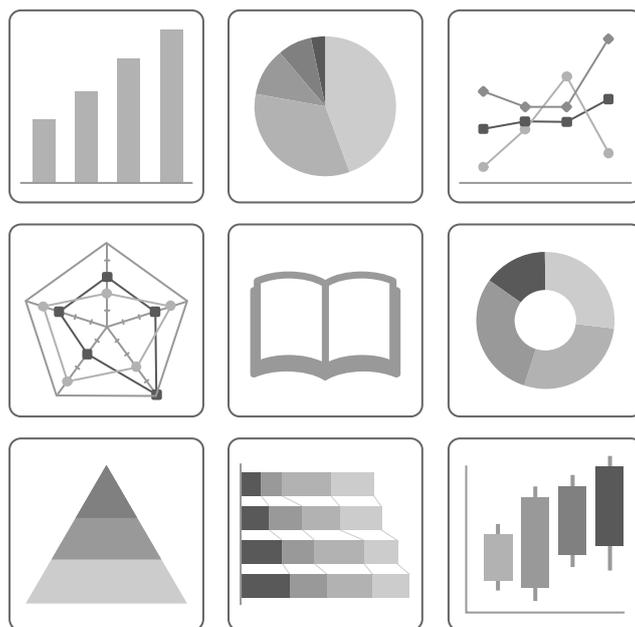


志木市

第9期計画用ニーズ調査等報告書



令和5年9月

志 木 市

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査対象と回収状況.....	3
3 調査期間.....	3
4 調査方法.....	3
5 調査結果の表示方法.....	4
6 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について.....	4
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	7
1 あなたのご家族や生活状況について.....	9
2 からだを動かすことについて.....	13
3 食べることについて.....	21
4 毎日の生活について.....	27
5 地域での活動について.....	37
6 たすけあいについて.....	41
7 健康について.....	46
8 認知症の支援について.....	50
9 在宅医療・介護について.....	52
10 その他.....	59
第3章 在宅介護実態調査.....	69
1 調査対象者本人について（A）.....	71
2 主な介護者について（B）.....	81

第4章 第2号被保険者向けアンケート.....	85
1 あなたについて教えてください。.....	87
2 ご家族の介護についてお尋ねします。.....	92
3 ご自分が介護が必要となったときについて伺います。.....	98
4 介護予防への関心について伺います。.....	101
5 介護保険制度全般について.....	105
6 仕事と介護の両立のための制度について.....	107
7 家族が介護を必要になった時について.....	109
8 ACP：アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について.....	116
9 その他.....	118
第5章 ケアマネジャー実態調査（個人）.....	129
1 サービスの提供体制について.....	131
2 保険者（志木市）との連携について.....	138
3 介護保険サービス以外の高齢者サービスについて.....	139
4 医療と介護の連携について.....	147
5 地域包括ケアについて.....	155
6 高齢者虐待について.....	156
7 その他.....	159
第6章 ケアマネジャー実態調査（事業所）.....	165
1 事業所の状況について.....	167
(2) 事業所の状況.....	167
2 介護サービスについて.....	169
3 虐待防止について.....	170
4 地域包括ケアについて.....	171

第7章 介護サービス事業所.....	173
1 事業所の状況について.....	175
2 過去1年間の新規入所・入居者について.....	178
3 過去1年間の退居者について.....	179
4 職員の状況について.....	183
5 看護職員の状況について.....	189
6 サービスの質の向上に関する取組について.....	193
7 保険者（志木市）との連携について.....	200
8 医療と介護の連携について.....	201
9 医療機関との連携について.....	206
10 介護人材の確保・定着について.....	207
11 感染症に対する取組について.....	209
第8章 調査票.....	215
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	217
在宅介護実態調査.....	223
第2号被保険者向けアンケート.....	225
ケアマネジャー実態調査（個人）.....	228
ケアマネジャー実態調査（事業所）.....	232
介護サービス事業所(施設・居住系サービス).....	234
介護サービス事業所(在宅).....	238

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、志木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定（第9期計画の策定）を行うにあたり、円滑な計画作成に資するため、各種支援及び関連する業務について、市民の意識・ニーズ等の実態調査を行ったものです。

2 調査対象と回収状況

- (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：市内にお住まいの満65歳以上で、要介護認定を受けていない方から無作為抽出
- (2) 在宅介護実態調査：市内にお住まいの要介護認定を受けている方
- (3) 第2号被保険者向けアンケート：市内にお住まいの満40歳以上65歳未満の方を無作為抽出
- (4) 介護支援専門員向けアンケート：志木市の被保険者を担当されているケアマネジャーの方
- (5) 介護サービス提供事業所向けアンケート：志木市内のサービス提供事業所の皆様を対象

	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000通	1,641通	54.7%
在宅介護実態調査	600通	486通	81.0%
第2号被保険者向けアンケート	1,000通	376通	37.6%
介護サービス提供事業所向けアンケート	60通	46通	76.7%
介護支援専門員向けアンケート	通	160通	%

3 調査期間

令和4年12月15日から令和5年1月17日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

6 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について

本報告書は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することに主眼を置き、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」へとつなげていくための、基礎調査として位置づけられています。

フレイルとは加齢とともに体や心の働き、社会的なつながりなどが弱くなった状態のことを指し、予防に取り組むことでその進行を緩め健康な状態に戻すことも可能であることから、高齢者をタイプ別に分類し、フレイルリスクの高い高齢者を把握する項目とのクロス集計・分析を行います。

なお、高齢者の「タイプ別分類」は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の設問項目から、下記に示すように問2（6）「週に1回以上は外出していますか」及び問5（3）「健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の設問より判定しています。

タイプ別分類	特性	想定される事業の方向性
インドア派 外交的	現在は、自宅の中で楽しむ志向が強いが、潜在的な外交的志向がある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・ボランティア等への参加促進 など
インドア派 内向的	現在、今後も、自宅の中で楽しむ志向が強い	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など
アウトドア派 外交的	自宅の外で楽しむ志向が強く、外交的志向もある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・各種事業の運営者との育成支援 ・ボランティア等への参加促進 など
アウトドア派 内向的	自宅の外で楽しむ志向が強いが、外交的志向はあまりない	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など

〔活動タイプ別、対人関係別分類によるフレイル予防・介護予防〕



※「週に1回以上は外出していますか」の設問で「ほとんど外出しない」「週1回」と回答した人をインドア派、「週2～4回」「週5回以上」と回答した人をアウトドア派とみなし、設問とクロス集計・分析を行った。

※「健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の設問で「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」と回答した人を外交的、「参加したくない」を内向的とみなし、設問とクロス集計・分析を行った。

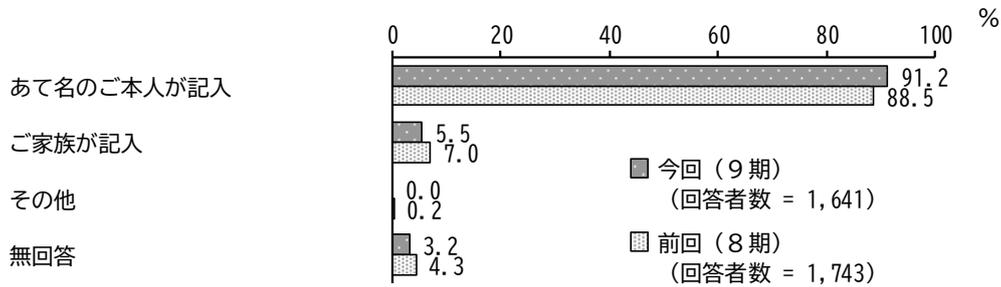
【幸福度】について

問7(2)「あなたは、現在どの程度幸せですか。」の設問から、「低い(0-5点)」、「中等度(6-8点)」、「高い(9-10点)」の3区分に分けました。平均点は7.24点です。平均の前後1点を中等度とし、3区分に分けています。

第2章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

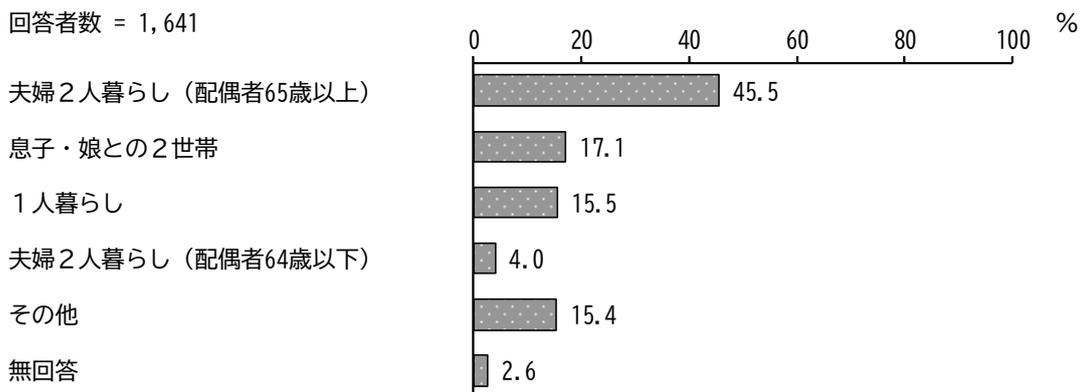
「あて名のご本人が記入」の割合が91.2%、「ご家族が記入」の割合が5.5%となっています。前回と比較すると、大きな変化はみられません。



1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。[○は1つだけ]

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が45.5%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が17.1%、「1人暮らし」の割合が15.5%となっています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかからの介護・介助が必要ですか。[○は1つだけ]

「介護・介助は必要ない」の割合が89.5%と最も高くなっています。前回と比較すると、大きな変化はみられません。

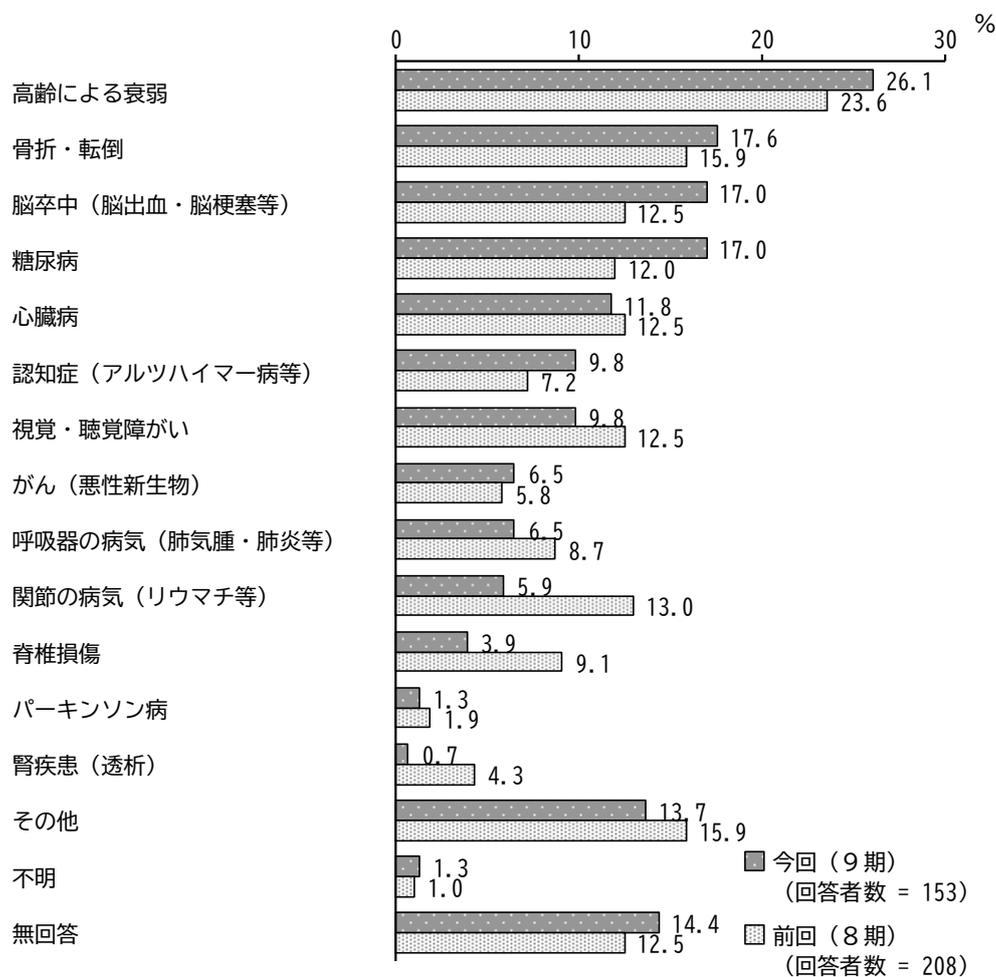


« (2) において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ»

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。[○はいくつでも]

「高齢による衰弱」の割合が26.1%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が17.6%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「糖尿病」の割合が17.0%となっています。

前回と比較すると、「関節の病気（リウマチ等）」「脊椎損傷」の割合が減少しています。

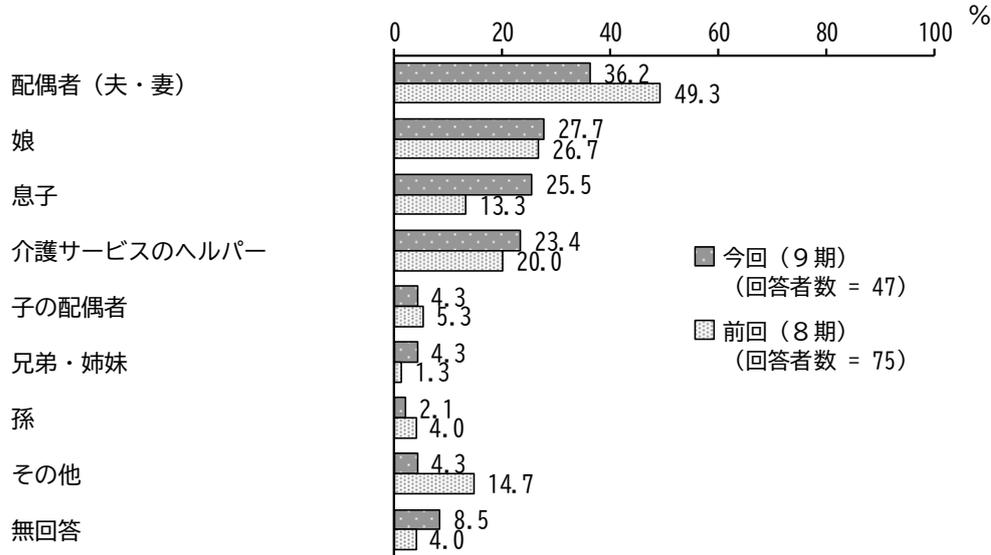


« (2) において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ»

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。[○はいくつでも]

「配偶者（夫・妻）」の割合が36.2%と最も高く、次いで「娘」の割合が27.7%、「息子」の割合が25.5%となっています。

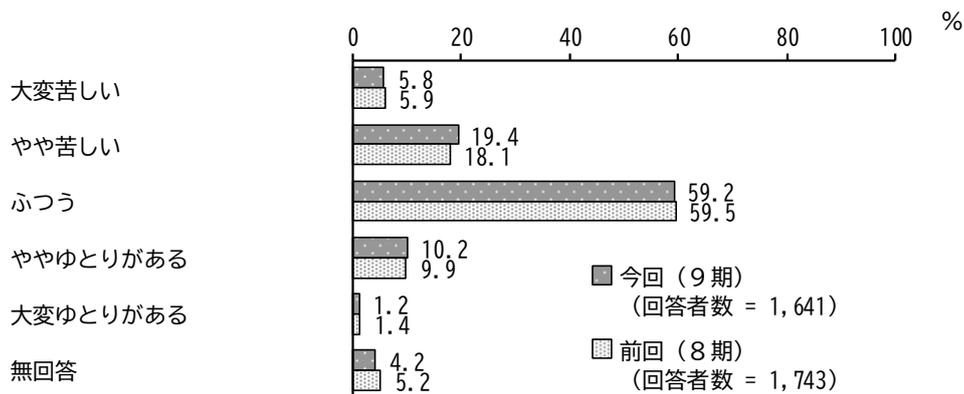
前回と比較すると、「息子」の割合が増加しています。一方、「配偶者（夫・妻）」の割合が減少しています。



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[○は1つだけ]

「ふつう」の割合が59.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が19.4%、「ややゆとりがある」の割合が10.2%となっています。

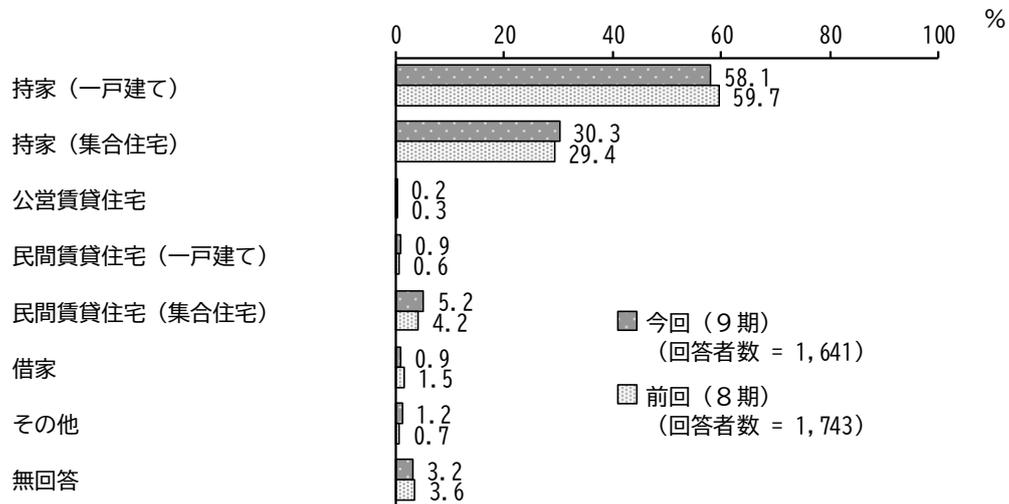
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。[○は1つだけ]

「持家（一戸建て）」の割合が58.1%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が30.3%となっています。

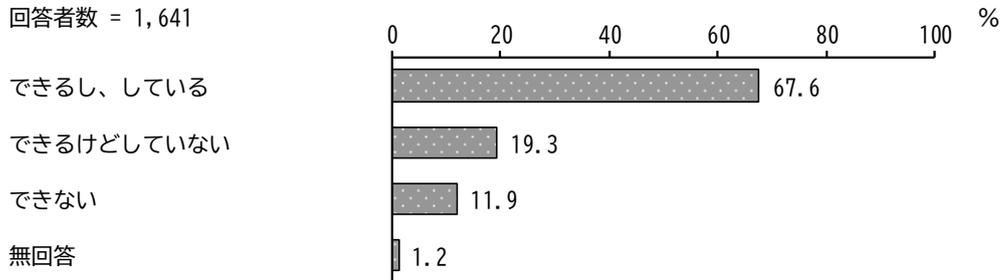
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



2 からだを動かすことについて

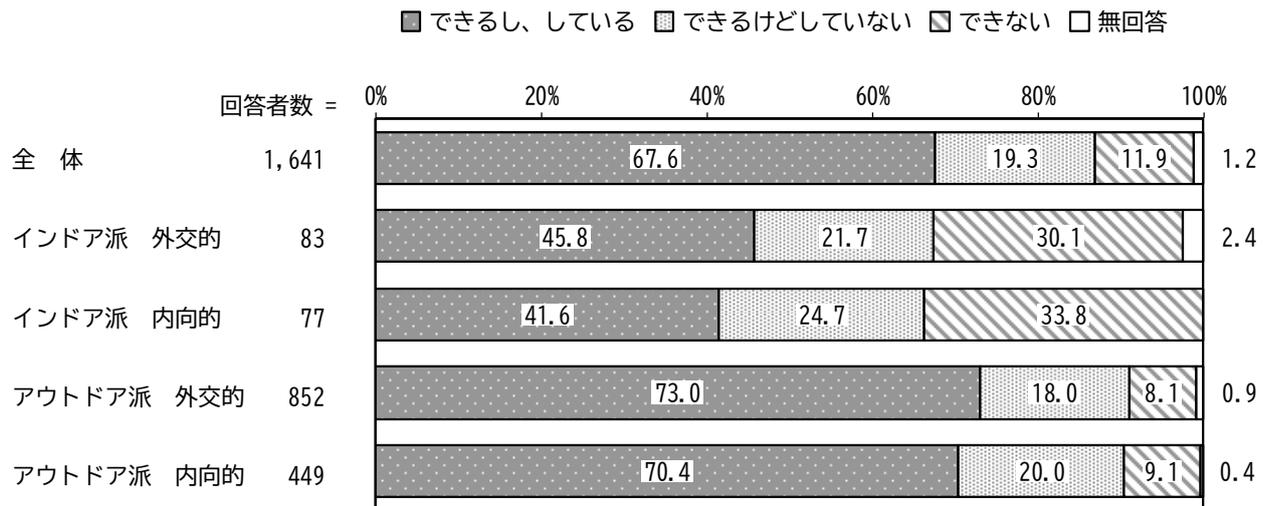
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。[○は1つだけ]

「できるし、している」の割合が67.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.3%、「できない」の割合が11.9%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

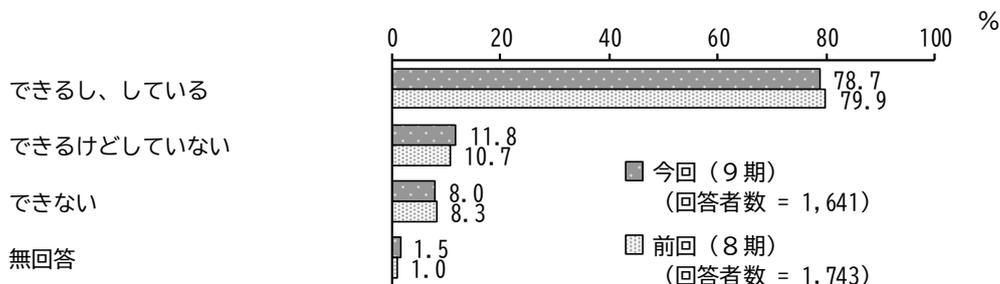
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的、インドア派外交的で「できない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。[○は1つだけ]

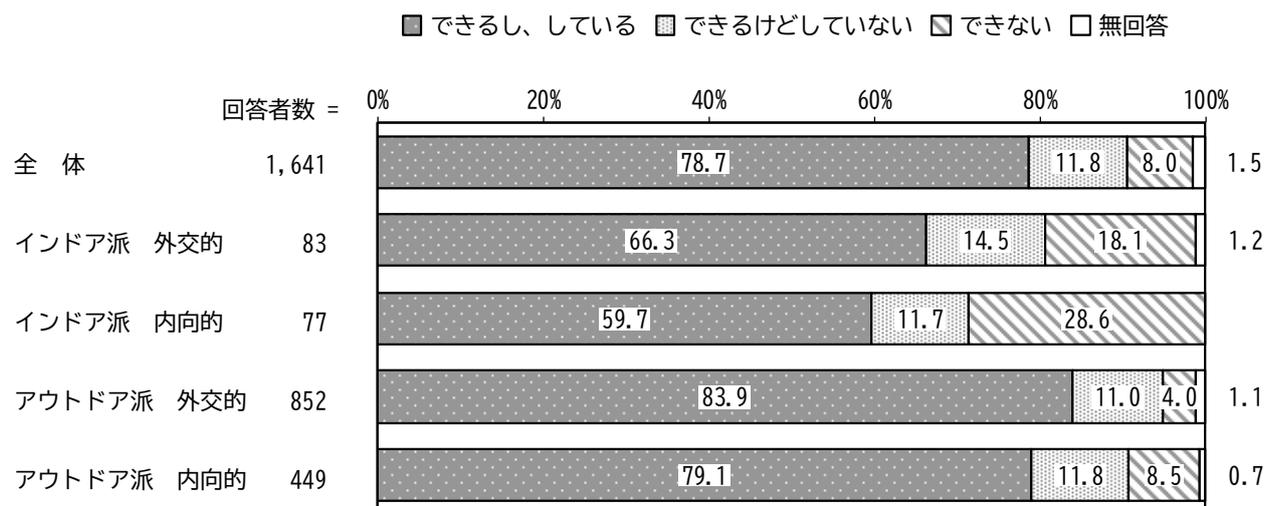
「できるし、している」の割合が78.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.8%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【高齢者の外出タイプ別】

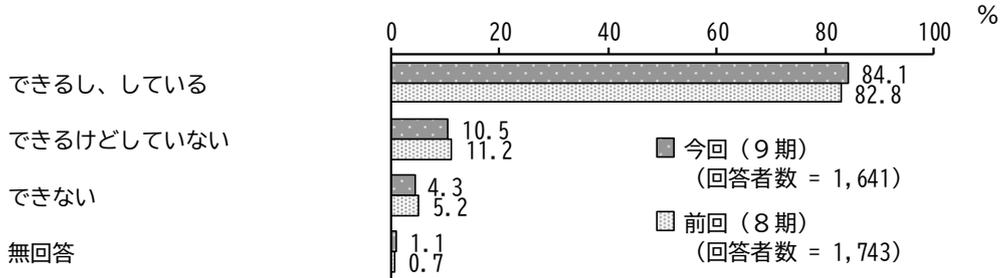
高齢者の外出タイプ別にみると、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。



(3) 15分位続けて歩いていますか。[○は1つだけ]

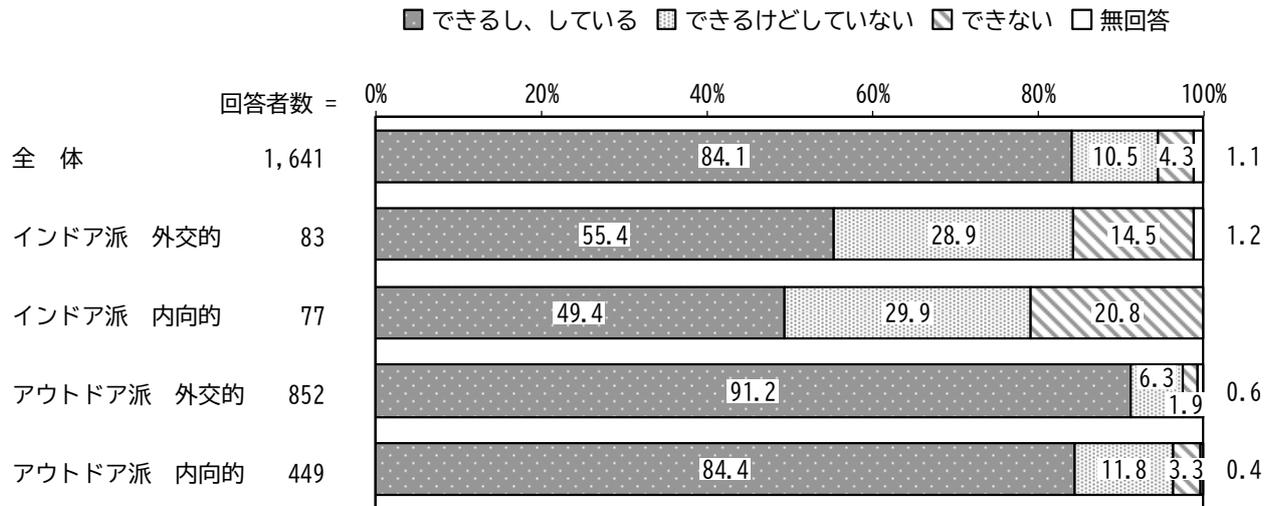
「できるし、している」の割合が84.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が10.5%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



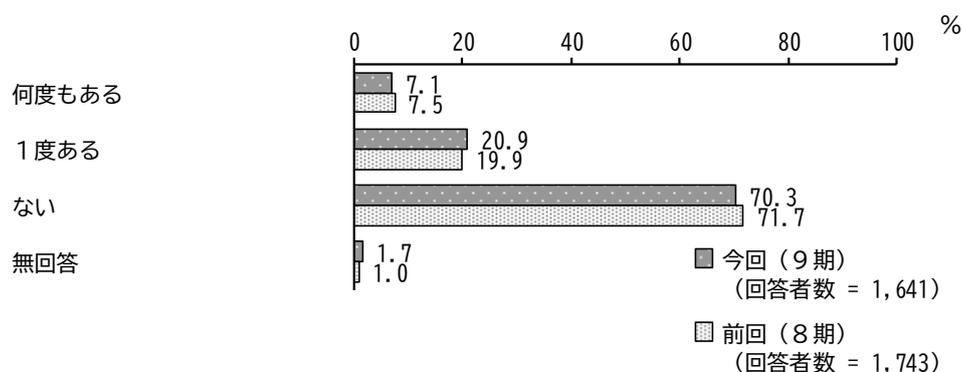
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的、インドア派外交的で「できるけどしていない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。



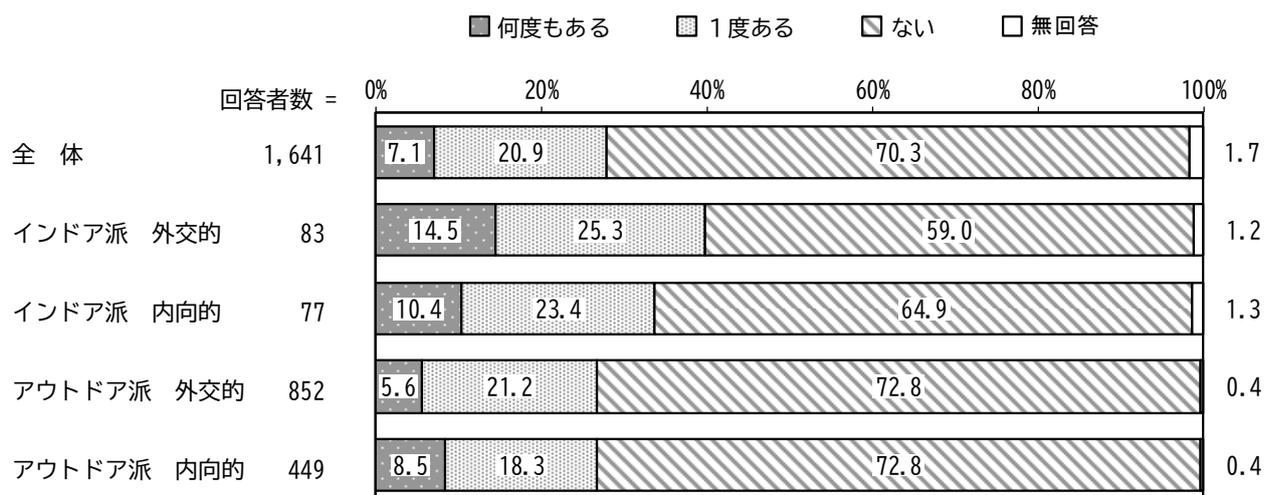
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。[○は1つだけ]

「ない」の割合が70.3%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が20.9%となっています。前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【高齢者の外出タイプ別】

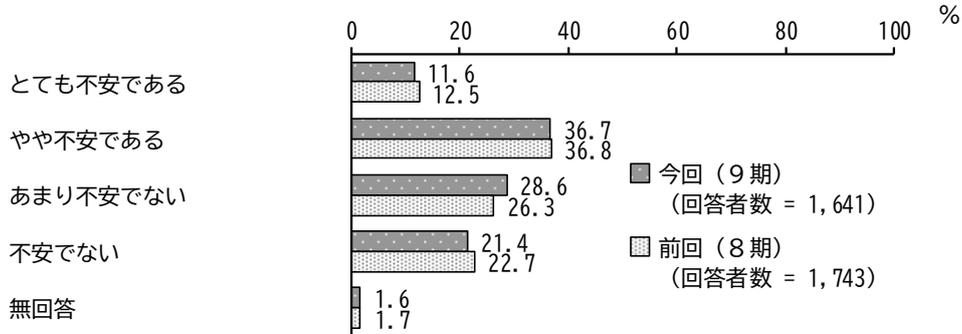
高齢者の外出タイプ別にみると、大きな差はみられません。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか。[○は1つだけ]

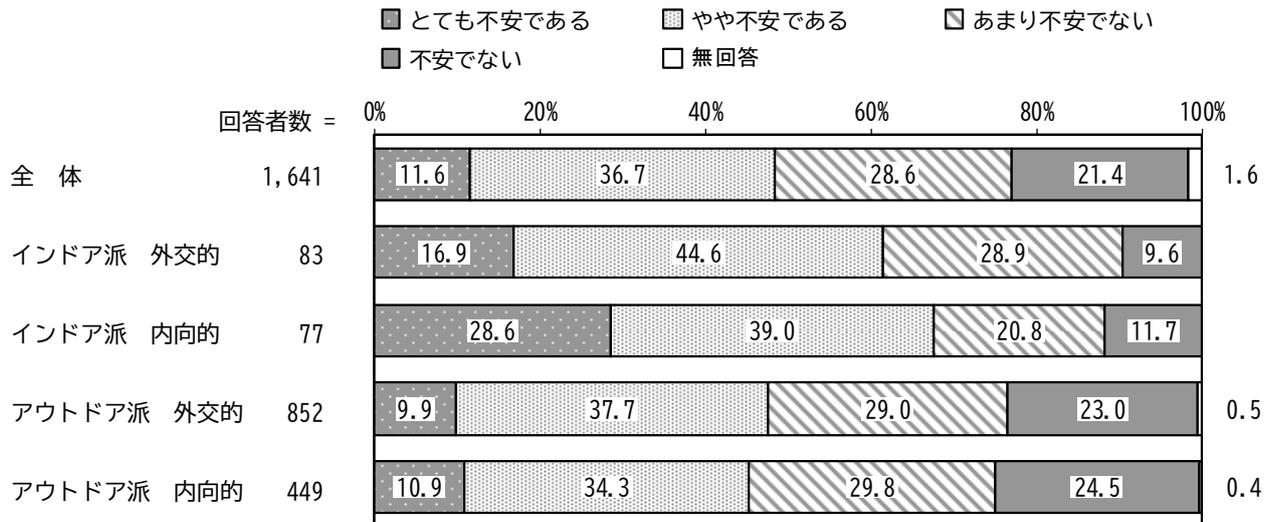
「やや不安である」の割合が36.7%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が28.6%、「不安でない」の割合が21.4%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【高齢者の外出タイプ別】

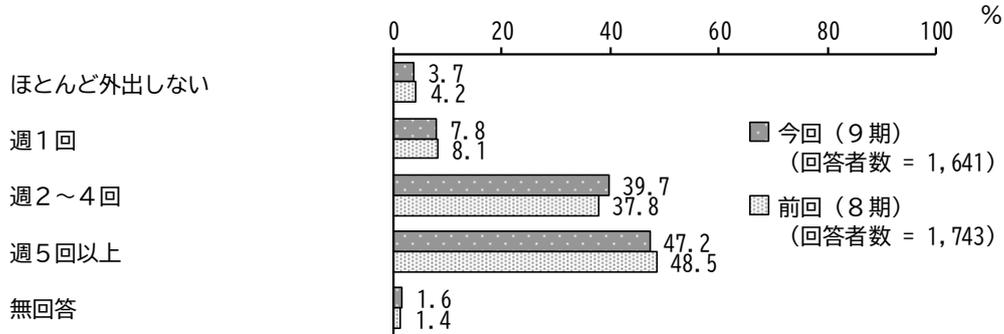
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「とても不安である」の割合が、インドア派外交的で「やや不安である」の割合が高くなっています。



(6) 週に1回以上は外出していますか。[○は1つだけ]

「週5回以上」の割合が47.2%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が39.7%となっています。

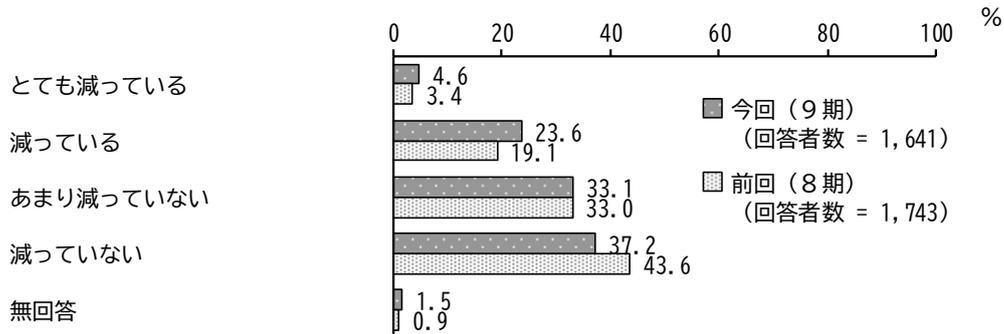
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。[○は1つだけ]

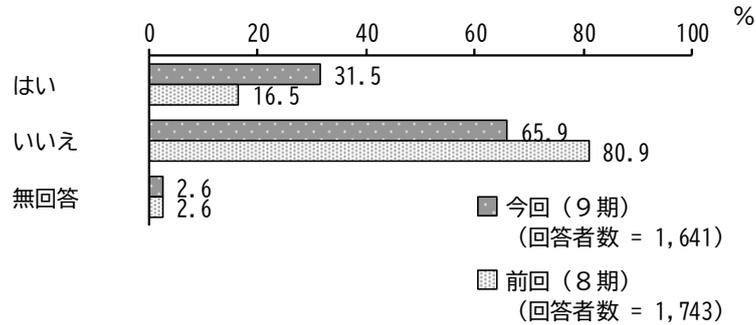
「減っていない」の割合が37.2%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が33.1%、「減っている」の割合が23.6%となっています。

前回と比較すると、「とても減っている」「減っている」の割合が増加しています。



(8) 外出を控えていますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が31.5%、「いいえ」の割合が65.9%となっています。
 前回と比較すると、「はい」の割合が増加し、「いいえ」の割合が減少しています。

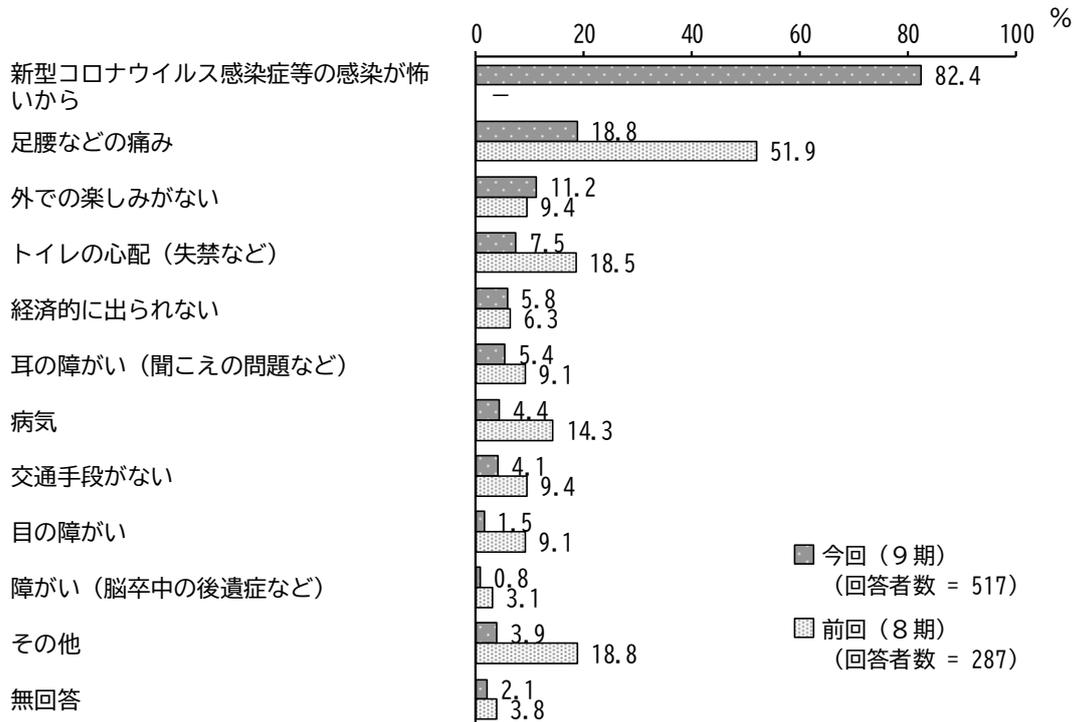


« (8) で「はい」(外出を控えている) の方のみ »

①外出を控えている理由は、次のどれですか。[○はいくつでも]

「新型コロナウイルス感染症等の感染が怖いから」の割合が82.4%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が18.8%、「外での楽しみがない」の割合が11.2%となっています。

前回と比較すると、「病気」「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「目の障がい」「交通手段がない」の割合が減少しています。

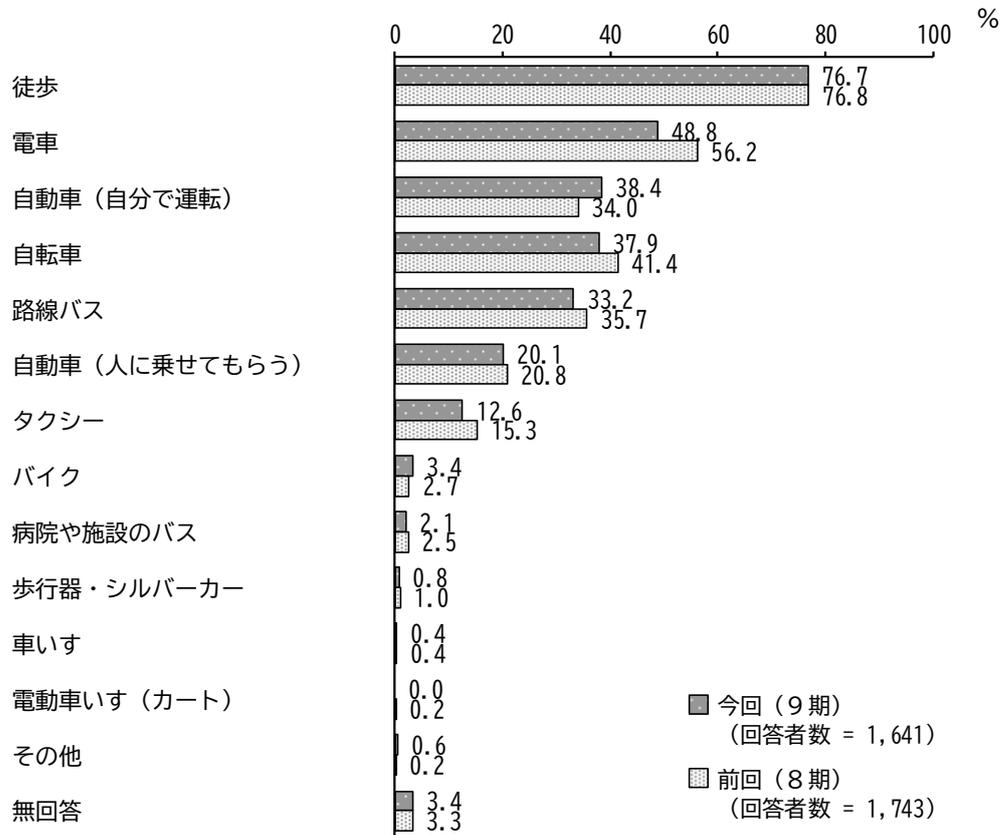


※前回（8期）では、「新型コロナウイルス感染症等の感染が怖いから」の選択肢はありませんでした。

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。[○はいくつでも]

「徒歩」の割合が76.7%と最も高く、次いで「電車」の割合が48.8%、「自動車（自分で運転）」の割合が38.4%となっています。

前回と比較すると、「電車」や「路線バス」の割合が減少しています。

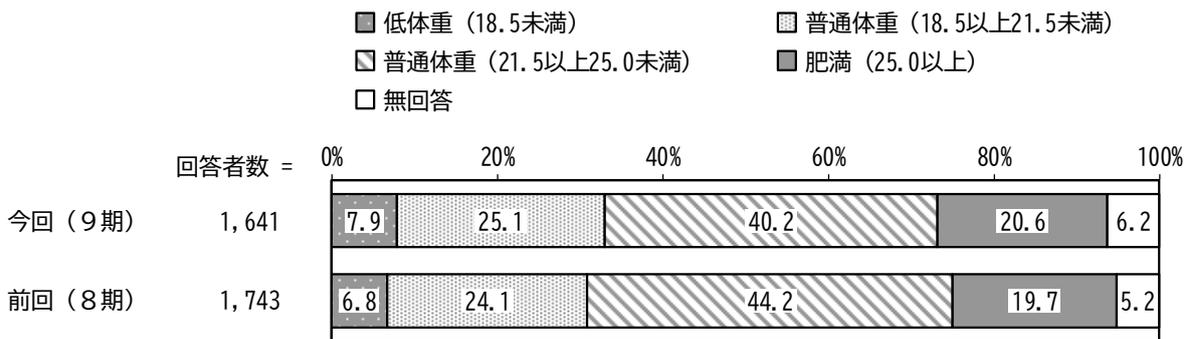


3 食べることについて

(1) 身長・体重 (BMI)

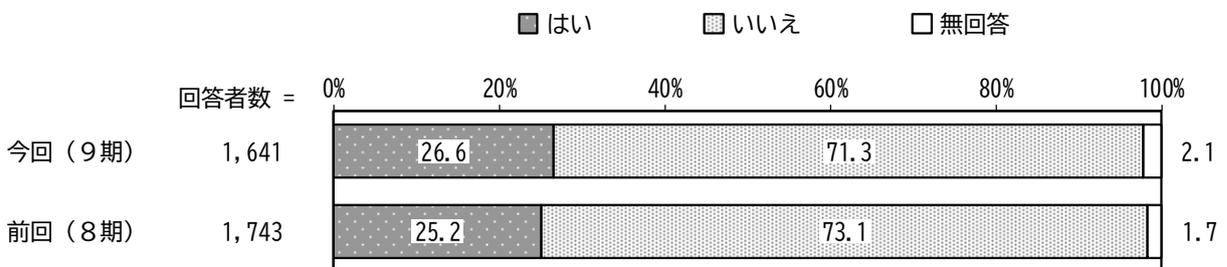
BMI

「普通体重 (21.5 以上 25.0 未満)」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「普通体重 (18.5 以上 21.5 未満)」の割合が 25.1%、「肥満 (25.0 以上)」の割合が 20.6%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



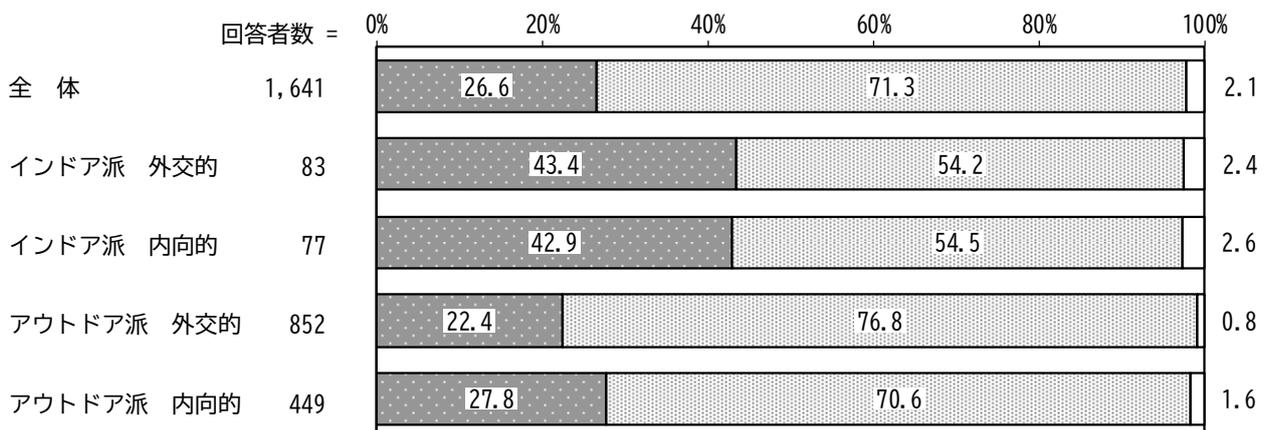
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が 26.6%、「いいえ」の割合が 71.3%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



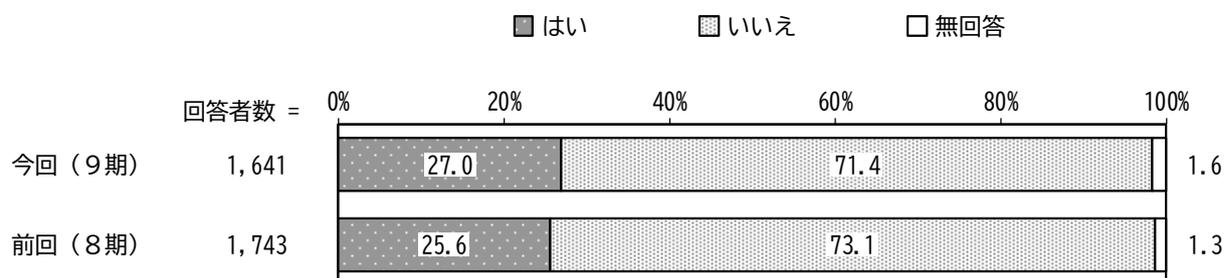
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派外交的、インドア派内向的で「はい」の割合が、アウトドア派外交的で「いいえ」の割合が高くなっています。



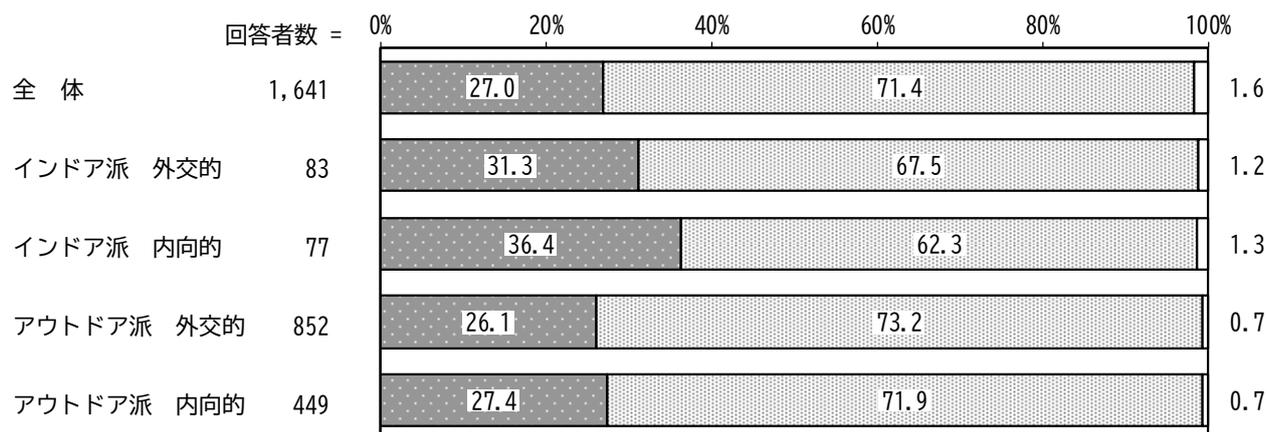
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が27.0%、「いいえ」の割合が71.4%となっています。
 前回と比較すると、大きな変化はみられません。



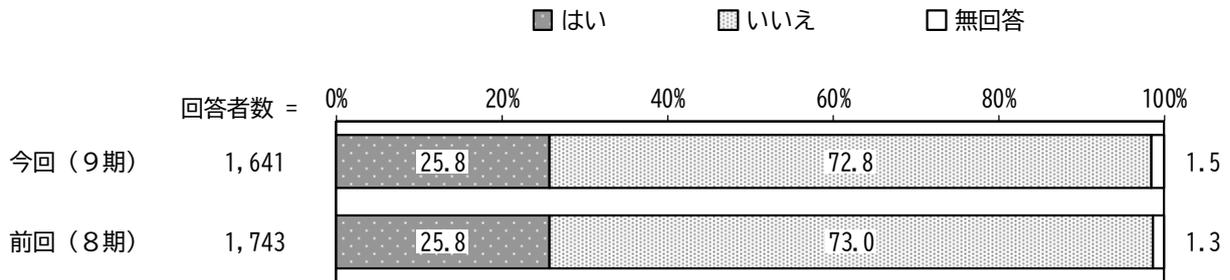
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。



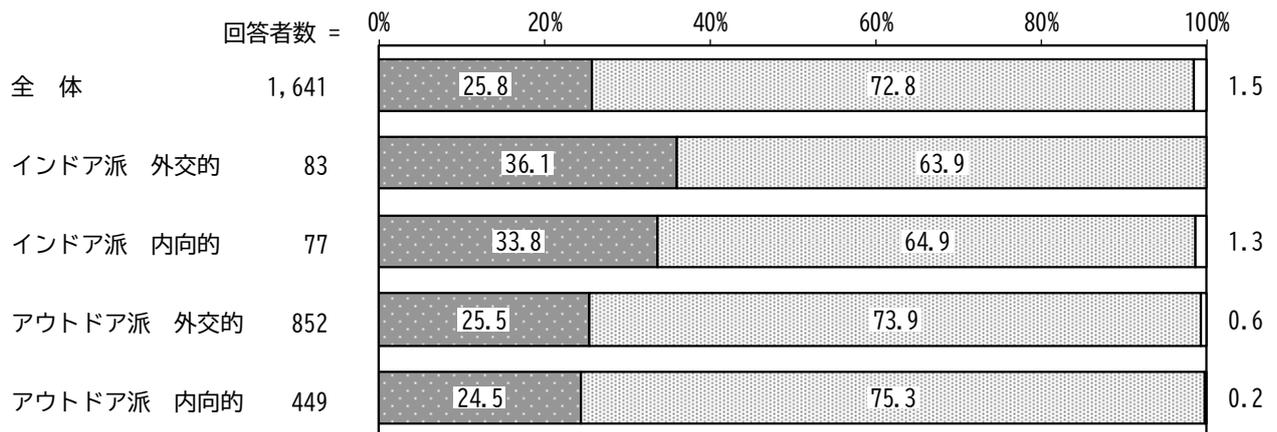
(4) 口の渇きが気になりますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が25.8%、「いいえ」の割合が72.8%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



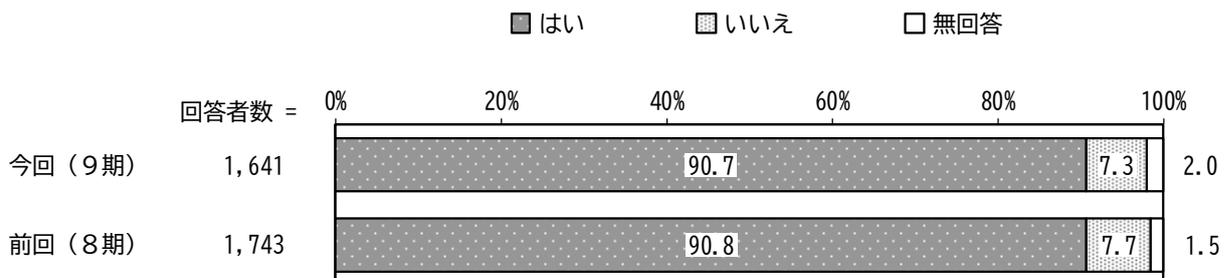
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派外交的、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。[○は1つだけ]

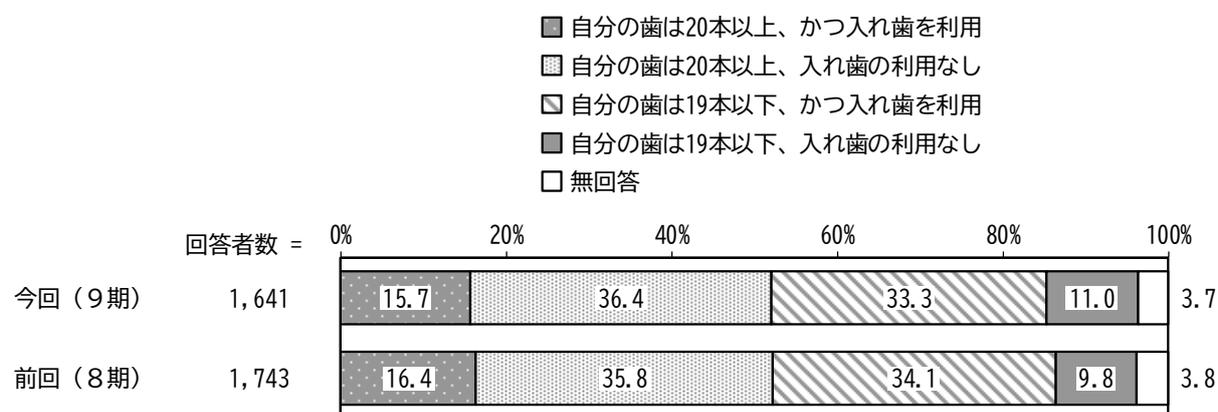
「はい」の割合が90.7%、「いいえ」の割合が7.3%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。[○は1つだけ]
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

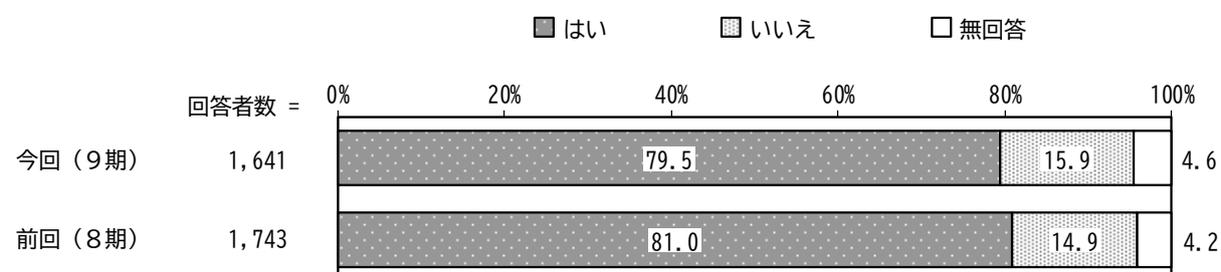
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が36.4%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が15.7%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



① 噛み合わせは良いですか。[○は1つだけ]

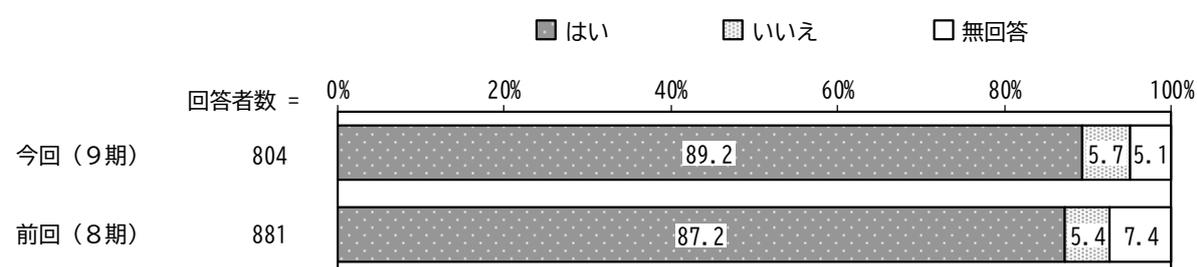
「はい」の割合が79.5%、「いいえ」の割合が15.9%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



«②~④は(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ»

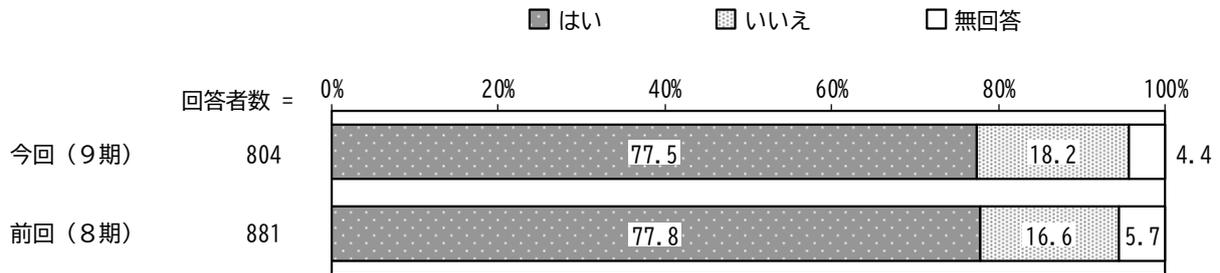
② 毎日入れ歯の手入れをしていますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が89.2%、「いいえ」の割合が5.7%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



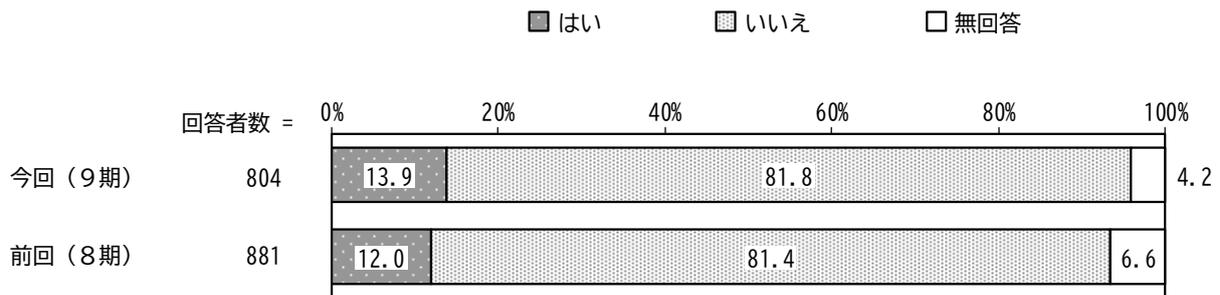
③ (入れ歯を利用して) 食事は食べやすいですか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が77.5%、「いいえ」の割合が18.2%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



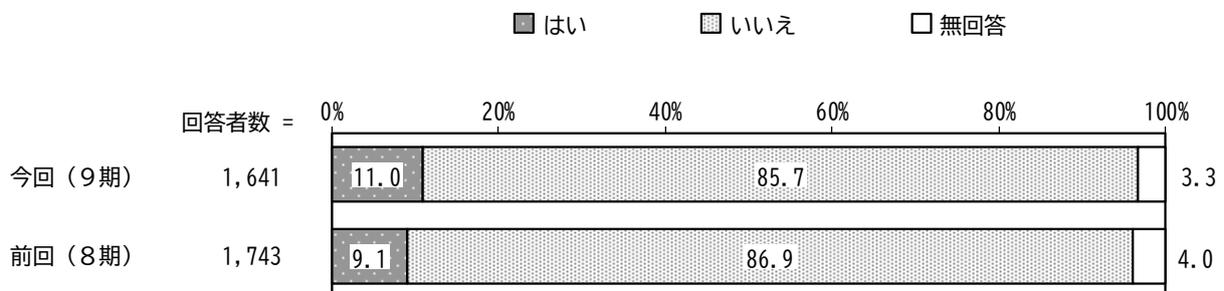
④ (入れ歯を利用して) 痛みはありますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が13.9%、「いいえ」の割合が81.8%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。[○は1つだけ]

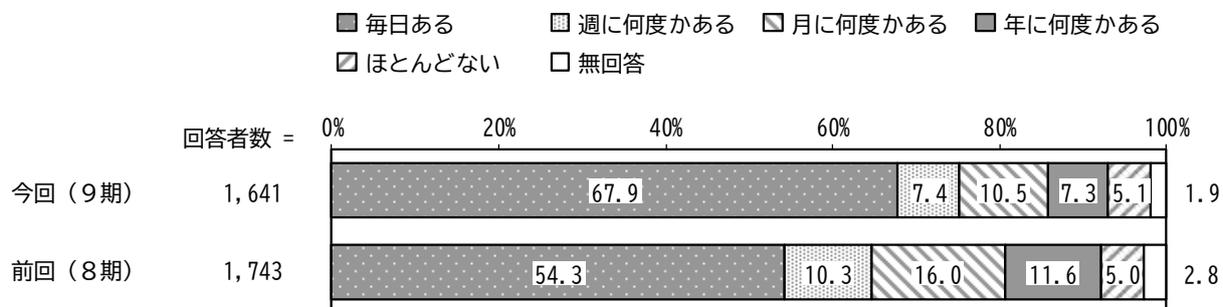
「はい」の割合が11.0%、「いいえ」の割合が85.7%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (同居家族含む)。[○は1つだけ]

「毎日ある」の割合が67.9%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が10.5%となっています。

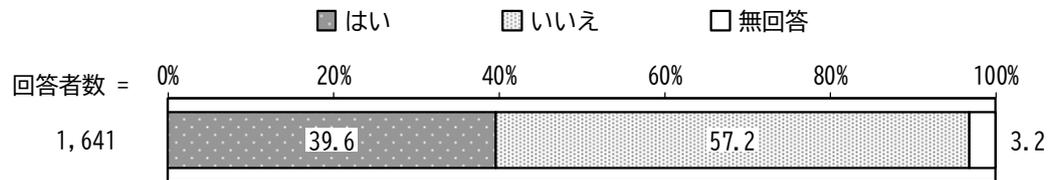
前回と比較すると、「毎日ある」の割合が増加しています。一方、「月に何度かある」の割合が減少しています。



4 毎日の生活について

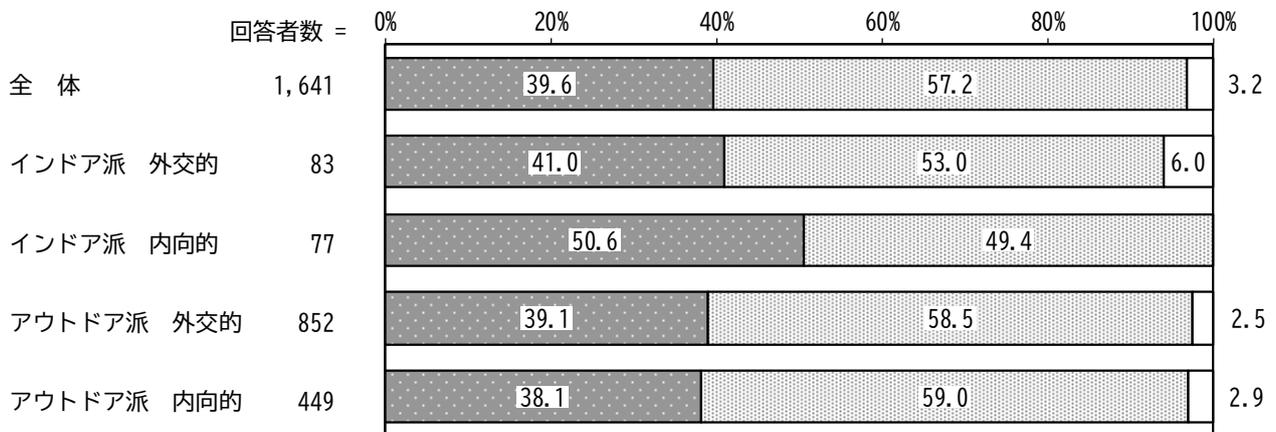
(1) 物忘れが多いと感じますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が39.6%、「いいえ」の割合が57.2%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

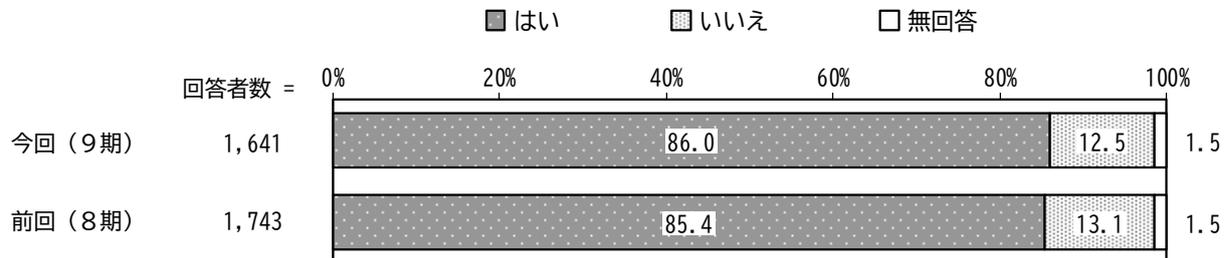
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。[○は1つだけ]

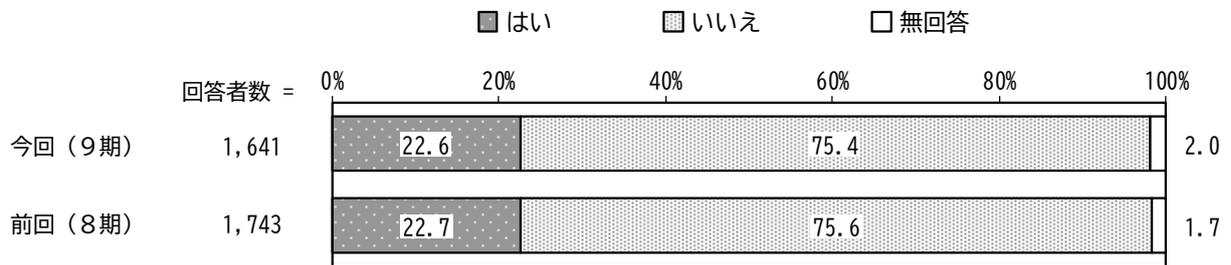
「はい」の割合が86.0%、「いいえ」の割合が12.5%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



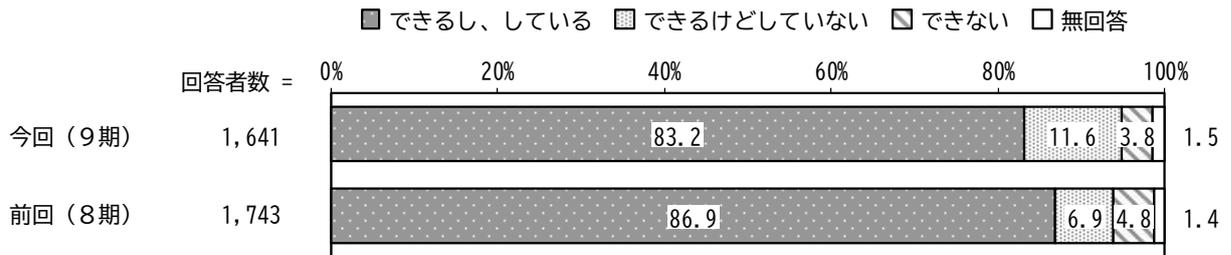
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が22.6%、「いいえ」の割合が75.4%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



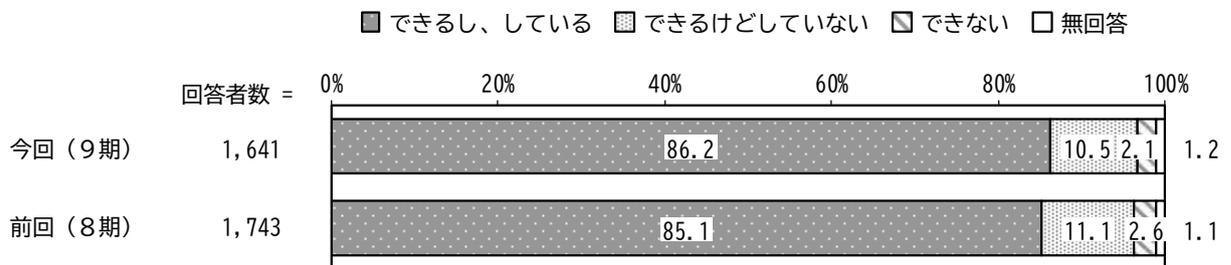
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) [○は1つだけ]

「できるし、している」の割合が83.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.6%となっています。
前回と比較すると、「できるけどしていない」の割合が増加しています。



(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。[○は1つだけ]

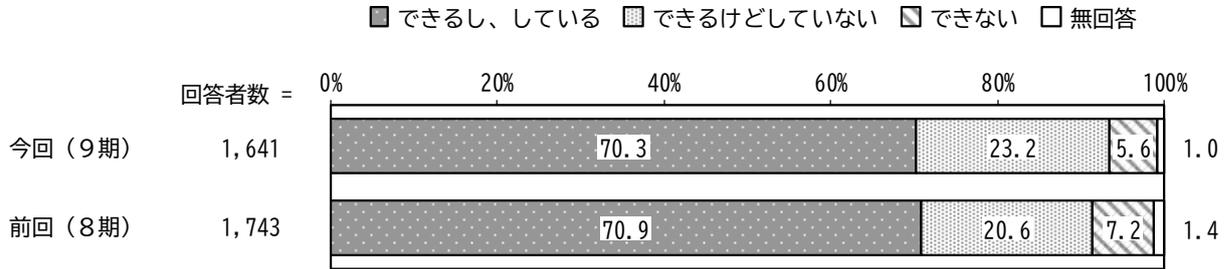
「できるし、している」の割合が86.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が10.5%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) 自分で食事の用意をしていますか。[○は1つだけ]

「できるし、している」の割合が70.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が23.2%となっています。

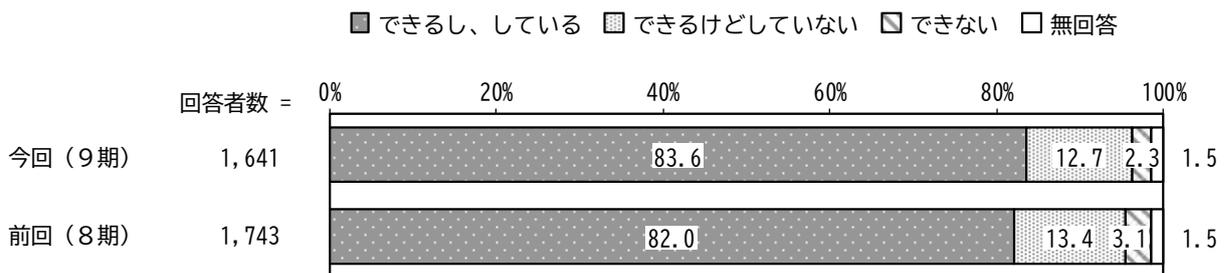
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。[○は1つだけ]

「できるし、している」の割合が83.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.7%となっています。

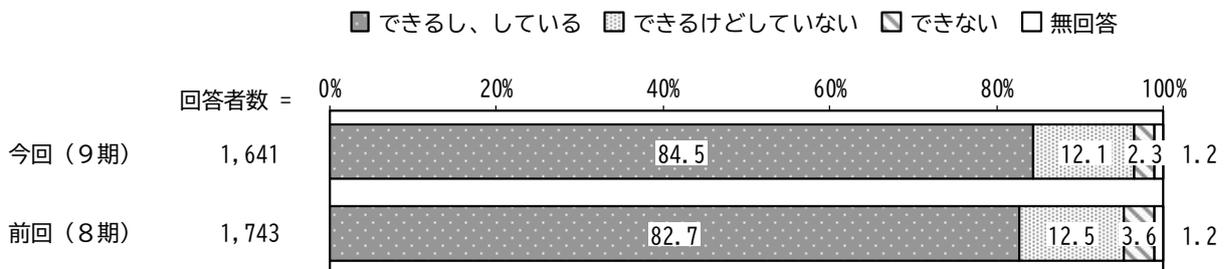
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。[○は1つだけ]

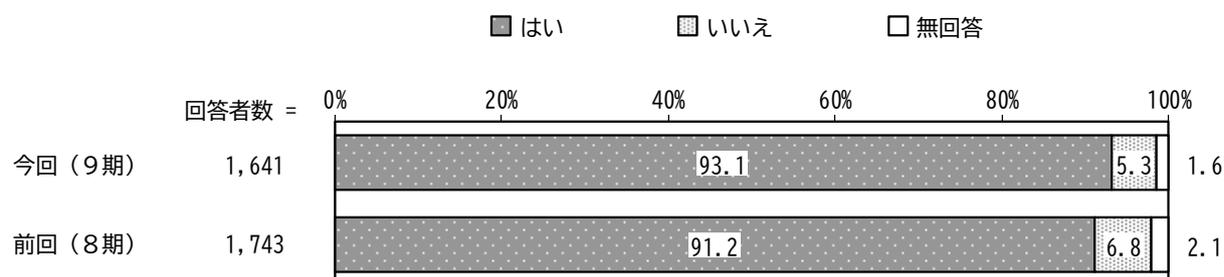
「できるし、している」の割合が84.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.1%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



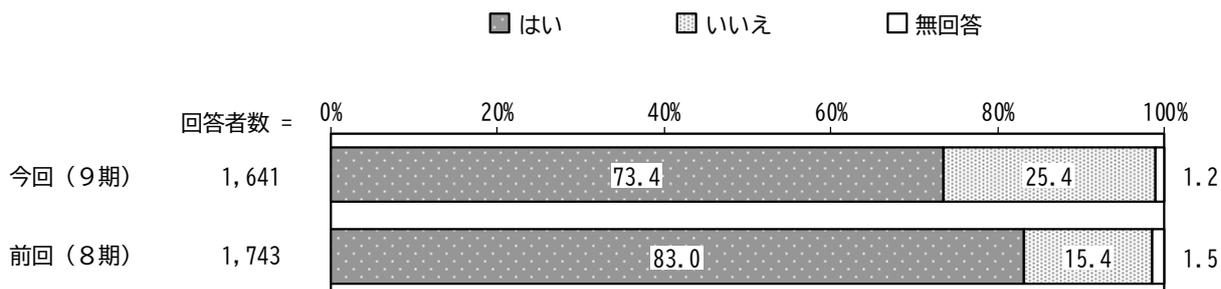
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が93.1%、「いいえ」の割合が5.3%となっています。
 前回と比較すると、大きな変化はみられません。



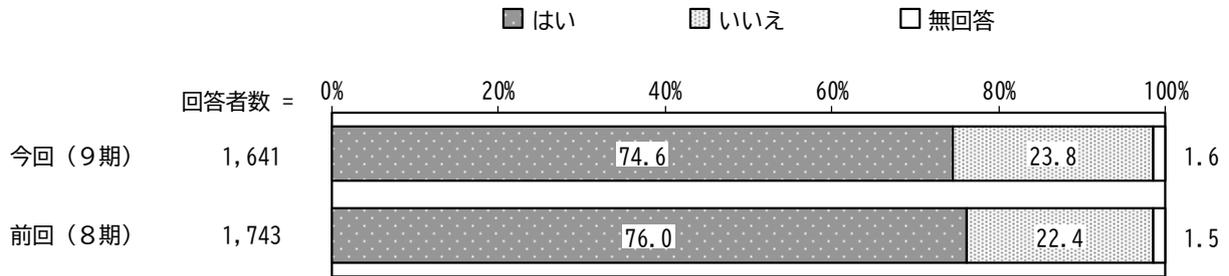
(10) 新聞を読んでいますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が73.4%、「いいえ」の割合が25.4%となっています。
 前回と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



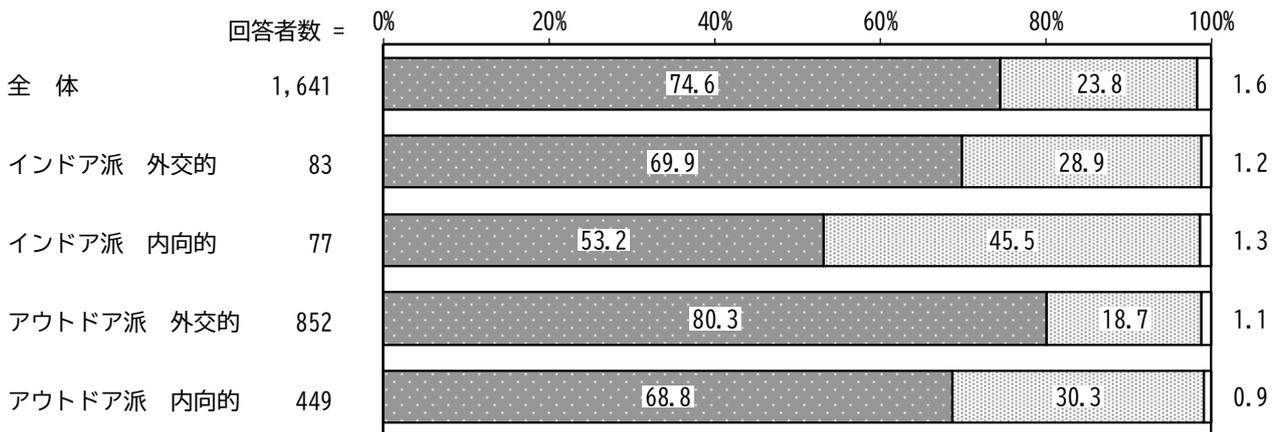
(11) 本や雑誌を読んでいますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が74.6%、「いいえ」の割合が23.8%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



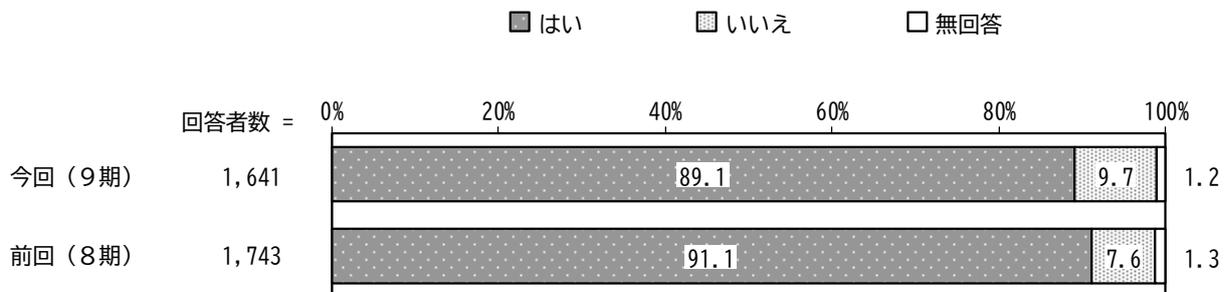
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が、アウトドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



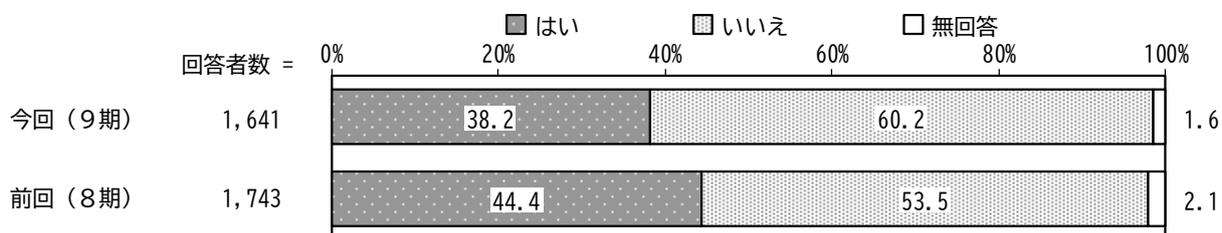
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が89.1%、「いいえ」の割合が9.7%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



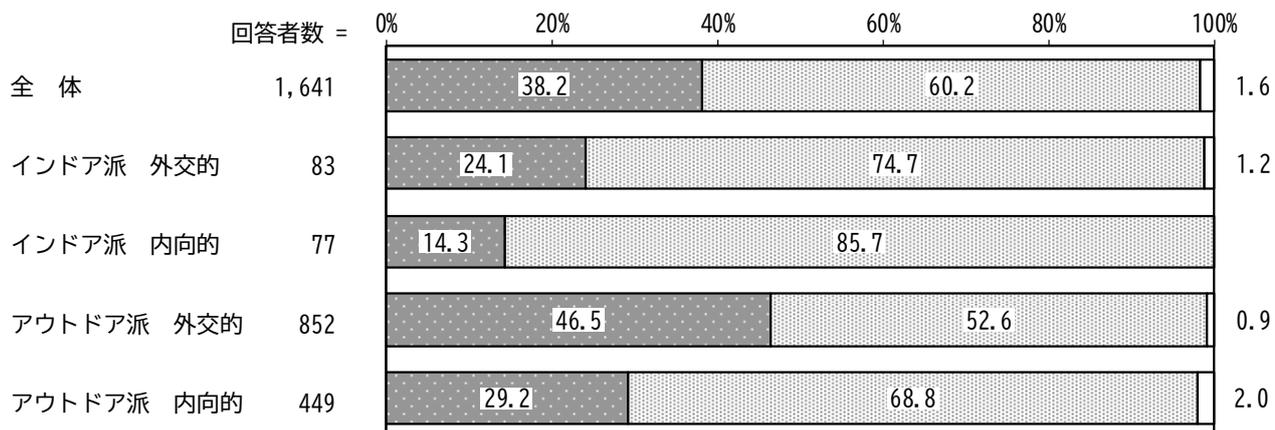
(13) 友人の家を訪ねていますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が38.2%、「いいえ」の割合が60.2%となっています。
 前回と比較すると、「いいえ」の割合が増加し、「はい」の割合が減少しています。



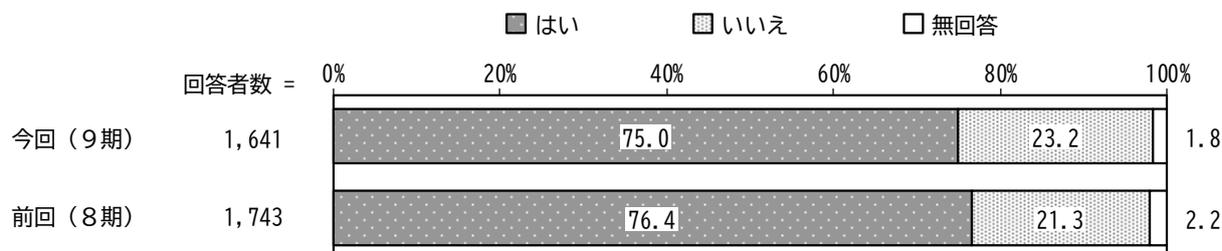
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的、インドア派外交的、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



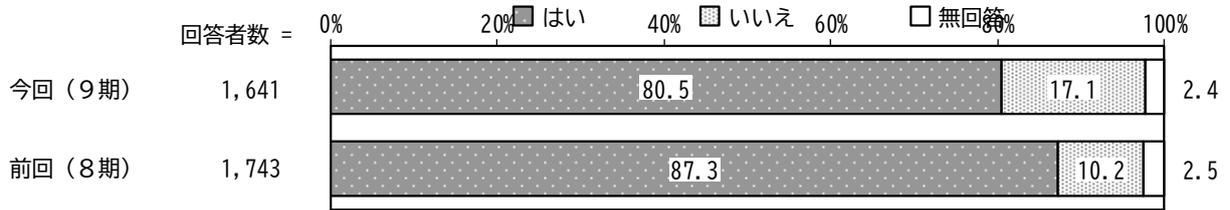
(14) 家族や友人の相談にのっていますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が75.0%、「いいえ」の割合が23.2%となっています。
 前回と比較すると、大きな変化はみられません。



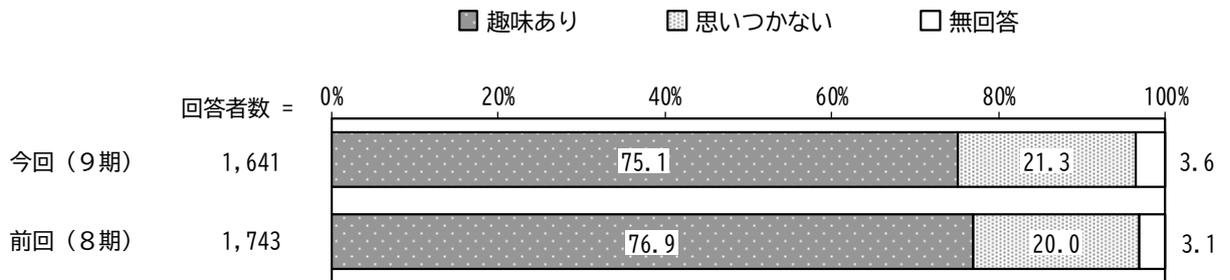
(15) 病人を見舞うことができますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が80.5%、「いいえ」の割合が17.1%となっています。
 前回と比較すると、「いいえ」の割合が増加し、「はい」の割合が減少しています。



(16) 趣味はありますか。[○は1つだけ]

「趣味あり」の割合が75.1%、「思いつかない」の割合が21.3%となっています。
 前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【幸福度別】

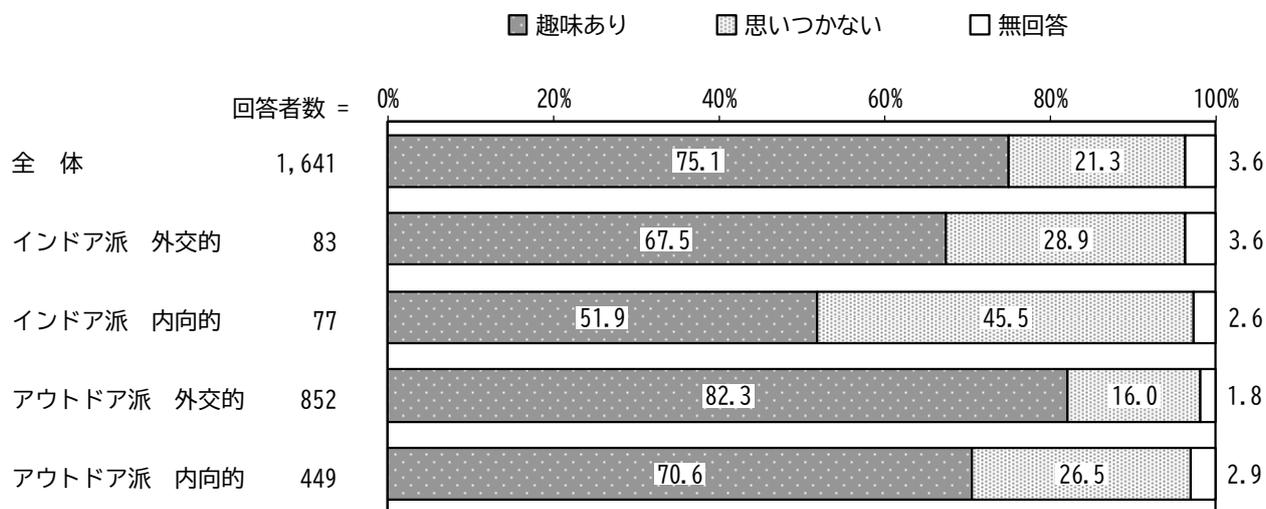
幸福度別にみると、低い（0－5点）で「思いつかない」の割合が、中等度（6－8点）、高い（9－10点）で「趣味あり」の割合が高くなっています。



※幸福度別のクロスについては、一定のN値を確保するため三段階に分類し集計しました。(以下同様)

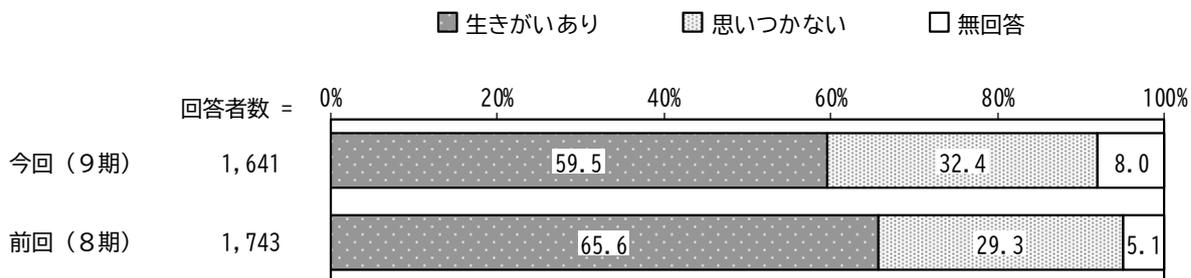
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的、インドア派外交的で「思いつかない」の割合が、アウトドア派外交的で「趣味あり」の割合が高くなっています。



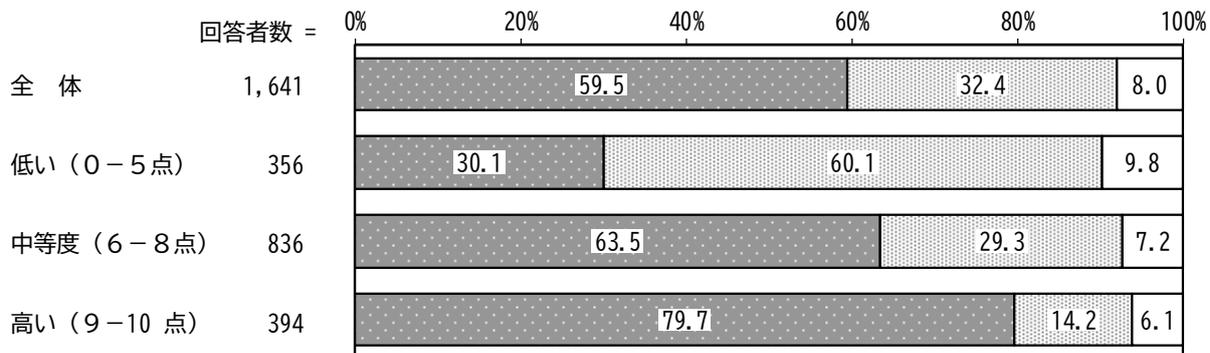
(17) 生きがいがありますか。[○は1つだけ]

「生きがいあり」の割合が59.5%、「思いつかない」の割合が32.4%となっています。前回と比較すると、「生きがいあり」の割合が減少しています。



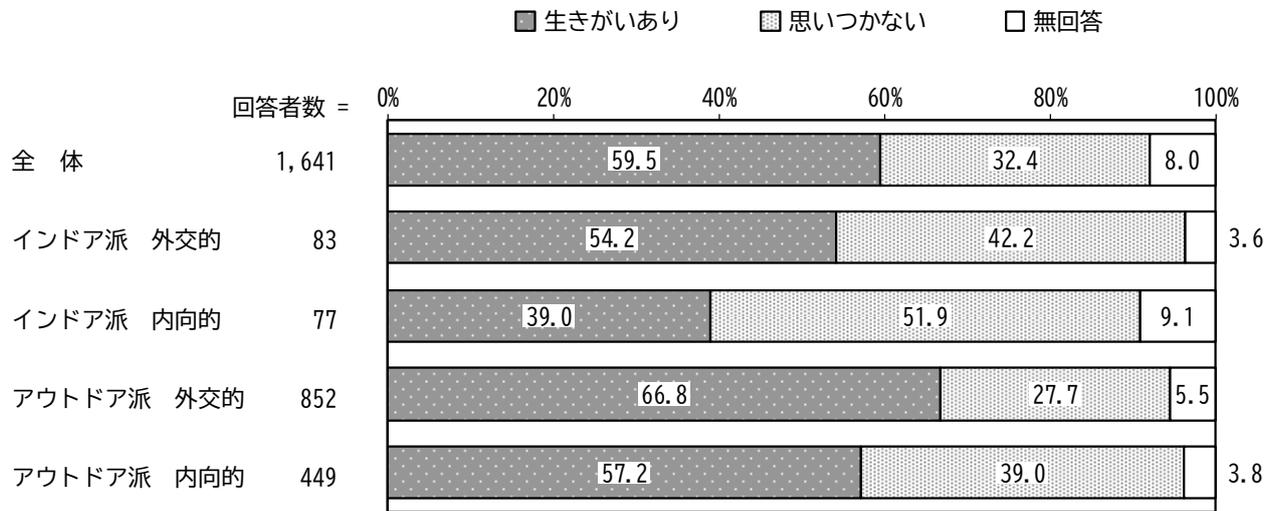
【幸福度別】

幸福度別にみると、低い(0-5点)で「思いつかない」の割合が、高い(9-10点)で「生きがいあり」の割合が高くなっています。



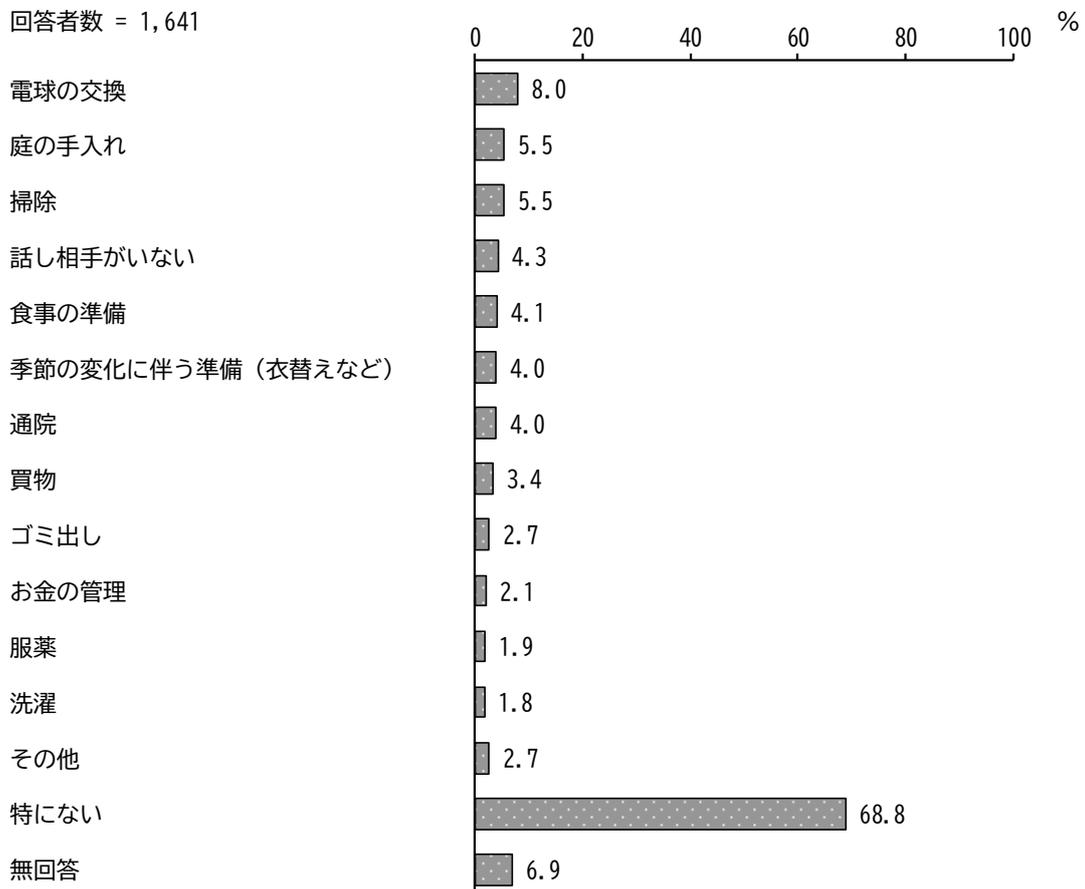
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的、インドア派外交的で「思いつかない」の割合が、アウトドア派外交的で「生きがいあり」の割合が高くなっています。



(18) 現在の生活で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

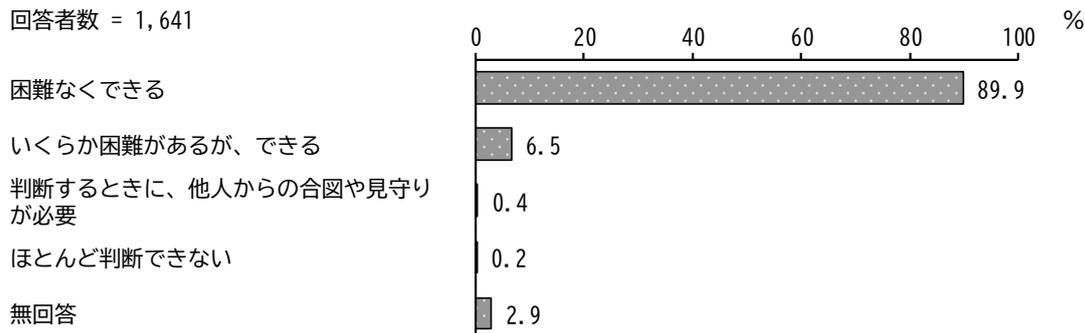
「特にない」の割合が68.8%と最も高くなっており、それ以外では大きな差は見られないものの「電球の交換」や「庭の手入れ」、「掃除」などが高い割合となっています。



(19) その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を判断できますか。[○は1つだけ]

「困難なくできる」の割合が89.9%と最も高くなっています。

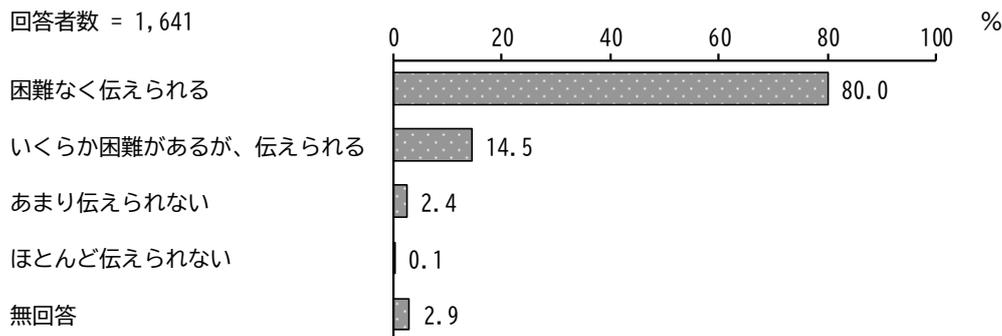
回答者数 = 1,641



(20) 人に自分の考えをうまく伝えられますか。[○は1つだけ]

「困難なく伝えられる」の割合が80.0%と最も高く、次いで「いくらか困難があるが、伝えられる」の割合が14.5%となっています。

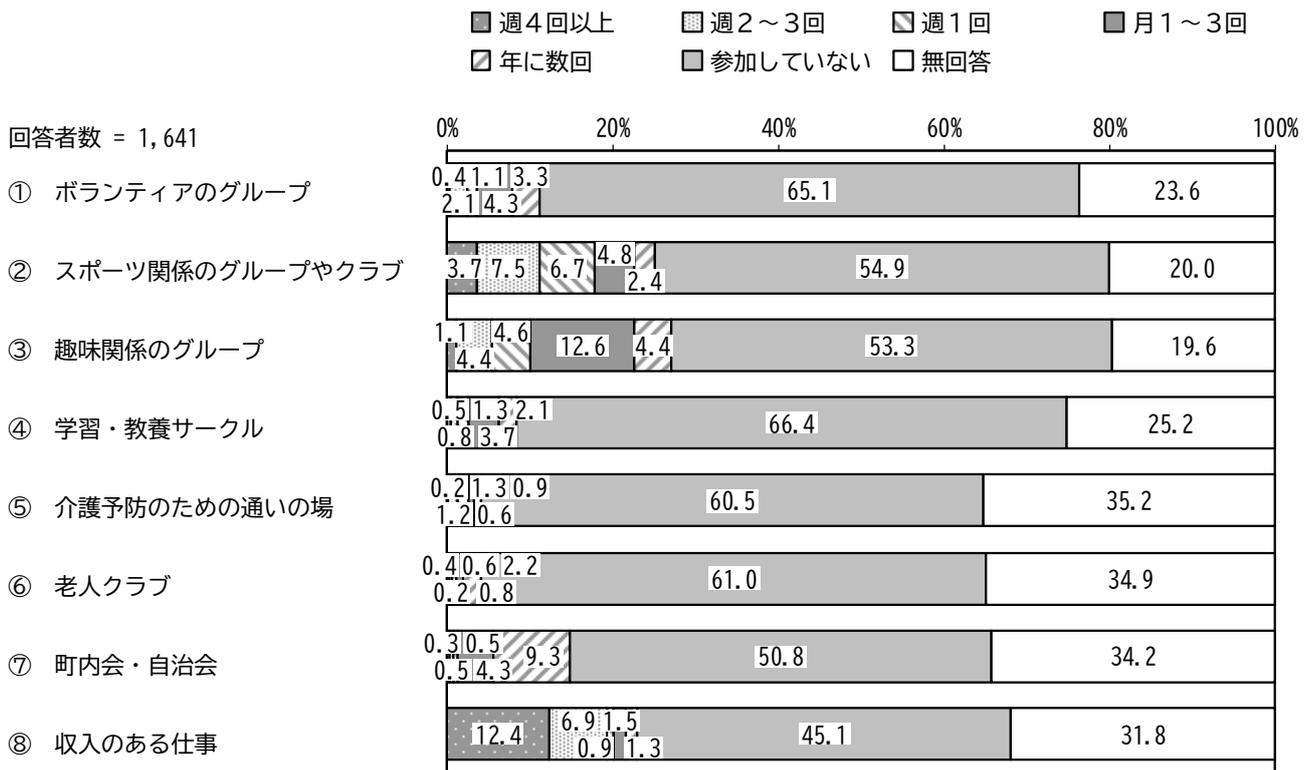
回答者数 = 1,641



5 地域での活動について

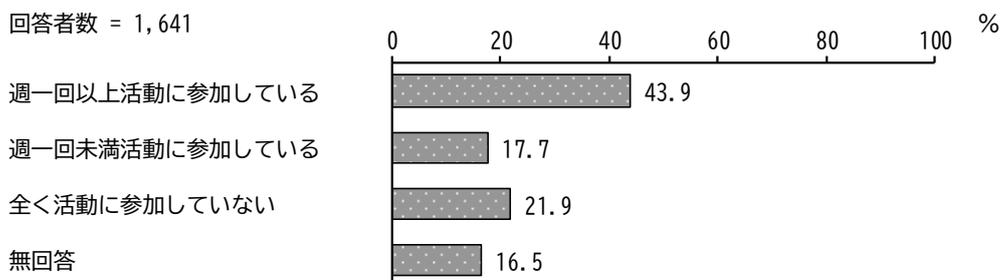
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ※①～⑧それぞれに回答してください。[○はそれぞれに1つ]

『③ 趣味関係のグループ』で「月1～3回」の割合が、『⑧ 収入のある仕事』で「週4回以上」の割合が『① ボランティアのグループ』『④ 学習・教養サークル』で「参加していない」の割合が高くなっています。



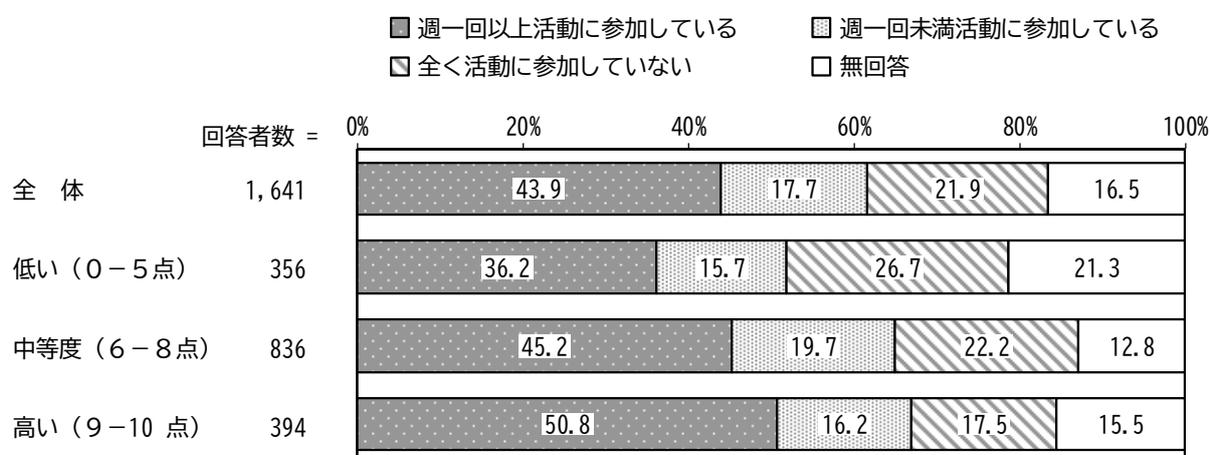
地域活動への参加状況

「週一回以上活動に参加している」の割合が43.9%と最も高く、次いで「全く活動に参加していない」の割合が21.9%、「週一回未満活動に参加している」の割合が17.7%となっています。



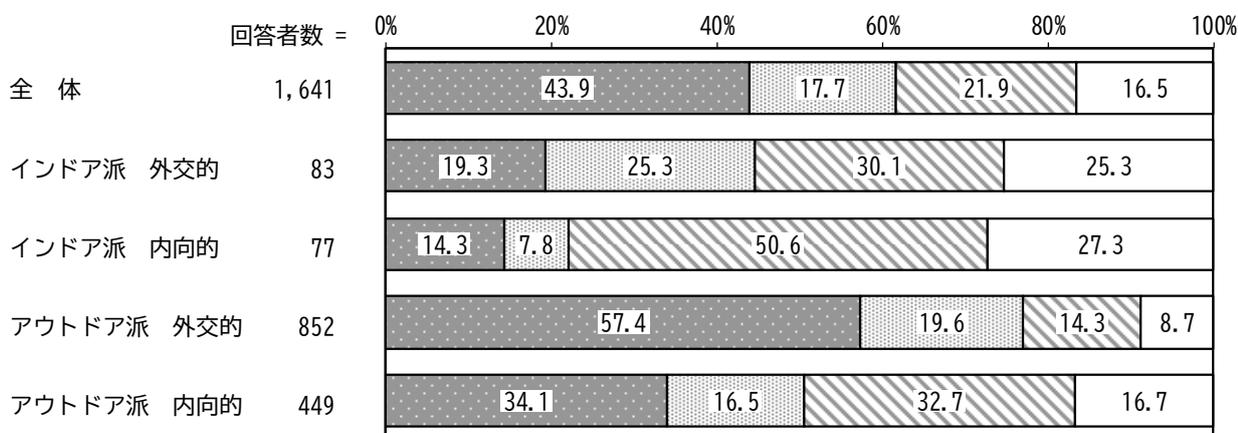
【幸福度別】

幸福度別にみると、高い（9－10点）で「週一回以上活動に参加している」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「全く活動に参加していない」の割合が、アウトドア派外交的で「週一回以上活動に参加している」の割合が高くなっています。

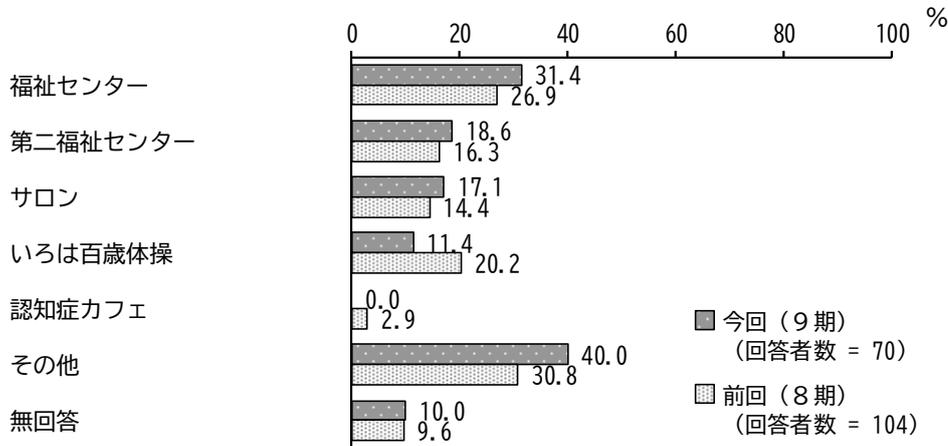


《 (1) ⑤において「週4回以上」～「年に数回」に○を回答した方のみ》

(2) 通っている介護予防の通いの場はどこですか。[○はいくつでも]

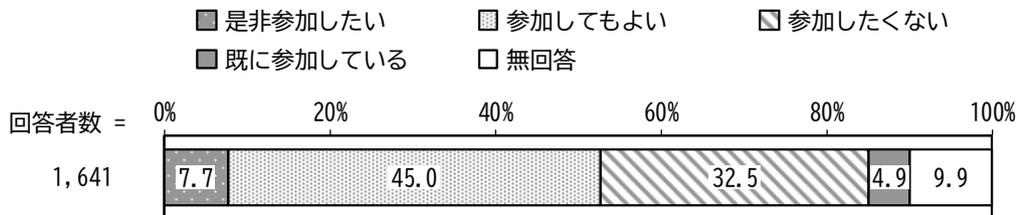
「福祉センター」の割合が31.4%と最も高く、次いで「第二福祉センター」の割合が18.6%、「サロン」の割合が17.1%となっています。

前回と比較すると、「いろは百歳体操」の割合が減少しています。



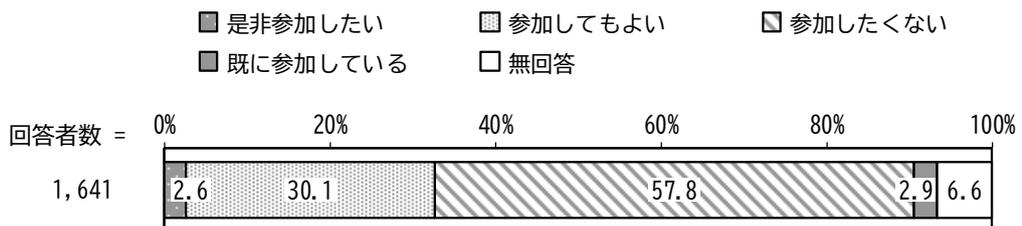
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。[○は1つだけ]

「参加してもよい」の割合が45.0%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が32.5%となっています。



(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。[○は1つだけ]

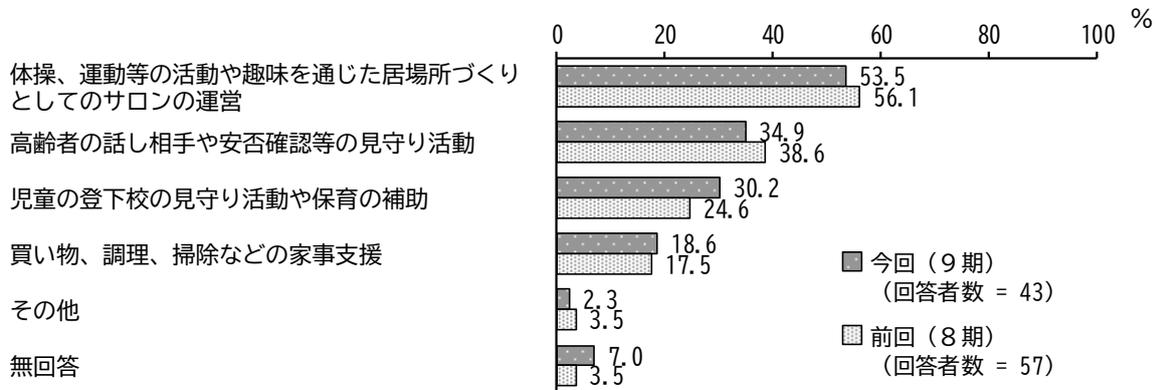
「参加したくない」の割合が57.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が30.1%となっています。



« (4) において「是非参加したい」の方のみ»

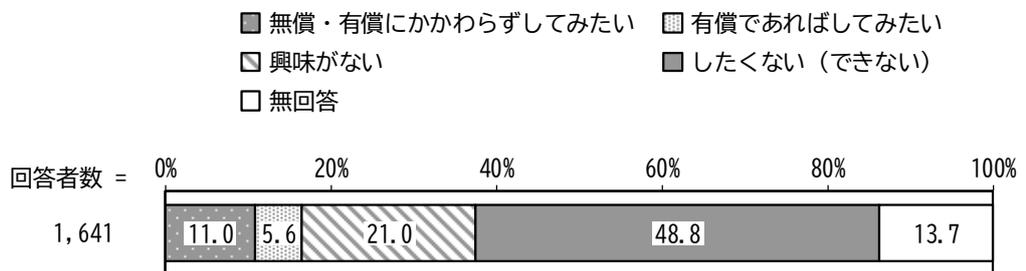
(5) 次に掲げるもののうち、企画・運営の世話役やサービスの担い手などとして参加してみたいと思うものがあれば挙げてください。[○はいくつでも]

前回と比較すると、「児童の登下校の見守り活動や保育の補助」の割合が増加しています。



(6) 見守りや介護が必要な人に対してボランティア活動などをしてみたいと思いますか。[○は1つだけ]

「したくない(できない)」の割合が48.8%と最も高く、次いで「興味がない」の割合が21.0%、「無償・有償にかかわらずしてみたい」の割合が11.0%となっています。



6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
(1～4について○はいくつでも)

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
- (4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

『(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人』『(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人』で「友人」の割合が高くなっています。

『(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人』で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

〈今回(9期)調査〉

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない	そのような人は	無回答
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1641	57.4	21.4	38.7	27.5	11.9	47.5	2.5	3.6	2.5	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1641	56.1	20.0	35.5	29.6	15.5	48.3	2.2	5.6	2.4	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1641	64.2	27.1	34.2	9.4	2.5	6.2	1.2	5.3	1.8	
(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人	1641	66.2	25.7	29.6	16.0	4.0	8.7	1.7	9.0	3.2	

〈前回(8期)調査〉

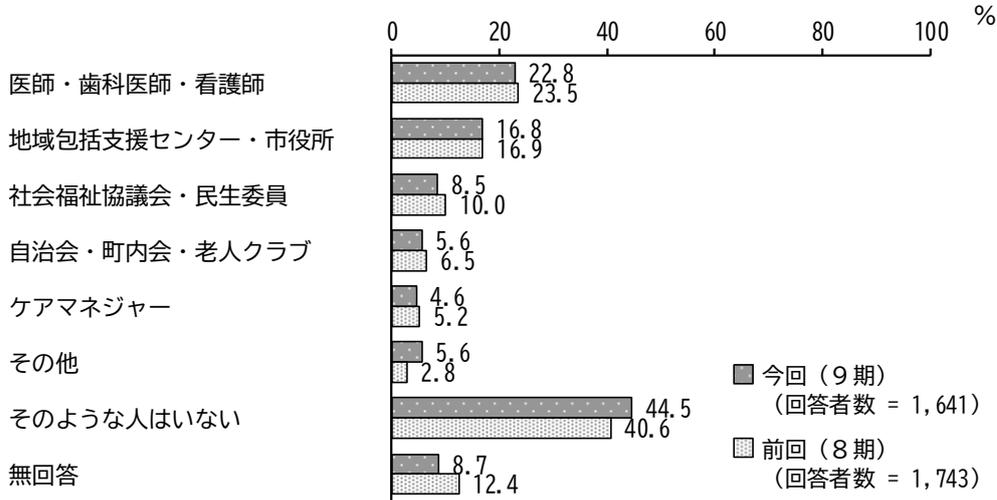
単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない	そのような人は	無回答
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1743	56.5	18.4	37.2	32.4	15.5	48.8	1.6	5.1	3.4	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1743	66.8	25.3	35.5	12.7	2.4	5.3	0.9	4.8	1.3	
(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人	1743	65.6	22.8	30.2	22.4	4.6	9.4	0.5	10.0	5.2	

※前回(8期)調査で、『(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人』はありませんでした。

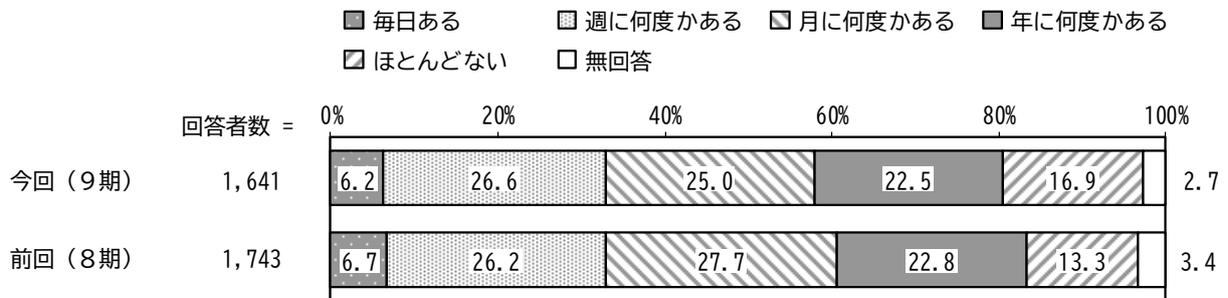
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
[○はいくつでも]

「そのような人はいない」の割合が44.5%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が22.8%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が16.8%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



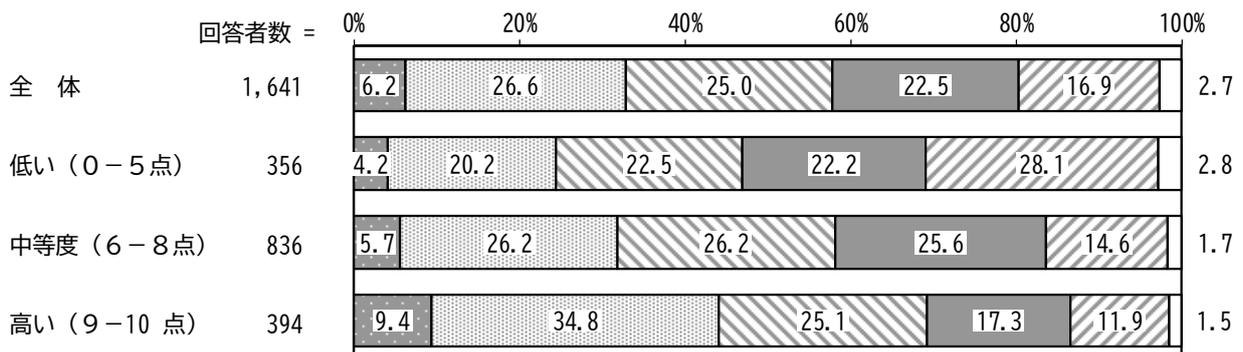
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。[○は1つだけ]

「週に何度かある」の割合が26.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が25.0%、「年に何度かある」の割合が22.5%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



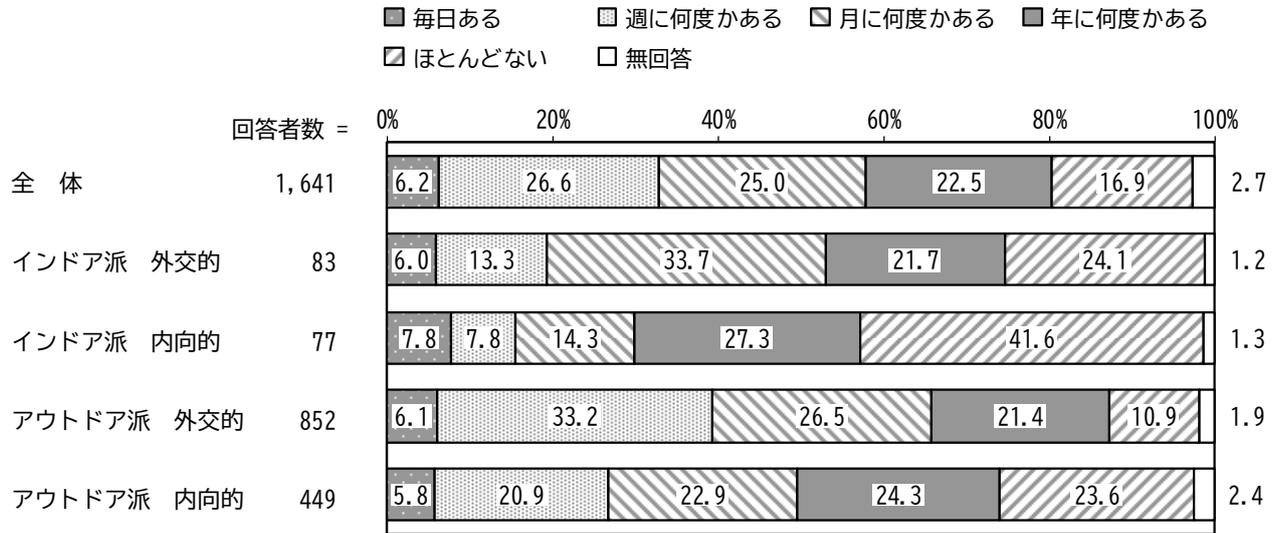
【幸福度別】

幸福度別にみると、高い(9-10点)で「週に何度かある」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

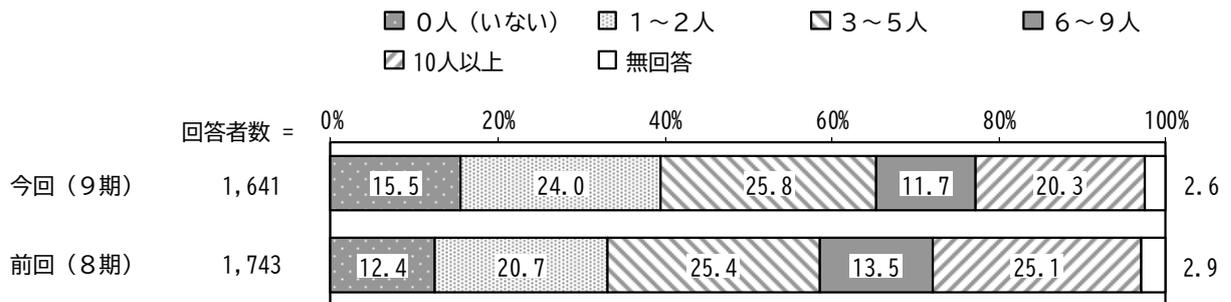
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「ほとんどない」の割合が、インドア派外交的で「月に何度かある」の割合が高くなっています。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。[○は1つだけ]

「3～5人」の割合が25.8%と最も高く、次いで「1～2人」の割合が24.0%、「10人以上」の割合が20.3%となっています。

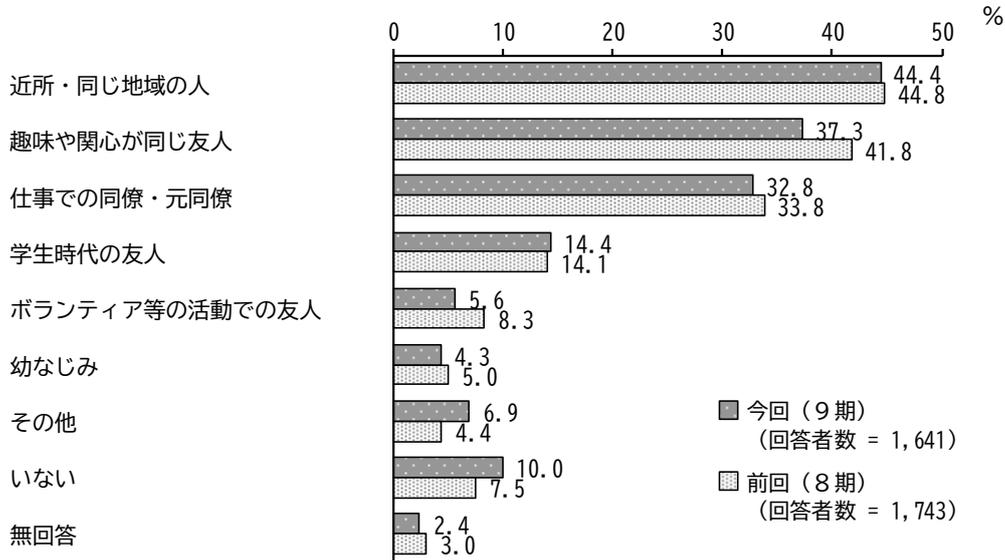
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。[〇はいくつでも]

「近所・同じ地域の人」の割合が44.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が37.3%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が32.8%となっています。

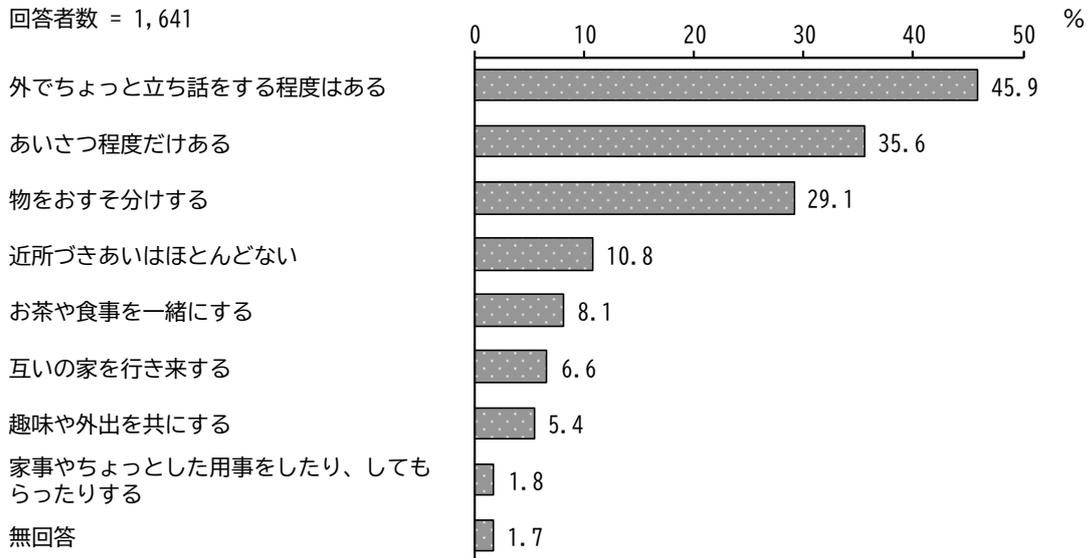
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(9) 近所づきあいがありますか。

「外でちょっと立ち話をする程度はある」の割合が45.9%と最も高く、次いで「あいさつ程度だけある」の割合が35.6%、「物をおすそ分けする」の割合が29.1%となっています。

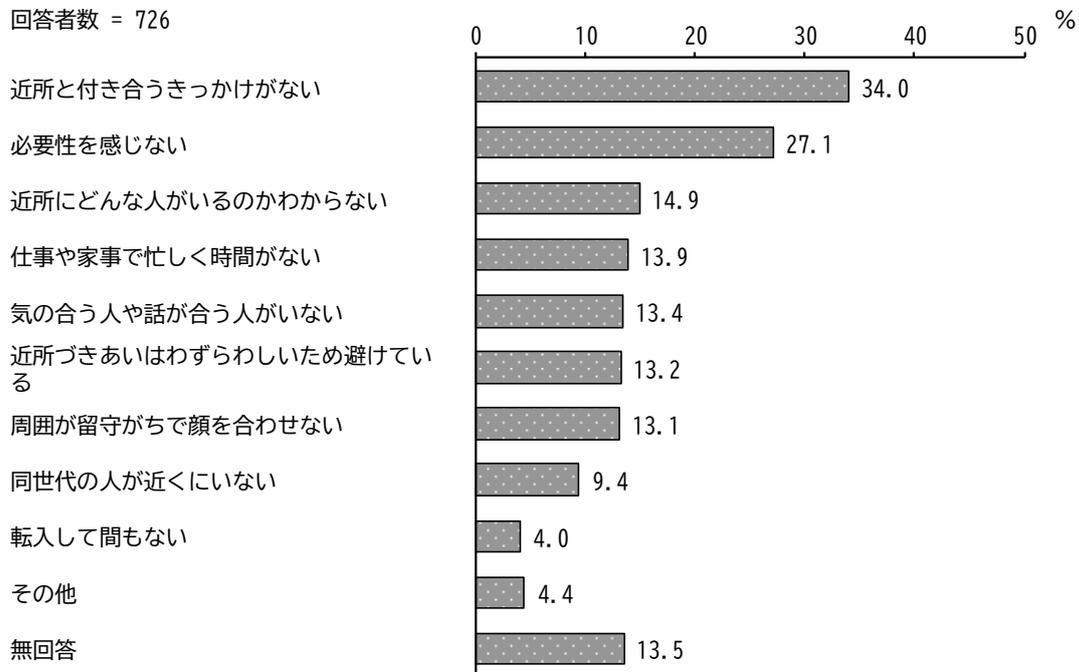
回答者数 = 1,641



« (9) で「1. 近所づきあいはほとんどない」「2. あいさつ程度だけある」と答えた方のみ»

(10) その理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「近所と付き合いきっかけがない」の割合が34.0%と最も高く、次いで「必要性を感じない」の割合が27.1%、「近所にどんな人がいるのかわからない」の割合が14.9%となっています。

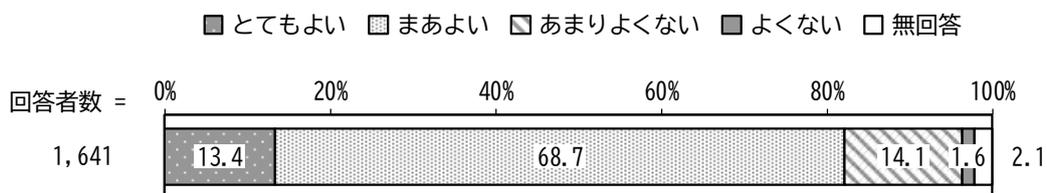


7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。[○は1つだけ]

この設問は、主観的健康観を問う設問です。

「まあよい」の割合が68.7%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が14.1%、「とてもよい」の割合が13.4%となっています。

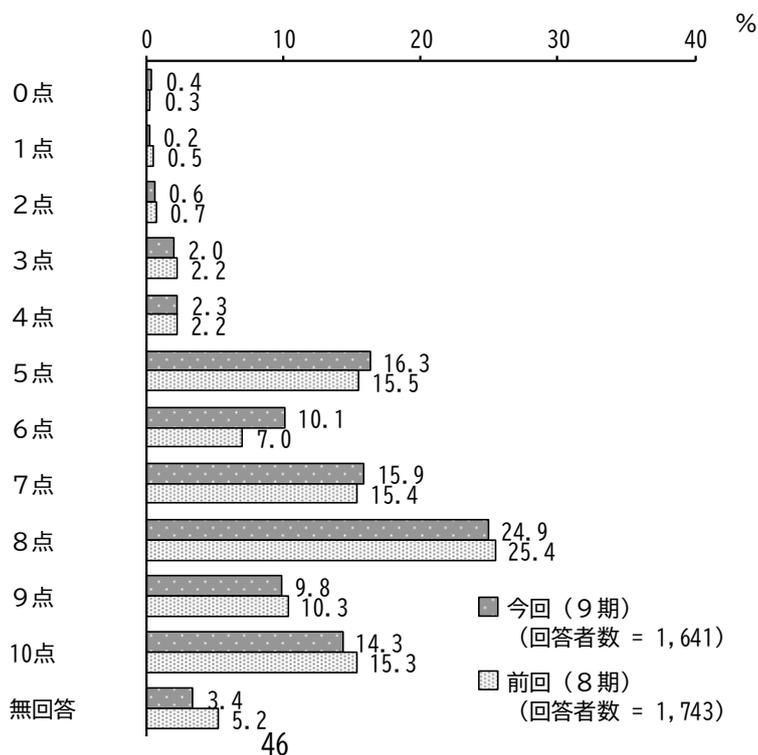
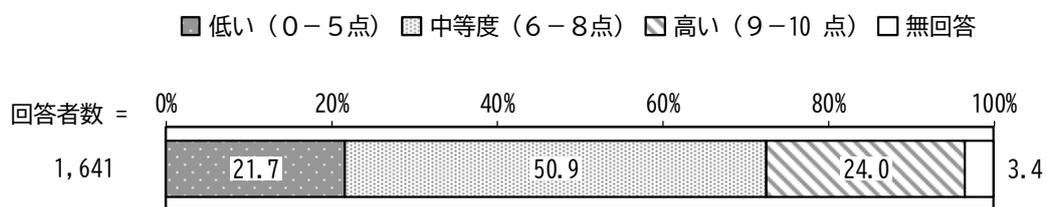


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。[○は1つだけ] (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

この設問は主観的幸福感を問う設問です。

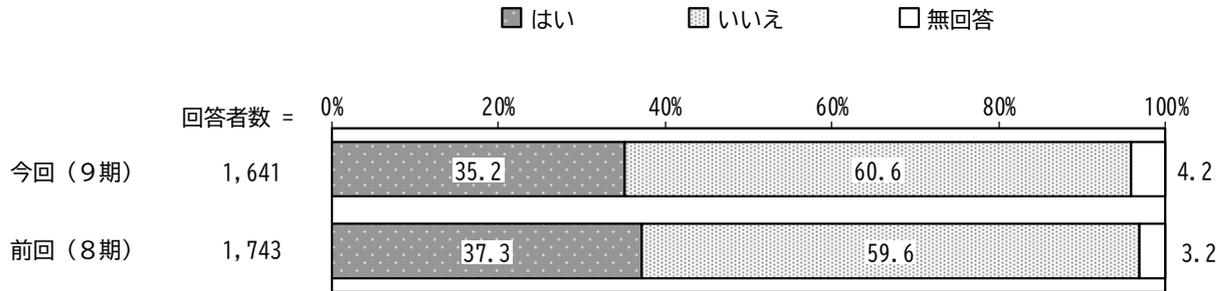
「低い(0-5点)」が21.7%、「中等度(6-8点)」が50.9%、「高い(9-10点)」が24.0%です。平均点は7.24点です。

前回の平均点7.31点と比較すると、0.07点減少しています。



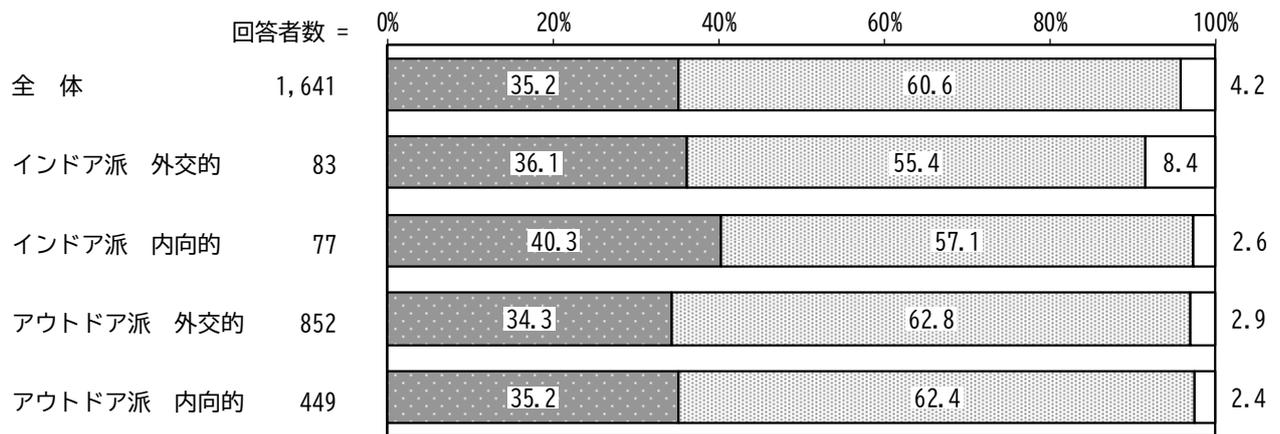
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が35.2%、「いいえ」の割合が60.6%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



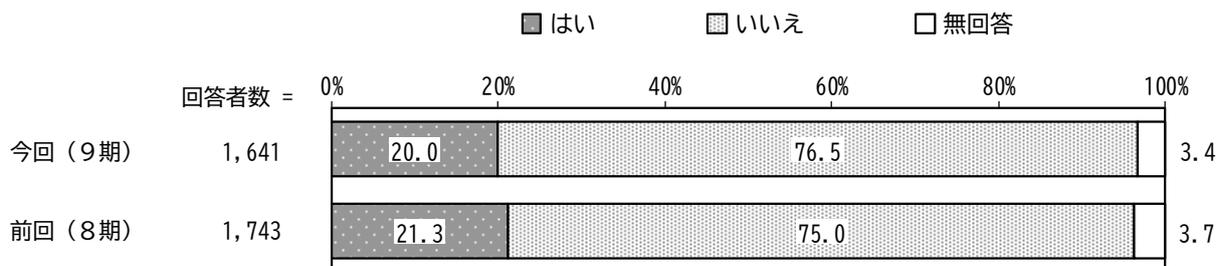
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。



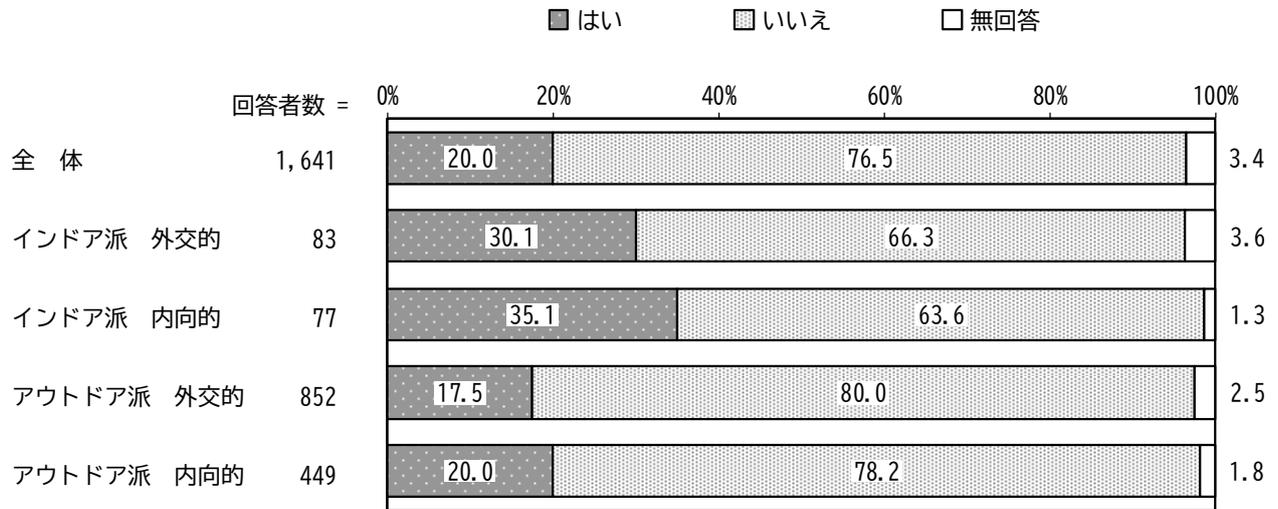
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が20.0%、「いいえ」の割合が76.5%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



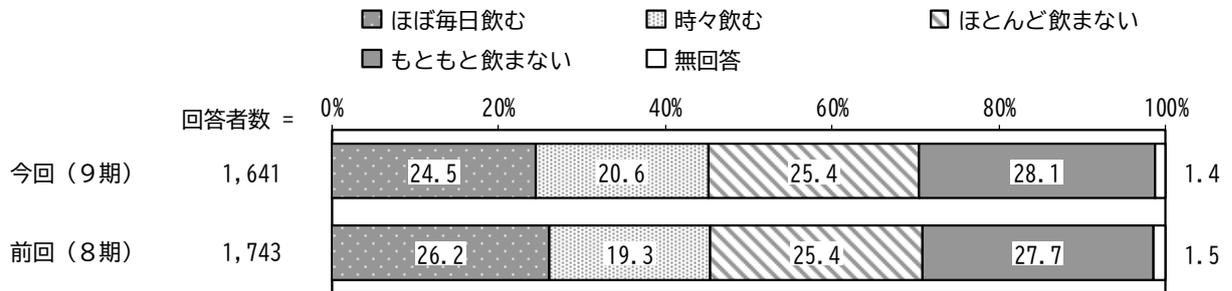
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



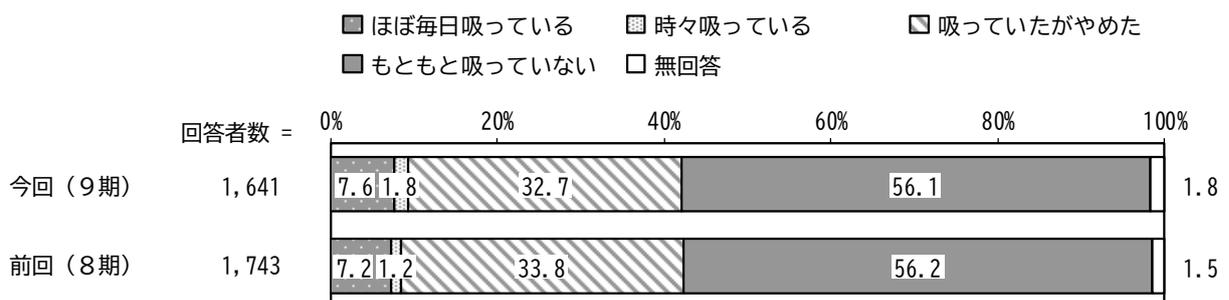
(5) お酒は飲みますか。[○は1つだけ]

「もともと飲まない」の割合が28.1%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が25.4%、「ほぼ毎日飲む」の割合が24.5%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) タバコは吸っていますか。[○は1つだけ]

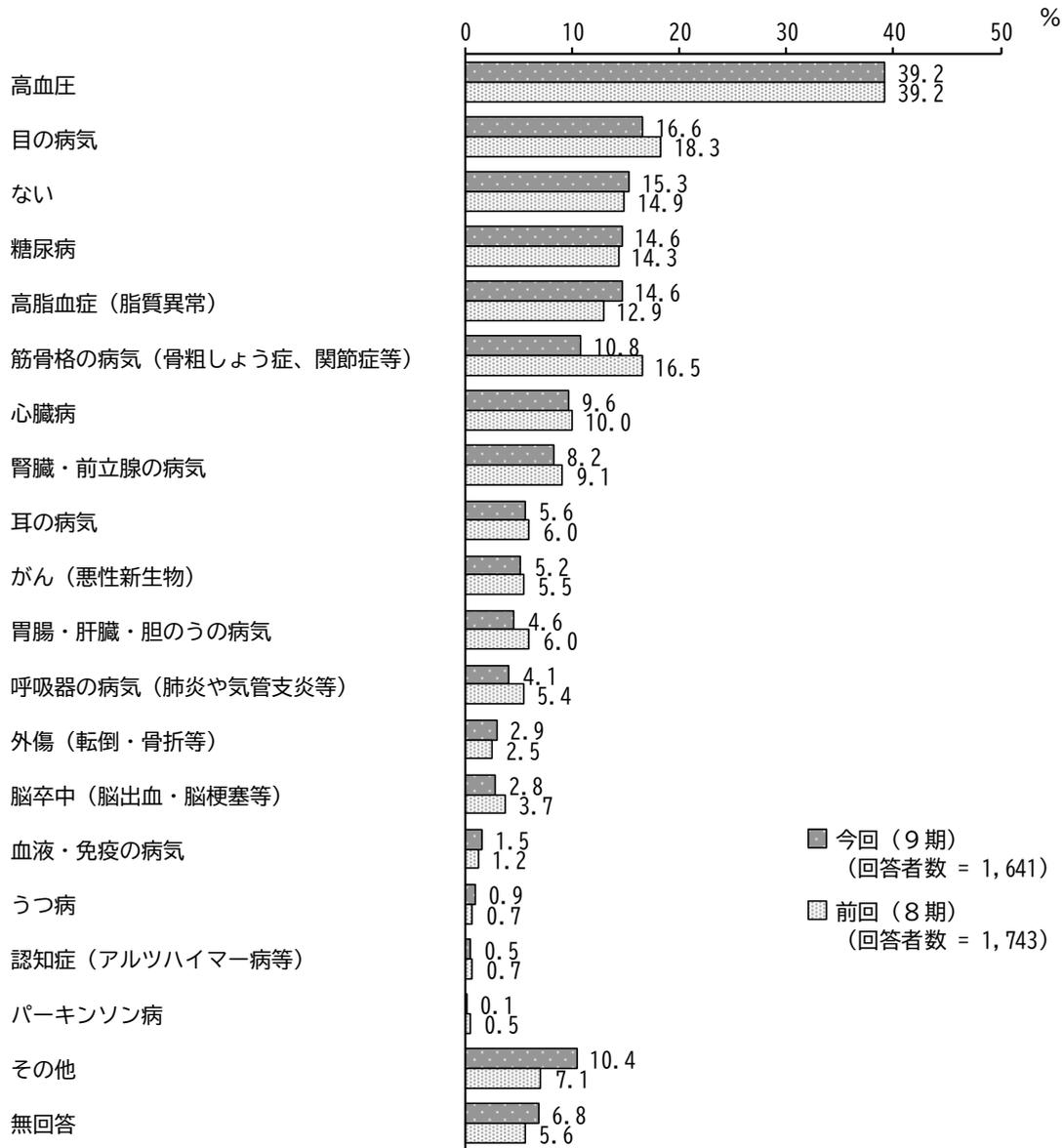
「もともと吸っていない」の割合が56.1%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が32.7%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[○はいくつでも]

「高血圧」の割合が39.2%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が16.6%、「ない」の割合が15.3%となっています。

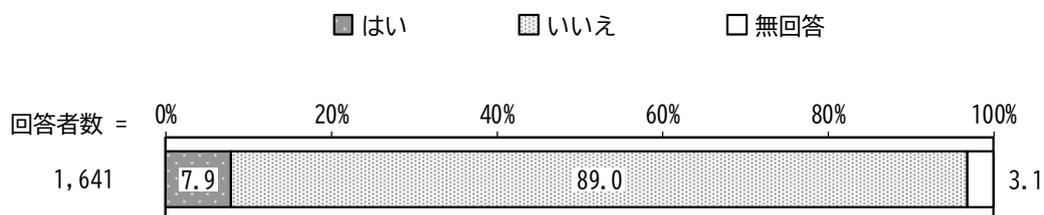
前回と比較すると、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が減少しています。



8 認知症の支援について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。[○は1つだけ]

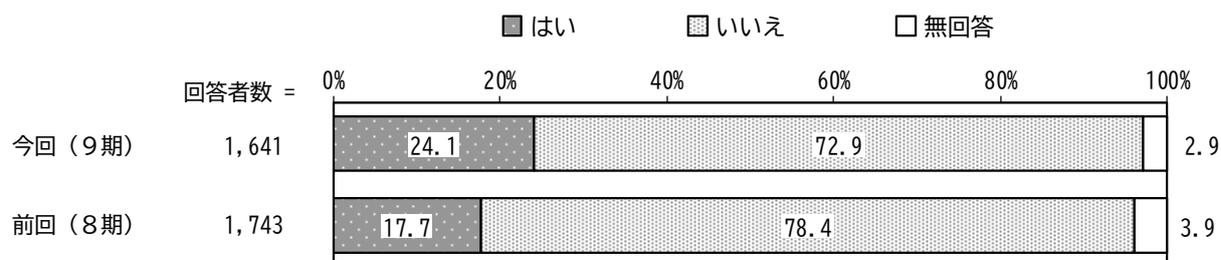
「はい」の割合が7.9%、「いいえ」の割合が89.0%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が24.1%、「いいえ」の割合が72.9%となっています。

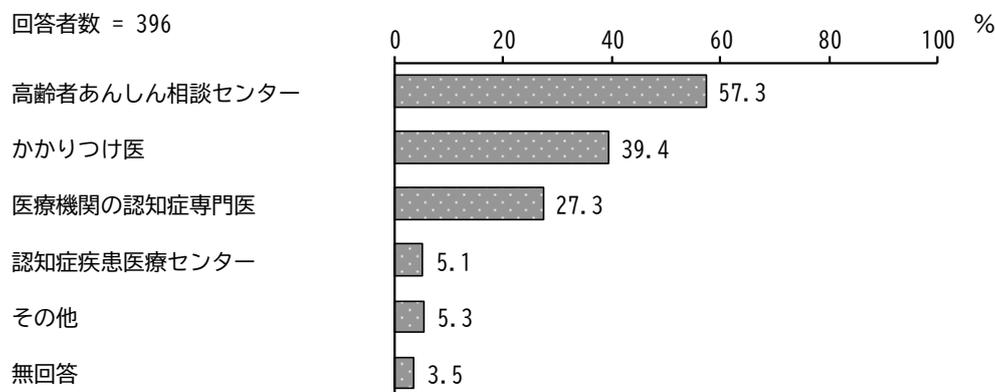
前回と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



« (2) で「はい」と答えた方のみ »

(3) それはどこですか。[○はいくつでも]

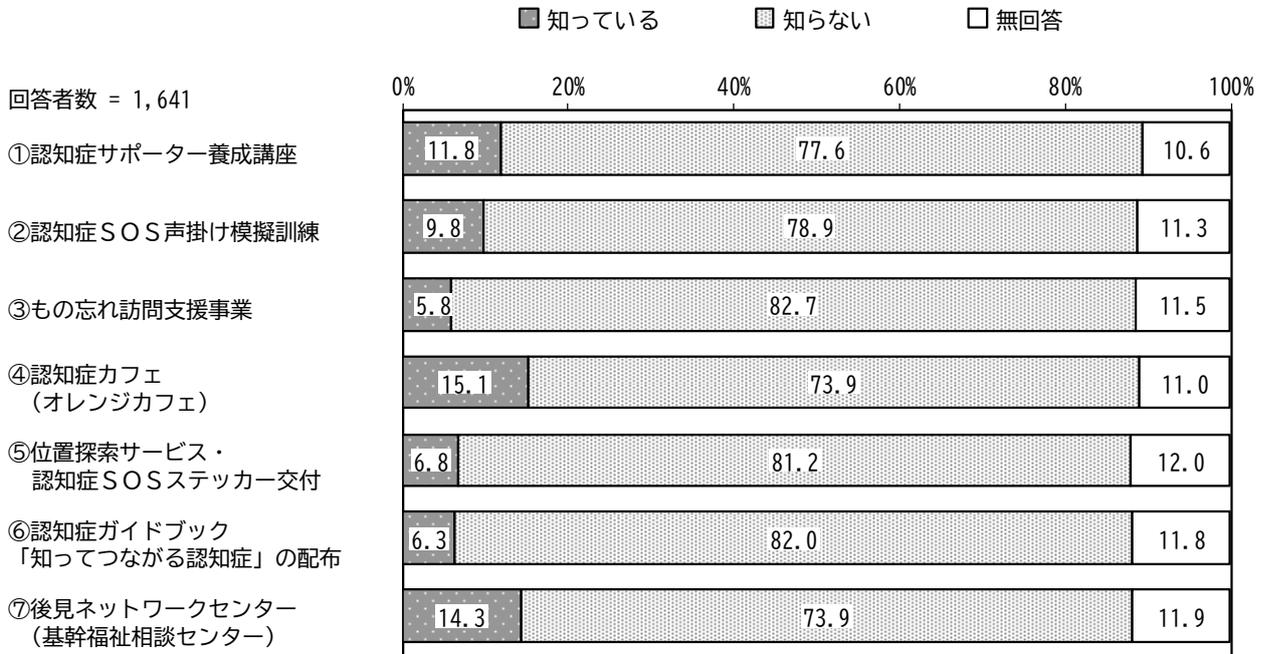
「高齢者あんしん相談センター」の割合が57.3%と最も高く、次いで「かかりつけ医」の割合が39.4%、「医療機関の認知症専門医」の割合が27.3%となっています。



(4) 市で行っている認知症にかかわる事業を知っていますか。[○はそれぞれに1つ]

『④認知症カフェ（オレンジカフェ）』、『⑦後見ネットワークセンター（基幹福祉相談センター）』で「知っている」の割合が高くなっています。

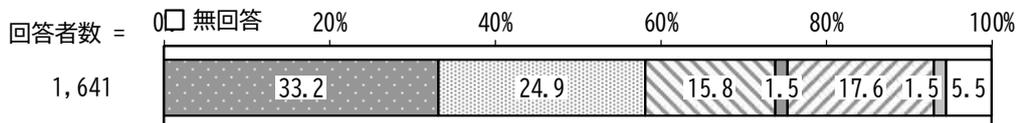
一方、『③もの忘れ訪問支援事業』、『⑥認知症ガイドブック「知ってつながる認知症」の配布』で「知らない」の割合が高くなっています。



(5) もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。[○は1つだけ]

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」の割合が33.2%と最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことができない等、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」の割合が24.9%、「分からない」の割合が17.6%となっています。

- 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
- 認知症になると、身の回りのことができない等、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
- 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
- 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないように、ひとりで暮らしていきたい
- 分からない
- その他

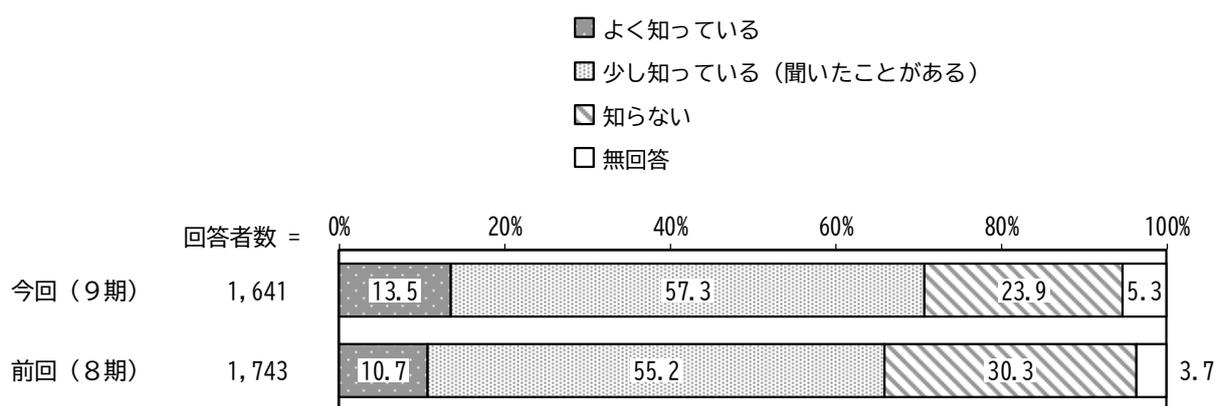


9 在宅医療・介護について

(1) 「在宅医療（訪問医療や訪問看護）」とは、医師のほか、訪問看護師や薬剤師、理学療法士（リハビリ）等の関係者が、患者さんの自宅や入所施設などに定期的に訪問して医療を行うことですが、あなたは「在宅医療」について知っていますか。
 [○は1つだけ]

「少し知っている（聞いたことがある）」の割合が57.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が23.9%、「よく知っている」の割合が13.5%となっています。

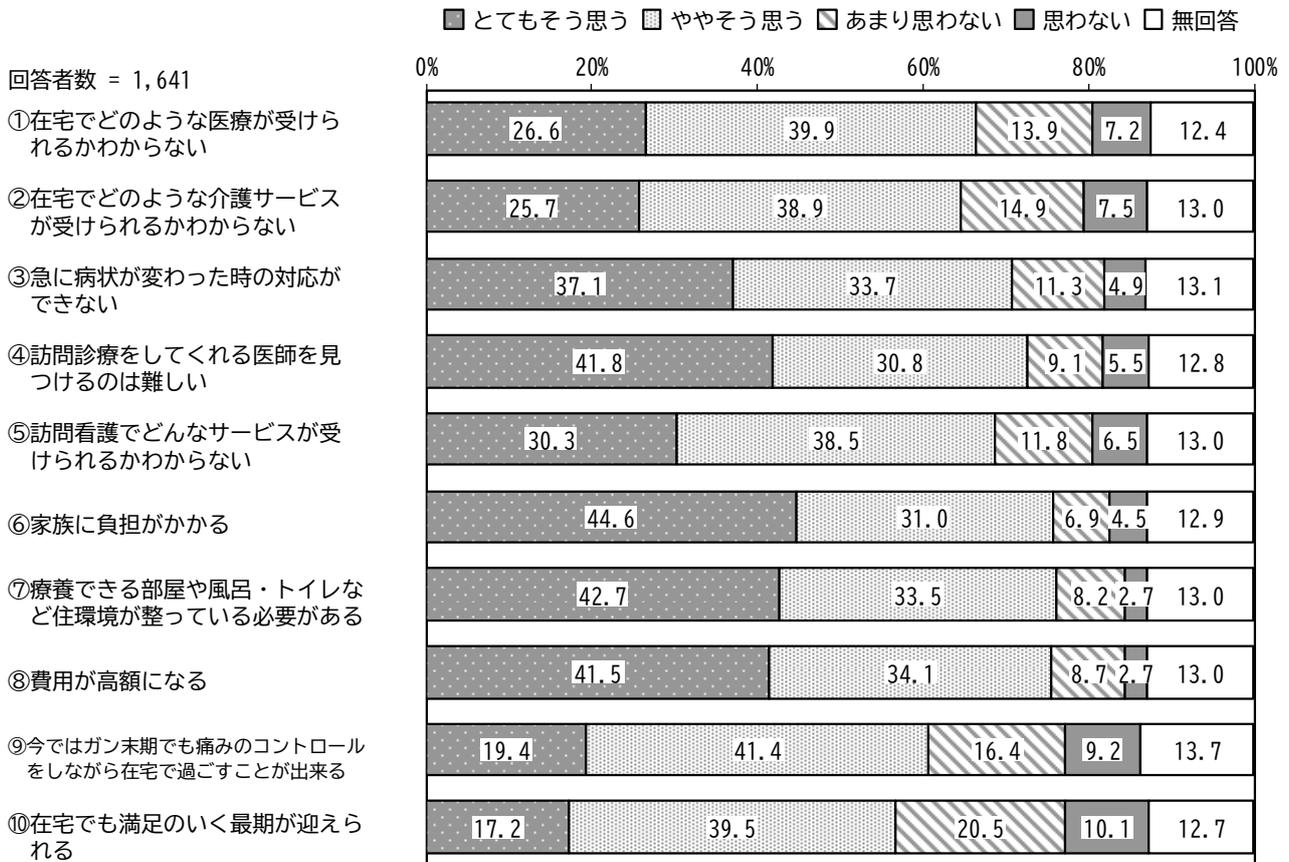
前回と比較すると、「知らない」の割合が減少しています。



(2) 在宅医療・介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか。
 ※①～⑩それぞれに回答してください。[○はそれぞれに1つ]

『⑥家族に負担がかかる』、『⑦療養できる部屋や風呂・トイレなど住環境が整っている必要がある』で「とてもそう思う」の割合が、『⑨今ではガン末期でも痛みのコントロールをしながら在宅で過ごすことができる』、『⑩在宅でも満足のいく最期を迎えられる』で「ややそう思う」の割合が高くなっています。

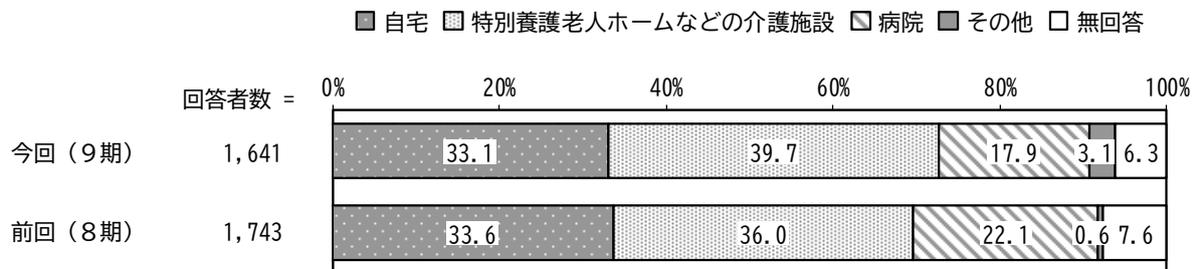
一方、『⑩在宅でも満足のいく最期を迎えられる』、『⑨今ではガン末期でも痛みのコントロールをしながら在宅で過ごすことができる』で「あまり思わない」の割合が、『⑩在宅でも満足のいく最期を迎えられる』、『⑨今ではガン末期でも痛みのコントロールをしながら在宅で過ごすことができる』で「思わない」の割合が高くなっています。



(3) あなたが要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしたいですか。[○は1つだけ]

「特別養護老人ホームなどの介護施設」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 33.1%、「病院」の割合が 17.9%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。

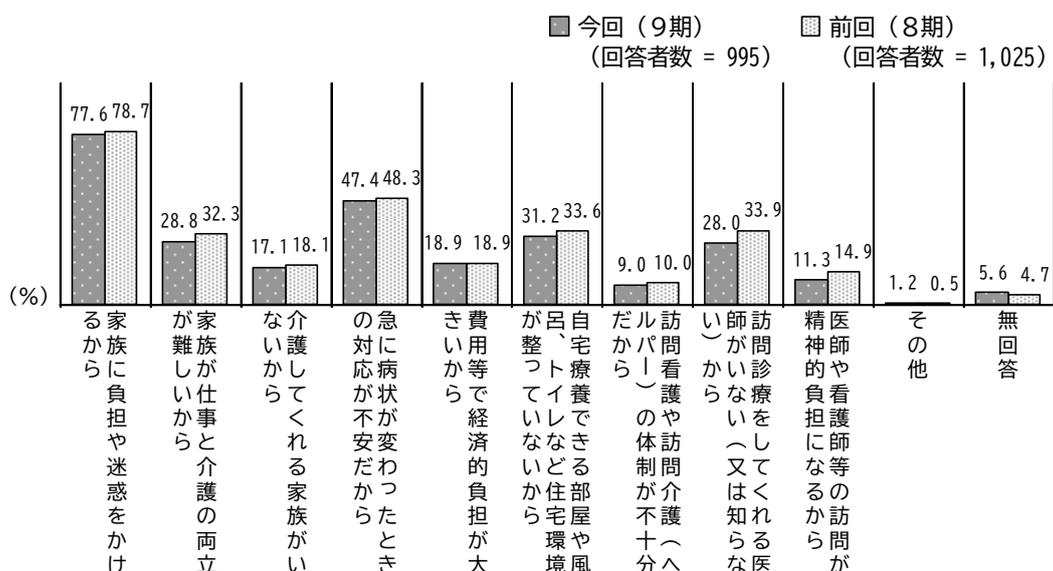


《(3)で「自宅」以外を選択された方のみ》

①「自宅」以外を選択された理由は何ですか。[○はいくつでも]

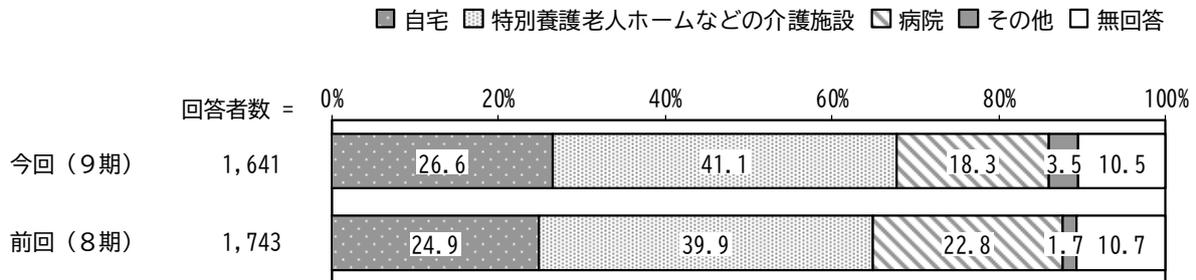
「家族に負担や迷惑をかけるから」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」の割合が 47.4%、「自宅療養できる部屋や風呂、トイレなど住宅環境が整っていないから」の割合が 31.2%となっています。

前回と比較すると、「訪問診療をしてくれる医師がいない(又は知らない)から」の割合が減少しています。



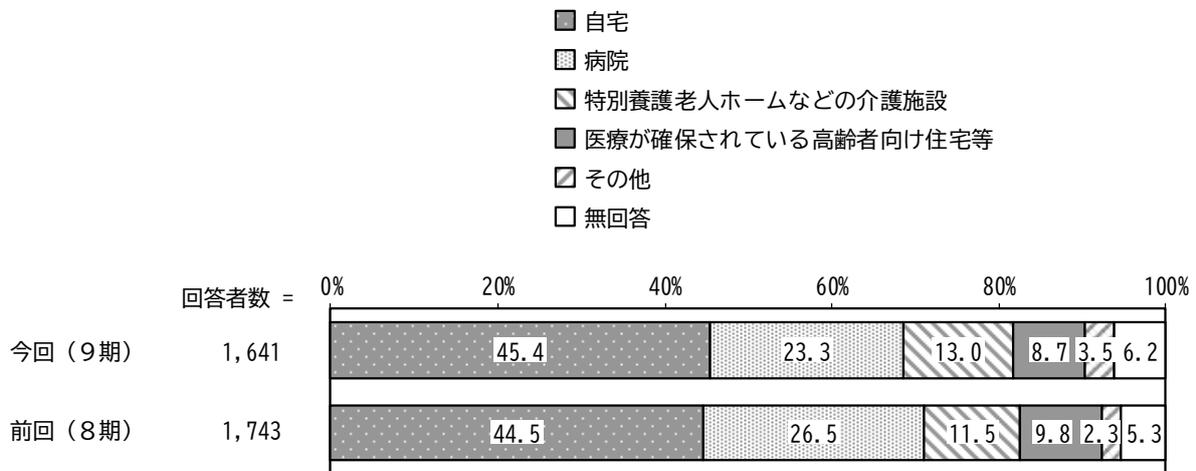
(4) あなたの家族が、要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしてもらいたいですか。[○は1つだけ]

「特別養護老人ホームなどの介護施設」の割合が41.1%と最も高く、次いで「自宅」の割合が26.6%、「病院」の割合が18.3%となっています。
 前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) あなたが人生の最期を迎えようとする時、どこで最期を迎えたいですか。[○は1つだけ]

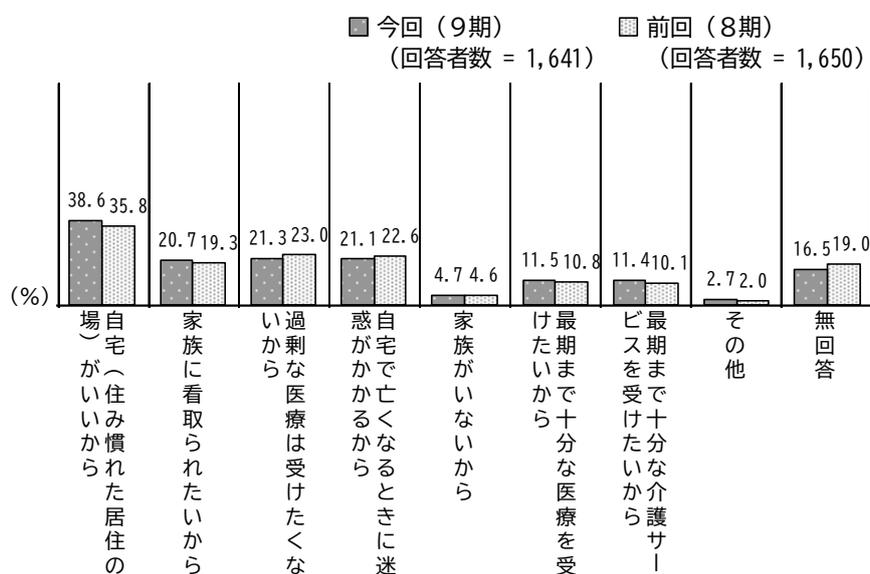
「自宅」の割合が45.4%と最も高く、次いで「病院」の割合が23.3%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」の割合が13.0%となっています。
 前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) (5) で選択した理由は何ですか。[○はいくつでも]

「自宅（住み慣れた居住の場）がいいから」の割合が38.6%と最も高く、次いで「過剰な医療は受けたくないから」の割合が21.3%、「自宅で亡くなる時に迷惑がかかるから」の割合が21.1%となっています。

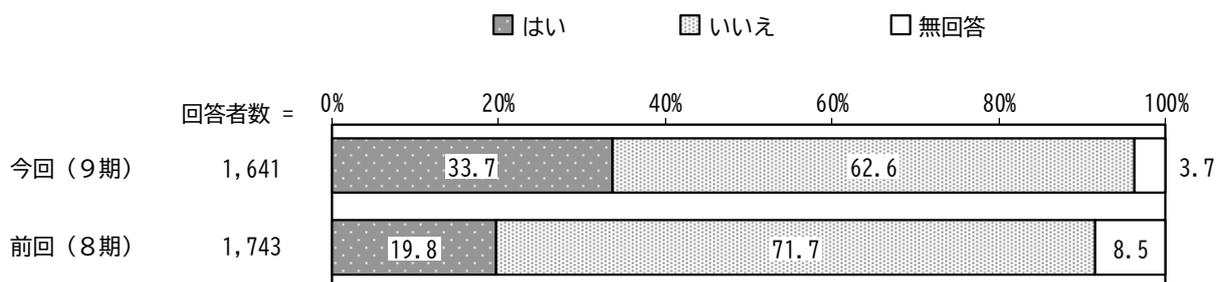
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) あなたが人生の最期を迎えようとするときに備えて、今から何か準備をしていますか。[○は1つだけ]

「はい」の割合が33.7%、「いいえ」の割合が62.6%となっています。

前回と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。

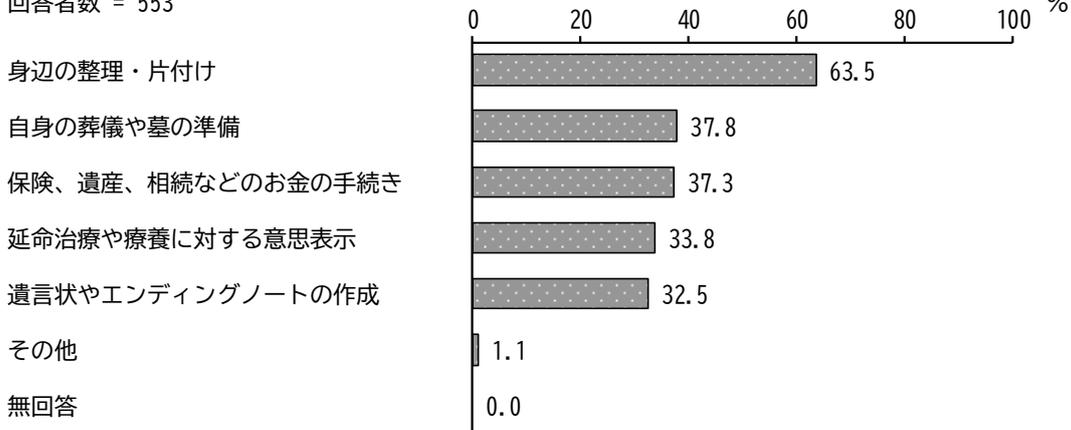


« (7) で「はい」を選択した方のみ »

①どのようなことをしていますか。[○はいくつでも]

「身の整理・片付け」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「自身の葬儀や墓の準備」の割合が 37.8%、「保険、遺産、相続などのお金の手続き」の割合が 37.3%となっています。

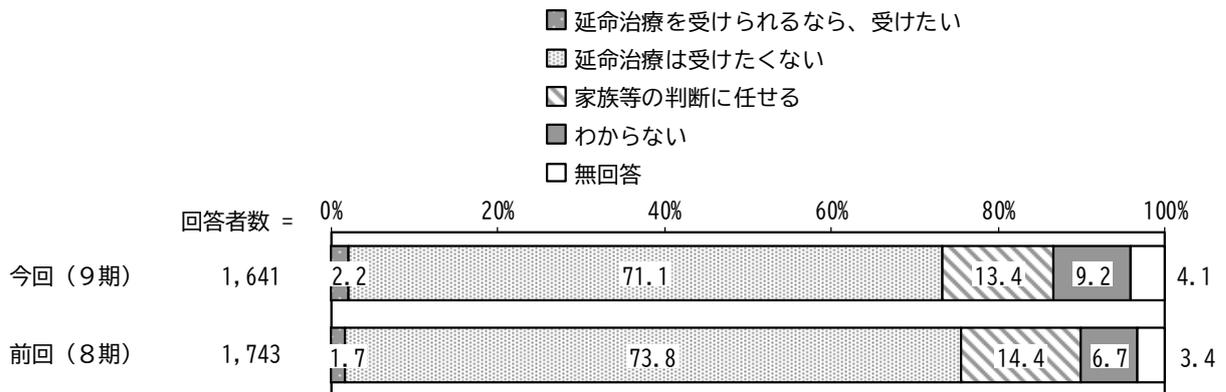
回答者数 = 553



(8) あなたは、終末期医療についてどう思いますか。[○は1つだけ]

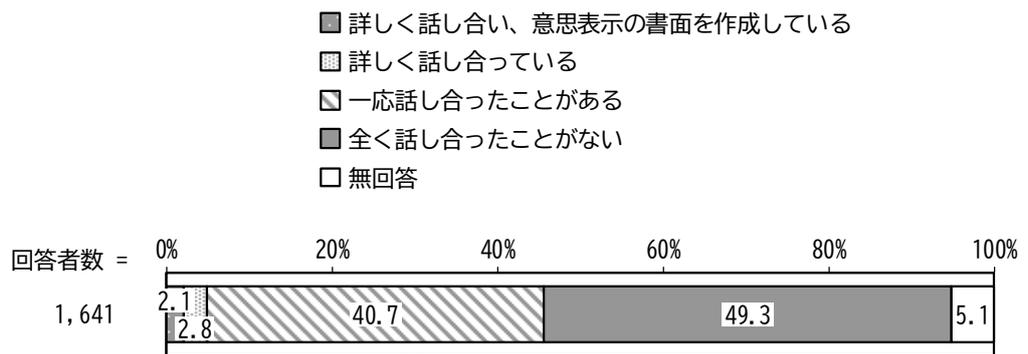
「延命治療は受けたくない」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「家族等の判断に任せる」の割合が 13.4%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



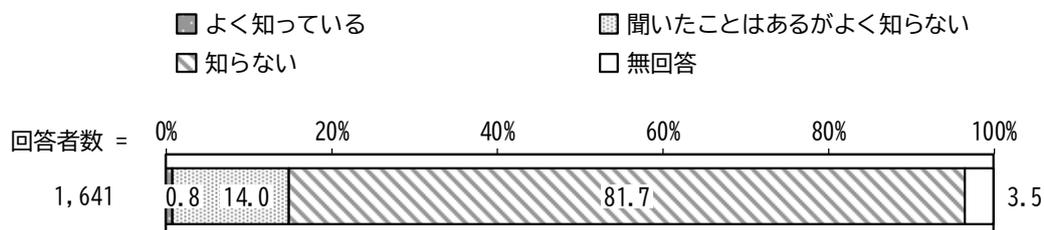
(9) 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。[○は1つだけ]

「全く話し合ったことがない」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「一応話し合ったことがある」の割合が 40.7%となっています。



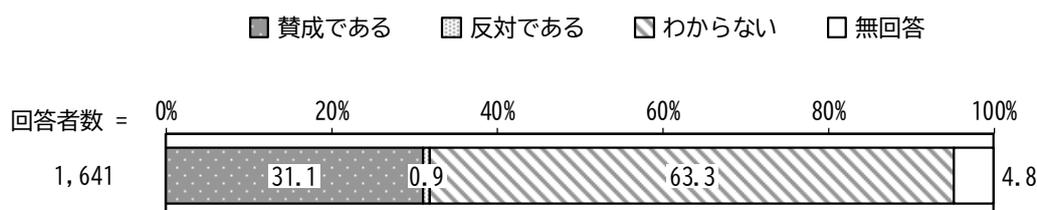
(10) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。[○は1つだけ]

「知らない」の割合が81.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」の割合が14.0%となっています。



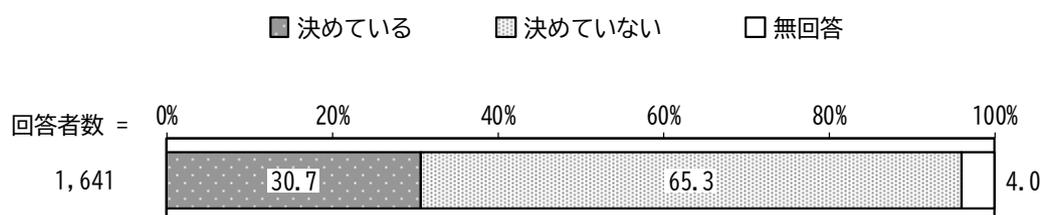
(11) このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。[○は1つだけ]

「わからない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「賛成である」の割合が31.1%となっています。



(12) あなたが意識のない状態や認知症などで正常な判断ができなくなった場合に備えて、代理で希望を伝えたり、考えてくれる人を決めていきますか。[○は1つだけ]

「決めている」の割合が30.7%、「決めていない」の割合が65.3%となっています。



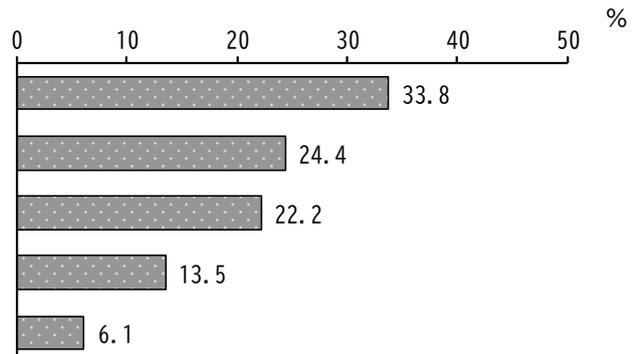
10 その他

(1) 市では、高齢者の生活全般の相談窓口として「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を、市内を5つの圏域に分けて、圏域ごとに1か所ずつ設置しています。あなたが高齢者あんしん相談センターについてご存じなことにについて、最も近いものを選んでください。[○は1つだけ]

「センターの存在をこのアンケートで初めて知った。」の割合が33.8%と最も高く、次いで「センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。」の割合が24.4%、「センターの名前は聞いたことはあるが、センターが何をするとところかはよくわからない。」の割合が22.2%となっています。

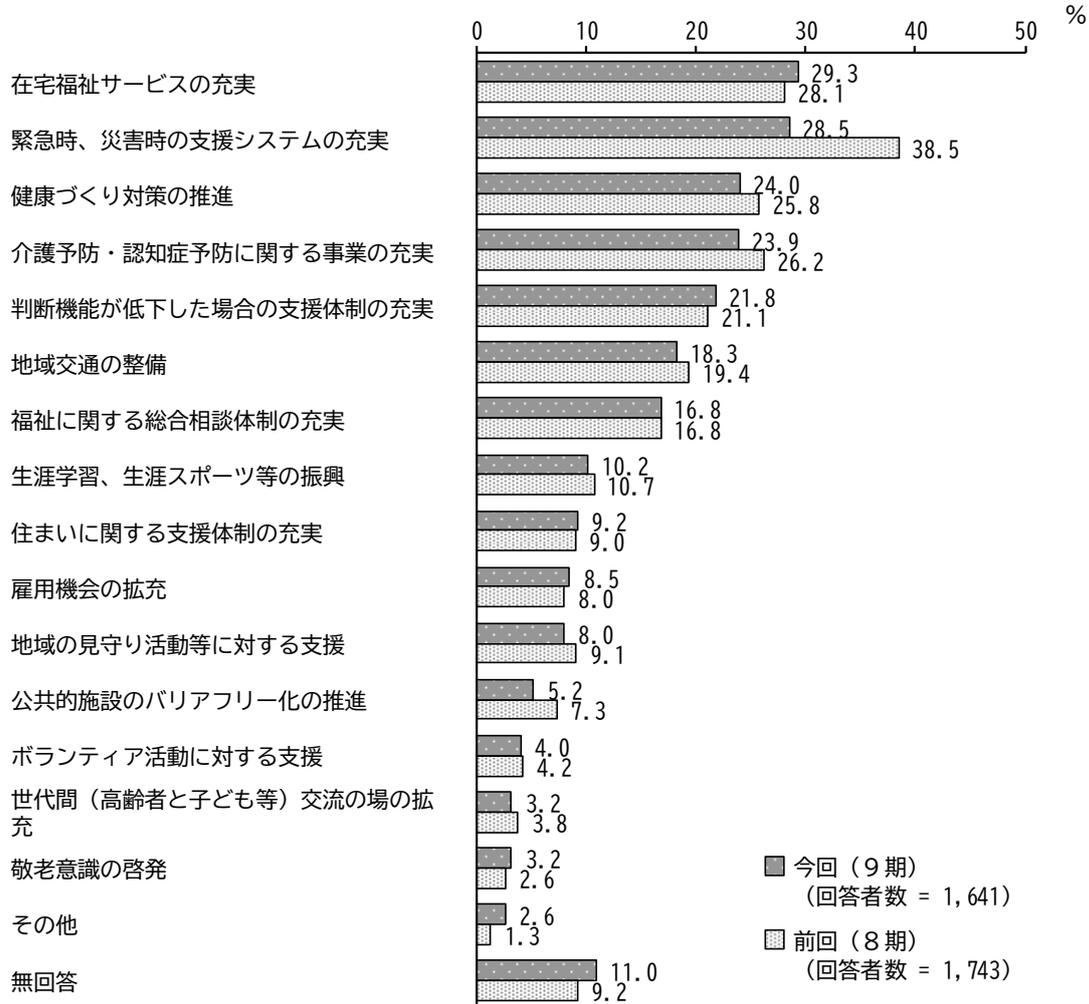
回答者数 = 1,641

センターの存在をこのアンケートで初めて知った。
 センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。
 センターの名前は聞いたことはあるが、センターが何をするとところかはよくわからない。
 センターの存在や機能は知っているが、住所地を担当するセンターがどこにあるのかまでは知らない。
 無回答



(2) 市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。
[あてはまるもの3つまでに○]

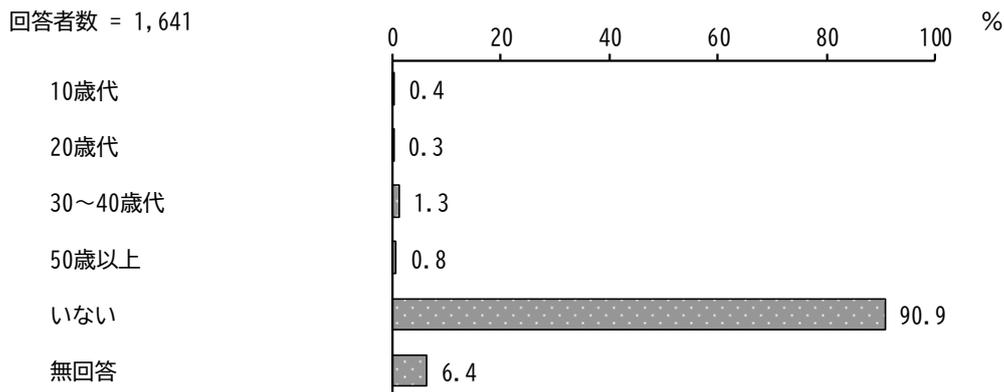
「在宅福祉サービスの充実」の割合が29.3%と最も高く、次いで「緊急時、災害時の支援システムの充実」の割合が28.5%、「健康づくり対策の推進」の割合が24.0%となっています。前回と比較すると、「緊急時、災害時の支援システムの充実」の割合が減少しています。



(3) あなたやあなたのご家族にひきこもり状態の方はおられますか。また、ひきこもり状態の方に対して、どのような支援を期待しますか。[○はいくつでも]

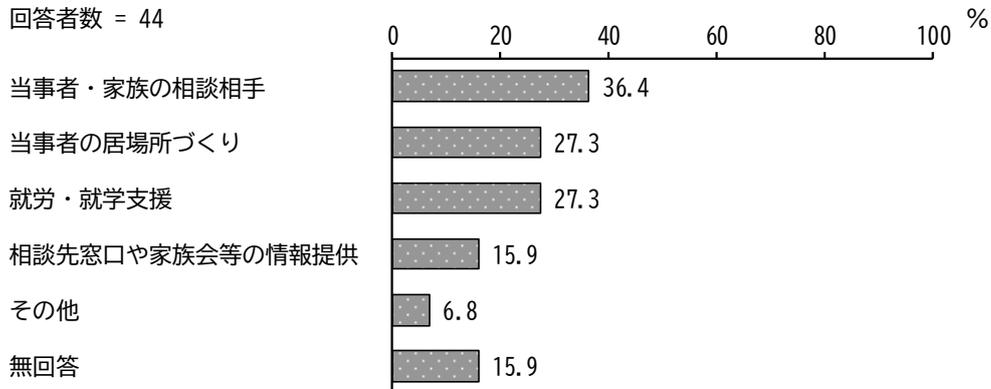
ひきこもり状態の方の有無

「いない」の割合が90.9%と最も高くなっています。



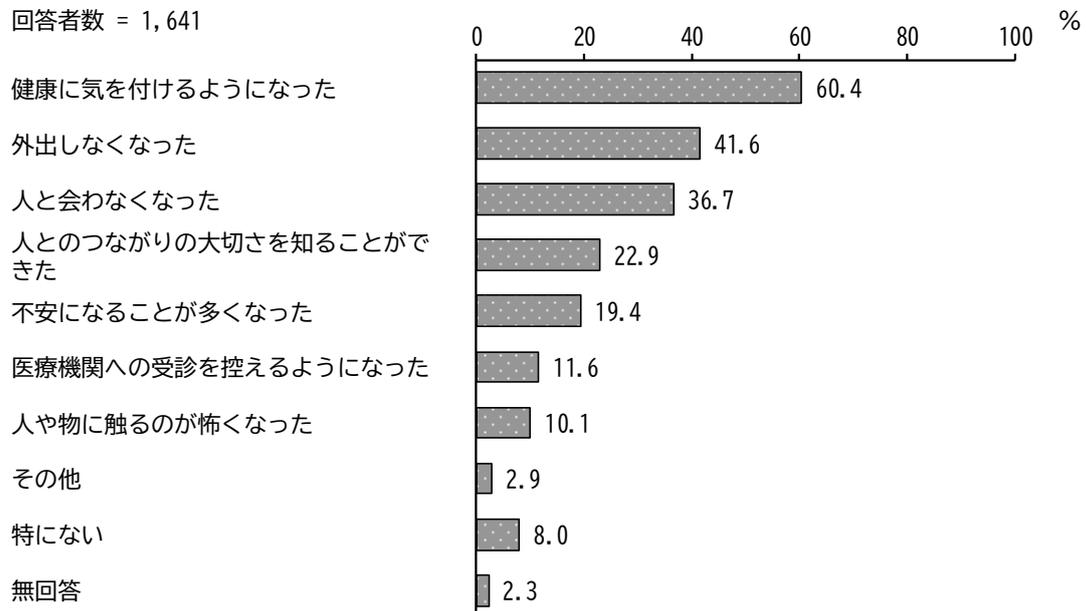
ひきこもり状態の方への支援

「当事者・家族の相談相手」の割合が36.4%と最も高く、次いで「当事者の居場所づくり」、「就労・就学支援」の割合が27.3%となっています。



(4) 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか。[〇はいくつでも]

「健康に気を付けるようになった」の割合が60.4%と最も高く、次いで「外出しなくなった」の割合が41.6%、「人と会わなくなった」の割合が36.7%となっています。



(5) その他、介護保険制度や保健福祉サービスなどについて、ご意見やご要望がございましたらご自由にお書きください。

区分	件数
1 介護保険制度・介護サービスについて	32
2 要介護認定について	4
3 施設サービス・施設設備について	15
4 制度に対する情報提供について	3
5 介護保険料・利用者負担・利用限度額等について	25
6 交通関連施策・整備について	10
7 医療制度・医療機関について	6
8 その他の市への意見要望	39
9 回答者自身の今後に関する考え、不安や心配事	52
10 アンケート調査について	28
11 その他	11

1 介護保険制度・介護サービスについて

※特定の個人、団体、地域への誹謗中傷がある意見については、不掲載または一部伏字としております。

- ・介護保険制度や保健福祉サービスについて。主人がお世話になってきたので少しは分かっていてパンフレットなどありますが、もう少しまとまる本があるとよいと思いました。今主人は92歳、86歳で好きなことをして過ごしています。
- ・主人の介護でサービスを活用させていただいています。感謝しています。
- ・老いのスピードは加速度的に進行していき、介護保険制度等の相談をしている時はすでに間に合わないことになっている気がします。
- ・理想としては最後まで在宅医療、ヘルパーの支援を受けながらも自宅で過ごし、家族に看取られたいと思いますが、子どもたちも会社に勤務していますし、無理かなと思っています。ある程度になったら、介護施設に移るのではないかと考えています。在宅医療や介護（ヘルパー）にどのくらい費用がかかるのか知りたいと思います。
- ・給与から毎月介護保険料を収めていますが、少子高齢化の状況で介護保険制度の破綻という心配はないか、少々不安になります。
- ・私は今年5月で90歳になります。昔と比べて大きく変わったことの一つに老人に対する公的サービスが向上したことがあります。誠にありがたいことです。だからと思い病気になることは駄目です。健康に留意（私は歩く事に心がけています）し、長生きする事に努力したいと思います。介護保険制度は本当にありがたいと感謝しております。
- ・「子どもに迷惑をかけたくない」という思いが私たち世代には強くあります。介護施設が一般サラリーマンの財産で入居できる施設料金になることを望みます。自分の両親、主人の両親を家族7人で介護した時は何かとルールがあり、入居に至らなかったことを残念に思っています。社会的入院でした。お金の問題に始まり、転院、付き添いいろいろありました。入居が決定した朝は父の葬儀でした。

- ・高齢者安心相談センターせせらぎの方が時々情報提供して下さるので助かってます。
- ・介護保険制度の内容があまりわからない。
- ・私は父と母の時の介護は子どもや孫がいてくれたので心がだいぶ救われました。親戚にも近所にも大変な思いをしている人がいます。経験しないとわからない。本当にきつい状況です。特に老々介護などは介護する側は正常な精神状態ではいられないはずですよ。そういう方々に対する支援をしてあげてほしいと思います。介護する側の負担を少しでも減らしてあげてほしいと思います。

2 要介護認定について

- ・夫が3年前他界しました。介護施設入居の為の審査をして要介護4の結果が出るまで激動でした。夫は要介護4の結果が郵送される3週前に他界しました。どうして状況を把握したら迅速に対応できないのか、不満のかたまりでした。不信感も湧いています。
- ・現在は、夫婦、子と3人で生活しているが、ひとりの生活になった時、支援が必要になった時に、支えられながら自宅で生活していけるようでありたい。要介護4以上になった時、自宅でもやっていけるのか、施設にお世話にならなければいけないかと思極めが難しい。その辺りはケアマネさんと相談しながら進めていけたら嬉しいです。
- ・長期入院され、寝たきり状態で介護度5の方の更新手続きは時間もかかるし、費用もかかるし、必要ないのではないかと。時期が来ると役所から知らせが来ますが、来たら家族は手続きに行きますけど、入院しているので施設に移れるのか。移そうとも思っていないのに、と。こういう場合どうなのかと、思ってしまう。保険料を少しでも抑えるために節約できることはお願いしたい。
- ・介護認定の基準が厳しいと聞きます。それぞれの段階でどのような介護が受けられるのか詳しく知ることができると良いのですが。

3 施設サービス・施設設備について

- ・病院は眼と耳の検診のみで今のところ心配なしです。家事ができなくなりそうになったら高齢者あんしん相談センターの方と相談して施設に入りたいので研究します。
- ・無料で入居できる施設があれば教えてほしいです。
- ・介護施設の不幸事をよく耳にします。できたら認知症になっても居心地の良い（人にやさしい）施設に入れたらと思っています。
- ・介護、介助が必要になったとき、自宅から近い場所の介護施設にスムーズに入居できたら幸いかと思います。
- ・志木市内や近辺の介護施設の情報がほしい。情報：対象入居者、費用、病気になったときの対応、交通の便等。いくつか見学したが、自分の希望も固まっていないのでハードルが高い。
- ・特別養護老人ホームの施設を増やしてもらいたいです。
- ・介護保険の加入費用（月額概算）および介護施設の介護内容と月額概算費用について教えてほしいです。（自分の年金や貯金で間に合うか不安があるからです。）

- ・特別養護老人ホームの入居人数を増やしてほしい。
- ・身体が不自由になったときには、特別養護老人ホームにすぐ入所できるようお願いします。(89歳)
- ・バリアフリー住宅改造の支援金制度の設定、増額、告知。特別養護老人ホームの利用枠の拡大。

4 制度に対する情報提供について

- ・要支援認定をまだ受けてない方でも、落としたものが拾えない、部屋が片付けられない等で、困っている方もいます。介護保険を使えない方、一人暮らしの方が自分ではどこを訪ねたらよいか、わからない方もおられます。一人暮らしの方を時々訪問し、様子を見るような福祉サービスがあるとよいかもかもしれません。すでにあるのか、ないのかあまり知らずですみませんが、気付いたこととして記させていただきました。
- ・実際に高齢者の方をお手伝いをしました。介護保険の手続きは地域包括支援センターへ行き、相談。高齢者の入院3か月で老人介護施設見学、病院に入院。亡くなられた後の相談や早期のこと、その後の手続き、たくさんのことをお手伝いしました。このことを高齢者が自分でやるのも大変です。
- ・現在のサービスが将来も維持できるのかとても心配です。地域での助け合いが不可欠になってくると思いますが、その際多少でも賃金を考慮すべきではないでしょうか。誰でも気軽に参加できる仕組みがあるとよいと思います。

5 介護保険料・利用者負担・利用限度額等について

- ・介護保険料や後期高齢者保険料の負担額が大きいのもっと安くしてもらいたい。わずかな年金暮らしの者には負担増はこたえる。今の政権は軍事費を増額をするらしいが、その金を生活が苦しい者に回してもらいたい。今後益々物価が上がって行くと思われるので、国民が平和で安心できるように政治家は真剣に考えてほしい。軍事費増は反対だ。
- ・①志木市は、認知症の人を受け入れる施設が少ない。②介護と障がい者を区別している。主人はくも膜下出血で、高次脳機能障害があり、認知症と障がいを区別しているので、施設が難しい。また、福祉サービスや保険制度が料金高すぎます。年金生活者は大変です。
- ・65歳を過ぎて介護保険料が高くなった。税金の見直しをしてほしい。
- ・サービスの充実は良いことと思うが、なんでも税金でというのは好ましいとは思わない。費用負担は個人の優先度判断が基本であり個人負担を増やすべき。
- ・国民健康保険料が高すぎる。
- ・介護保険料を安くしてほしい。しき広報には「二次元コード」はあるが、「URL」が書かれていない。スマートフォンは小さいのであまりホームページは見ない。「二次元コード」の読み込みできる「タブレット端末」を高齢者に支給していただきたい。
- ・介護保険料の値上がりで、今後の金銭面が心配になる。保健福祉サービスがどのような時に何をつかうことができるのか知りたい。後見人のことをもっと詳しく、やはり金銭的なことも知りたい。今一番の心配は認知症にもなったら。その前にやるべきことは常に整理しております。

- ・介護保険は年々保険料がアップしている。利用すればまた、出費が大きくなる。やり方がおかしい。無料は国としての意味がある。今は人件費です。すべてが有料なら介護保険は不要と思うから。
- ・介護保険料等を払っていても実際のところ何をどこに相談して何をしてもらえるか全くわかりません。皆に公平に手を差し伸べてもらえるように知ってもらう努力が必要ではありませんか。不自由なく過ごしているのに要介護1等を持っている人もいます。意味がわかりません。
- ・保険の金額をこれ以上上げないでほしい。

6 交通関連施策・整備について

- ・志木市デマンド交通を利用しており、安価でありがたく思っています。ただ利用できる時間と曜日をもう少し増やしていただくと外出しやすくなると思います。
- ・デマンド交通手段をもっと手軽に利用できるようにしていただきたい。時間、場所（乗り降り）等。
- ・久しぶりにバス、電車に乗りました。今の若い人たちは私たち老人を見ても席を立とうともしません。私が若い時はすぐ席をゆずり、今日は良いことをしたと思ったものです。平気な顔をしてスマホを見ているのです。本当に残念でたまりません。私は75歳、主人は83歳。思わず「83歳です、足が痛いので」と言いました。
- ・志木市のデマンドタクシー制度は大変助かっています。
- ・80歳で免許返納し、買物が年々負担になっている。特に重い物（灯油、庭の手入れ用肥料等）をホームセンター買った場合、苦勞する。（灯油は暖房、風呂、給湯で年700ℓ近くのガソリンスタンドで購入）年令85歳以上、年間2回～3回、時間1時間程度買物サポートとして配車していただくとありがたい。
- ・私のように白血病になった場合、むし歯があると治療できないので、都内の病院か、TMGあさか医療センターのような口腔外科で検査を受けたあと、本来の治療になります。地域の人たちの大切な病院です。デマンド交通が利用できたら嬉しいと思います。利用料金1000円でもかまいません。
- ・保護福祉を考える時、人々の動線の向上を一番に考えてはいかがでしょうか。行きたくても行かれない、だから止めよう、では行動は狭くなる一方です。難しい課題だとは思いますが、自ら動けるお手伝いがほしいです。
- ・このアンケートを記入しながら感じたことを記します。1.私の家庭は「車を持たない」ことをモットーとして若いころから生きてまいりました。夫も私も80代半ばです。志木市が実施して下さっている「デマンド交通」制度に深く感謝しています。どうか、この制度を続けてくださいますようお願い申し上げます。2.「最期をどこで迎えたいか」の問は「可能な限り自宅で。しかし家族に迷惑が掛かりすぎる場合は病院で」と流動的に考えております。
- ・1回1000円程度で一日楽しめる施設、バスで買い物、風呂、娯楽。月一回ぐらい楽しめたらいい。

- ・後期高齢者になり、これからの自分に降りかかってくるだろう介護や医療の事が現実になってきたと思える。行政にお願いすることは、公共の移動手段が使えるようにして、それに相当する市の交通手段に力を入れてほしい。介護や保健福祉サービスは必然的な政策である。

7 医療制度・医療機関について

- ・皆が安心して終末を迎えることができるように医療費や葬儀費用の軽減策などを考えてほしいと思います。
- ・認知症になった場合の対処方法（医療機関の探し方、どの近くの病院）の表示をしてほしい。
- ・医療提供ができない、ということはやめてほしい。
- ・私は8月で84歳になります。今は元気で毎月飯田橋までコーラスへ通っていますが、子どももなく、急に1人になったとき、すぐにどこへ相談できるかあれこれ考えます。民生委員の方が以前訪ねて下さってましたのでその方だけは忘れないようにと思っています。かかりつけ病院も整形外科ばかりで、どのようにして探せばよいかと思うばかりで行動がとれないません。市役所でお教えていただけのでしょうか。民生委員の方でもよいのでしょうか。
- ・市立病院を民間に渡したことは失敗だと思う。今、市民病院であった所に行こうとしても、行けない（透析専門の病院、金もうけしか考えていないからだ）。市民病院を取り戻してほしい。市民としては、まともな入院できる病院を確保してほしい。今は、市外の病院を頼っている。
- ・病院での面会ができないのは辛いと思う。そしてこのアンケートの目的がわからない。

8 その他の市への意見要望

- ・大変なお仕事ですが頑張ってください。本当に安心です。よろしくお願い致します。
- ・高齢社会の生き方の難しさ、年齢による体力衰えの補強方法①高齢者を動かす方法の検討が必要。②時間を持て余す。時間の活用方法の指導。③楽しく余暇を過ごす方法の検討。近隣でも人がいなくなる。楽しい死に方の研究。その他種々の研究、方法等、長寿応援課と検討してほしい。
- ・自分の心や身体に変化がおこり、困ったことが起きた場合、どこに電話をして相談に乗ってもらえるかわかるような電話帳を作っただけだと心の支えになります。
- ・地域のボランティアを充実させ、ひとり暮らしの老人が不安を持たないような生活を送れるようにしたい。
- ・親水公園が整備されきれいになりました。ただ老人用の休憩箇所やちょっと立ちよれる設備が少ない気がします。近郊の老人が行ってみたいくなる場所として。少し前になりますがヨーロッパに仕事に行ったとき、多くの老人が各々くつろいでいたことを思い出しました。
- ・認知症、介護、在宅医療等、身近なこととなってみないと。相談先の明確化。
- ・いつも健康診断の案内等に気遣いありがとうございます。

- ・歳を重ねると機能低下は著しいものですが、人としてのプライドは他の年代の人と等しく持っています。支えてもらうことに感謝の心を持つ事は大切だと思いますが、それに慣れてしまわないような環境づくりも必要ではないかと考えます。身体的な残存能力の引き出しだけではなく、上記のような精神面も考慮した施策が多く立ち上がることを願っています。
- ・いつもありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
- ・地域住民間の活動が活発化するように広報を充実する必要があるのではないのでしょうか。広報紙に限定するのではなく、ポスターなどの掲示も有効ではないのでしょうか。(市内各所に)

9 回答者自身の今後に関する考え、不安や心配事

- ・残り少なくなってきた人生。迷惑かけること少なく楽しい人生で終わりたいと願っています。
- ・現実になってみないとわからないと思う。
- ・実際の困りごとを第三者不在のところで相談できる場所を設けてほしいです。他の人に知られたくない気持ちがあり本音が出せないからです。金額、健康状態など病状は刻一刻思いがけない変化を伴うのです。両親、夫（6年前）、長男（令和4年10月）を見送り少々うつが現われています。
- ・人生の最後の時を少し考えていこうと思います。認知症のことも自分のことと考えて向き合っていきます。良いキッカケを作ってくださいありがとうございます。
- ・これからは寝込まないように今のサークルを休むことなく続けていきたいと思います。今年85歳、ボランティアの仕事はやる気はありません。(20歳若ければわかりませんが)
- ・今後介護施設に入居したくても、入居時の金額があまりにも高額で不安です。年金収入では追いつきません。それを考えると自宅医療しかありません。
- ・コロナ禍がなければまた違う結果になったかもしれません。コロナ前は遠くへの外出や外食もしていたが、それが全くできず、結果、交通費、交際費、外食費が減って出費が抑えられました。急な物価高にも今のところ対応ができてるように思います。コロナが終息すればそれらの出費はできないと思います。この3年間の自粛生活で運動量が極端に減り体力が衰えました。
- ・50歳の子どもがひきこもりです。自分がいなくなった時大変不安。
- ・毎日一人暮らしができればと思っています。
- ・74歳になりましたが、心身ともに健康ゆえにいろいろと実感がともなわず。意見・要望は出てきません。

10 アンケート調査について

- ・なぜこのようなことするのですか。
- ・このような調査を引き続き行い調査結果を反映させた住みよい志木市でお願いします。
- ・アンケートについて、細かく把握するためには多く必要でしょうが、高齢者には大変でした。もう少し必要な所をまとめてほしいと思います。コロナ禍で施設は会えなかったり大変ですが、人間らしい心のこもった介護ができるとよいです。よろしくお願いします。
- ・P15 問9の(2)の意味がわからない。
- ・この調査がどうかいい結果になることを希望。改善の意味があるとよいと思う。10年～20年後はどう変わっているか。
- ・問9について解説がほしい。「広報しき」など
- ・年末に出す必要ありますか。
- ・このようなことを書いても何の意味もないように思います。一人暮らしでも何の訪問があるわけでもない。意味ありますか。
- ・一人での生活につき、一部分無回答があります。
- ・このアンケートを機に、近々訪れることであることを意識し情報の収集を意識しなくてはと思いました。

11 その他

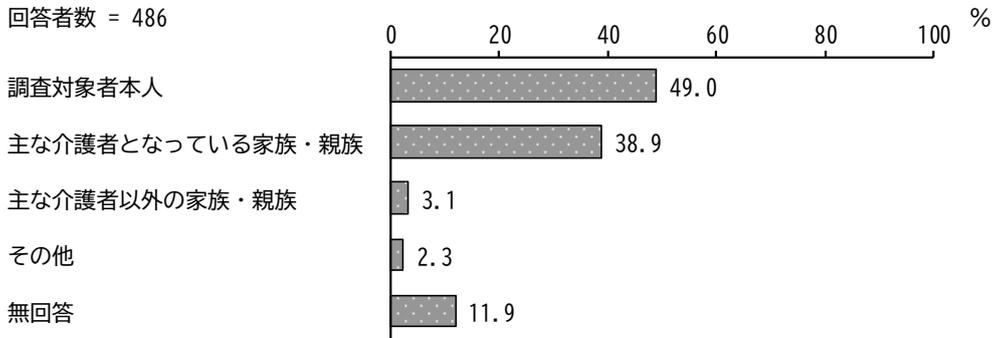
- ・まだまだ先のことだと思っているので、その時にならなければ考えられないことが多いのですが、これからいろいろ考えていきます。
- ・ぴん、ころ、りんと寝たきりにならないように元気で過ごしたいです。
- ・現在会社員。
- ・令和5年8月で85歳になる、一人暮らしの女性です。5か月に一度廻って来る町内のごみ当番(一カ月以内)が非常に困難を感じるようになりました。特に、7月8月、9月の暑い時期は苦痛に感じます。今一番の悩みです。
- ・近所に一軒家などなく、マンションばかりで、町会のこと、広報など来ないので、市、町のことをまったくわかりません。
- ・スマホの代行入力。
- ・添付の新聞記事のようなこと。
- ・家事に関すること。(食事づくり、掃除、等々)
- ・よく理解していない状態です。

第3章 在宅介護実態調査

1 調査対象者本人について (A)

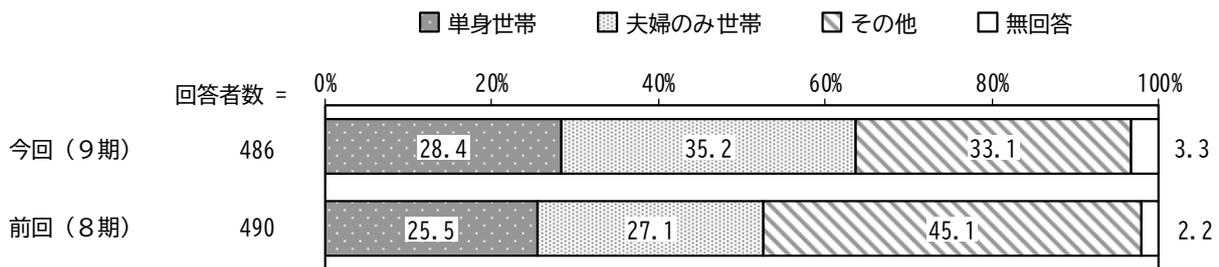
【A票にご記入いただいたのは、どなたですか】(いくつでも)

「調査対象者本人」の割合が49.0%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」の割合が38.9%となっています。



問1 世帯類型について、ご回答ください (○は1つ)

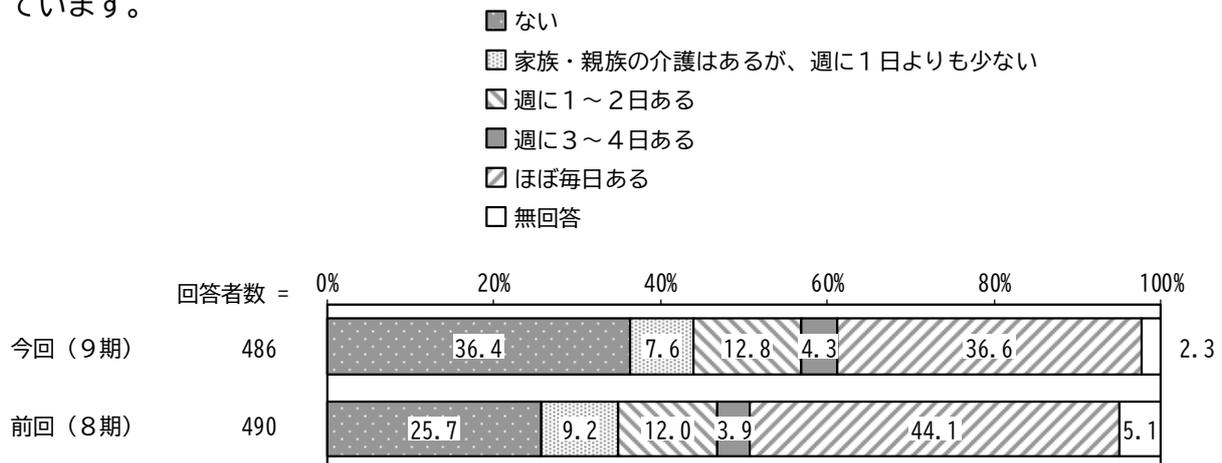
「単身世帯」の割合が28.4%、「夫婦のみ世帯」の割合が35.2%となっています。前回と比較すると、「夫婦のみ世帯」の割合が増加しています。



問2 ご家族やご親族からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (○は1つ)

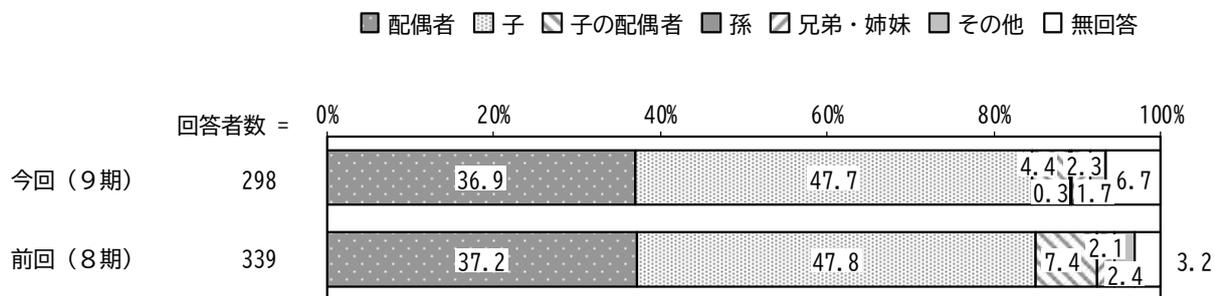
「ほぼ毎日ある」の割合が36.6%と最も高く、次いで「ない」の割合が36.4%、「週に1~2日ある」の割合が12.8%となっています。

前回と比較すると、「ない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日ある」の割合が減少しています。



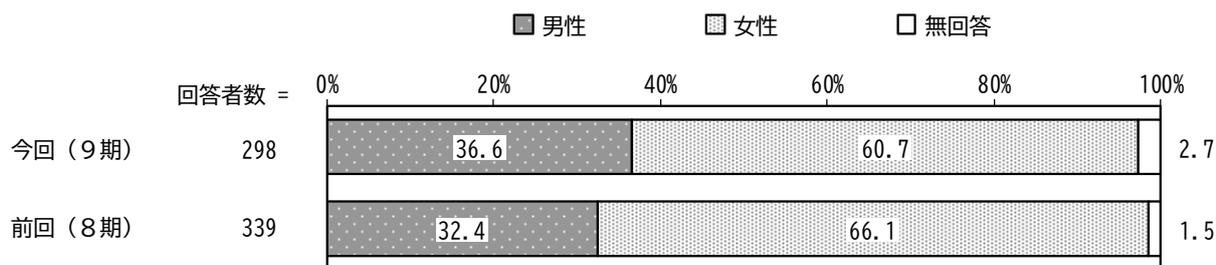
問3 主な介護者は、どなたですか（○は1つ）

「子」の割合が47.7%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が36.9%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



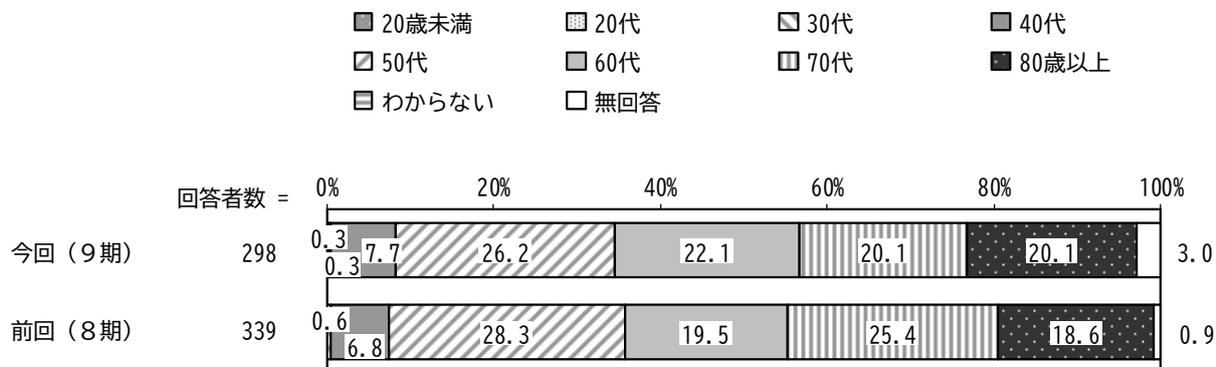
問4 主な介護者の性別について、ご回答ください（○は1つ）

「男性」の割合が36.6%、「女性」の割合が60.7%となっています。
前回と比較すると、「女性」の割合が減少しています。



問5 主な介護者の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

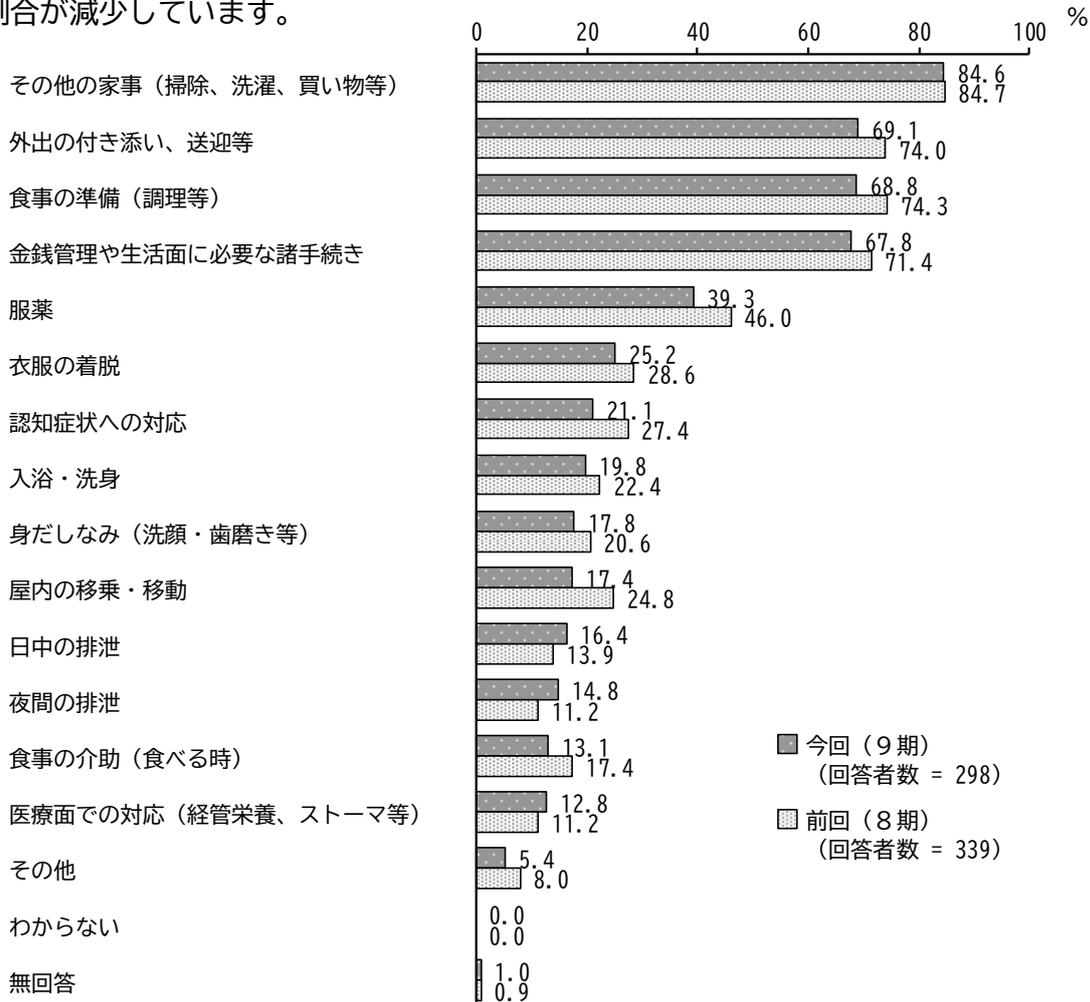
「50代」の割合が26.2%と最も高く、次いで「60代」の割合が22.1%、「70代」、「80歳以上」の割合が20.1%となっています。
前回と比較すると、「70代」の割合が減少しています。



問6 現在、主な介護者が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）

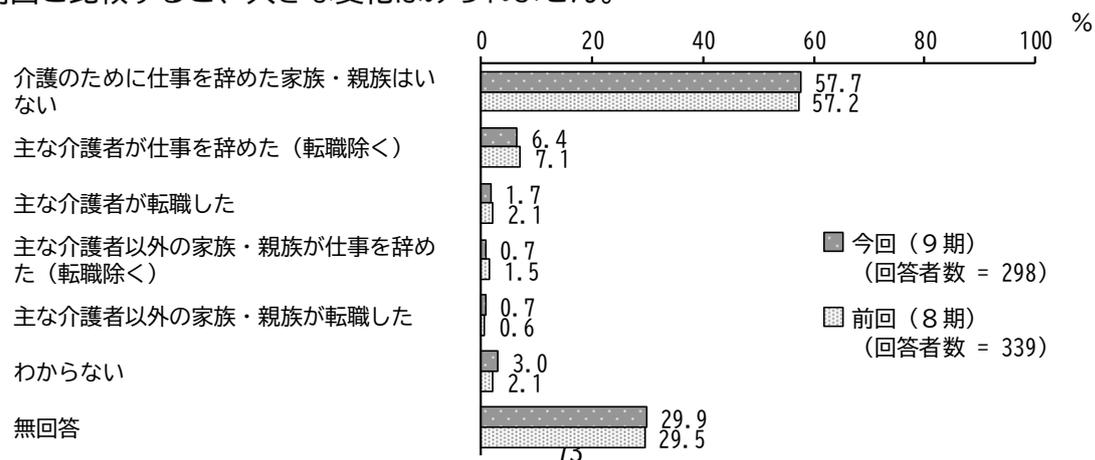
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が84.6%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が69.1%、「食事の準備（調理等）」の割合が68.8%となっています。

前回と比較すると、「屋内の移乗・移動」「服薬」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」の割合が減少しています。



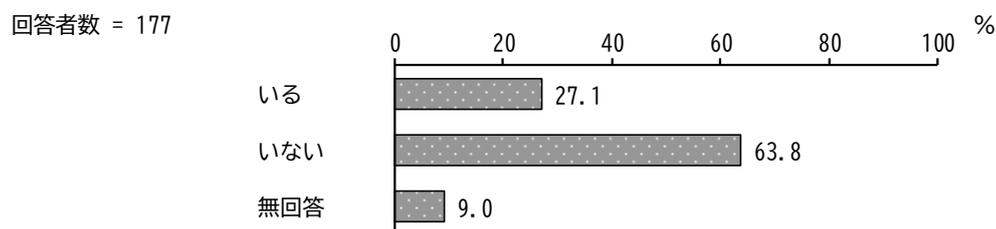
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が57.7%と最も高くなっています。前回と比較すると、大きな変化はみられません。



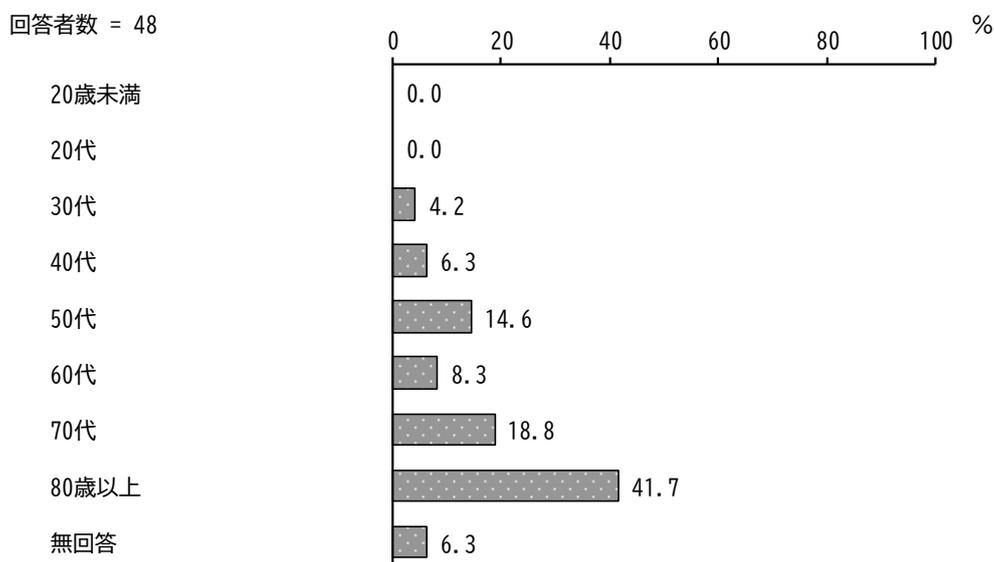
問8 ご家族で成人していて（学生は除く）働いていない（所得のない）ご家族はおられますか（○は1つ）

「いる」の割合が27.1%、「いない」の割合が63.8%となっています。



【年齢別】

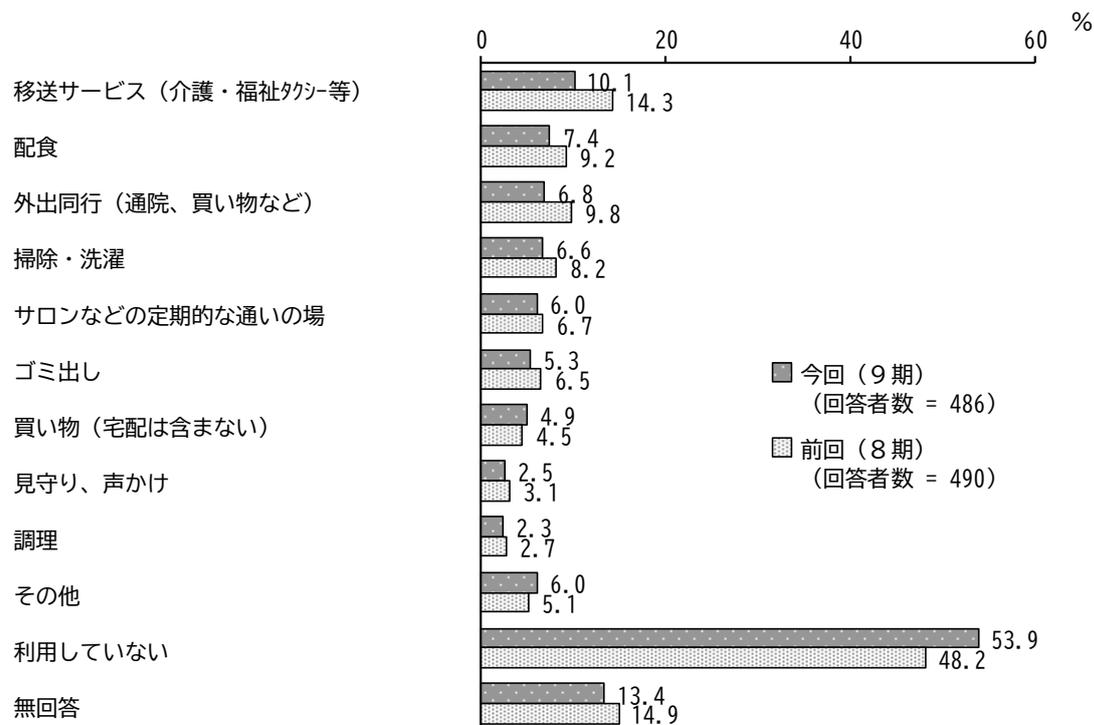
「80歳以上」の割合が41.7%と最も高く、次いで「70代」の割合が18.8%、「50代」の割合が14.6%となっています。



問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、
ご回答ください（いくつでも）

「利用していない」の割合が53.9%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が10.1%となっています。

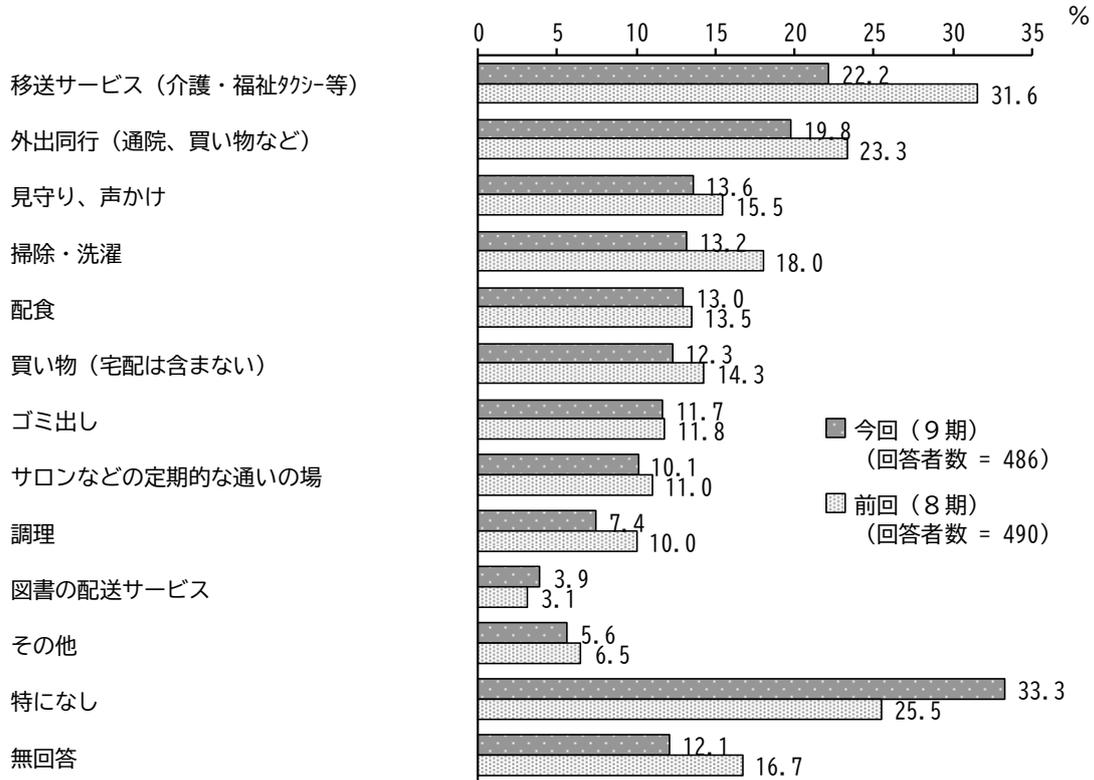
前回と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

「特になし」の割合が33.3%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が22.2%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が19.8%となっています。

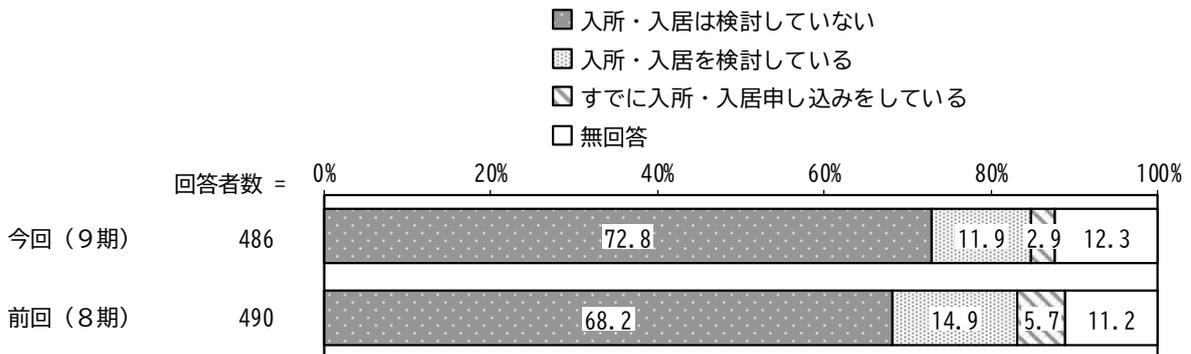
前回と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が減少しています。



問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

「入所・入居は検討していない」の割合が72.8%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が11.9%となっています。

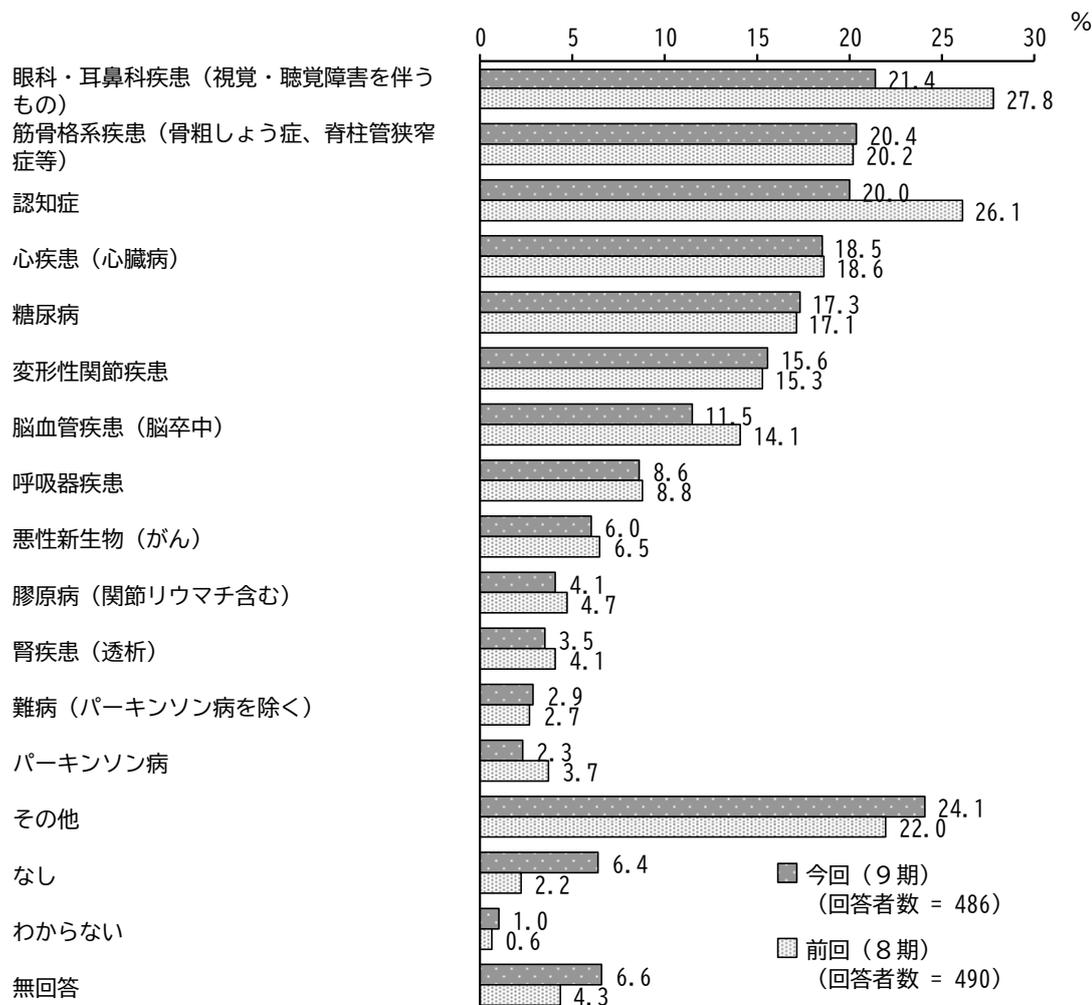
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問12 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

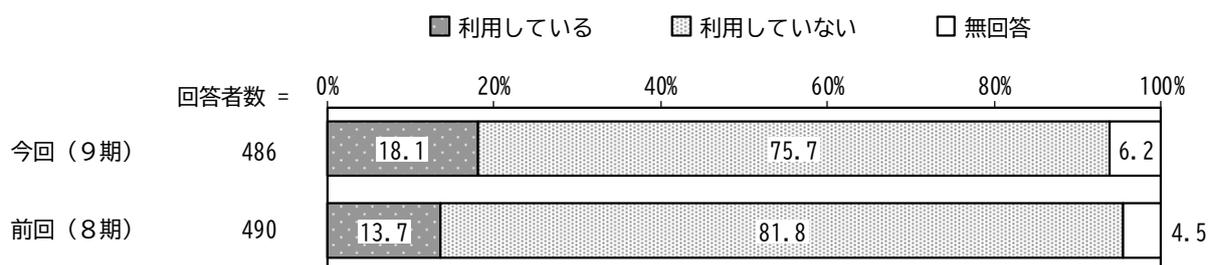
「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が21.4%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が20.4%、「認知症」の割合が20.0%となっています。

前回と比較すると、「認知症」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が減少しています。



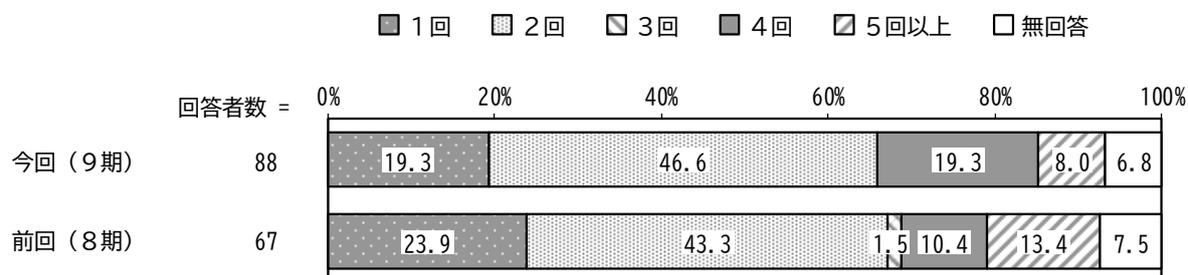
問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）

「利用している」の割合が18.1%、「利用していない」の割合が75.7%となっています。前回と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



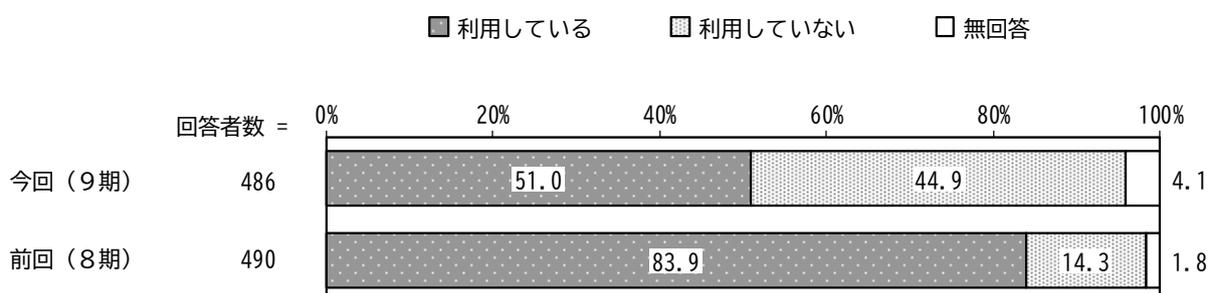
【1ヶ月当たりの利用している回数】

「2回」の割合が46.6%と最も高く、次いで「1回」、「4回」の割合が19.3%となっています。前回と比較すると、「4回」の割合が増加しています。一方、「5回以上」の割合が減少しています。



問14 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(○は1つ)

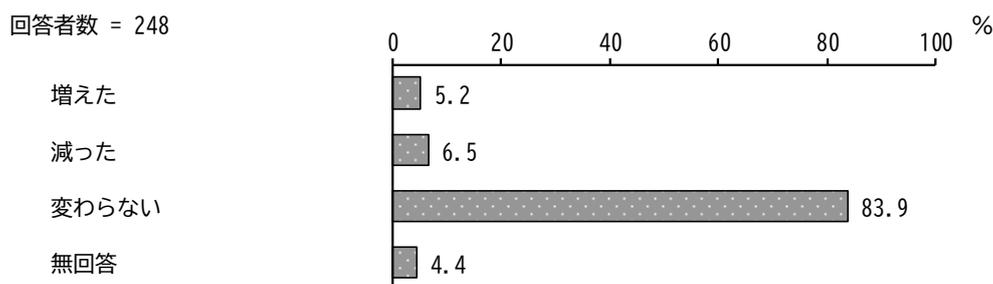
「利用している」の割合が51.0%、「利用していない」の割合が44.9%となっています。前回と比較すると、「利用している」の割合が減少し、「利用していない」の割合が増加しています。



問15 新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用状況は変化しましたか。また、それに伴う身体の変化はありますか。(○は1つ)

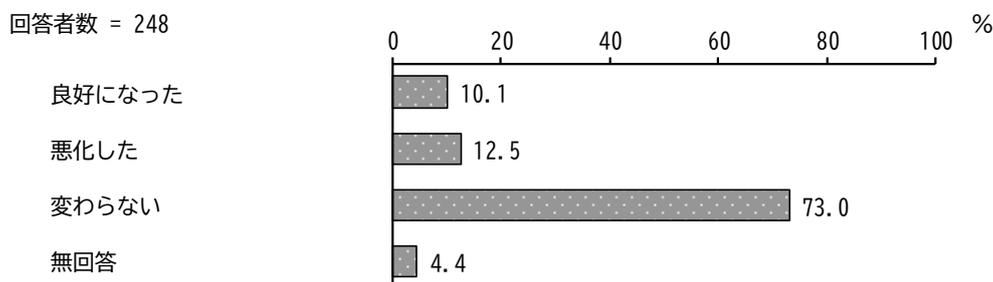
【サービスの利用状況】

「変わらない」の割合が83.9%と最も高くなっています。



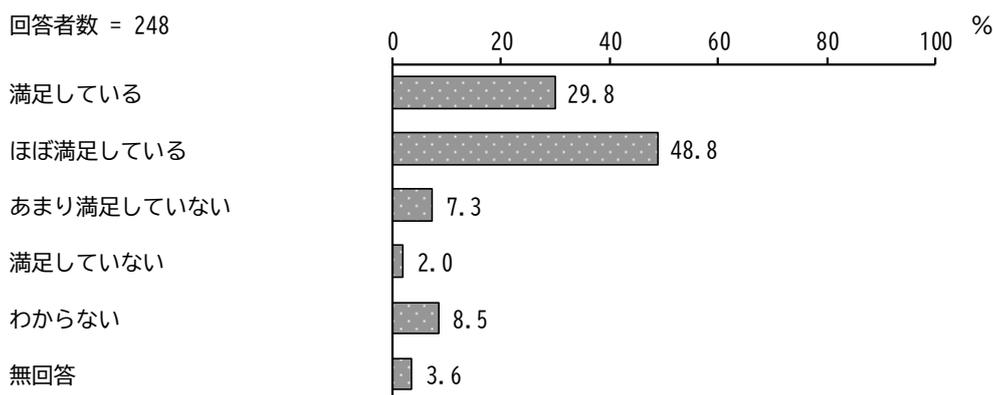
【身体の状況】

「変わらない」の割合が73.0%と最も高く、次いで「悪化した」の割合が12.5%、「良好になった」の割合が10.1%となっています。



問16 今回のケアプランについて、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)

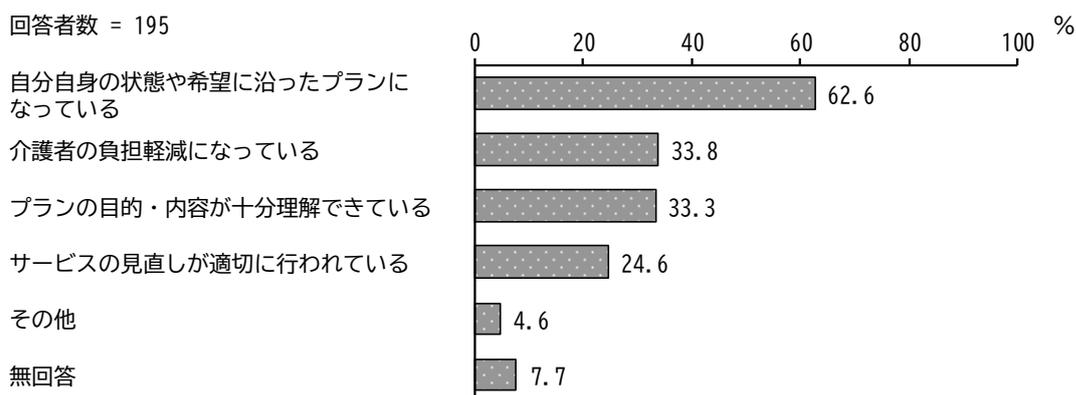
「ほぼ満足している」の割合が48.8%と最も高く、次いで「満足している」の割合が29.8%となっています。



問16で「満足している」「ほぼ満足している」と回答した方にお伺いします。

問17-1 ケアプランの満足している理由は何ですか。(いくつでも)

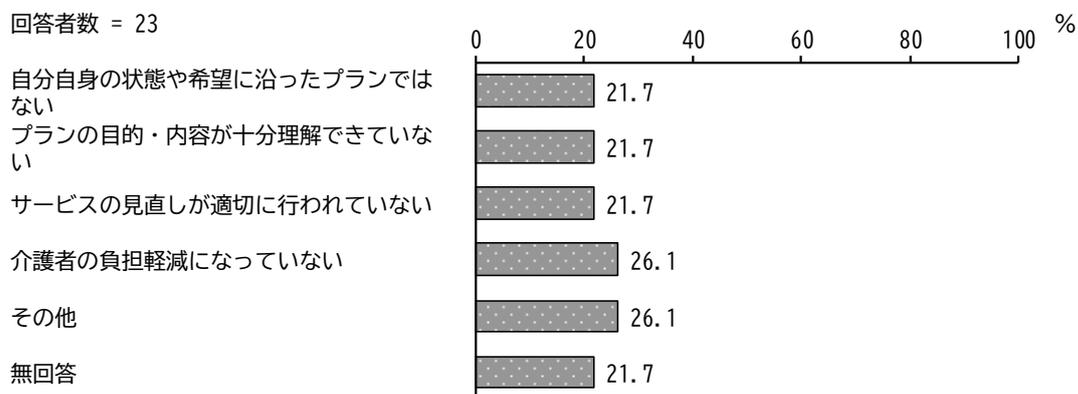
「自分自身の状態や希望に沿ったプランになっている」の割合が62.6%と最も高く、次いで「介護者の負担軽減になっている」の割合が33.8%、「プランの目的・内容が十分理解できている」の割合が33.3%となっています。



問16で「あまり満足していない」「満足していない」と回答した方にお伺いします。

問17-2 ケアプランの満足していない理由は何ですか。(いくつでも)

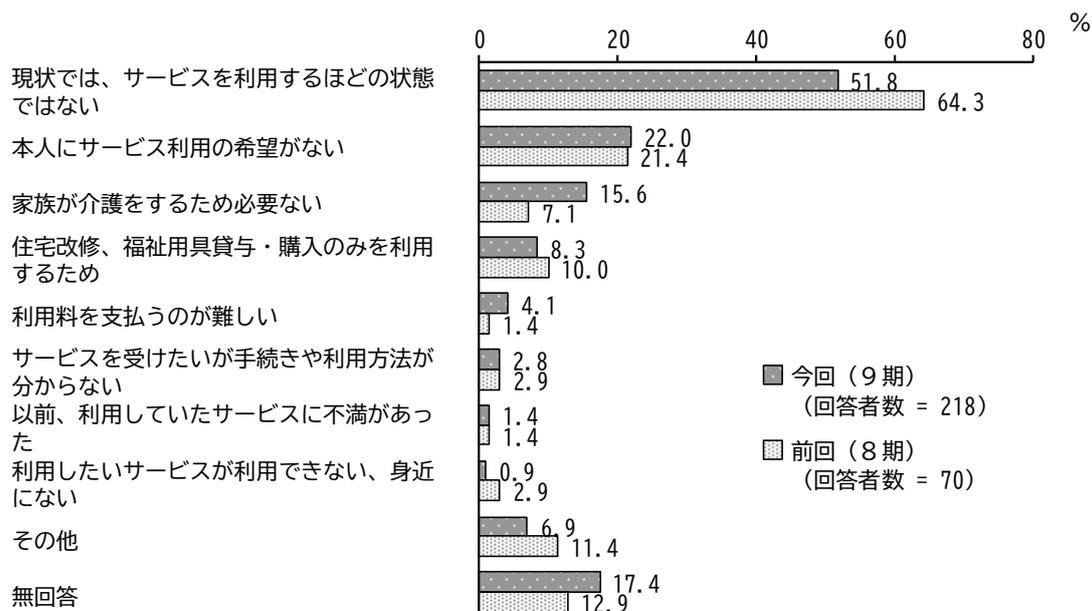
「介護者の負担軽減になっていない」、「その他」の割合が26.1%と最も高く、次いで「自分自身の状態や希望に沿ったプランではない」、「プランの目的・内容が十分理解できていない」、「サービスの見直しが適切に行われていない」の割合が21.7%となっています。



問18 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (いくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が51.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が22.0%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が15.6%となっています。

前回と比較すると、「家族が介護をするため必要ない」の割合が増加しています。一方、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が減少しています。

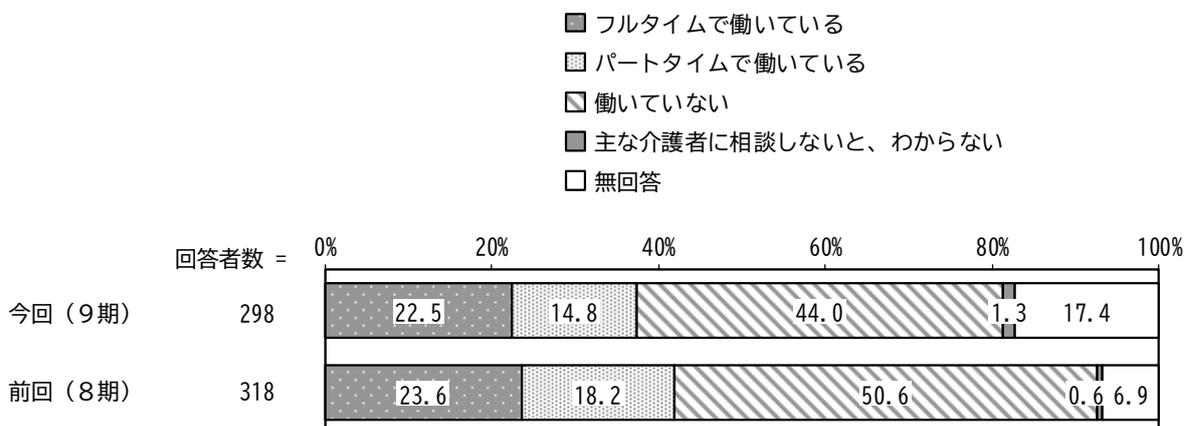


2 主な介護者について (B)

問1 主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください (○は1つ)

「働いていない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が22.5%、「パートタイムで働いている」の割合が14.8%となっています。

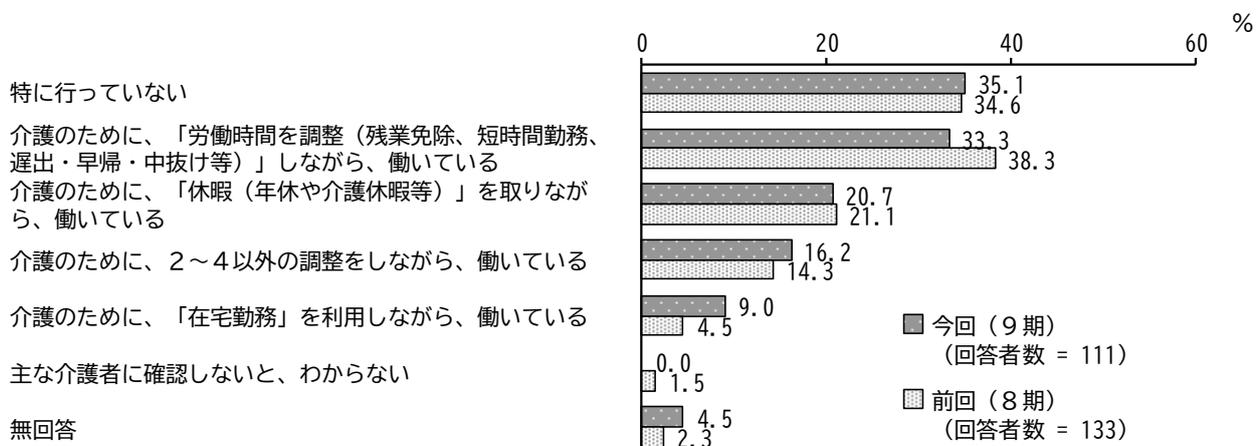
前回と比較すると、「働いていない」の割合が減少しています。



問2 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。 主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてい ますか (いくつでも)

「特に行っていない」の割合が35.1%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が33.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が20.7%となっています。

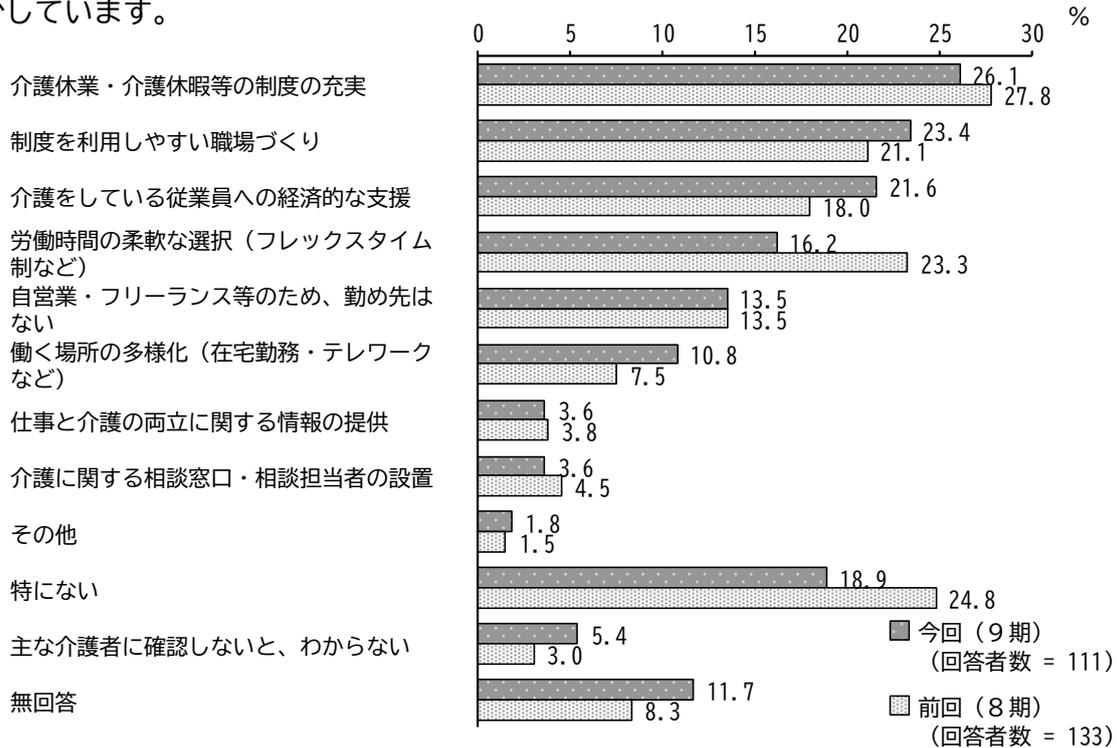
前回と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が減少しています。



問3 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が26.1%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が23.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が21.6%となっています。

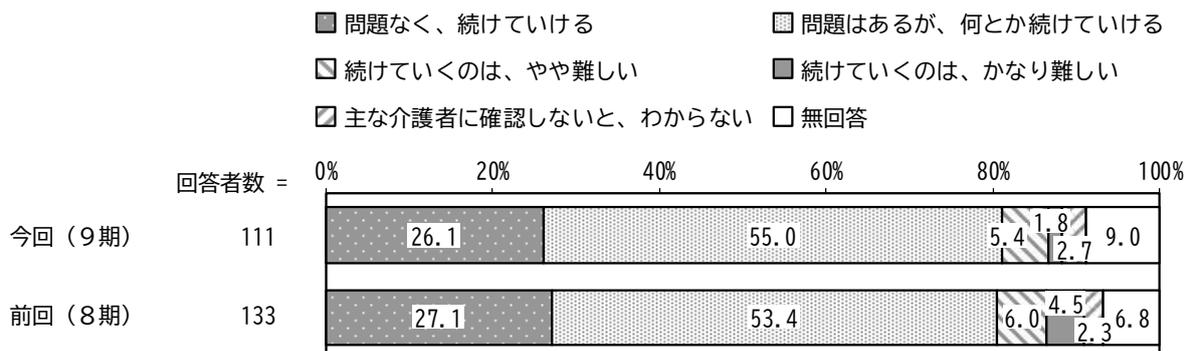
前回と比較すると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「特にない」の割合が減少しています。



問4 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。
 主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が55.0%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が26.1%となっています。

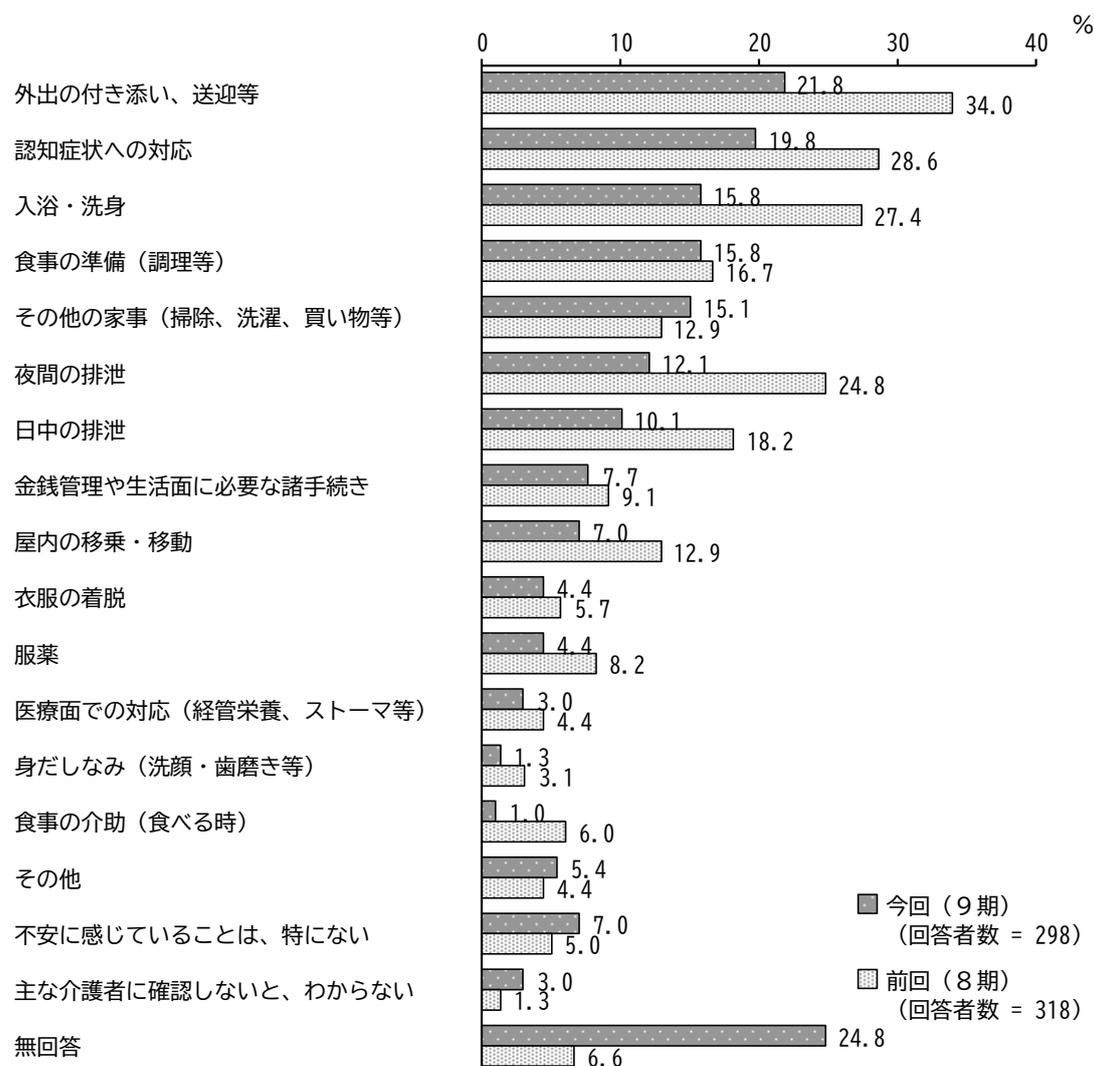
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

「外出の付き添い、送迎等」の割合が21.8%と最も高く、次いで「認知症状への対応」の割合が19.8%、「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」の割合が15.8%となっています。

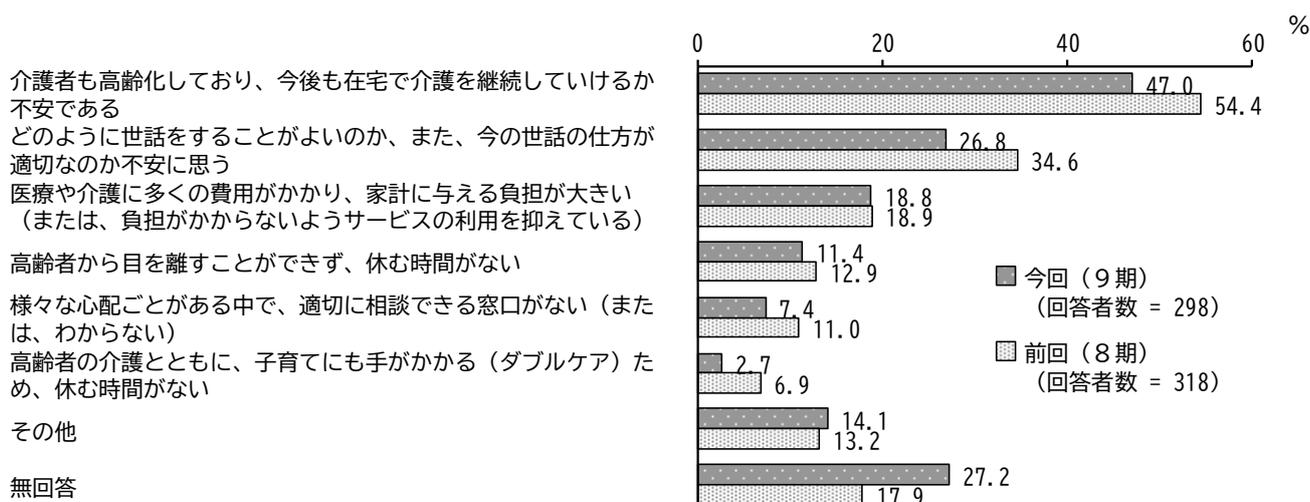
前回と比較すると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」の割合が減少しています。



問6 介護や看病などの世話をする人が大変と感じていることは何ですか
(いくつでも)

「介護者も高齢化しており、今後も在宅で介護を継続していけるか不安である」の割合が47.0%と最も高く、次いで「どのように世話をすることがよいのか、また、今の世話の仕方が適切なのか不安に思う」の割合が26.8%、「医療や介護に多くの費用がかかり、家計に与える負担が大きい(または、負担がかからないようサービスの利用を抑えている)」の割合が18.8%となっています。

前回と比較すると、「介護者も高齢化しており、今後も在宅で介護を継続していけるか不安である」「どのように世話をすることがよいのか、また、今の世話の仕方が適切なのか不安に思う」の割合が減少しています。



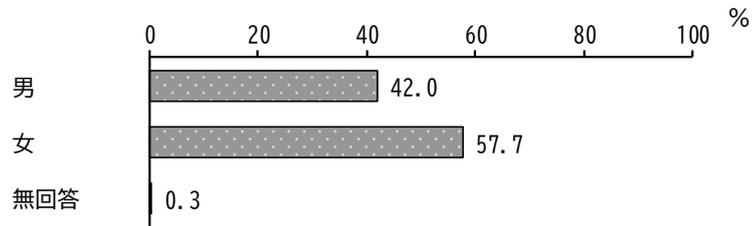
第4章 第2号被保険者向けアンケート

1 回答者について

(1) 性別 [〇は1つだけ]

「男」の割合が42.0%、「女」の割合が57.7%となっています。

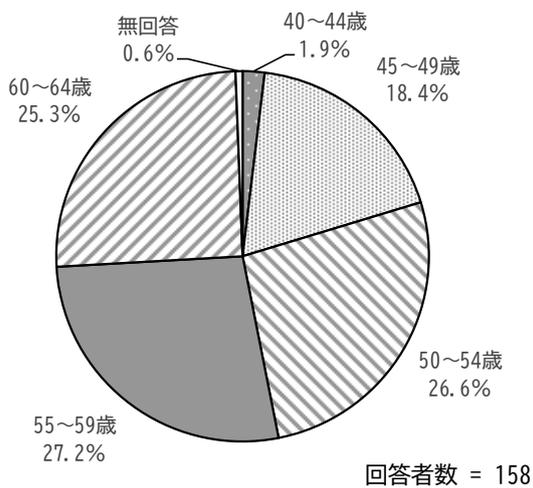
回答者数 = 376



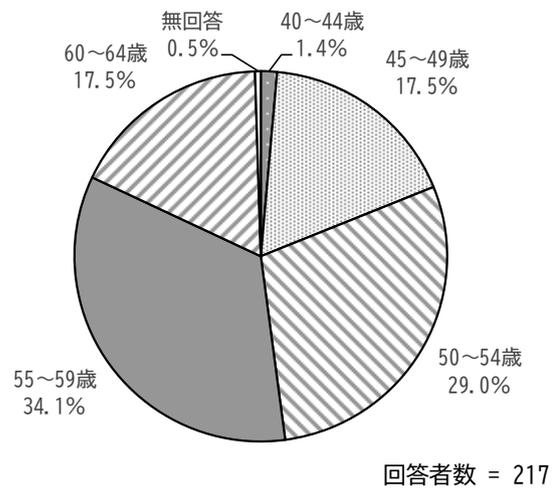
【年齢別】

年齢別にみると、男性、女性ともに「55～59歳」の割合が高くなっています。

男性



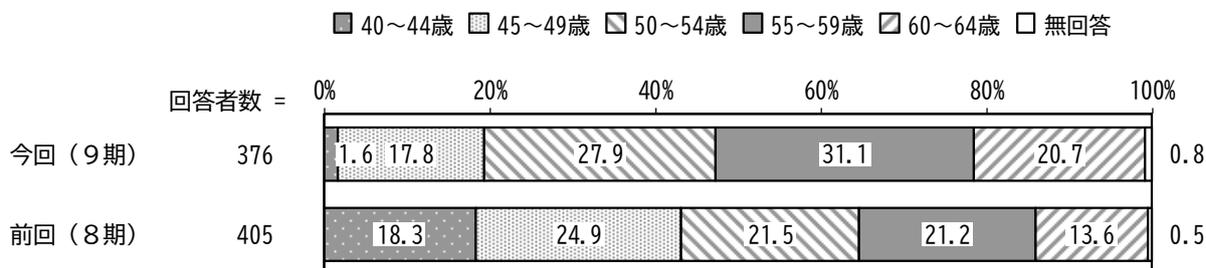
女性



(2) 年齢 (令和4年12月1日現在) [〇は1つだけ]

「55～59歳」の割合が31.1%と最も高く、次いで「50～54歳」の割合が27.9%、「60～64歳」の割合が20.7%となっています。

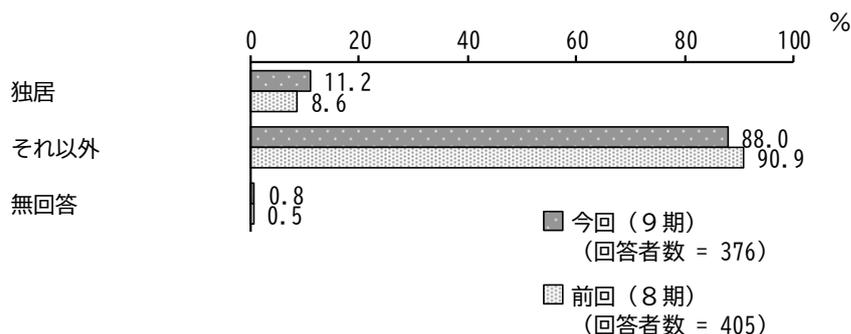
前回と比較すると、「50～54歳」「55～59歳」「60～64歳」の割合が増加しています。一方、「40～44歳」「45～49歳」の割合が減少しています。



(3) 家族構成 [〇は1つだけ]

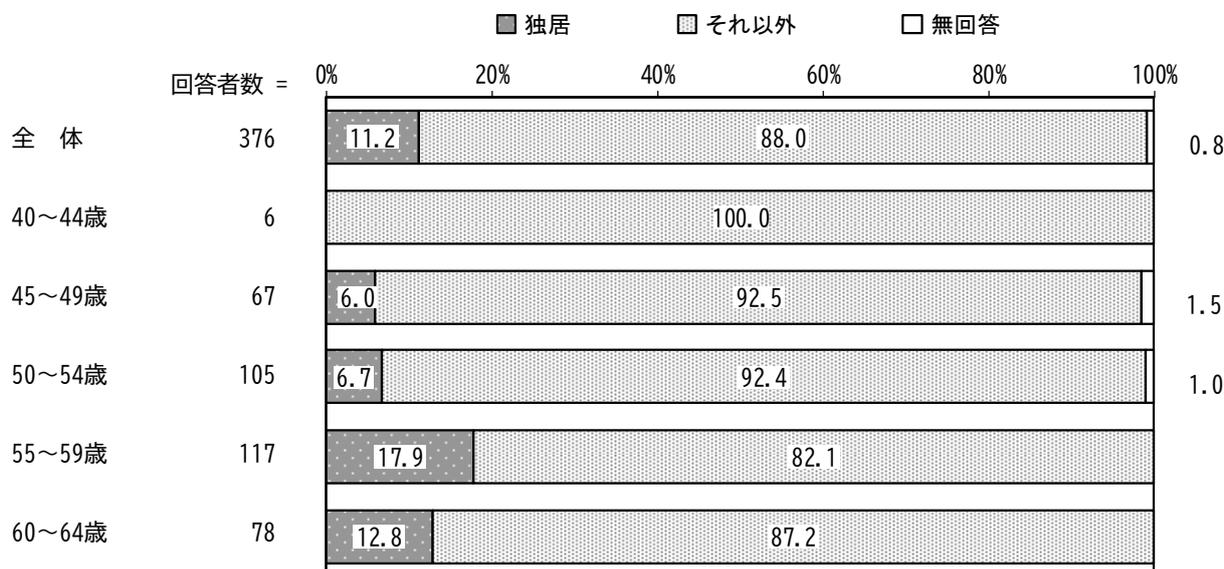
「独居」の割合が11.2%、「それ以外」の割合が88.0%となっています。

前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、55～59歳で「独居」の割合が高くなっています。

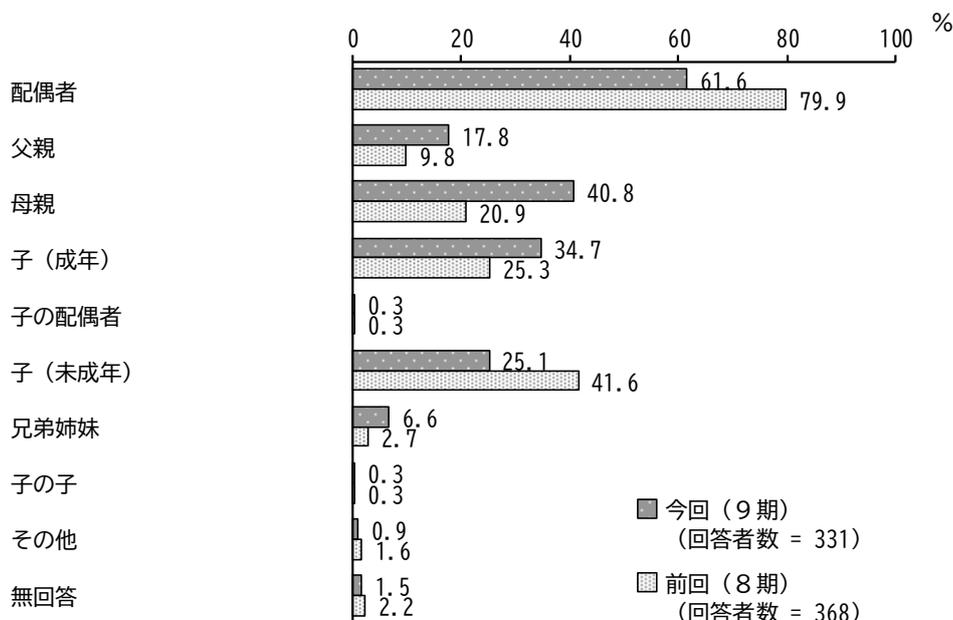


※「独居」と答えた方は(4)へ、「それ以外」と答えた方は(3-1)へ進んでください

(3-1) 同居している人 [あてはまるもの全てに○]

「配偶者」の割合が61.6%と最も高く、次いで「母親」の割合が40.8%、「子(成年)」の割合が34.7%となっています。

前回と比較すると、「父親」「母親」「子(成年)」の割合が増加しています。一方、「配偶者」「子(未成年)」の割合が減少しています。



【性別】

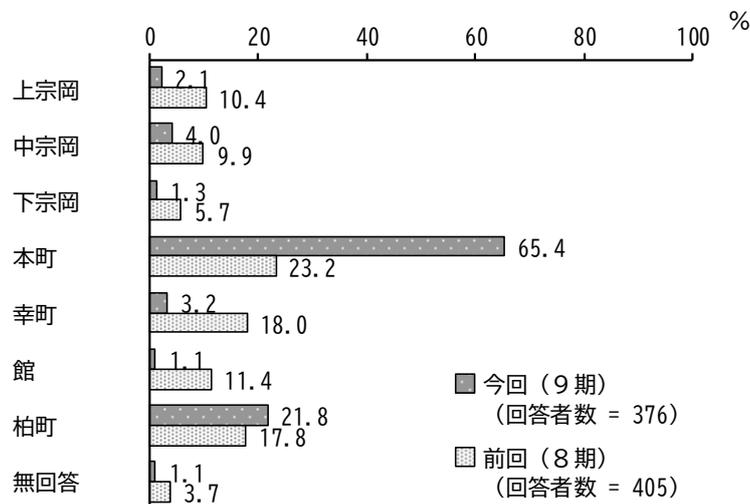
性別にみると、男で「配偶者」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	父親	母親	子(成年)	子の配偶者	子(未成年)	兄弟姉妹	子の子	その他	無回答
全体	331	61.6	17.8	40.8	34.7	0.3	25.1	6.6	0.3	0.9	1.5
男	141	68.8	17.0	38.3	33.3	0.7	29.8	5.7	0.7	1.4	0.7
女	190	56.3	18.4	42.6	35.8	-	21.6	7.4	-	0.5	2.1

(4) お住まいの地域 [○は1つだけ]

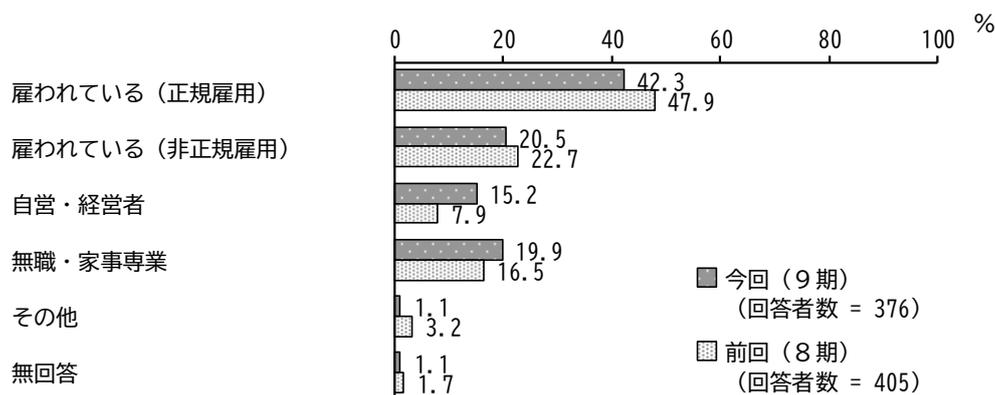
「本町」の割合が65.4%と最も高く、次いで「柏町」の割合が21.8%となっています。前回と比較すると、「本町」の割合が増加しています。一方、「上宗岡」「中宗岡」「幸町」「館」の割合が減少しています。



(5) 職業 [○は1つだけ]

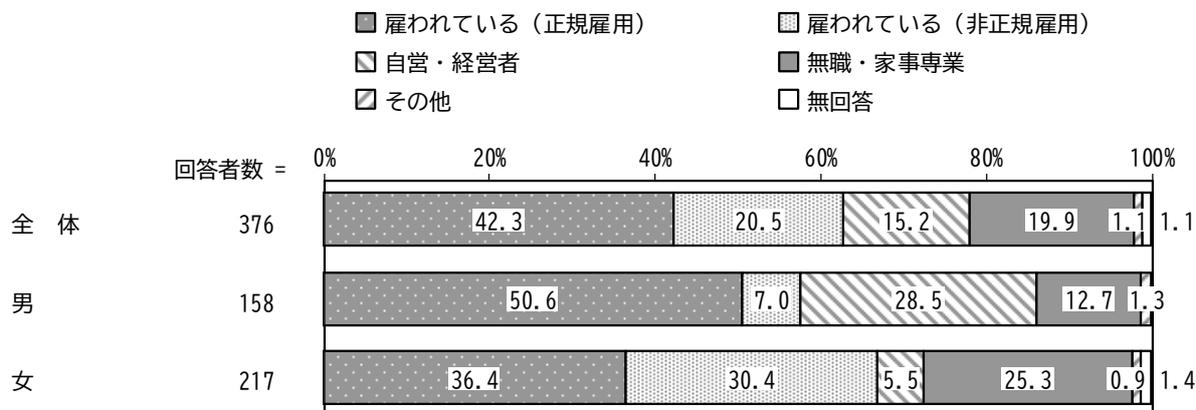
「雇われている (正規雇用)」の割合が42.3%と最も高く、次いで「雇われている (非正規雇用)」の割合が20.5%、「無職・家事専業」の割合が19.9%となっています。

前回と比較すると、「自営・経営者」の割合が増加しています。一方、「雇われている (正規雇用)」の割合が減少しています。



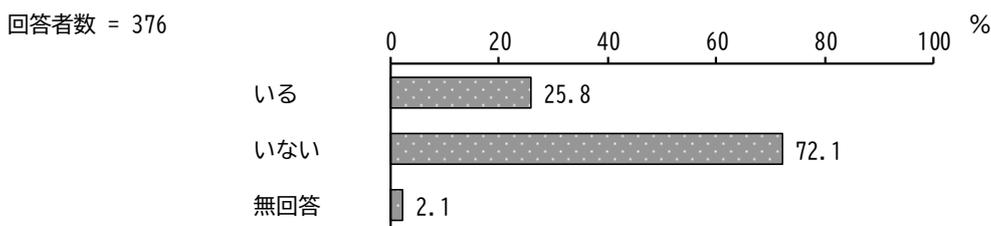
【性別】

性別にみると、男で「自営・経営者」「雇われている（正規雇用）」の割合が、女で「雇われている（非正規雇用）」の割合が高くなっています。



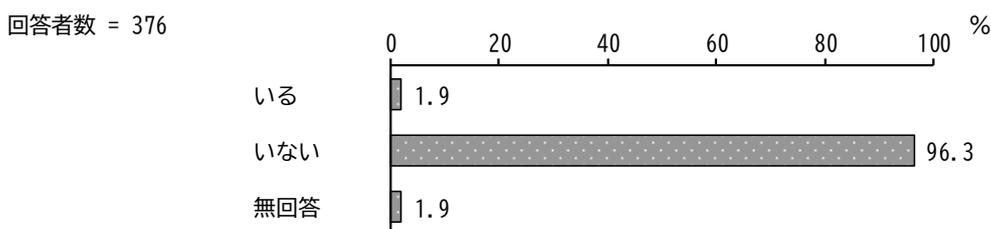
（6）ご家族で成人していて（学生は除く）働いていない（所得がない）ご家族はいますか【○は1つだけ】

「いる」の割合が25.8%、「いない」の割合が72.1%となっています。



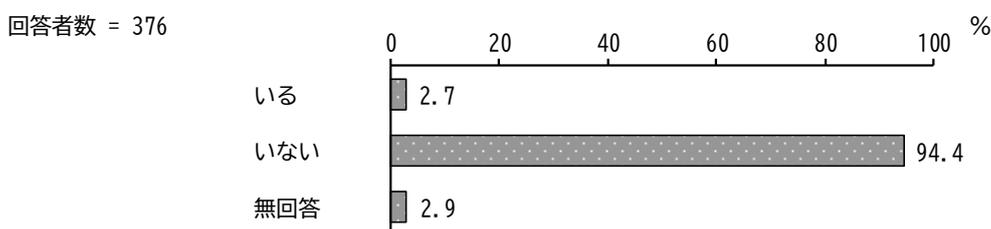
（7）主な介護者（常時）で18歳未満の方はいますか【○は1つだけ】

「いる」の割合が1.9%、「いない」の割合が96.3%となっています。



（8）介護が原因で進学や就職などが希望通りになっていない方はいますか【○は1つだけ】

「いる」の割合が2.7%、「いない」の割合が94.4%となっています。

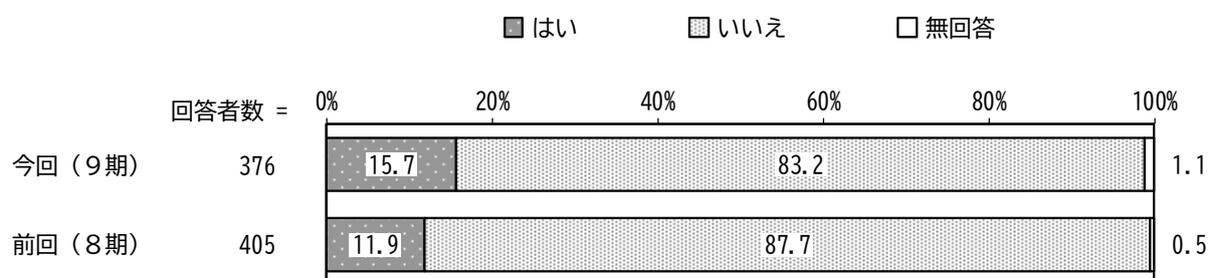


2 ご家族の介護について

(1) 現在、どなたかの介護をしていますか。[○は1つだけ]

※施設等に入所、入居されている方は、「いいえ」としてください。

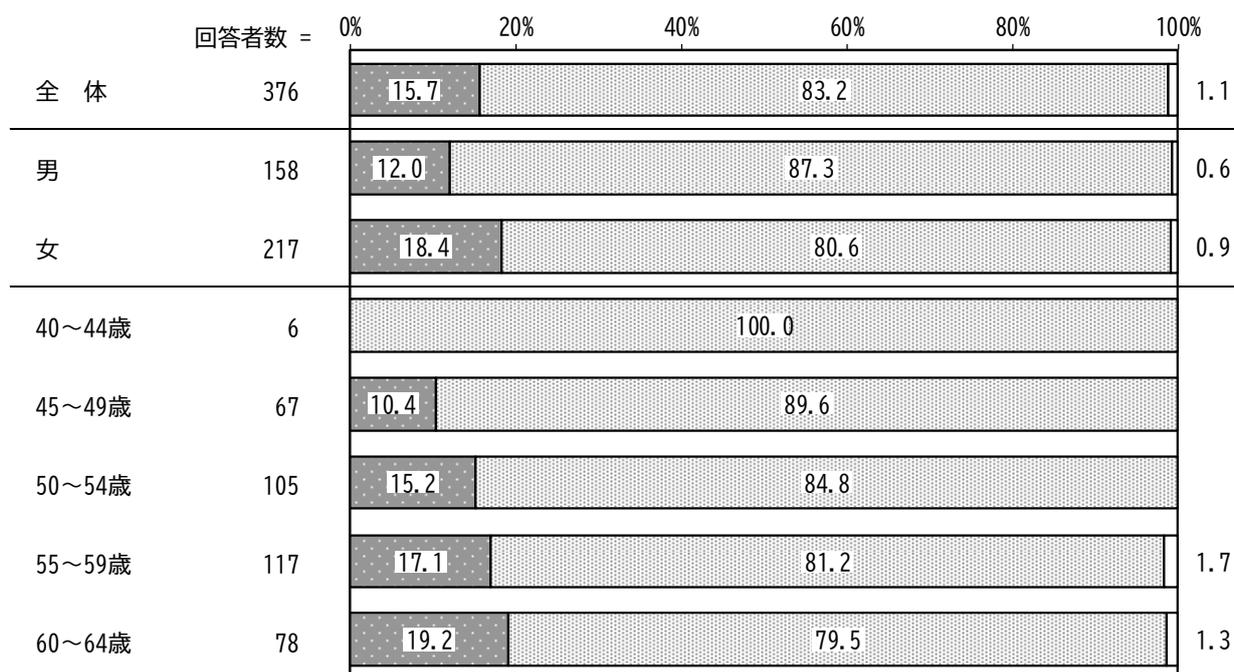
「はい」の割合が15.7%、「いいえ」の割合が83.2%となっています。
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

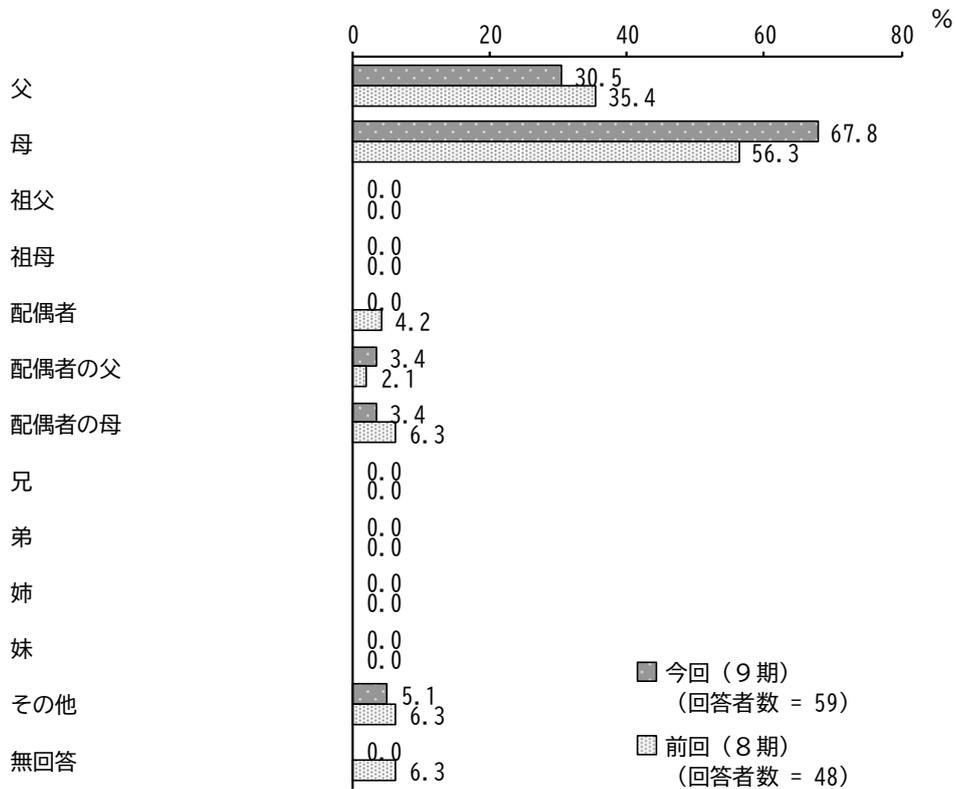
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。



«※「はい（介護をしている）」と答えた方は（2）～（5）へ、「いいえ（介護をしていない）」と答えた方は（6）へ進んでください»

（2）あなたが介護をしている人はどなたですか。[あてはまるもの全てに○]

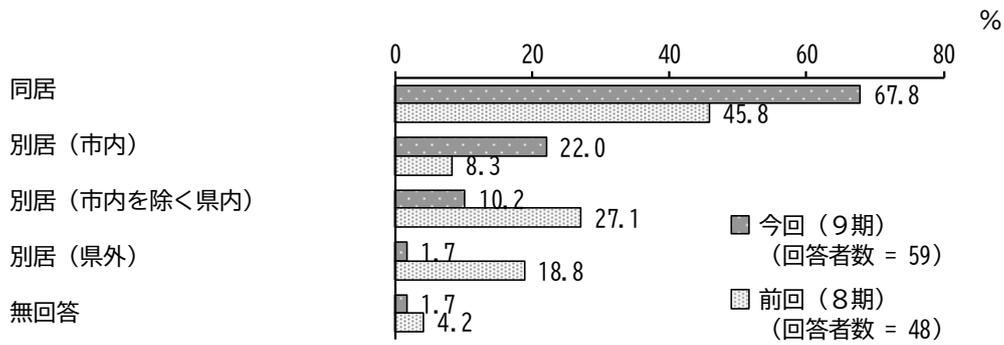
「母」の割合が67.8%と最も高く、次いで「父」の割合が30.5%となっています。
前回と比較すると、「母」の割合が増加しています。



(3) その方はどちらにお住まいですか。
 ※ (2) で二人以上に○をされた方で、それぞれの方が違う場所にお住いの場合は、該当するすべての場所に○

「同居」の割合が67.8%と最も高く、次いで「別居（市内）」の割合が22.0%、「別居（市内を除く県内）」の割合が10.2%となっています。

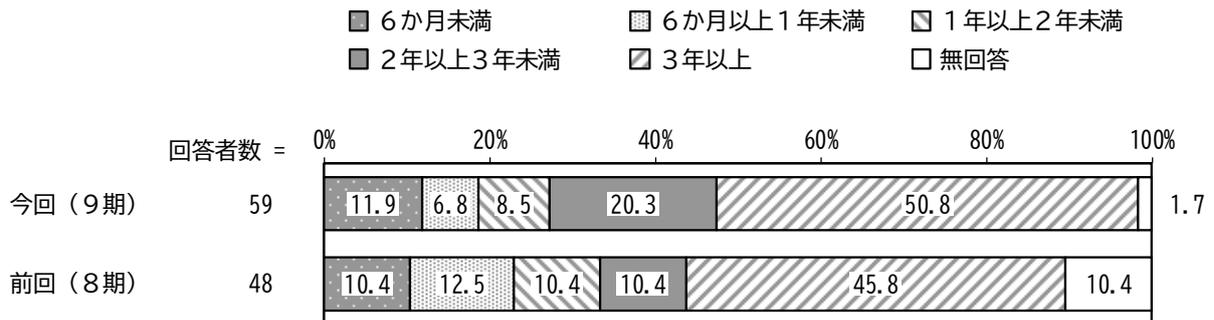
前回と比較すると、「同居」「別居（市内）」の割合が増加しています。一方、「別居（市内を除く県内）」「別居（県外）」の割合が減少しています。



(4) どのくらいの期間介護をしていますか。[○は1つだけ] ※ (2) で二人以上に○をされた方で、それぞれの方へ違う期間介護をしている場合は、最も長い期間に○

「3年以上」の割合が50.8%と最も高く、次いで「2年以上3年未満」の割合が20.3%、「6か月未満」の割合が11.9%となっています。

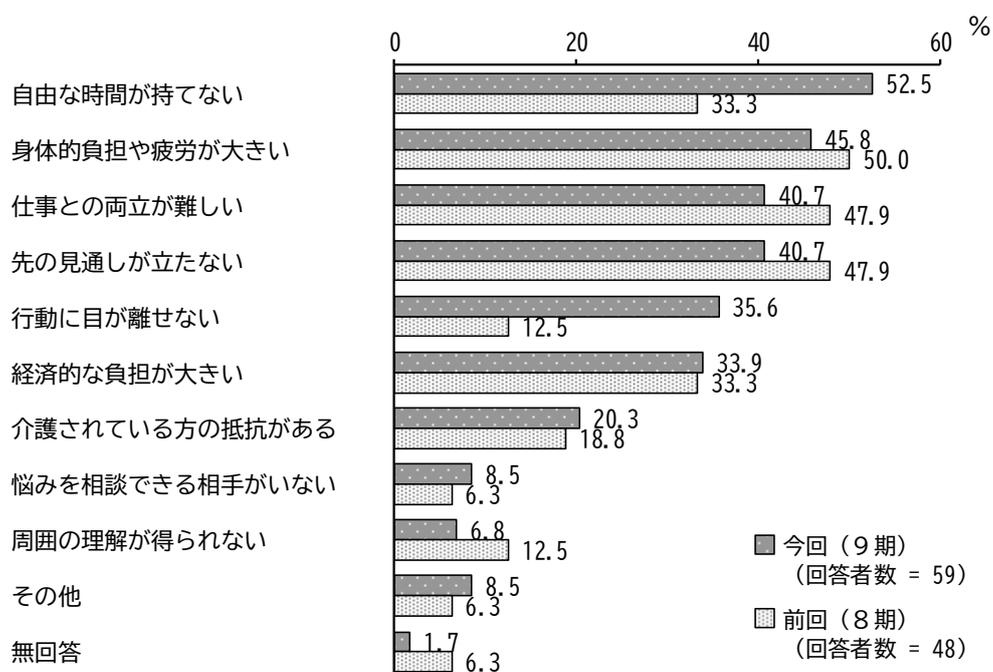
前回と比較すると、「2年以上3年未満」「3年以上」の割合が増加しています。一方、「6か月以上1年未満」の割合が減少しています。



(5) 介護をしている際の困りごとは何ですか。[あてはまるもの全てに○]

「自由な時間が持てない」の割合が52.5%と最も高く、次いで「身体的負担や疲労が大きい」の割合が45.8%、「仕事との両立が難しい」、「先の見通しが立たない」の割合が40.7%となっています。

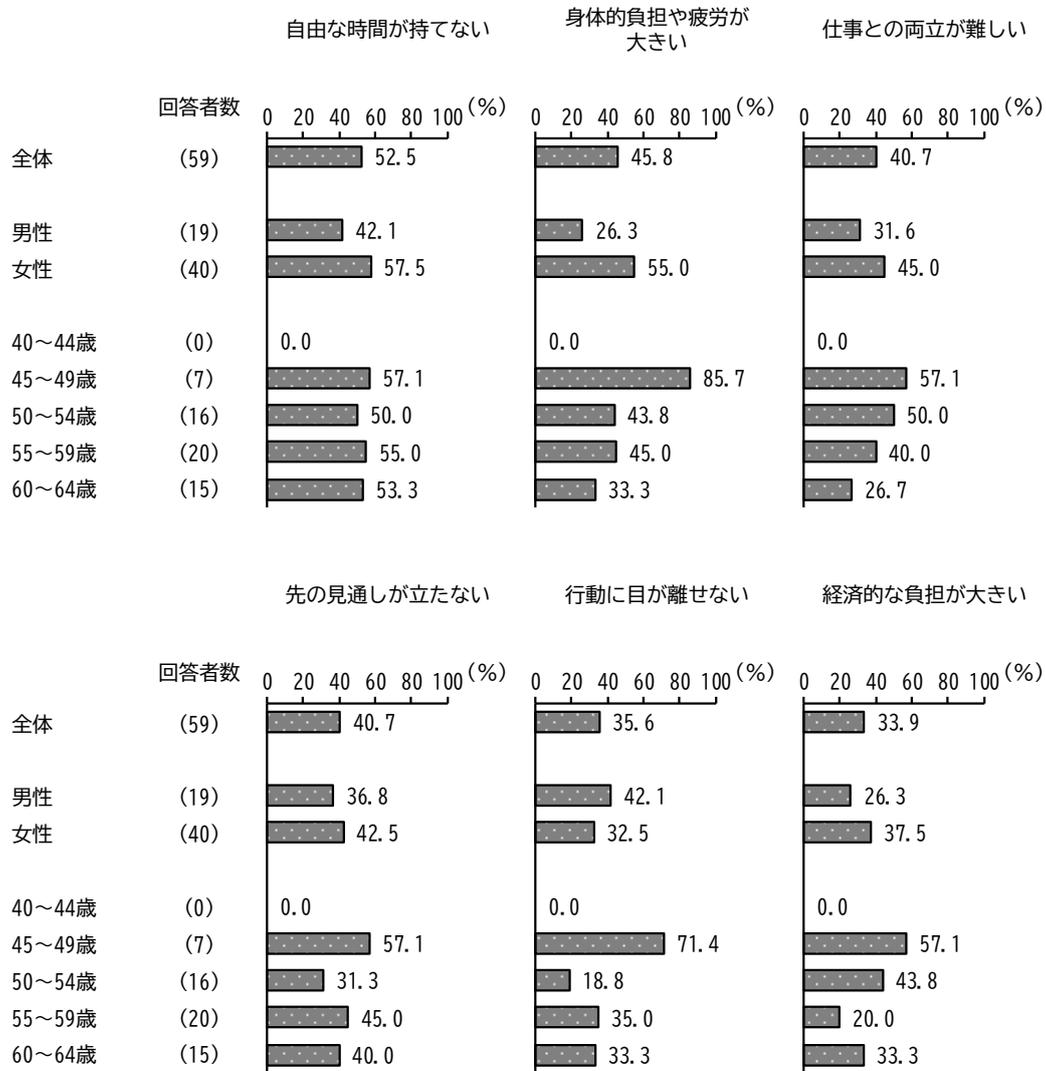
前回と比較すると、「行動に目が離せない」「自由な時間が持てない」の割合が増加しています。一方、「仕事との両立が難しい」「周囲の理解が得られない」「先の見通しが立たない」の割合が減少しています。



【性別・年代別 上位6項目】

性別にみると、女で「介護されている方の抵抗がある」「身体的負担や疲労が大きい」の割合が、男で「行動に目が離せない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、50～54歳で「仕事との両立が難しい」「経済的な負担が大きい」の割合が高くなっています。

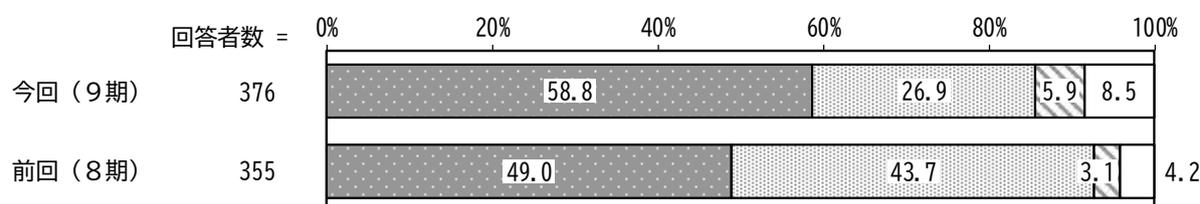


(6) 将来、ご家族のどなたかが介護が必要となった状況を想像した場合、どのようにお考えですか。身体機能や認知機能の状況、本人の意向にもよると思いますが、現時点でのお考え(または状況)に最も近いものを選んでください。[○は1つだけ]

「必要な介護サービスを入れるなどして、可能な限り自宅で生活してもらいたい。」の割合が58.8%と最も高く、次いで「施設等で行き届いた介護を受けて生活してもらいたい。」の割合が26.9%となっています。

前回と比較すると、「必要な介護サービスを入れるなどして、可能な限り自宅で生活してもらいたい。」の割合が増加しています。一方、「施設等で行き届いた介護を受けて生活してもらいたい。」の割合が減少しています。

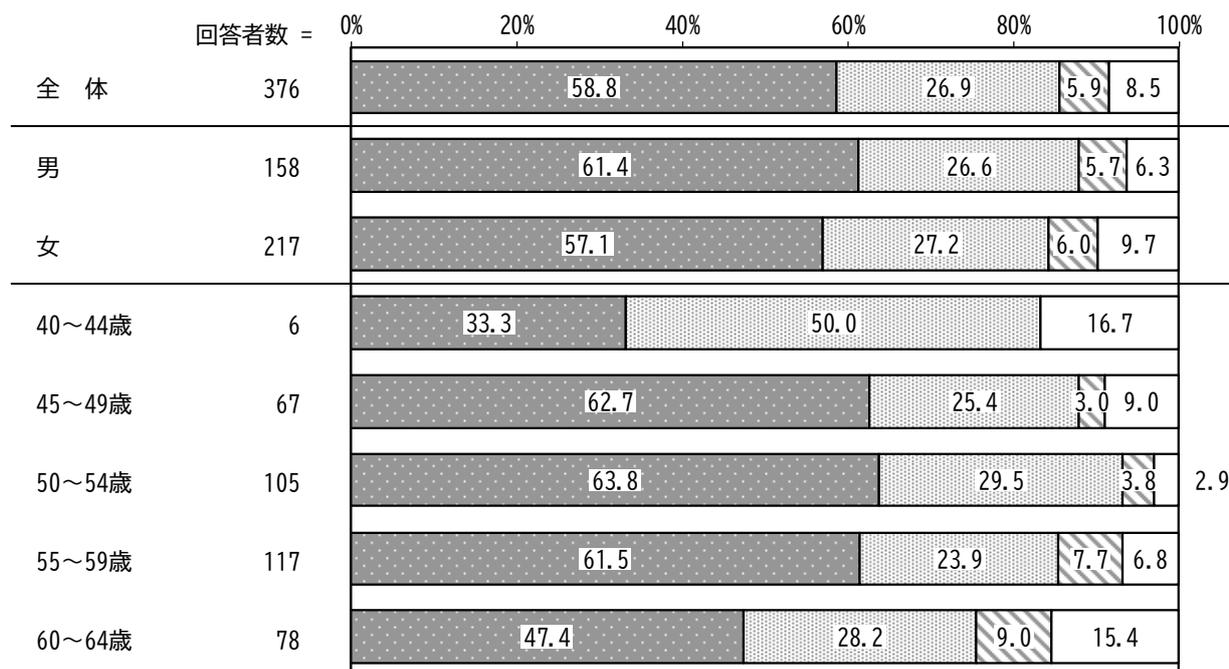
- 必要な介護サービスを入れるなどして、可能な限り自宅で生活してもらいたい。
- ▨ 施設等で行き届いた介護を受けて生活してもらいたい。
- ▩ 親や兄弟、配偶者の親などの年長者の家族がいないため、将来的にも家族の介護が必要となる状況は考えにくい。
- 無回答



【性別・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、50～54歳で「必要な介護サービスを入れるなどして、可能な限り自宅で生活してもらいたい。」の割合が高くなっています。

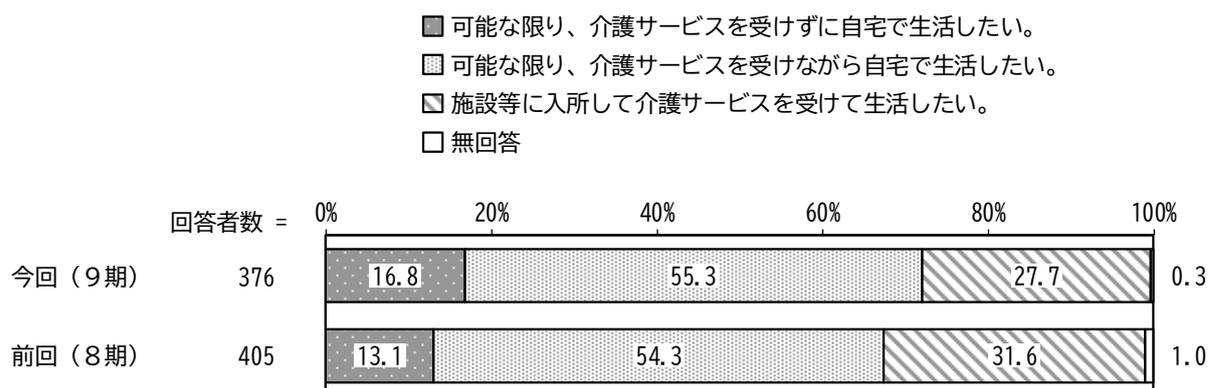


3 ご自分が介護が必要となったときについて

(1) 将来、ご自分が介護が必要となった状況を想像した場合、どのようにお考えですか。身体機能や認知機能の状況にもよると思いますが、現時点でのお考えに最も近いものを選んでください。[○は1つだけ]

「可能な限り、介護サービスを受けながら自宅で生活したい。」の割合が55.3%と最も高く、次いで「施設等に入所して介護サービスを受けて生活したい。」の割合が27.7%、「可能な限り、介護サービスを受けずに自宅で生活したい。」の割合が16.8%となっています。

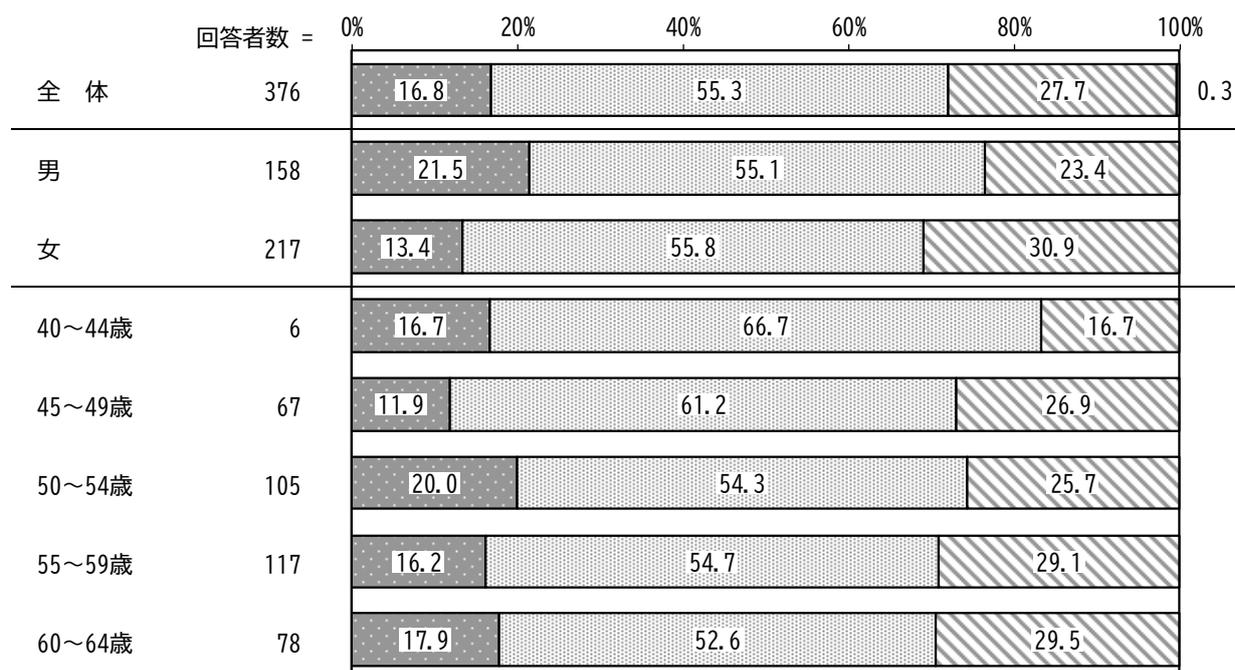
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、45～49歳で「可能な限り、介護サービスを受けながら自宅で生活したい。」の割合が高くなっています。

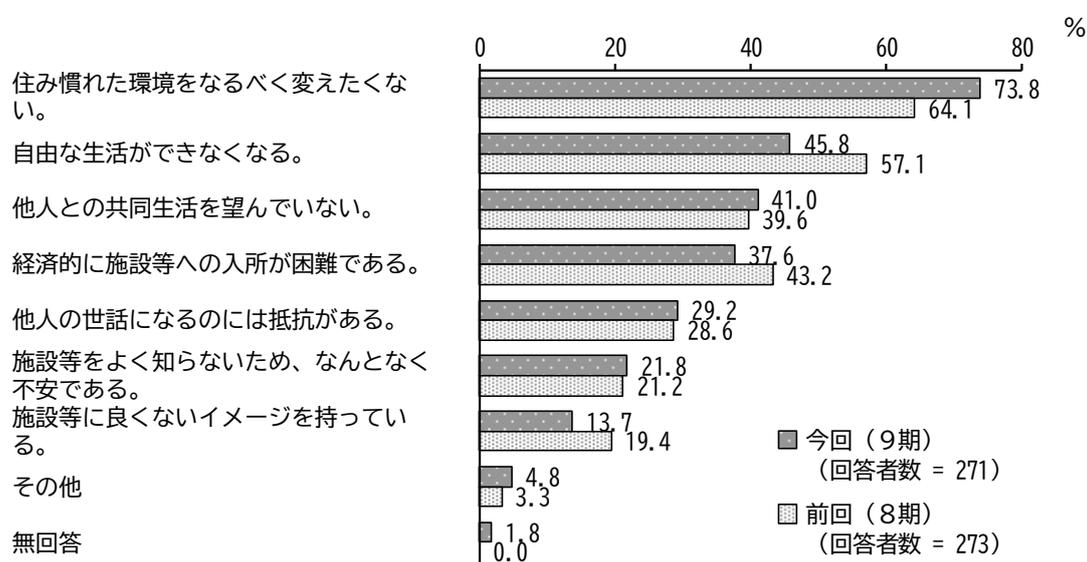


※「可能な限り、介護サービスを受けずに自宅で生活したい。」または「可能な限り、介護サービスを受けながら自宅で生活したい。」と答えた方は（2）へ、「施設等に入所して介護サービスを受けて生活したい。」と答えた方は（3）へ進んでください

（2）（1）で「可能な限り、介護サービスを受けずに自宅で生活したい。」または「可能な限り、介護サービスを受けながら自宅で生活したい。」を選んだ理由を教えてください。[あてはまるもの全てに○]

「住み慣れた環境をなるべく変えたくない。」の割合が73.8%と最も高く、次いで「自由な生活ができなくなる。」の割合が45.8%、「他人との共同生活を望んでいない。」の割合が41.0%となっています。

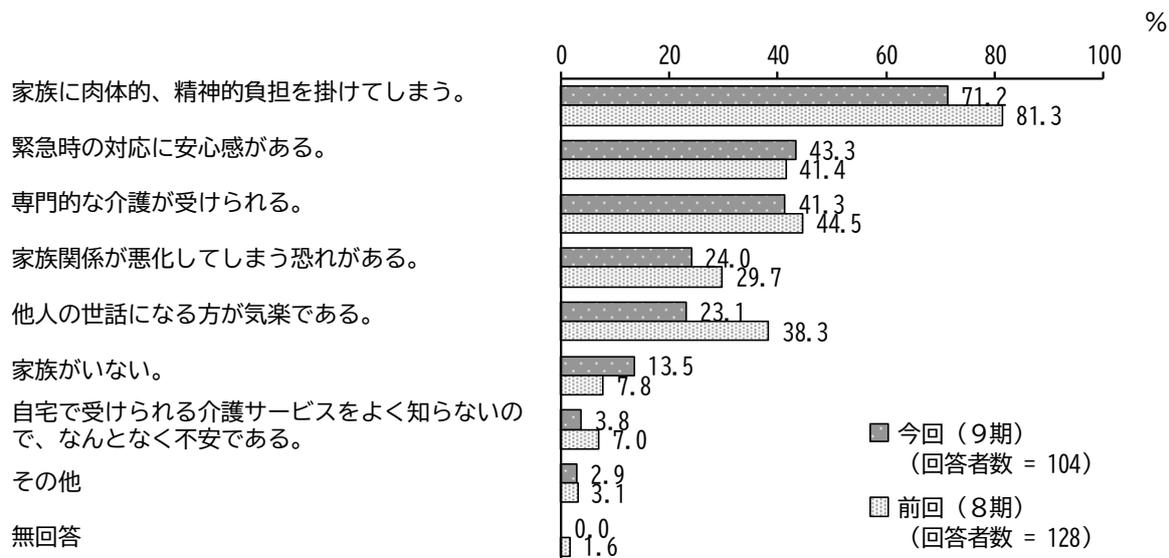
前回と比較すると、「住み慣れた環境をなるべく変えたくない。」の割合が増加しています。一方、「自由な生活ができなくなる。」「経済的に施設等への入所が困難である。」「施設等に良くないイメージを持っている。」の割合が減少しています。



(3) (1) で「施設等に入所して介護サービスを受けて生活したい。」を選んだ理由を教えてください。[あてはまるもの全てに○]

「家族に肉体的、精神的負担を掛けてしまう。」の割合が71.2%と最も高く、次いで「緊急時の対応に安心感がある。」の割合が43.3%、「専門的な介護が受けられる。」の割合が41.3%となっています。

前回と比較すると、「家族がいない。」の割合が増加しています。一方、「家族に肉体的、精神的負担を掛けてしまう。」「家族関係が悪化してしまう恐れがある。」「他人の世話になる方が気楽である。」の割合が減少しています。

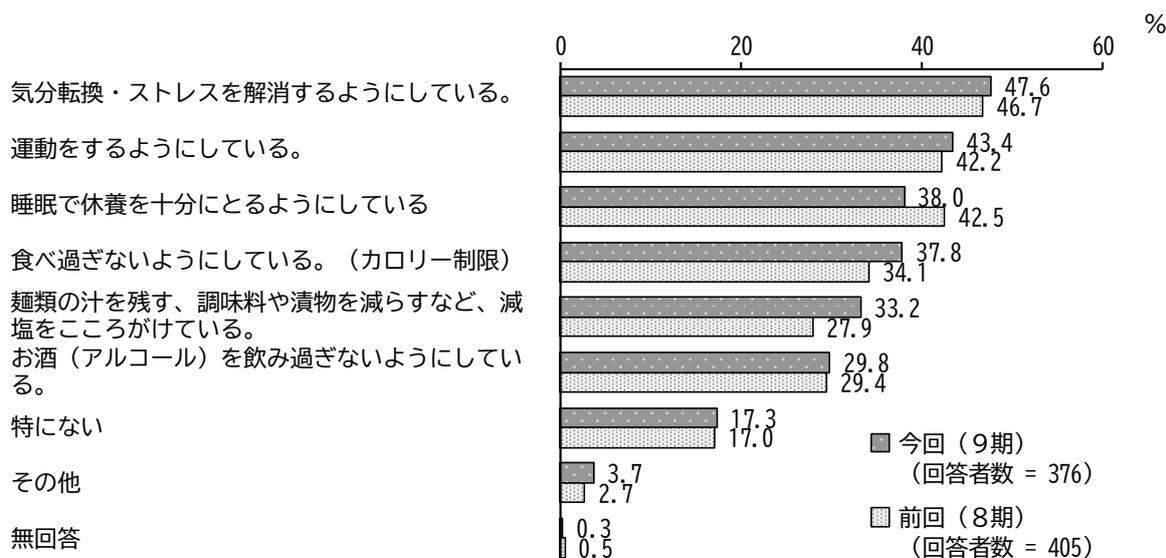


4 介護予防への関心について

(1) 介護が必要にならないために、日常生活で心がけている生活習慣はありますか。
[〇はいくつでも]

「気分転換・ストレスを解消するようにしている。」の割合が47.6%と最も高く、次いで「運動をするようにしている。」の割合が43.4%、「睡眠で休養を十分にとるようにしている」の割合が38.0%となっています。

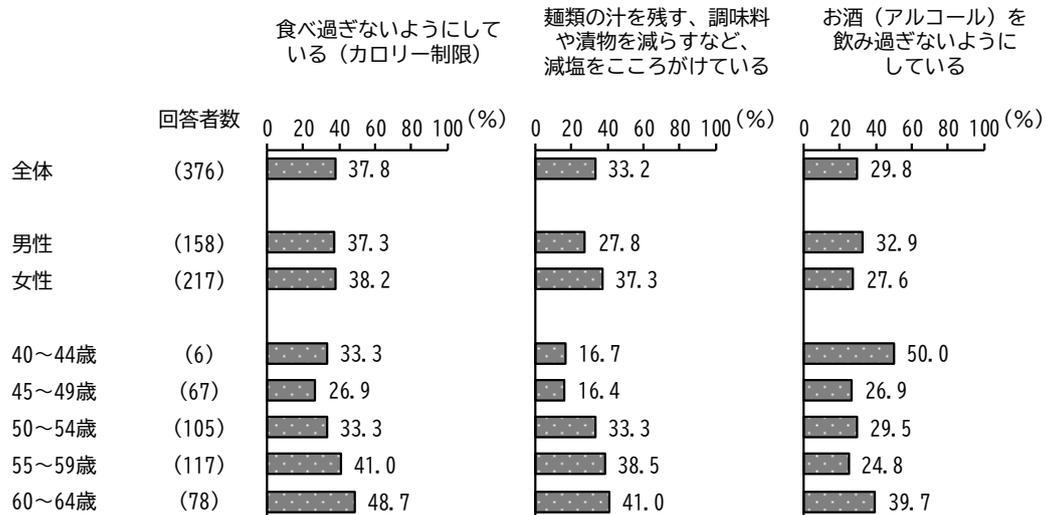
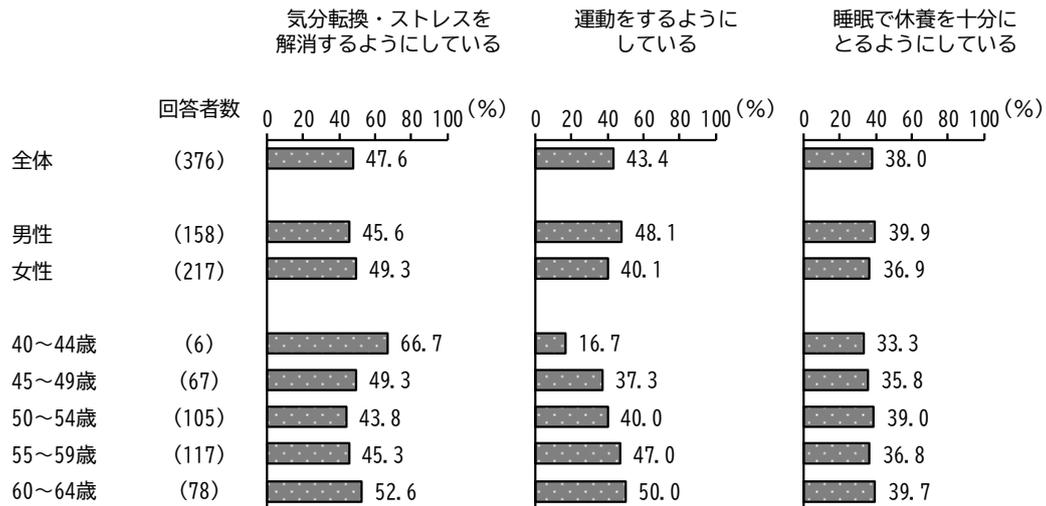
前回と比較すると、「麺類の汁を残す、調味料や漬物を減らすなど、減塩をこころがけている。」の割合が増加しています。



【性別・年齢別 上位6項目】

性別にみると、女性に比べ、男性で「運動をするようにしている。」「お酒（アルコール）を飲み過ぎないようにしている。」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「麺類の汁を残す、調味料や漬物を減らすなど、減塩をこころがけている。」の割合が高くなっています。

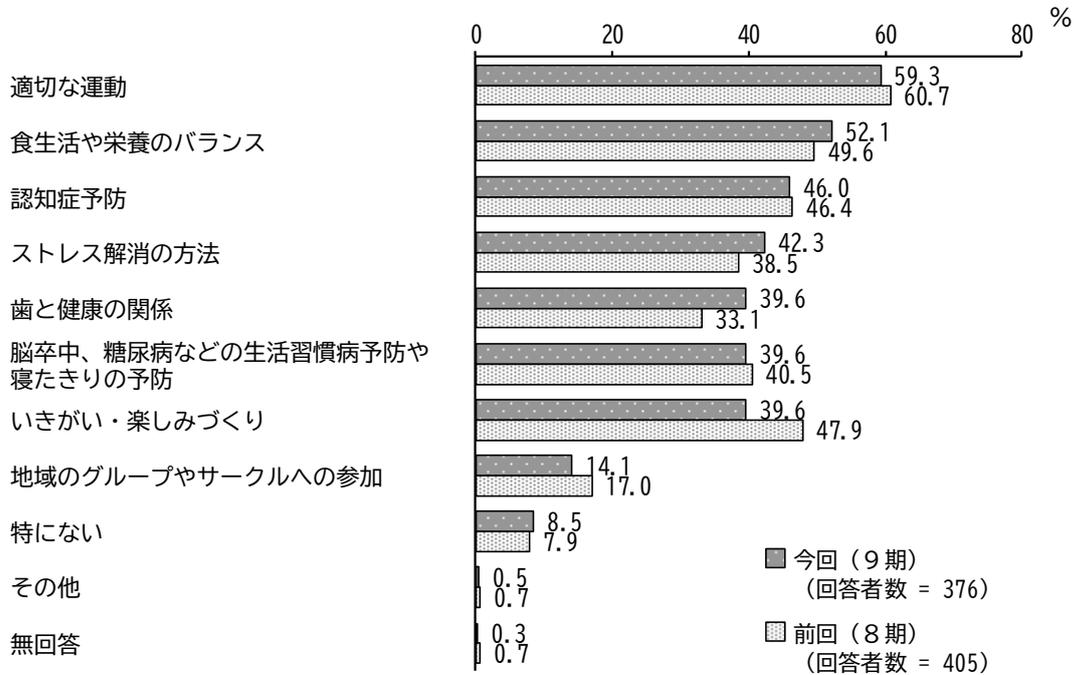
年齢別にみると、60～64歳で「食べ過ぎないようにしている（カロリー制限）」「お酒（アルコール）を飲み過ぎないようにしている。」「麺類の汁を残す、調味料や漬物を減らすなど、減塩をこころがけている。」の割合が高くなっています。



(2) 介護予防の取り組みの中で、どのようなことに関心がありますか。
 [〇はいくつでも]

「適切な運動」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「食生活や栄養のバランス」の割合が 52.1%、「認知症予防」の割合が 46.0%となっています。

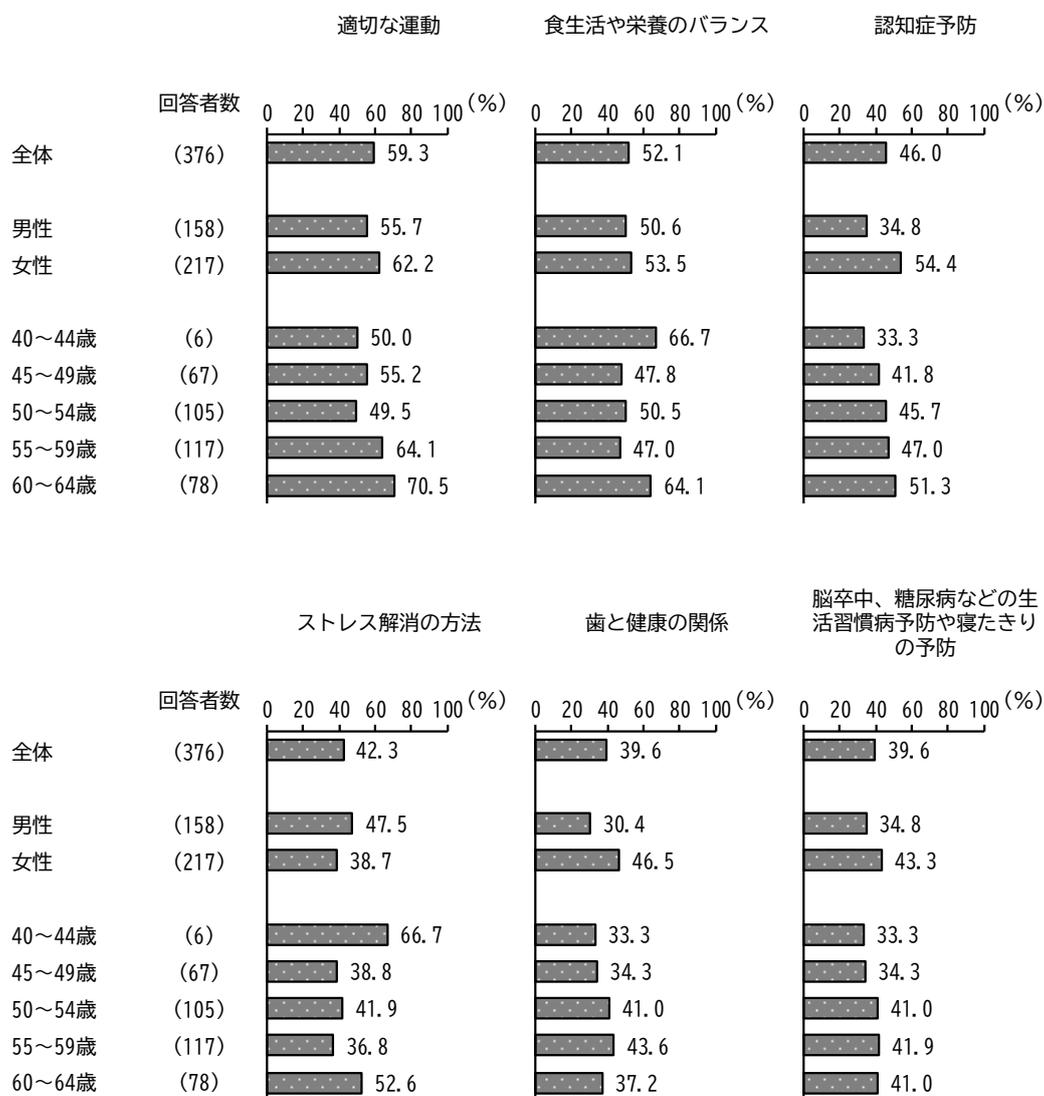
前回と比較すると、「歯と健康の関係」の割合が増加しています。一方、「いきがい・楽しみづくり」の割合が減少しています。



【性別・年齢別 上位6項目】

性別にみると、女で「認知症予防」「歯と健康の関係」の割合が、男で「ストレス解消の方法」の割合が高くなっています。

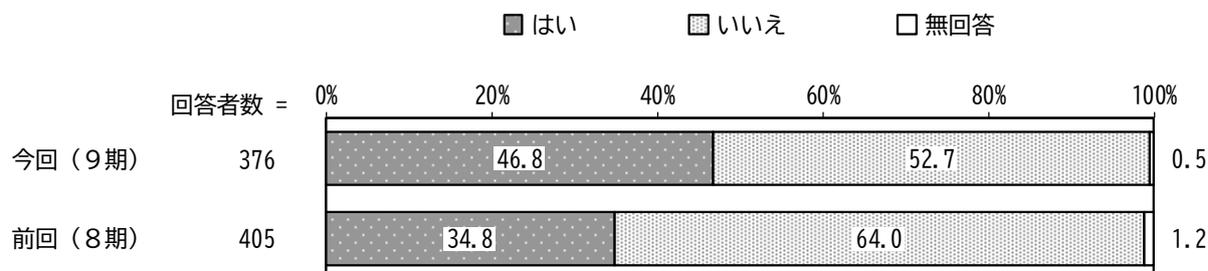
年齢別にみると、60～64歳で「食生活や栄養のバランス」「適切な運動」「ストレス解消の方法」の割合が高くなっています。



5 介護保険制度全般について

(1) あなたは、満40歳になると、介護が必要となった原因に一定の制約はあるものの、介護保険のサービスを利用できることをご存じですか。[○は1つだけ]

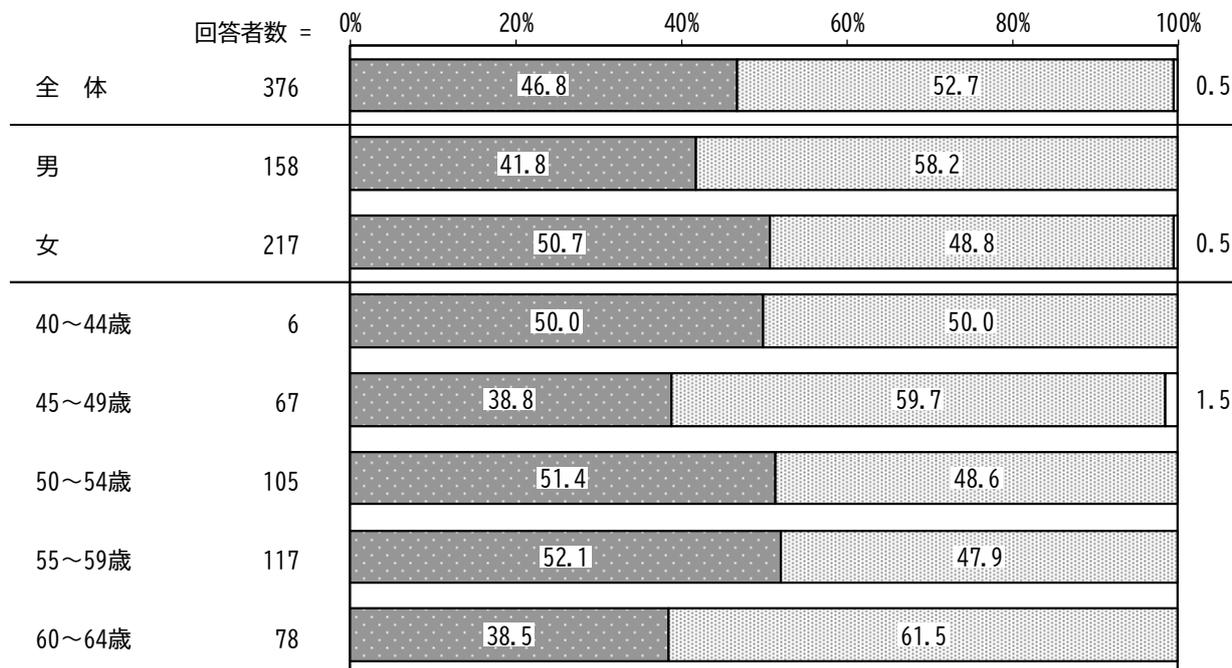
「はい」の割合が46.8%、「いいえ」の割合が52.7%となっています。
前回と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



【性別・年齢別】

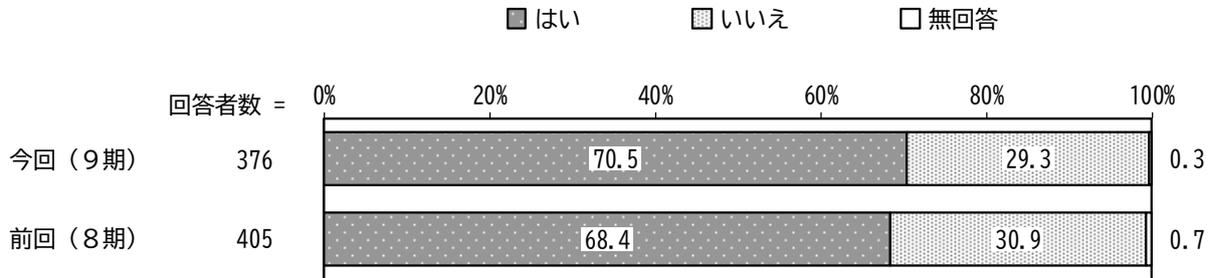
性別にみると、男で「いいえ」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、60～64歳、45～49歳で「いいえ」の割合が、55～59歳で「はい」の割合が高くなっています。



(2) あなたは、満40歳になると、満65歳になる月の前月分まで、加入している医療保険（職場の健康保険、国民健康保険など）の保険料に上乗せされる形で、介護保険料を納めていることをご存じですか。〔〇は1つだけ〕

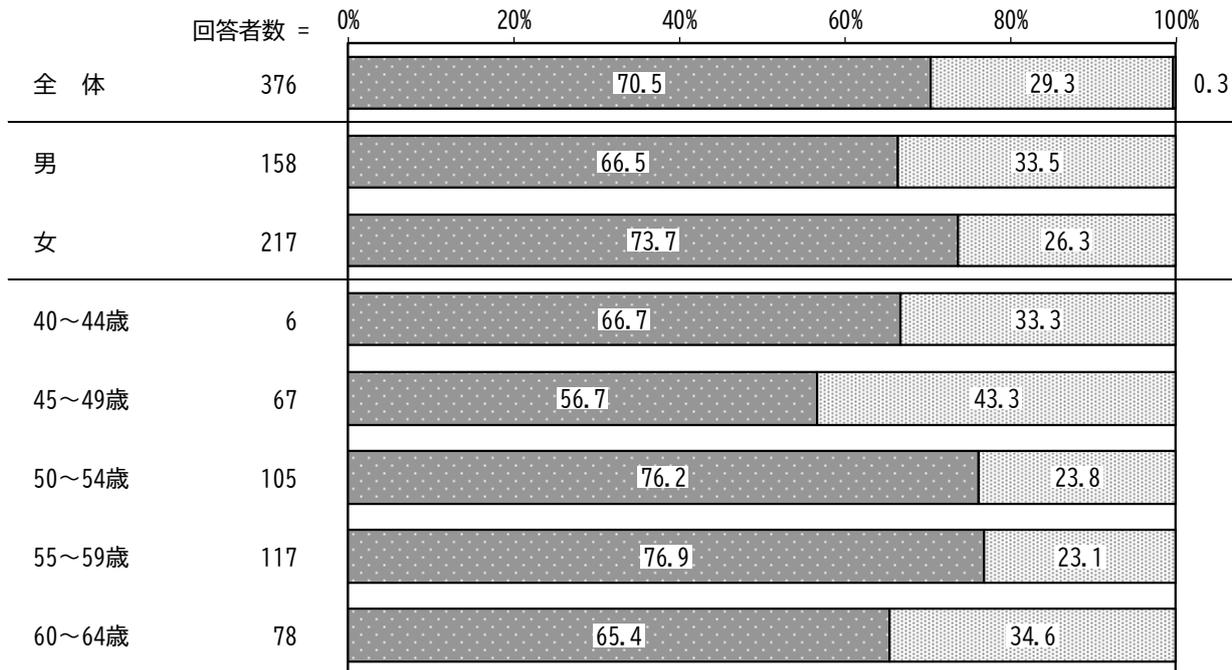
「はい」の割合が70.5%、「いいえ」の割合が29.3%となっています。
 前回と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、45～49歳で「いいえ」の割合が、55～59歳、50～54歳で「はい」の割合が高くなっています。

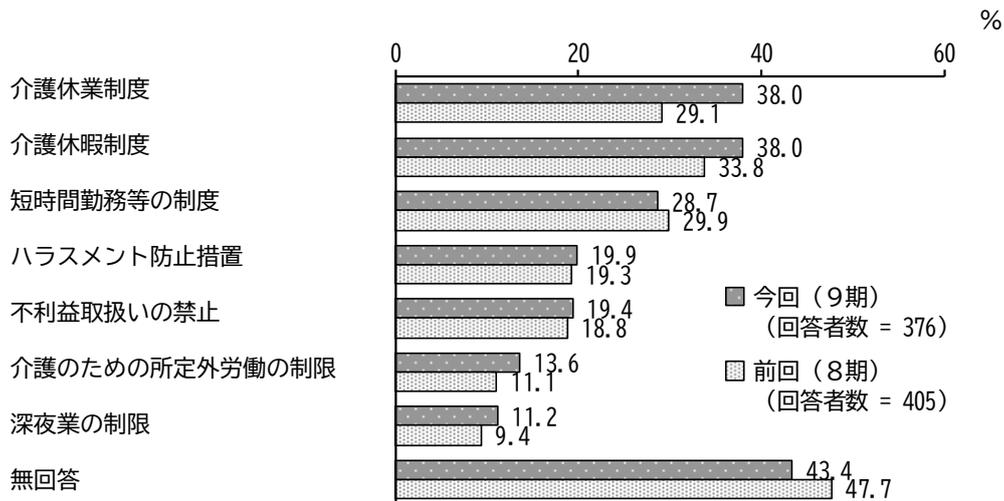


6 仕事と介護の両立のための制度について

(1) 雇用されている方については、家族が介護が必要となった場合でも、仕事を辞めることなく両立できるよう、法律に基づき様々な制度が設けられています。あなたは、以下の制度についてご存じですか。[○はいくつでも]

「介護休業制度」、「介護休暇制度」の割合が38.0%と最も高く、次いで「短時間勤務等の制度」の割合が28.7%となっています。

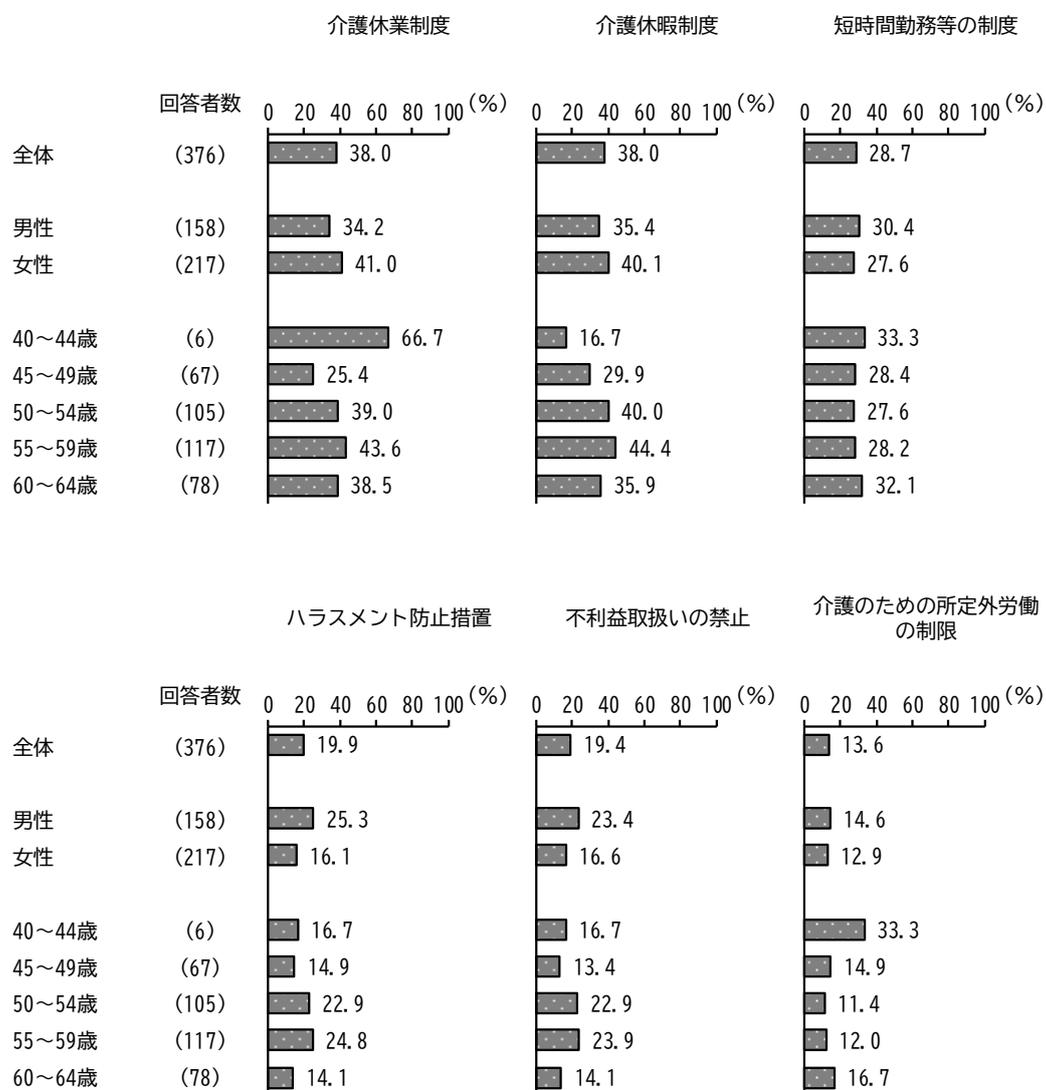
前回と比較すると、「介護休業制度」の割合が増加しています。



【性別・年齢別 上位6項目】

性別にみると、男で「ハラスメント防止措置」の割合が高くなっています。

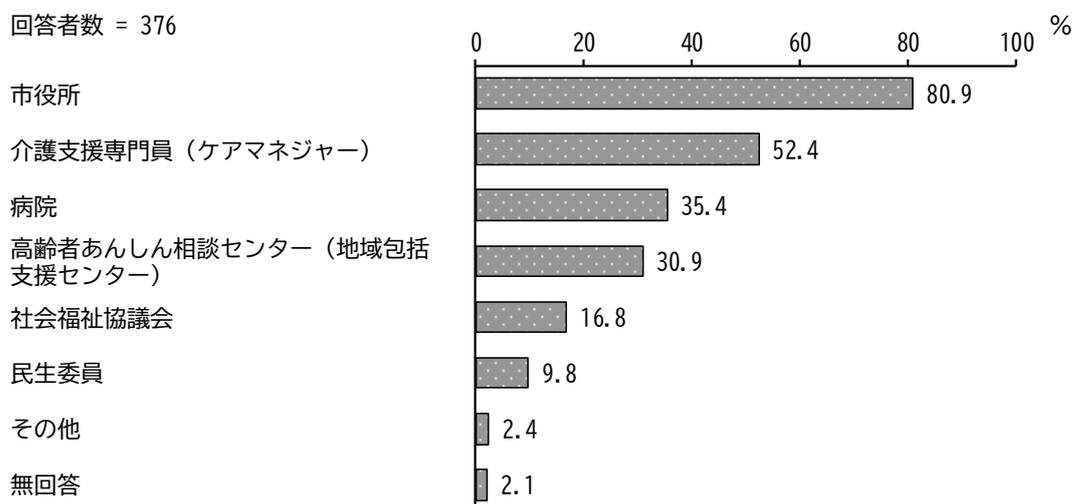
年齢別にみると、55～59歳で「介護休暇制度」「介護休業制度」の割合が高くなっています。



7 家族が介護を必要になった時について

(1) あなたの家族が生活の支援が必要となり、介護サービスを受ける必要性が出た場合の相談先として知っているところはどこですか [〇はいくつでも]

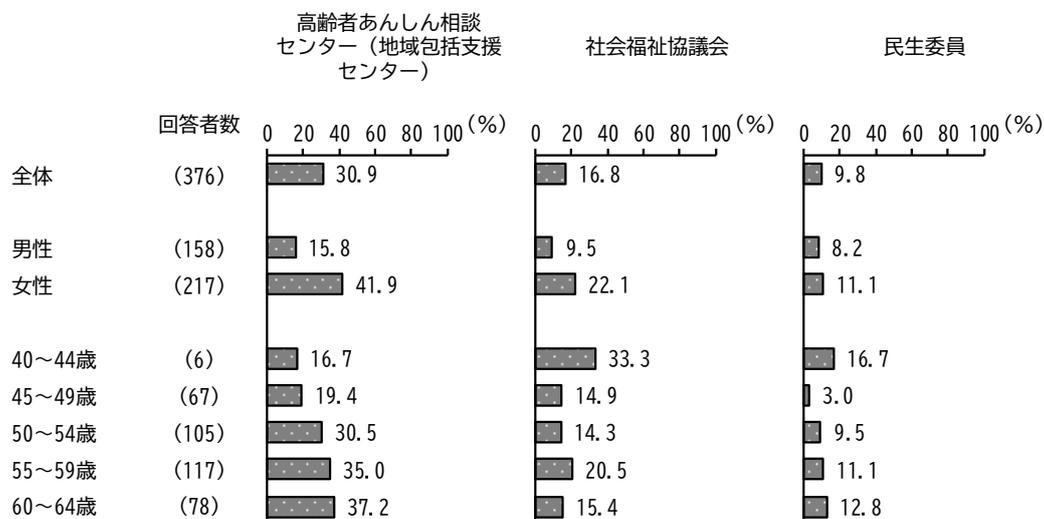
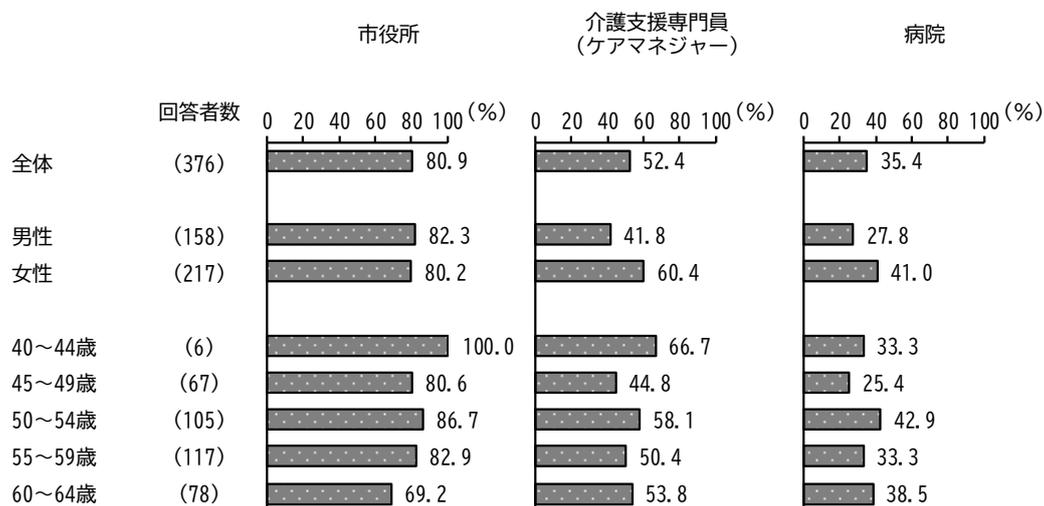
「市役所」の割合が80.9%と最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）」の割合が52.4%、「病院」の割合が35.4%となっています。



【性別・年齢別 上位6項目】

性別にみると、女で「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」「介護支援専門員（ケアマネジャー）」「病院」の割合が高くなっています。

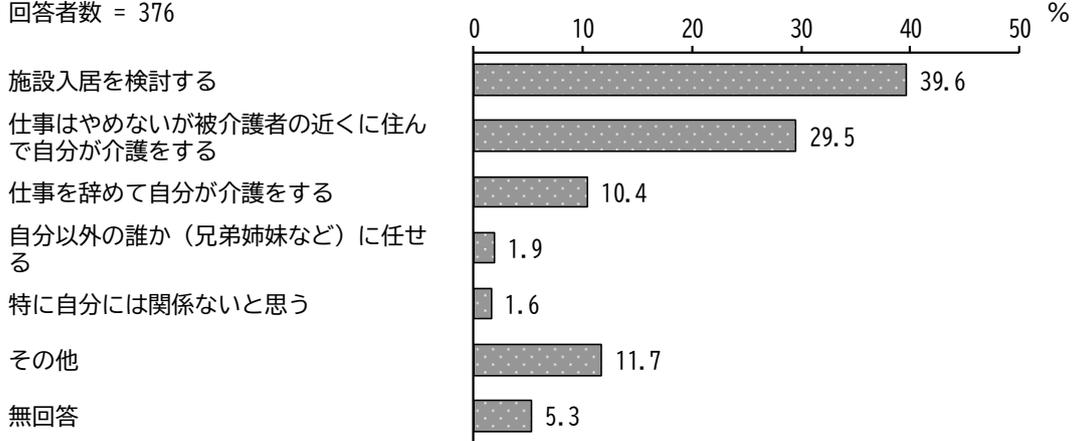
年齢別にみると、50～54歳で「病院」「市役所」の割合が、60～64歳で「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」の割合が高くなっています。



(2) あなたの家族が、介護が必要になり、あなたが介護をしなければならない場合、あなたは以下のどれを選択しますか (○は1つだけ)

「施設入居を検討する」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「仕事はやめないが被介護者の近くに住んで自分が介護をする」の割合が 29.5%、「仕事を辞めて自分が介護をする」の割合が 10.4%となっています。

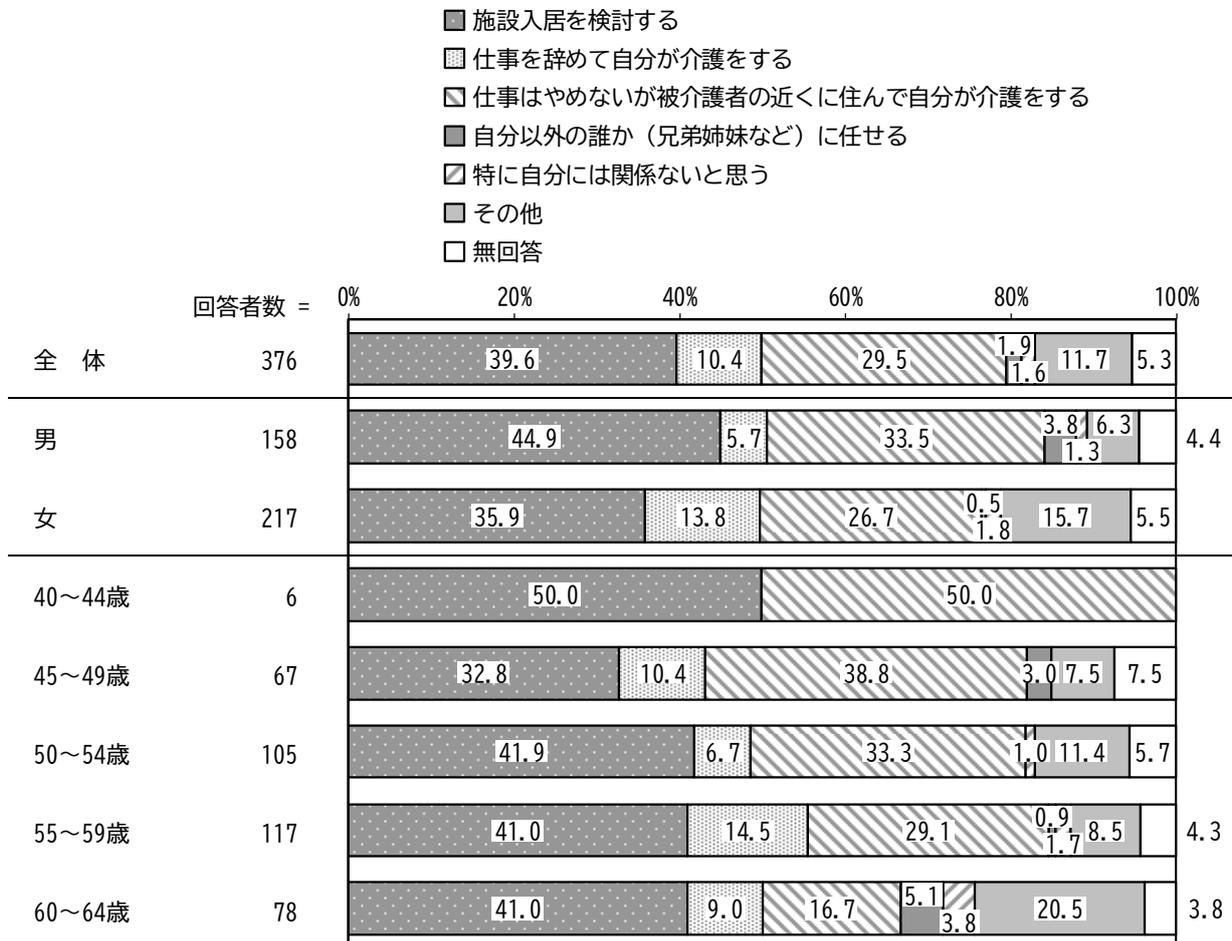
回答者数 = 376



【性別・年齢別】

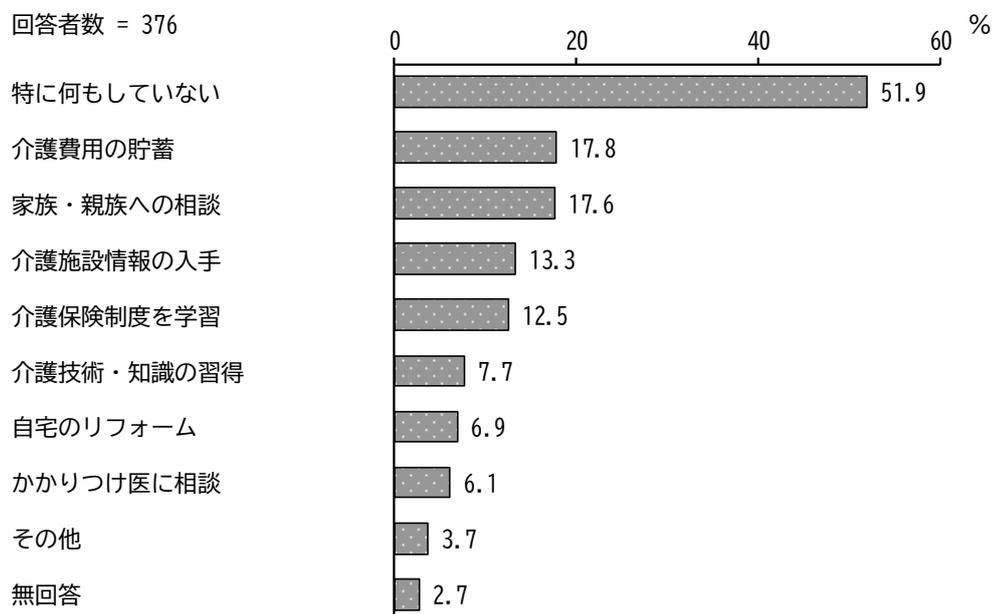
性別にみると、男性で「施設入居を検討する」「仕事はやめないが被介護者の近くに住んで自分が介護をする」の割合が高くなっています。また、女性で「仕事を辞めて自分が介護をする」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、45～49歳で「仕事はやめないが被介護者の近くに住んで自分が介護をする」の割合が高くなっています。



(3) あなたが、家族の介護に備えて準備していることはありますか。[○はいくつでも]

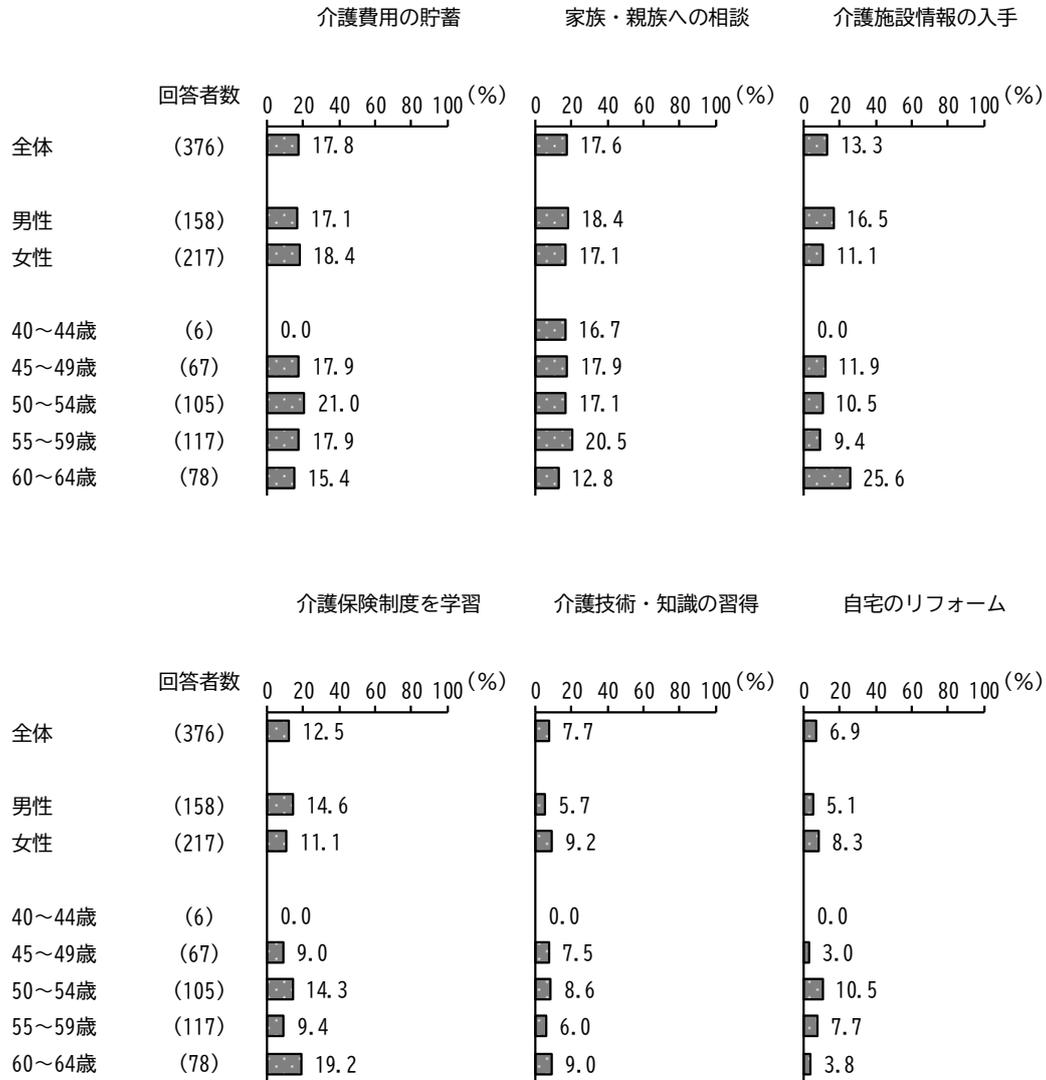
「特に何もしていない」の割合が51.9%と最も高く、次いで「介護費用の貯蓄」の割合が17.8%、「家族・親族への相談」の割合が17.6%となっています。



【性別・年齢別 上位6項目】

性別にみると、大きな差はみられません。

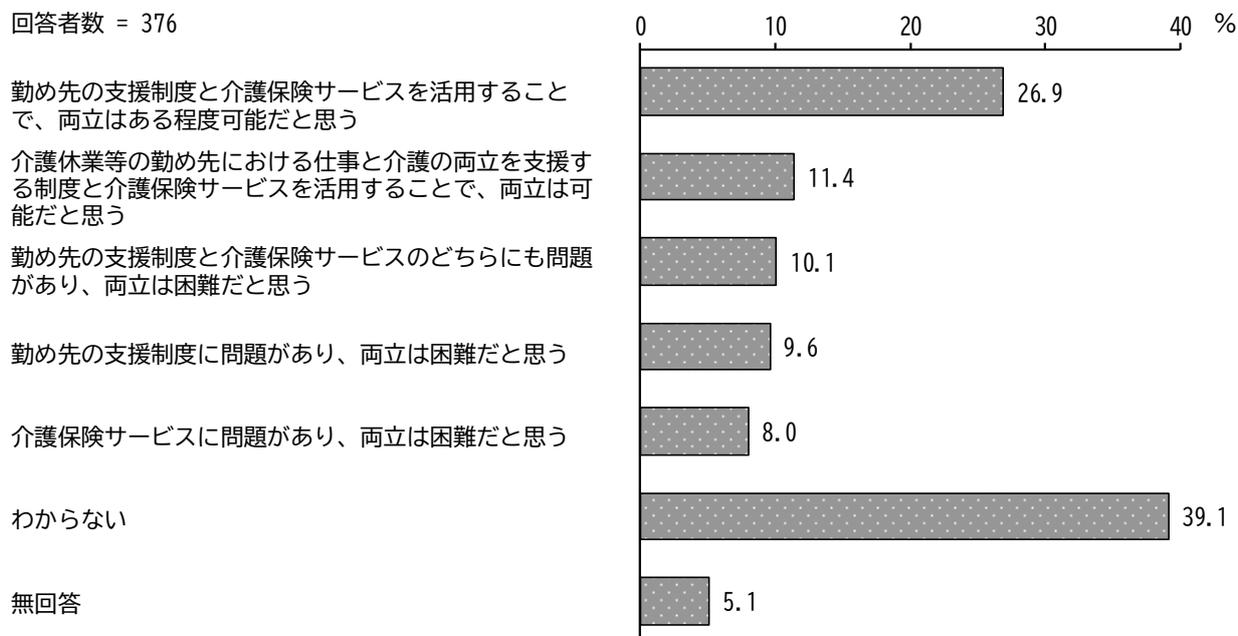
年齢別にみると、60～64歳で「介護施設情報の入手」「介護保険制度を学習」の割合が高くなっています。



(4) あなたは、家族の介護と仕事の両立についてどのようにお考えですか。
 [〇はいくつでも]

「わからない」の割合が39.1%と最も高く、次いで「勤め先の支援制度と介護保険サービスを活用することで、両立はある程度可能だと思う」の割合が26.9%、「介護休業等の勤め先における仕事と介護の両立を支援する制度と介護保険サービスを活用することで、両立は可能だと思う」の割合が11.4%となっています。

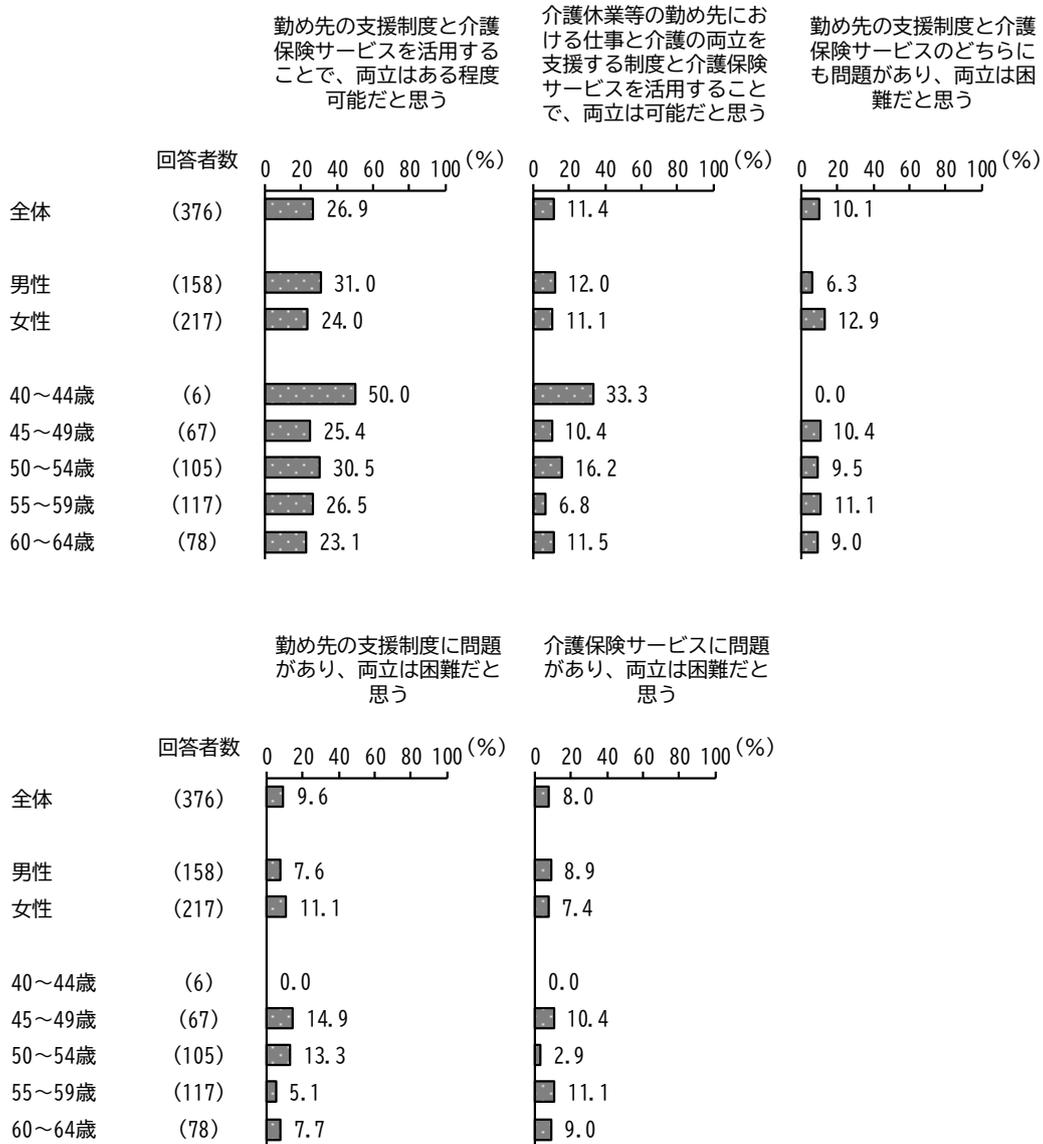
回答者数 = 376



【性別・年齢別 上位5項目】

性別にみると、男性で「勤め先の支援制度と介護保険サービスを活用することで、両立はある程度可能だと思う」の割合が高くなっています。また、女性で「勤め先の支援制度と介護保険サービスのどちらにも問題があり、両立は困難だと思う」の割合が高くなっています。

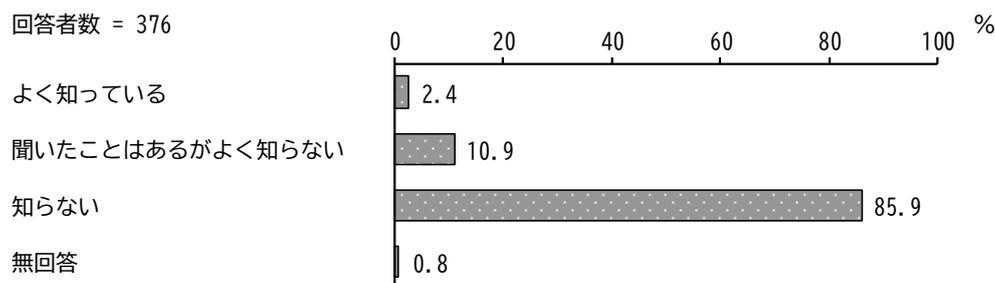
年齢別にみると、大きな差はみられません。



8 ACP：アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について

(1) もしものときのために、望む医療やケアについて、前もって考え、ご家族など信頼できる身近な方やかかりつけ医などと話し合い、共有する取組を「ACP:アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」と呼び、推奨されています。あなたはこの「ACP、人生会議」について知っていますか。[○は1つだけ]

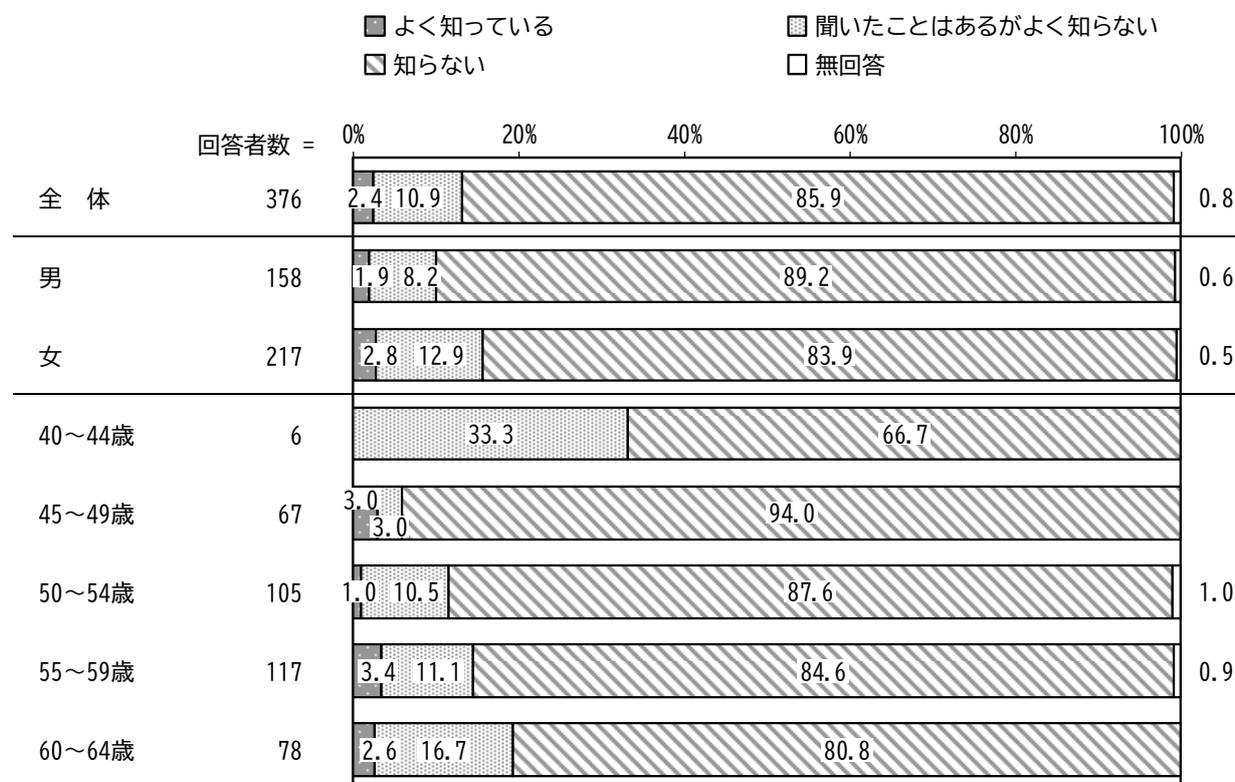
「知らない」の割合が 85.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」の割合が 10.9%となっています。



【性別・年齢別】

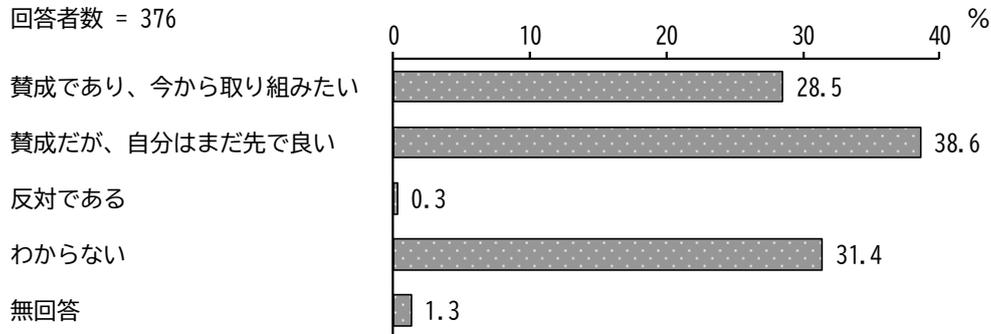
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、45～49歳で「知らない」の割合が、60～64歳で「聞いたことはあるがよく知らない」の割合が高くなっています。



(2) このように「もしものとき」に備えて、話し合いを進めることについて、あなたは
どう思いますか。[○は1つだけ]

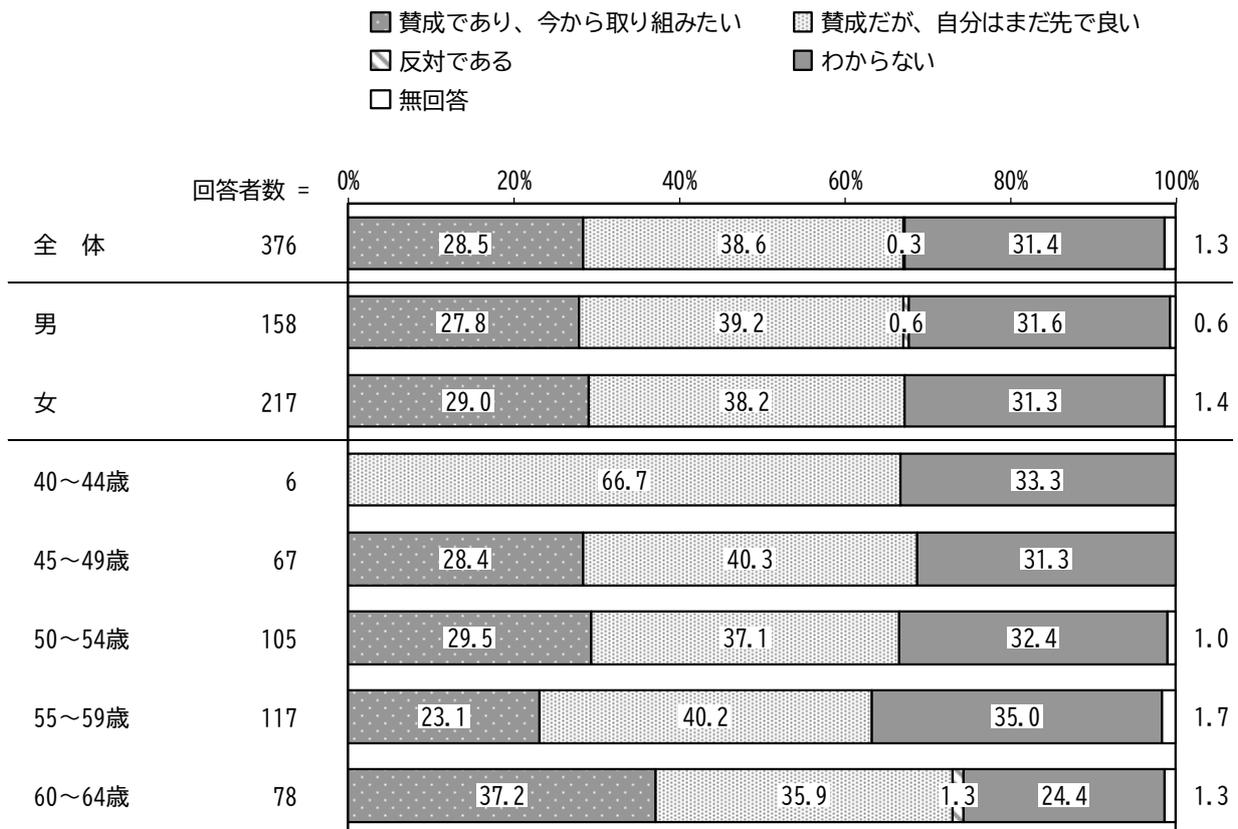
「賛成だが、自分はまだ先で良い」の割合が38.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が31.4%、「賛成であり、今から取り組みたい」の割合が28.5%となっています。



【性別・年齢別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、60～64歳で「賛成であり、今から取り組みたい」の割合が高くなっています。



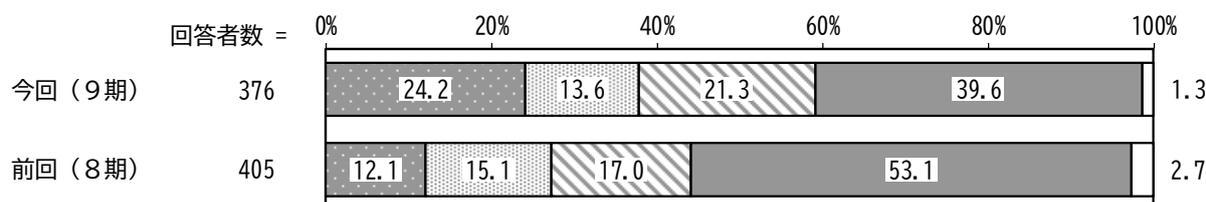
9 その他

(1) 市では、高齢者の生活全般の相談窓口として「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を、市内を5つの圏域に分けて、圏域ごとに1か所ずつ設置しています。あなたが高齢者あんしん相談センターについてご存じなことについて、最も近いものを選んでください。[○は1つだけ]

「センターの存在をこのアンケートで初めて知った。」の割合が39.6%と最も高く、次いで「センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。」の割合が24.2%、「センターの名前は聞いたことはあるが、センターが何をするとところかはよくわからない。」の割合が21.3%となっています。

前回と比較すると、「センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。」の割合が増加しています。一方、「センターの存在をこのアンケートで初めて知った。」の割合が減少しています。

- センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。
- ▨ センターの存在や機能は知っているが、住所地を担当するセンターがどこにあるのかまでは知らない。
- ▨ センターの名前は聞いたことはあるが、センターが何をするとところかはよくわからない。
- センターの存在をこのアンケートで初めて知った。
- 無回答

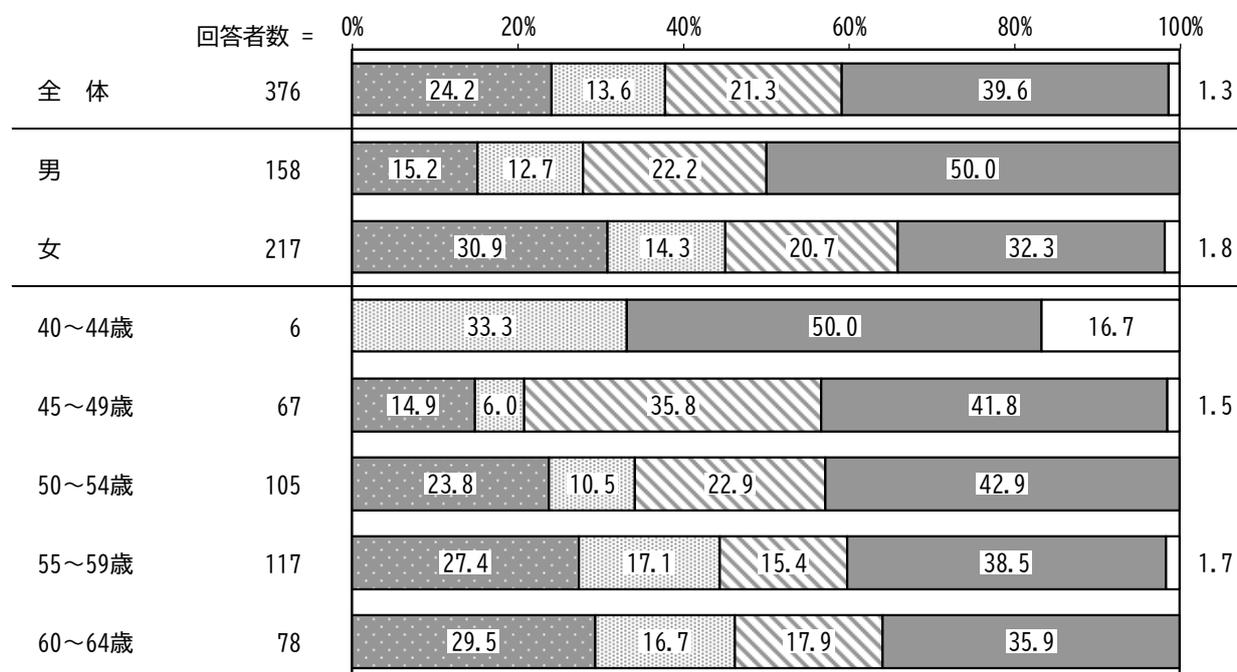


【性別・年齢別】

性別にみると、男で「センターの存在をこのアンケートで初めて知った。」の割合が、女で「センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、45～49歳で「センターの名前は聞いたことはあるが、センターが何をするとところかはよくわからない。」の割合が、60～64歳で「センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。」の割合が高くなっています。

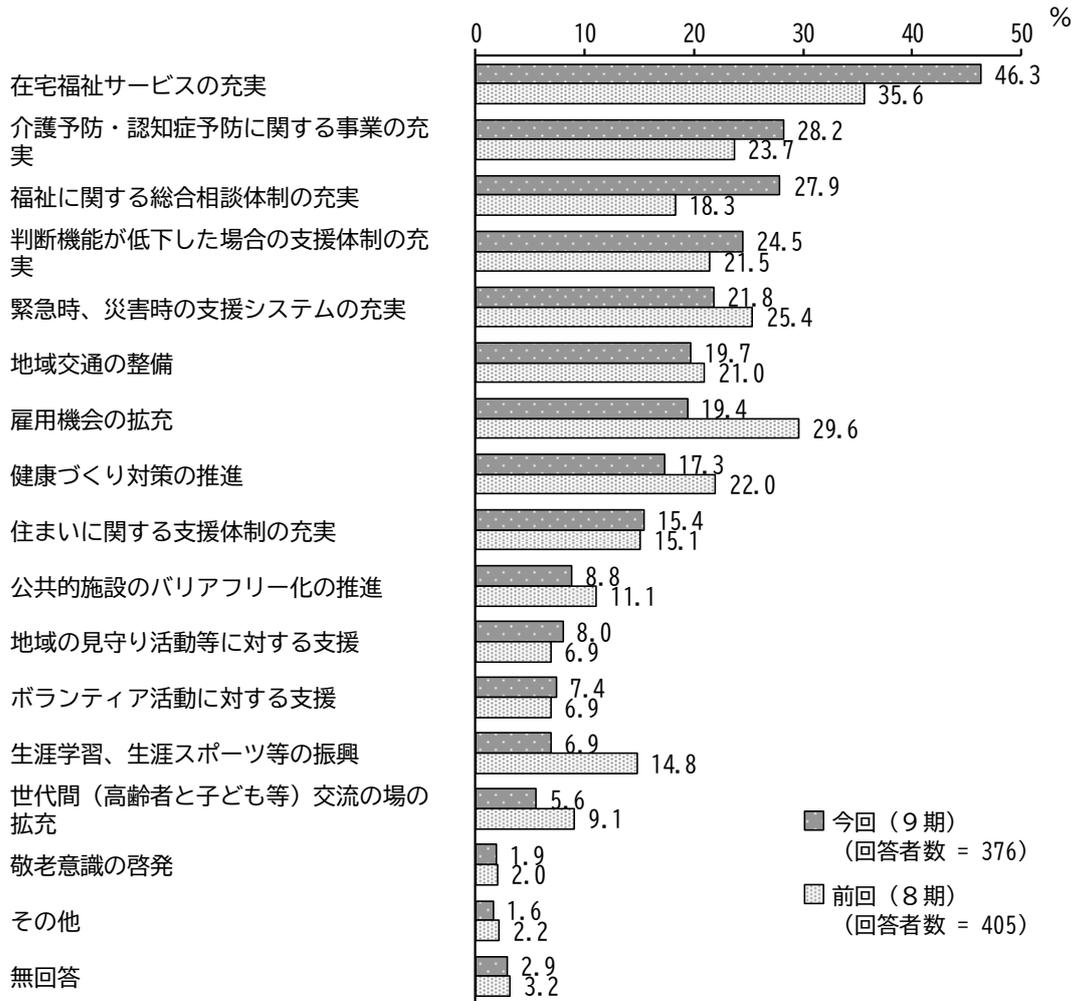
- センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。
- ▨ センターの存在や機能は知っているが、住所地を担当するセンターがどこにあるのかまでは知らない。
- ▩ センターの名前は聞いたことはあるが、センターが何をするとところかはよくわからない。
- センターの存在をこのアンケートで初めて知った。
- 無回答



(2) 市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。[○は3つまで]

「在宅福祉サービスの充実」の割合が46.3%と最も高く、次いで「介護予防・認知症予防に関する事業の充実」の割合が28.2%、「福祉に関する総合相談体制の充実」の割合が27.9%となっています。

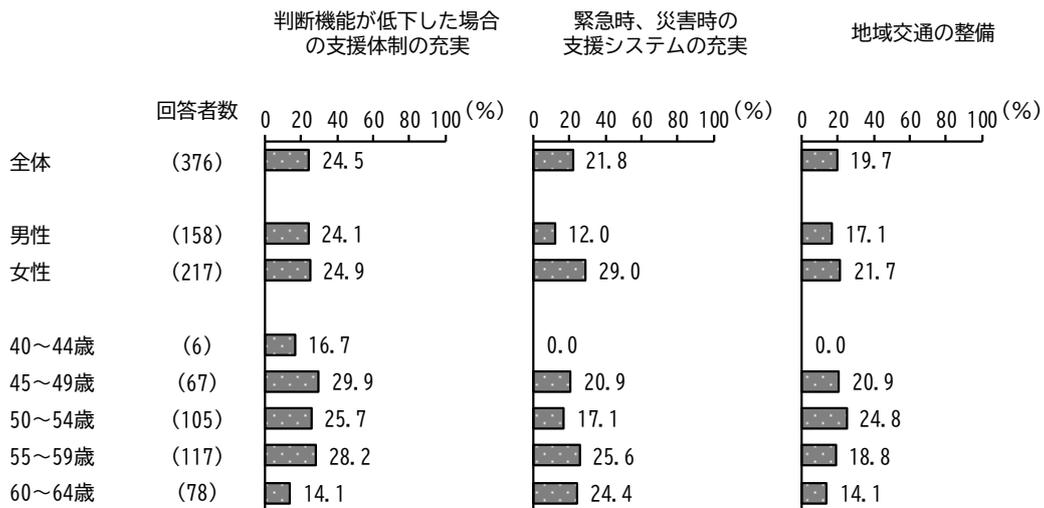
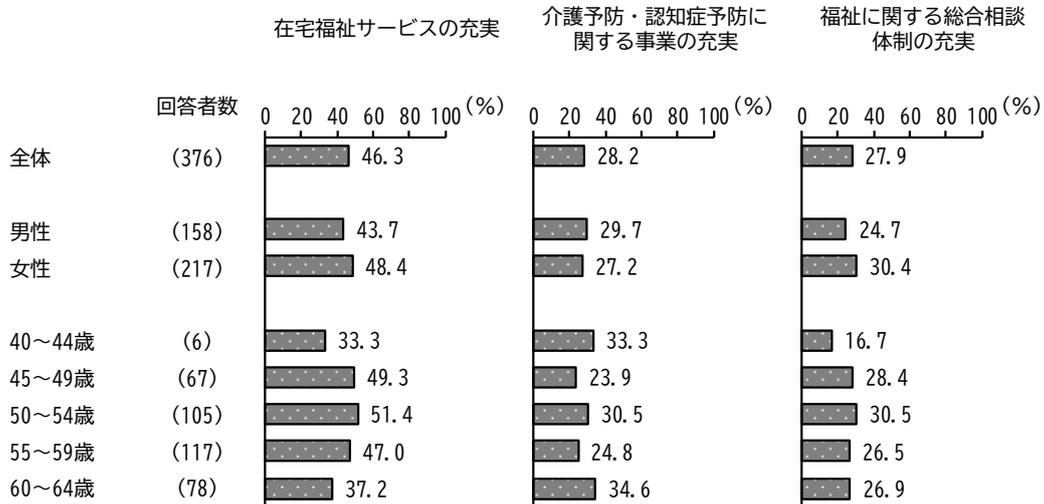
前回と比較すると、「在宅福祉サービスの充実」「福祉に関する総合相談体制の充実」の割合が増加しています。一方、「雇用機会の拡充」「生涯学習、生涯スポーツ等の振興」の割合が減少しています。



【性別・年齢別 上位6項目】

性別にみると、女で「緊急時、災害時の支援システムの充実」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、60～64歳で「介護予防・認知症予防に関する事業の充実」の割合が高くなっています。



その他、介護保険制度や高齢者施策について、ご意見等があれば自由に記載してください。

区分	件数
1 高齢者施策について	16
2 制度に対する情報提供について	10
3 介護保険料・利用者負担・利用限度額等について	8
4 施設サービス・施設設備について	3
5 要介護認定について	4
6 バリアフリーについて	2
7 介護サービスについて	15
8 アンケート調査について	5
9 その他	4

1 高齢者施策について

- ・認知症予防の講座に気軽に参加できるシステムがあると嬉しいです。高齢者施策も大切ですが、障がいをもった方々の運動プログラムがあるとよいと思います。パーソナルトレーニングだとなおよいと思います。高齢者も障がいを持った方も太りやすかったり健康増進の意識が薄かったりするので大事な取組みと考えます。運動がストレスを解消したり健康への意欲を高めることができると思います。健康寿命を伸ばす取組みをよろしく願います。心より期待しています。ありがとうございました。多職種連携をはじめ、市町村を超えるといろいろと情報共有しがたい。ICT化についても、市町村を超えると対応が難しい。手続き等の情報もなかなかわからない。一人の人、またその家族、生活環境など世帯を含め、トータルで何かの支援が必要となったと思われる場合に、相談先や支援内容など情報がうまくつながらない、わからない。
- ・父母ともに介護認定を受け、去年まで働きながら在宅介護及び介護施設をフル活動しておりました。私の当時の勤務先は介護施策が充実しており時短やフレックスを利用しながら12年介護をしました。一番困ったのはデイサービスから16:00ころ戻り、東京の勤務先から戻るまでの19:00まで誰も見てくれる人がいないことでした。歩けるうちはよかったのですが、車いす生活になってからはトイレ、食事などが非常に難しく、大人の学童保育みたいなものがあるといいのにといつも感じておりました。介護のおむつ(6000円くらいまで)の補助は大変助かりました。父母は年金がなかったため、私の収入からすべての介護にかかわる費用、入院費用などを出していましたので、高単価のおむつ補助は良いしくみだと思います。今後ますます介護の重要性が増すと思います。介護スタッフの処遇改善、労働環境整備に税金を使ってほしいです。
- ・長年、志木に住んでいますが、高齢者には優しくない土地だと思います。子育て支援などは力を入れているようですが、お年寄りに対してももう少し住んでいてよかったと思えるようなまちづくりをお願いします。石像のカップを作ったり市役所を新設したりして喜んでいるのは宗岡の人と、昔から志木に住んでる地元の人だけです。税金で無駄なものは作らないでほしいです。
- ・音楽療法士として高齢者への音楽レクリエーション活動(歌う・簡単な楽器を鳴らす・音楽に合わせて軽く手足を動かすなど)を提供しています。そういう機会(ボランティア、

いわゆるノーギャラではなく)を行うにはどのような施設や市の担当部署に問い合わせたらよいのか知りたいです。

- ・高齢者が買い物に行くときの(車がない人の)不便さ。スーパーが遠い。衣料品店が遠い。移動販売車をもっと増やして高齢者の健康管理などできないでしょうか。自分が年を取り、足が自由に動かなくなった場合、ひきこもるしかないのだと思っております。お金がある人はタクシーを使ったり、有料見守りサービスを受けることもできますが、食べていくのに精一杯の老人は静かに、けがをしないよう、病気をしないように息をひそめて暮らしているように思えます。同居していない限り何も助けてあげられない世の中だと思っております。
- ・少子高齢化が加速している一方、介護などを担う支え手(福祉ワーカー等)が増える見込みは少ないと思われる。2040年が高齢社会のピークと言われているが、現行のケア体制を維持していくことは財政面においてもマンパワーなどの体制面においても相当厳しいと思われる。こうした中、これまでのように健康寿命を超え、認知能力はもとより身体能力も落ちた人に対し、ただただ存命させることを第一に支援することが妥当なのか再考すべき時期にきていると考える。私見では、個々人の意思に基づき、厳格な要件のもと、安楽死の選択を認め、尊厳のある人生の終え方を肯定できる社会環境をつくるべきと考える。高齢者を支える人たちが明らかに減少する中、成り立たない包括ケア体制を維持しようと努力する心意気は理解できるが、それは単なる根性論であり、かえって対象となる高齢者を失望させることになると思う。
- ・義理の父母は義兄夫婦が同居していたため見てくれていますし、体調は急に悪化しますし、病院を退院してもとても自宅では介護できない状況でした。義父母が同時にそのようなことになってしまうとすぐに入れる施設が無いのは大変困りました。幸い少し経って入れたのでよかったです。実際施設に入るにも高額で入所をためらう家族がたくさんいることも大変憂えるところです。私の父は91歳になるまでこちらから東京まで働きに出ておりました。高額介護保険料(月5万円くらい)を支払っても使っておりません。そのような人には還付されてもよいように思われますが、いかがでしょうか。どうか高齢者が住みやすく豊かに生活していけるようお考え下さい。
- ・これからの時代は子どもがいても当たり前前に介護をしてもらうという時代ではないと思うので、単身住まいの高齢者が増えると思います。役所が希望する人には所在確認や状況に応じた対応をしてほしいと思います。高齢者専用のアパートなどを志木市がつくって、そこに安く入れるようにすれば管理もしやすくなり、孤独死も防げると思います。長い間税金もきちんと払ってきているので安心して最後を迎えたいものです。
- ・今回コロナ禍で65歳以上は医師の診断が必要だったが、車もなく発熱外来の予約もできず、大変苦労した。市でそのようなケアをしてもらえると助かります。父、自転車で転倒しながら通院。母はハース登録せず、通院しなかった。
- ・信頼できる、安心して相談できるケアマネジャーを紹介してほしい。高齢者あんしん相談センターのケアマネジャーはよかった。母が要介護1になったらケアマネジャーを変えなければならないと言われ、他の人になりましたが、なかなか自分で良いケアマネジャーをさがすのは困難です。ケアマネジャーは不足しているのでしょうか。

2 制度に対する情報提供について

- ・介護保険制度や高齢者施策の取組みが幅広く知識や情報が知ることができると幸いです。広報やインターネット配信（メール配信）の充実は、嬉しいです。コロナ禍で高齢の母がなかなか外出できませんが、情勢が落ち着いたら、仲間づくりを目的とした活動や習い事があるとよいと思います。
- ・介護休暇制度を取得しやすい支援を行政側からも企業（雇用する側）へ働きかけをしてほしいです。
- ・相談窓口の一本化。いろいろのところに分断しないでほしい。
- ・高齢者あんしん相談センターについて、名前は聞いたことはあるが、実際どこでなにをしているのかよくわからない。知っていればいざというとき利用できると思うのもっと市民に認知させるべきだと思います。
- ・いつも長寿応援課の職員の方々は、どのような質問でも調べてわかりやすく教えてください。ご自身もパンデミックの中で働かれているのに一方的に頼ってしまっているが、本当にありがたいことだと思っている。今、家族が様々な介護と医療サービスを受けられているのは全て志木市福祉部長寿応援課の職員の皆様のおかげです。アンケートの場を借りて失礼しました。ありがとうございます。
- ・私は11年前に母親の介護をしていました。職場に介護休暇を申請しましたが契約社員だったのでダメでした。いろいろ考えて悩んで退職しました。介護保険や福祉サービスを利用しながら取り組みましたが、結局、貯金を切り崩しての生活でした。母は割と早く亡くなってしまうましたが、もしあの状態がもっと長期間になっていたらと思うと今も恐いです。生活の不安、私のメンタル等。頼れる行政であってほしいです。これからも、もっともっと。
- ・当事者にならないと、実感しないところがあるので、気軽に閲覧検索できるとよいと思います。構えていると入りづらいため。原資のかかることですががんばってください。
- ・朝霞市にあるわくわくドームのような施設、特にスイミングプールなど健康維持のための施設を整えてもらいたい。
- ・中小企業等、少人数の会社の場合どんなに会社に理解があっても長期の介護は無理だと思います。実際会社を辞めざるを得ませんでした。高齢者が増えている今、育休と同じように、長期休暇が取れるよう、法律上の整備が必要だと思います。中小企業は資金に余裕が無いため、ギリギリの人数で労働を担っているため、ケアマネジャーの立ち会いとかで会社を抜ける場合でも、相当な神経を使います。結果、退職するしか道はなくなります。高齢化社会で、介護退職が無くなるようになっていけば幸せです。仕事を辞めても家族が介護していけるのが一番よいのでしょうか。
- ・このアンケートで初めて耳にする制度や、センターがあった。「介護しながら、仕事ができるか」という項目があったが、在宅勤務が増えており、在宅勤務しながら介護が可能か否かは、直面してみないと判断できないと感じた。事例など、もっと目につく方法でいろいろな方法で広げてほしいと思います。

3 介護保険料・利用者負担・利用限度額等について

- ・世帯は別ですが、母と私（息子）の2人暮らしです。母がアルツハイマー型認知症と診断されたのは3年前です。私も同時期に適応障がいだと心療内科に診断され、現在も治療中で会社も退職して無収入の状態です。今は母の年金で2人生活していますが、母の認知症の状況が進行し、デイサービスや施設入所などを検討しないと、私も介護、家事で疲労が重なり、体調が戻らずにあります。母の年金だけでは施設の利用を捻出できず、生活苦に陥っています。ケアマネジャーからも生活改善の提案はできるが、金銭面は助けることはできないと言われました。もちろん承知のことです。この先どうしたらよいか悩んでおります。昨年、市役所へ生活保護の相談をしましたが、母の年金が基準の11万円をオーバーしていることから受け付けていただけませんでした。何か良い手段はありますでしょうか。
- ・介護保険を払っていてサービスを受けようとする利用分に対して支払いがある。それもかなりの金額のよう。中には状態により1割、2割などのように利用できるものもあるようだが、デイサービス、医療など大変そうだ。どのように考えるのか。
- ・現在、国において介護保険法の改正により、介護サービスの利用料の増額（1割→2割？）が検討されているがとても理解しがたい。市として何らかの対応策や要望をあげてほしい。
- ・いろいろなモデルケースがあると思いますが、それぞれの家庭、状況によって細かいケアや保障制度等を考え、実行するべきだと思います。近年はだいぶサービス等増えてきていると思いますが、全然足りていないです。介護は本当に大変なのです。人生や生活すべてが変化します。働きたくても時間的に制限があるため、短時間でしか働けません。短時間でも時間によっては働ける場所が限られてしまいます。必然的に収入も少なくマイナスで生活、貯金を崩したりすることになっています。こういった状況の家庭用に少しでも保障できる制度があると助かります。もちろん審査や面談等は必要ですが、いくらでも受けまますし、申請等も自分でできることすべてやります。デイサービスも費用がかかるので、保障でお金が出るかデイサービスの利用枠が免除になるかとか、そういった制度があったらよいと心から思います。国の政策になるのかわかりませんが、10人いたら10人の介護の在り方だと思います。ケースバイケース、臨機応変にご対応いただけること切に願います。状況は厳しく切実です。介護の現状、わかっていない方々ばかりといいますが、多いです。少しでも改善できますよう願っています。

4 施設サービス・施設設備について

- ・近所の方がこの度高齢者施設に入るといっているので調べたときに、何とか支払えるところは順番待ちだとか、夫婦そろっての入居施設だととても払えないと言っていた。介護有無にかかわらず、自宅で過ごしていく以外の選択肢がふえると良いなと思います。
- ・地域包括支援センターを充実させてほしい。ケアマネジャーを個人で探すのは大変。その後の施設選びも難しい。市内の施設一覧があると助かる。
- ・志木市の高齢化を考えると特別養護老人ホームを増やせたらよいです。地元の民生委員の方は一生懸命やっけていただいています。それでも高齢者のみで生活をしている方は介護保険や行政で行う支援等を知らないでいる方がおられるように思います。高齢だとインターネット等も使えないし、市役所まで行くのが困難な場合もあります。ですから、支援の情報をもとめた冊子等の配布はないのでしょうか。介護の制度は難しいです。1冊に介護保険制度だけでなく行政で行っている手助けなどもまとめていただけると助かります。

5 要介護認定について

- ・介護認定はおりないが、自分たちだけでは買い物も通院もできない85歳以上の高齢者たちの支援を充実してほしいです。よろしくお願いします。(運転免許を安心して返納するためにも必要だと思えます。)
- ・介護の認定が厳しすぎると感じるのももう少し甘くしてほしい。認定者は介護者にももう少し寄り添う気持ちをもってほしい。認定者は365日介護をやったことがあるのか。
- ・現在、父が要支援2、母が要介護4で母は施設へ入居。父と生活している。母の現在の状態にてネットで調べたところ、「障害者控除対象者認定書」や「介護保険負担限度額認定」というのがあった。母の状態で(父の状態等ふくめて)経済的な制度等を専門の担当者がわかりやすく説明してほしい。(例:母担当のケアマネジャーや父担当の相談員が自宅に来て説明するなど)父は身の回りのことはできるが家事等は私が行っている。私は数年前より体調を崩して仕事ができなくなった。その間に母が入院、施設へ入居。私は現在も体調が悪く家事等を行うのが精いっぱい。仕事をしていないので収入なし。両親の年金等で生活している。私のような体調が悪く(特定の病気等ではない)仕事ができない中、親の介護(介助、見守り等)をしながら家事等をしている人に対しての経済的支援、または保障はないものか。あるなら知りたい。制度がなければ作ってほしい。介護保険制度や高齢者施策も大事なことだが、介護する側の人のことをもっと考えてほしい。
- ・周りから聞いた話ですが、ケアマネジャーによって全然対応、また介護の支援(要支援1、2)とかそのケアマネジャーが少しいい加減だと適当だと全然違うみたい。また、その高齢者のつながりでその地域だけは良いサービス、支援を受けているみたいな話を聞きましたが、見えてない部分もあるので、念入りに見に来たりしてほしいです。

6 バリアフリーについて

- ・高齢者でも外出がしやすいよう、歩道の整備をお願いします。少しの段差でも転倒してしまうと思うので。歩きやすければ自分で買い物にも出かけられると思います。デマンドのタクシーを時間予約できるようになればと思います。町の中にきれいなベンチが各所にほしいです。高齢の母は歩けますが、10分おきに休みたくなるので、そんなベンチがあれば、もっと外出できるのではと思います。
- ・高齢者が多くいるので、いすなど、施設など休憩施設をつくってほしい。

7 介護サービスについて

- ・問7に「相談先」とあったが、今年は市役所の共生社会推進課でとても嫌な思いをした1年でした。担当者も3人代わり、去年末は社会福祉協議会の人にも電話口でどなられ、電話もこの一年でなくなり、何が社会福祉なのか全然わからない。こんな人に相談しなければと思うと、自分が嫌になります。
- ・その時になってみないとわからないが、介護しなければならぬ人が多い世帯は先が見えない不安がのしかかっている。自分の体も大事だし、家族をささえられるか不安。
- ・今回知ったことがあったので良かったです。これからもよろしくお願いします。

- ・2022年12月18日（日）母83歳が脳出血で救急搬送回復の見込みがなさそうです。1月か2月に療養に転院（リハビリは無理そうです）しなければならず、今後どうなっていくのか全くわかりません。自宅で介護になるのか、それ以前に退院できるのか、（コロナ禍で面会もできません）見通しありません。そういった状況で市や地域からのサポートがあるのでしょうか。不勉強のため、全く存じ上げません。母の入院（このままずっと）と自身の生活が両立できるのか、（私は派遣で教員をしています）何かお知恵があるのでしたら拝借したいと存じます。今の私はといえば、これから発生する入院費がどのくらいなのか、このままずっと支払い続けることが可能なのか（年齢的に）、考えております。また、母の自宅においても介護の環境がなく、日常生活にも支障がありそうです。
- ・家族に介護が必要な人が出たとき、できること、できないことは各家庭で様々です。「これくらいできますよね」という先入観や押しつけがないよう、軽微だと思われる作業も介護しているものに寄り添い、公的・民間も含めてサービスの選択肢を幅広く提示してほしい。
- ・いろいろと勉強していかないとと思いました。（セミナーとかありますか）。結構知らない人など多いのではないのでしょうか。自分が勉強不足なのではないでしょうか。
- ・制度が難しいので手続きをしやすくしてもらいたい。
- ・在宅介護で必要なサービスが増えてほしい。介護の仕方を知りたい。ケアマネジャーに相談してもあてにならない。何から手を付けていいかわからない。介護しながら働きになんていけない。
- ・父が入院し、自宅で看取りたかったが、どうしてよいかわからず悩んでいるうちに亡くなってしまった。在宅サービスなどいろいろ調べれば父の希望にそえたかもしれません。知識不足でした。今も申し訳なく思っています。
- ・介護は突然始まるので、事前に準備をといてもなかなか難しいと思います。その時に、1つ1つ対応していける相談場所で専門員さん方等に助けていただきながらなんとか介護を続けています。1人では本当に無理だと実感しています。

8 アンケート調査について

- ・今回のアンケートで知ることができた制度をしっかりと学び、将来の準備を行いたいと思いました。
- ・母の件で大変お世話になっています。母の介護を体験してみて、大変なこともわかりました。自分がそうならないようにこれからも気を付けて生活していきたいと思っています。何か困ったときには相談させてください。よろしくお願いします。
- ・アンケートに答えるまで知らないことが多かった。志木市のTwitterなどで周知をする回数を増やすなどアナウンスを広げてほしい。
- ・本人が障がい者で施設に入っているためアンケートにお答えできません。申し訳ありません。
- ・この度のアンケートで介護保険制度を再度確認し、市の高齢者あんしん相談センターの存在を知ることが出来ました。

9 その他

- ・志木市は健康マッスルプロジェクト等があるが専業主婦（夫）など暇で健康意識が高い人が参加しやすい状況と思える。健康に興味がある人がどんどん健康になる仕組みではなく、忙しい会社員や介護者などが短期的に参加できるものも増やしてほしい。
- ・かかりつけ医というこの世に存在しない制度をあるかのように設問に入れるのはどうかと思う。
- ・上記の問題とは別ですが、今のところ必要性がないのでピンと来ない。まず自助、共助、公助の順だが、現在の住居の両隣は空き家、裏2軒も空室の状態。財産権の問題があるので市は手を出さないのはおかしい。大至急解体されることを望みます。まずは実地調査を希望します。市はどうするのか、面倒ごとはいやなのか、それでは困ります。ぜひご返答ください。
- ・永く地域とのつながりがなかった人が、高齢になりいきなり地域とつながるのはなじみにくくて難しく、人の和に入るのも大変だと思う。町内会のような場も古くからの人が自分たちだけの論理で進めているようで、新参者は入りにくい。将来身体が動かなくなった時、ゴミ出しやゴミ当番をこなせなくなるのが不安。同居の老親についても自分が働いている間はそこまで手が回らない。

第5章 ケアマネジャー実態調査（個人）

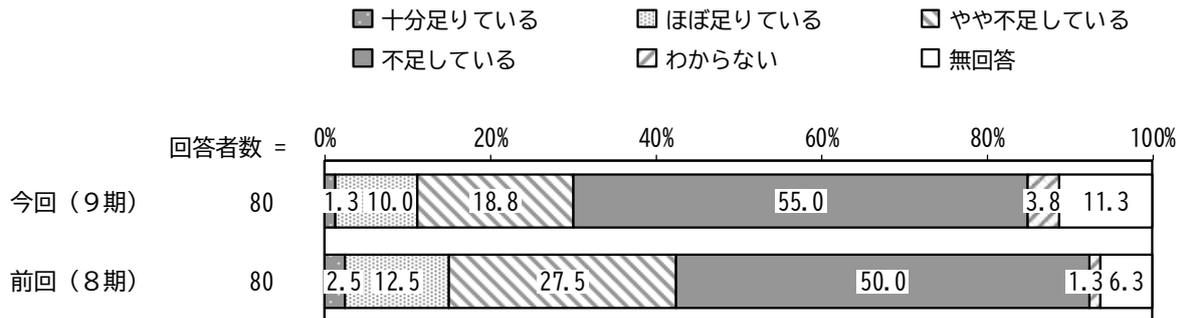
1 サービスの提供体制について

介護サービスについて、日々の業務を通じて利用者のニーズに対して、最もよくあてはまるものを選んでください。※予防サービスを含みます。

1. 訪問介護

「不足している」の割合が55.0%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が18.8%、「ほぼ足りている」の割合が10.0%となっています。

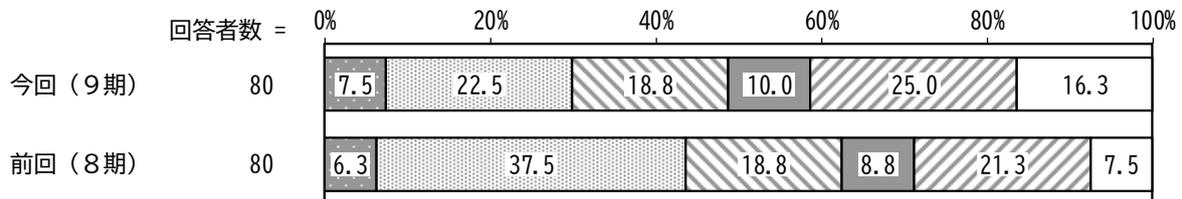
前回と比較すると、「やや不足している」の割合が減少しています。



2. 訪問入浴介護

「わからない」の割合が25.0%と最も高く、次いで「ほぼ足りている」の割合が22.5%、「やや不足している」の割合が18.8%となっています。

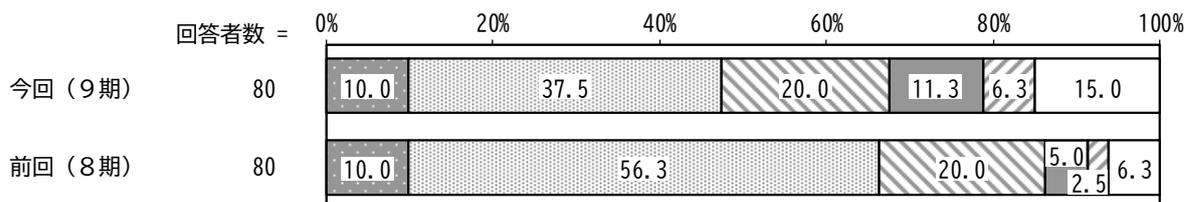
前回と比較すると、「ほぼ足りている」の割合が減少しています。



3. 訪問看護

「ほぼ足りている」の割合が37.5%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が20.0%、「不足している」の割合が11.3%となっています。

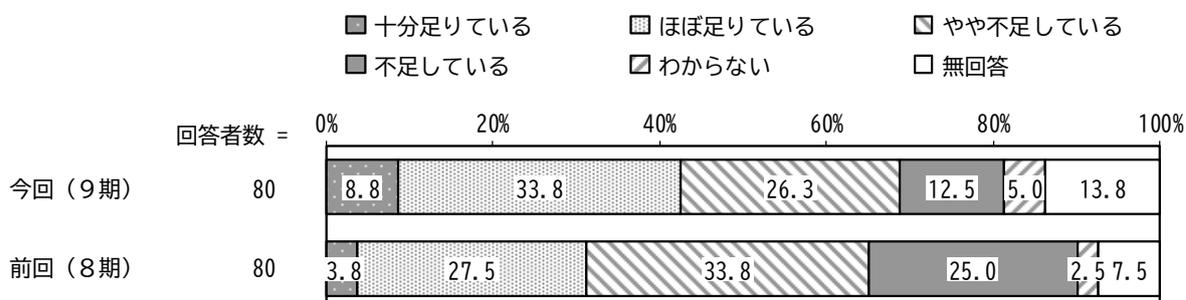
前回と比較すると、「不足している」の割合が増加しています。一方、「ほぼ足りている」の割合が減少しています。



4. 訪問リハビリテーション

「ほぼ足りている」の割合が33.8%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が26.3%、「不足している」の割合が12.5%となっています。

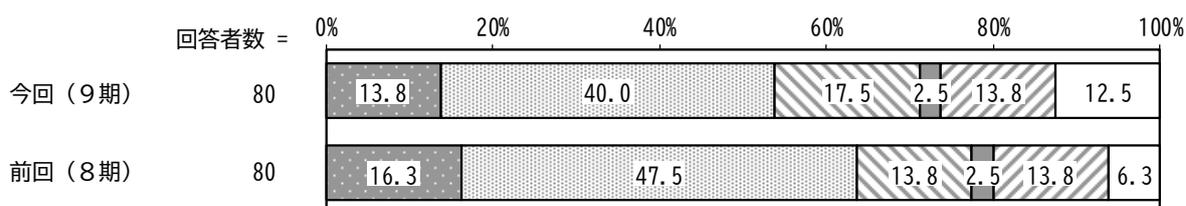
前回と比較すると、「十分足りている」「ほぼ足りている」の割合が増加しています。一方、「やや不足している」「不足している」の割合が減少しています。



5. 居宅療養管理指導

「ほぼ足りている」の割合が40.0%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が17.5%、「十分足りている」「わからない」の割合が13.8%となっています。

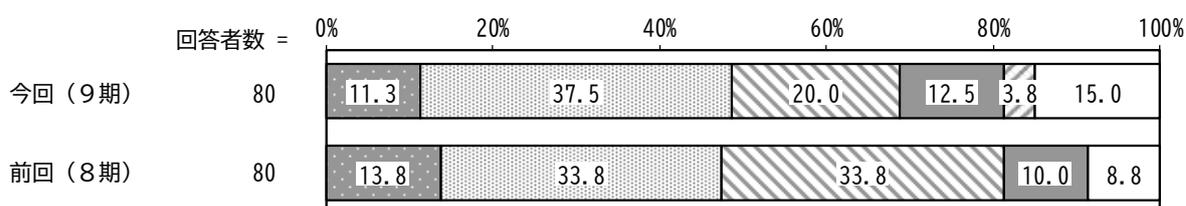
前回と比較すると、「ほぼ足りている」の割合が減少しています。



6. 通所介護（地域密着型通所介護を含みます）

「ほぼ足りている」の割合が37.5%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が20.0%、「不足している」の割合が12.5%となっています。

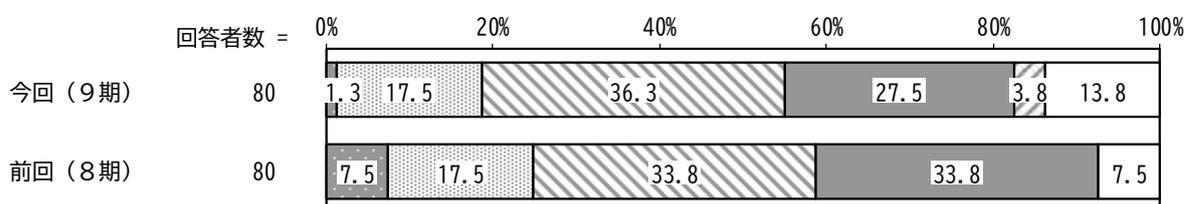
前回と比較すると、「やや不足している」の割合が減少しています。



7. 通所リハビリテーション

「やや不足している」の割合が36.3%と最も高く、次いで「不足している」の割合が27.5%、「ほぼ足りている」の割合が17.5%となっています。

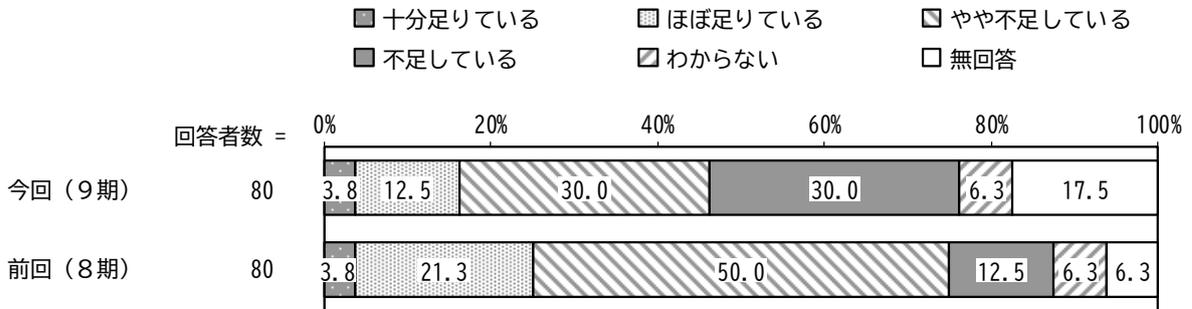
前回と比較すると、「十分足りている」「不足している」の割合が減少しています。



8. 短期入所生活介護

「やや不足している」、「不足している」の割合が30.0%と最も高く、次いで「ほぼ足りている」の割合が12.5%となっています。

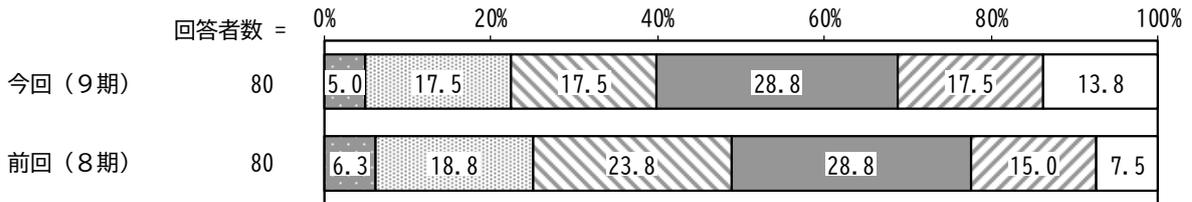
前回と比較すると、「不足している」の割合が増加しています。一方、「ほぼ足りている」「やや不足している」の割合が減少しています。



9. 短期入所療養介護

「不足している」の割合が28.8%と最も高く、次いで「ほぼ足りている」、「やや不足している」、「わからない」の割合が17.5%となっています。

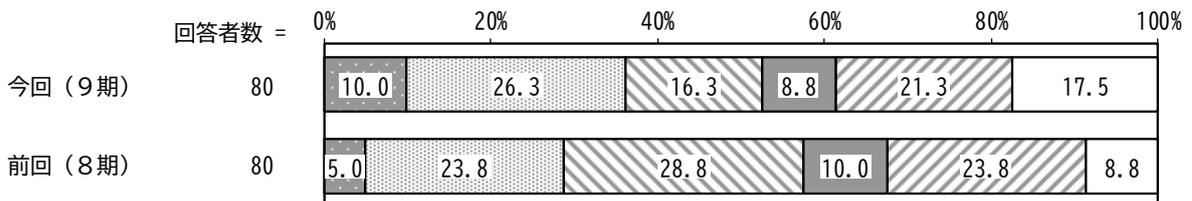
前回と比較すると、「やや不足している」の割合が減少しています。



10. 特定施設入居者生活介護

「ほぼ足りている」の割合が26.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が21.3%、「やや不足している」の割合が16.3%となっています。

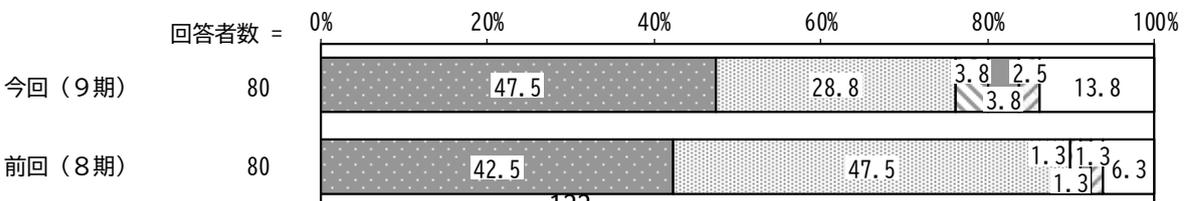
前回と比較すると、「やや不足している」の割合が減少しています。



11. 福祉用具貸与

「十分足りている」の割合が47.5%と最も高く、次いで「ほぼ足りている」の割合が28.8%となっています。

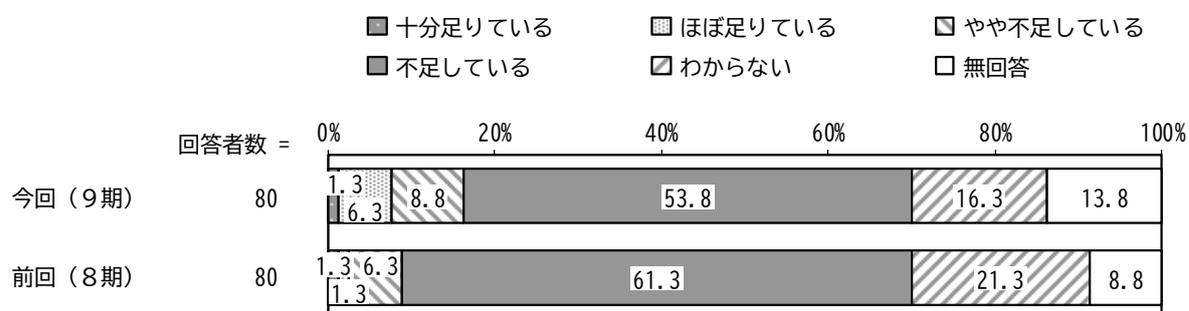
前回と比較すると、「ほぼ足りている」の割合が減少しています。



12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「不足している」の割合が53.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が16.3%となっています。

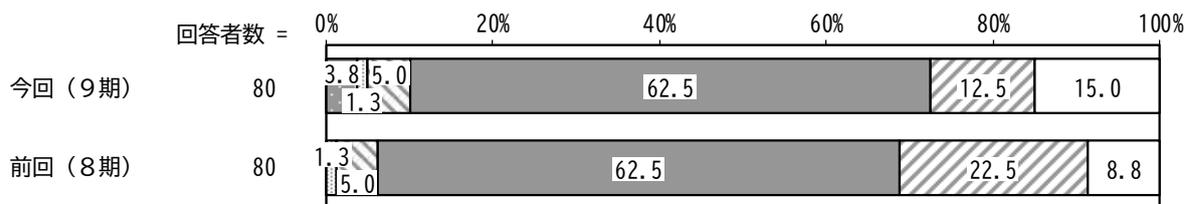
前回と比較すると、「不足している」の割合が減少しています。



13. 夜間対応型訪問介護

「不足している」の割合が62.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が12.5%となっています。

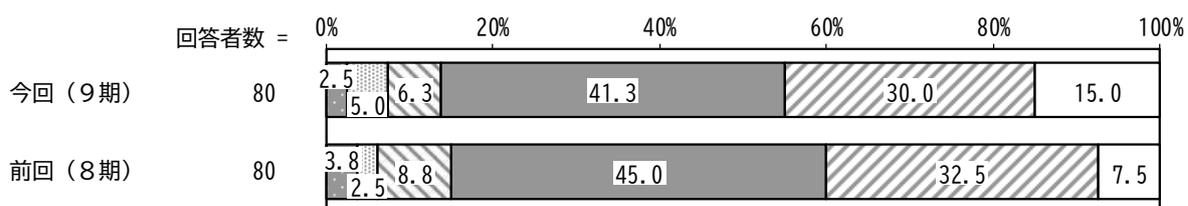
前回と比較すると、「わからない」の割合が減少しています。



14. 療養通所介護

「不足している」の割合が41.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が30.0%となっています。

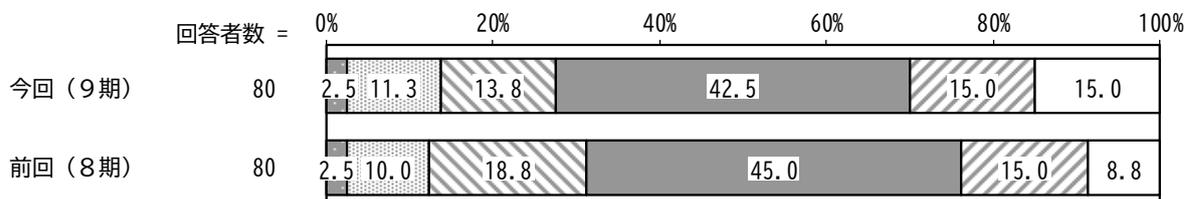
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



15. 認知症対応型通所介護

「不足している」の割合が42.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が15.0%、「やや不足している」の割合が13.8%となっています。

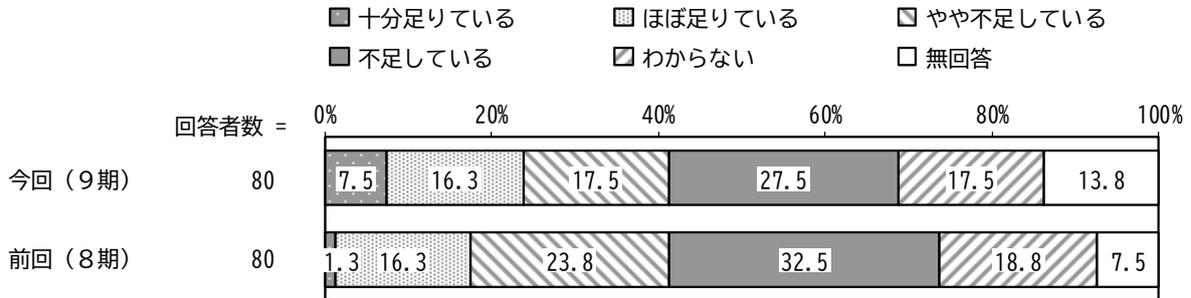
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



16. 小規模多機能型居宅介護

「不足している」の割合が27.5%と最も高く、次いで「やや不足している」、
「わからない」の割合が17.5%となっています。

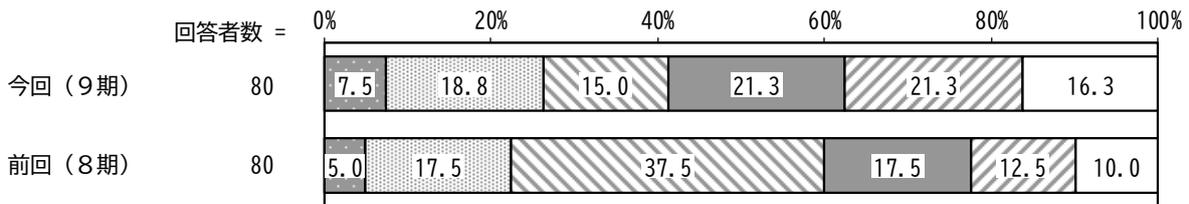
前回と比較すると、「十分足りている」の割合が増加しています。一方、「やや不足している」
の割合が減少しています。



17. 認知症対応型共同生活介護

「不足している」、「わからない」の割合が21.3%と最も高く、次いで「ほぼ足りている」の割合が18.8%となっています。

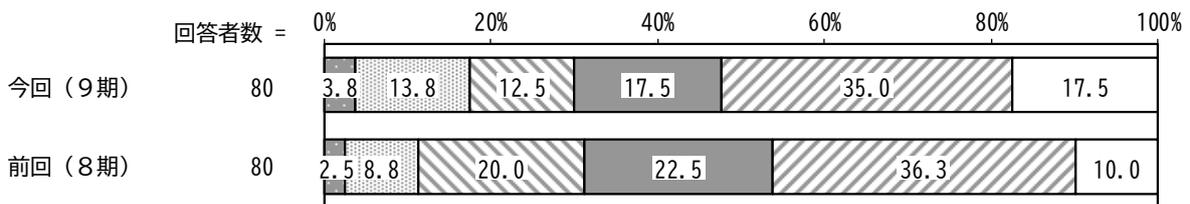
前回と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「やや不足している」の割合が減少しています。



18. 地域密着型特定施設入居者生活介護

「わからない」の割合が35.0%と最も高く、次いで「不足している」の割合が17.5%、「ほぼ足りている」の割合が13.8%となっています。

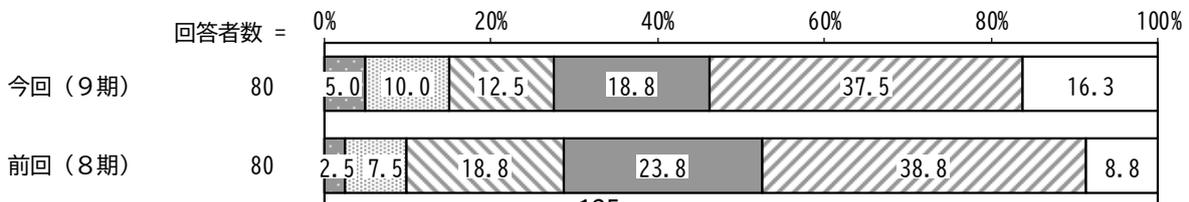
前回と比較すると、「やや不足している」の割合が減少しています。



19. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

「わからない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「不足している」の割合が18.8%、「やや不足している」の割合が12.5%となっています。

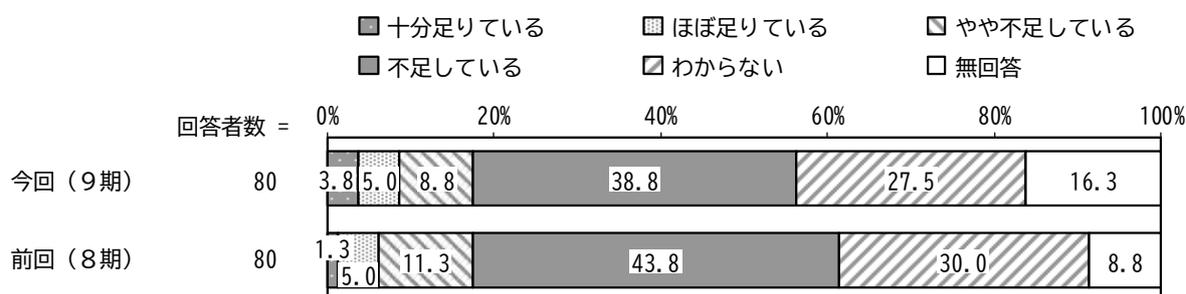
前回と比較すると、「やや不足している」の割合が減少しています。



20. 看護小規模多機能型居宅介護

「不足している」の割合が38.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.5%となっています。

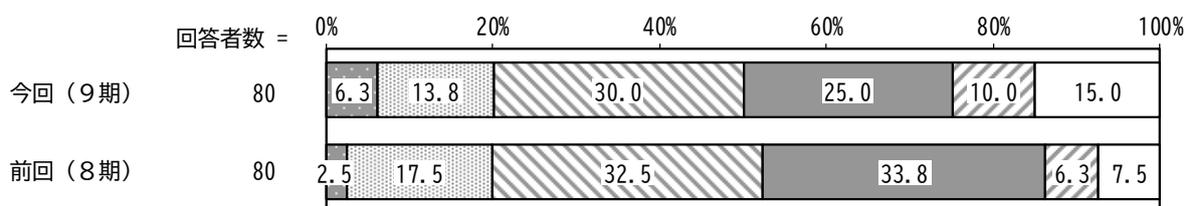
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



21. 介護老人福祉施設

「やや不足している」の割合が30.0%と最も高く、次いで「不足している」の割合が25.0%、「ほぼ足りている」の割合が13.8%となっています。

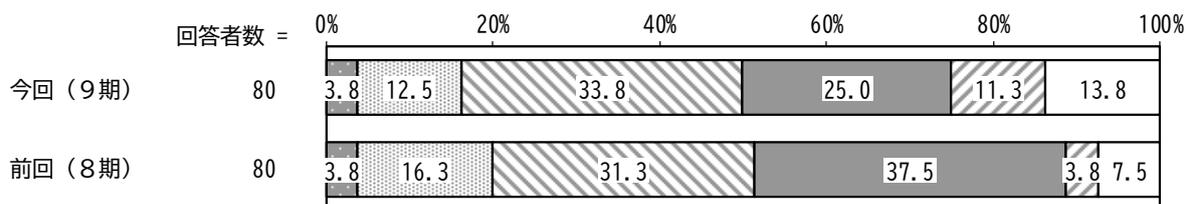
前回と比較すると、「不足している」の割合が減少しています。



22. 介護老人保健施設

「やや不足している」の割合が33.8%と最も高く、次いで「不足している」の割合が25.0%、「ほぼ足りている」の割合が12.5%となっています。

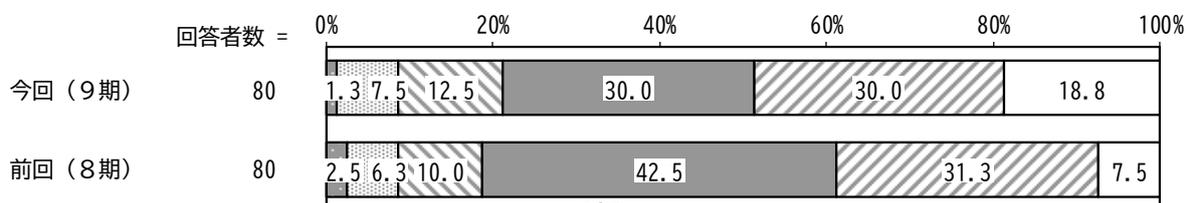
前回と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「不足している」の割合が減少しています。



23. 介護療養型医療施設・介護医療院

「不足している」、「わからない」の割合が30.0%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が12.5%となっています。

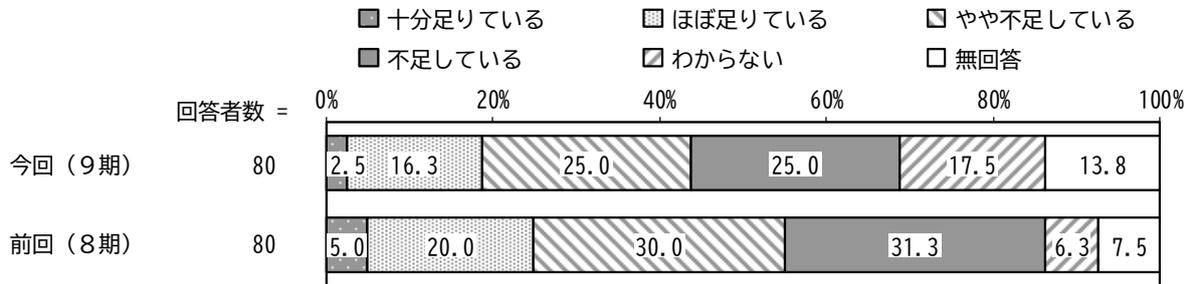
前回と比較すると、「不足している」の割合が減少しています。



24. 居宅介護支援・介護予防支援

「やや不足している」、「不足している」の割合が25.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%となっています。

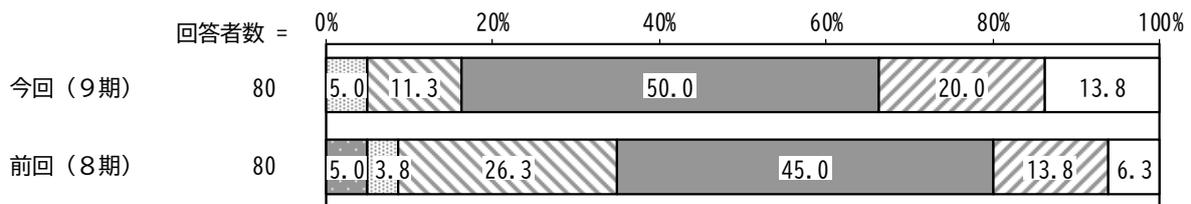
前回と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「不足している」の割合が減少しています。



25. 総合事業（訪問型サービス）

「不足している」の割合が50.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が20.0%、「やや不足している」の割合が11.3%となっています。

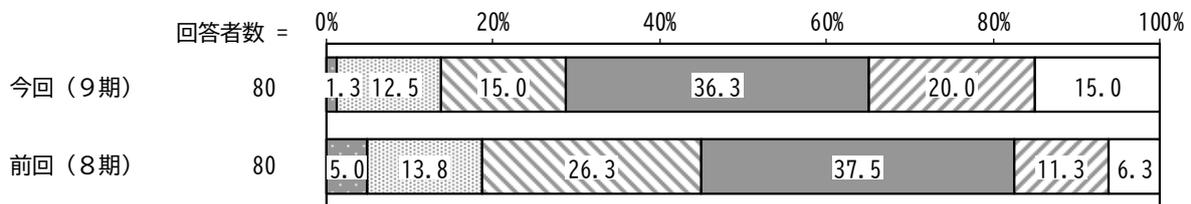
前回と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「やや不足している」の割合が減少しています。



26. 総合事業（通所型サービス）

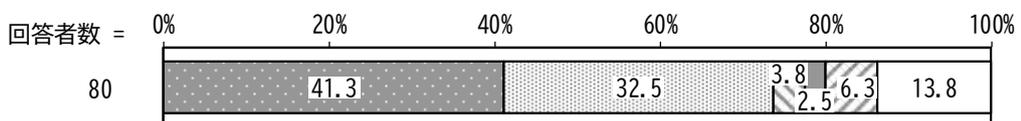
「不足している」の割合が36.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が20.0%、「やや不足している」の割合が15.0%となっています。

前回と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「やや不足している」の割合が減少しています。



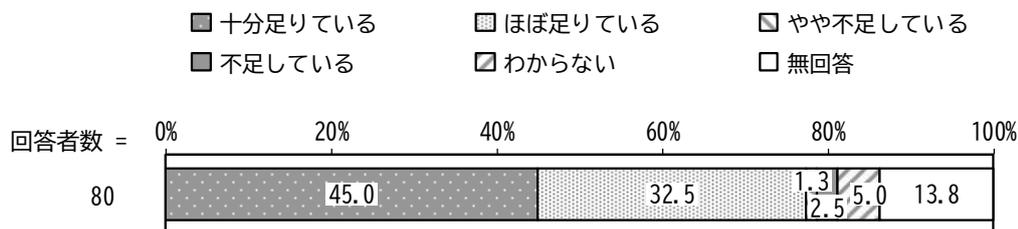
27. 住宅改修

「十分足りている」の割合が41.3%と最も高く、次いで「ほぼ足りている」の割合が32.5%となっています。



28. 特定福祉用具販売

「十分足りている」の割合が45.0%と最も高く、次いで「ほぼ足りている」の割合が32.5%となっています。

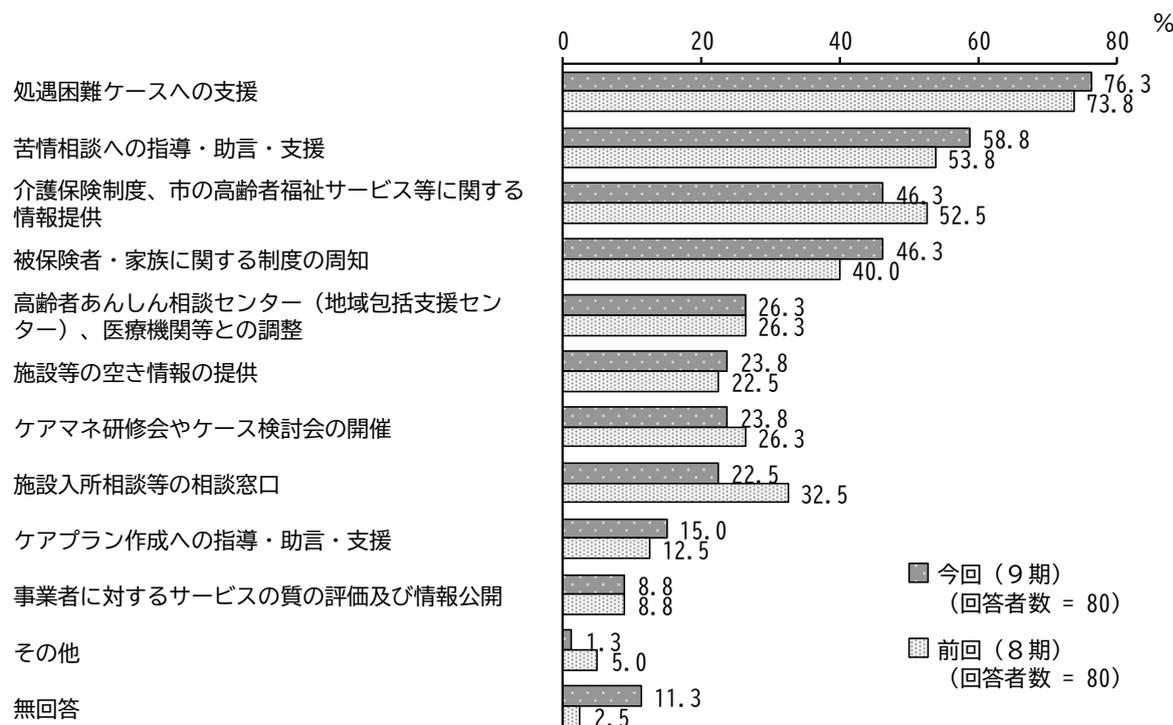


2 保険者（志木市）との連携について

保険者との連携に期待することは何ですか。（あてはまるものをすべて選んでください。）

「処遇困難ケースへの支援」の割合が76.3%と最も高く、次いで「苦情相談への指導・助言・支援」の割合が58.8%、「介護保険制度、市の高齢者福祉サービス等に関する情報提供」、「被保険者・家族に関する制度の周知」の割合が46.3%となっています。

前回と比較すると、「被保険者・家族に関する制度の周知」の割合が増加しています。一方、「施設入所相談等の相談窓口」「介護保険制度、市の高齢者福祉サービス等に関する情報提供」の割合が減少しています。



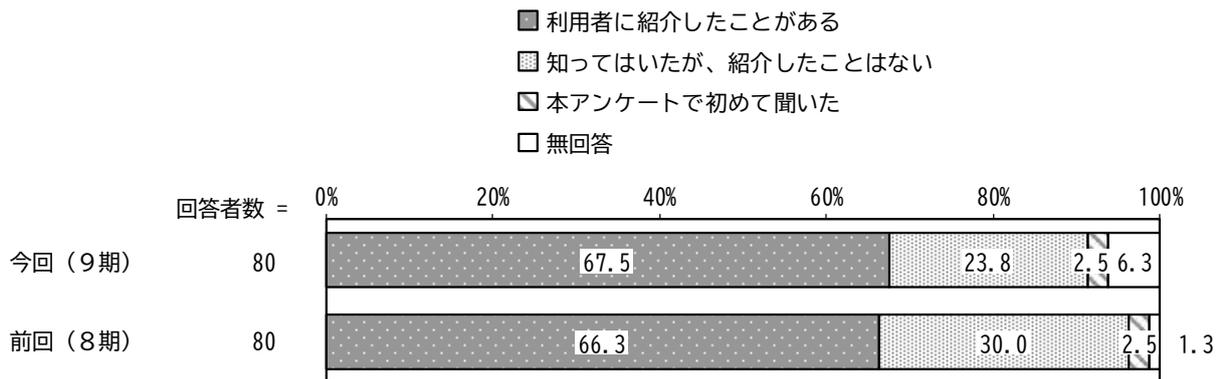
3 介護保険サービス以外の高齢者サービスについて

(1) あなたは、介護保険サービス以外の高齢者サービスについてご存じですか。また、利用者に紹介したことはありますか。それぞれの項目で、当てはまる番号にひとつ〇をつけてください。

1. 配食サービスの補助

「利用者に紹介したことがある」の割合が67.5%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が23.8%となっています。

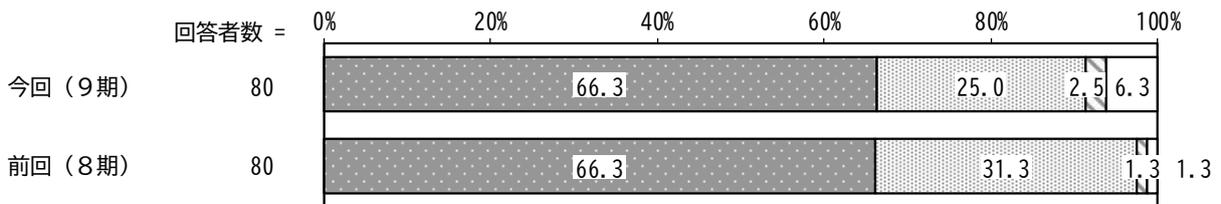
前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が減少しています。



2. 緊急時連絡システム・高齢者見守り通報システムの貸与

「利用者に紹介したことがある」の割合が66.3%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が25.0%となっています。

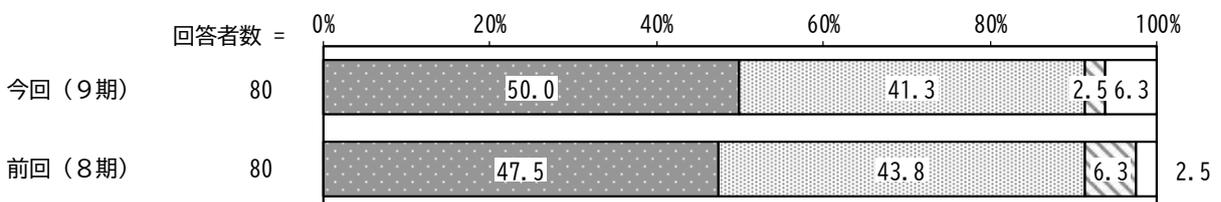
前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が減少しています。



3. 徘徊高齢者家族支援事業

「利用者に紹介したことがある」の割合が50.0%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が41.3%となっています。

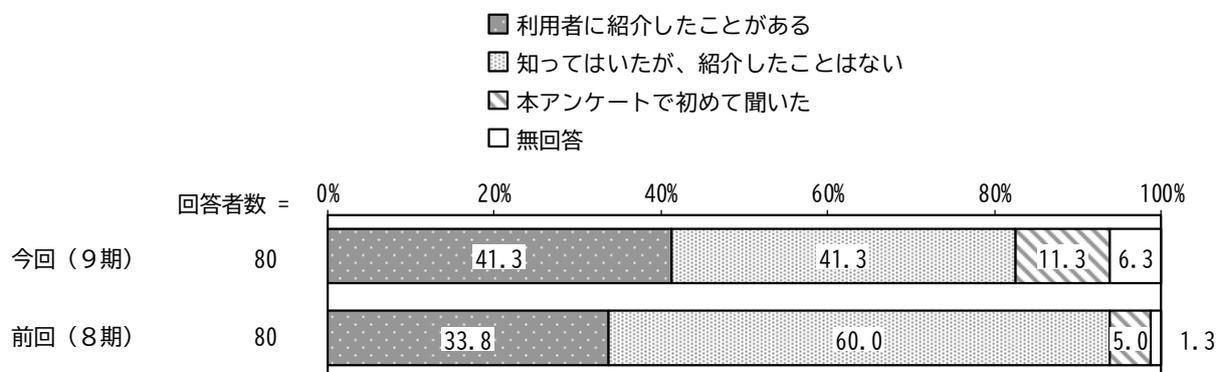
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



4. 要介護高齢者手当

「利用者に紹介したことがある」、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が41.3%と最も高く、次いで「本アンケートで初めて聞いた」の割合が11.3%となっています。

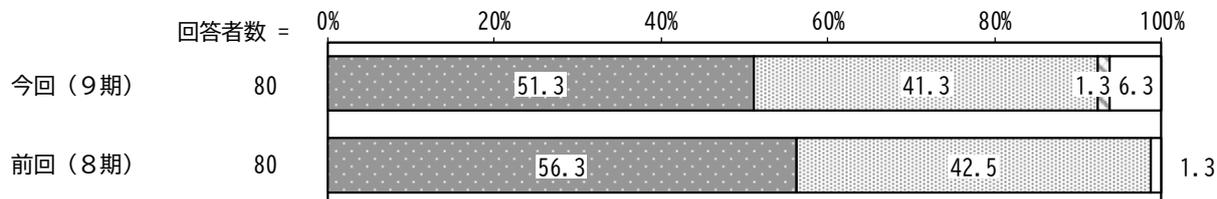
前回と比較すると、「利用者に紹介したことがある」「本アンケートで初めて聞いた」の割合が増加しています。一方、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が減少しています。



5. 介護用品支給事業

「利用者に紹介したことがある」の割合が51.3%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が41.3%となっています。

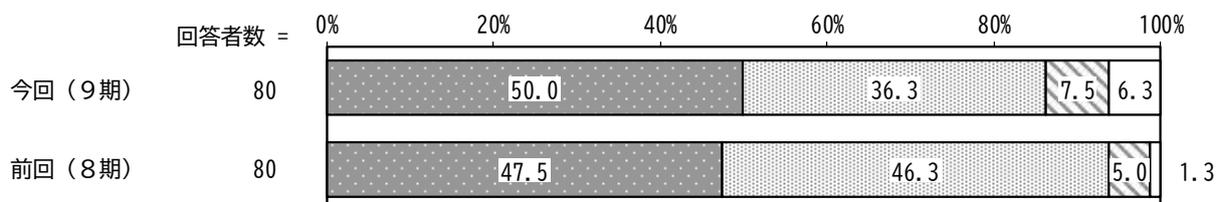
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



6. 訪問理美容サービス

「利用者に紹介したことがある」の割合が50.0%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が36.3%となっています。

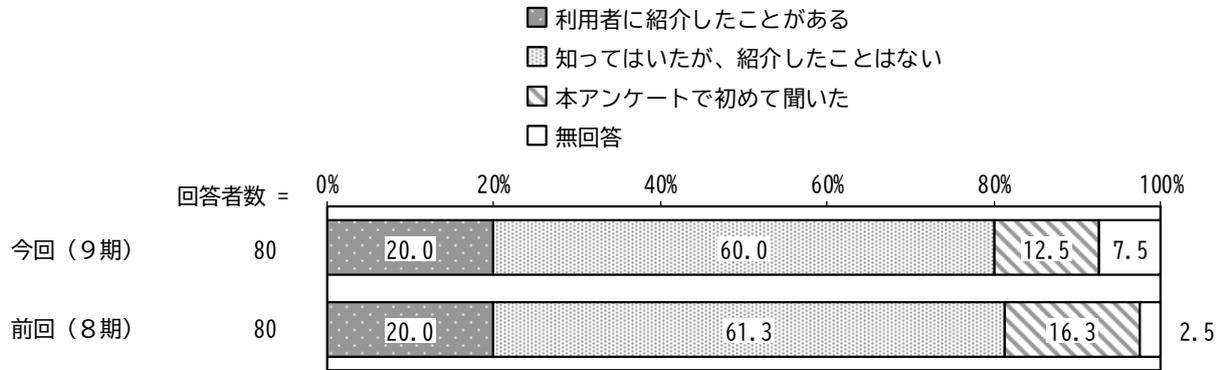
前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が減少しています。



7. 日常生活用具給付等事業

「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が20.0%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が12.5%となっています。

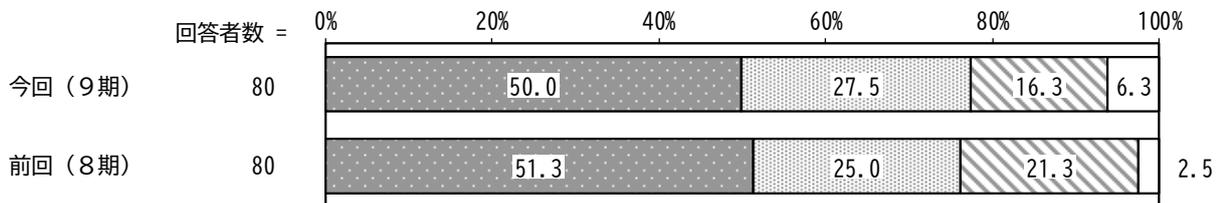
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



8. 救急医療情報キット配布事業

「利用者に紹介したことがある」の割合が50.0%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が27.5%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が16.3%となっています。

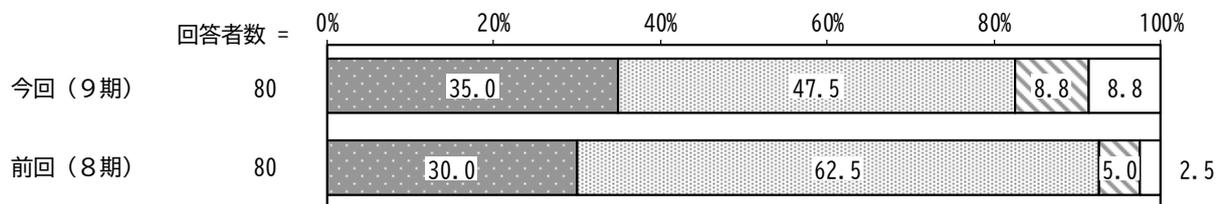
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



9. 成年後見制度利用支援

「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が35.0%となっています。

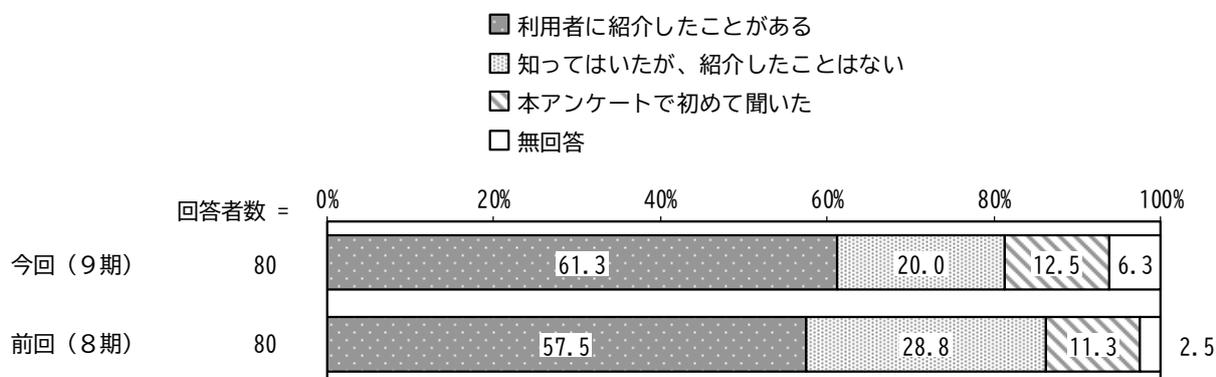
前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が減少しています。



10. たんぽぽサービス事業

「利用者に紹介したことがある」の割合が61.3%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が20.0%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が12.5%となっています。

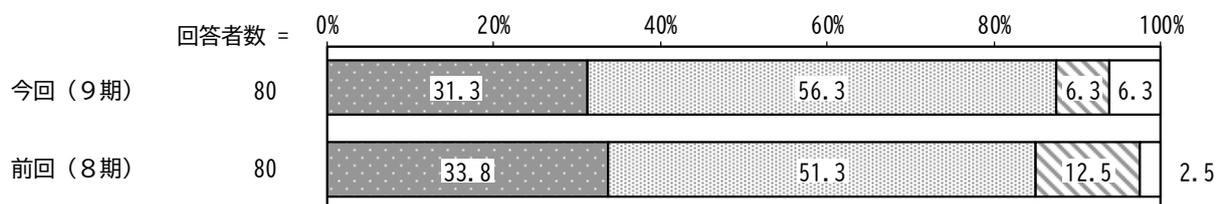
前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が減少しています。



11. 権利擁護事業

「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が56.3%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が31.3%となっています。

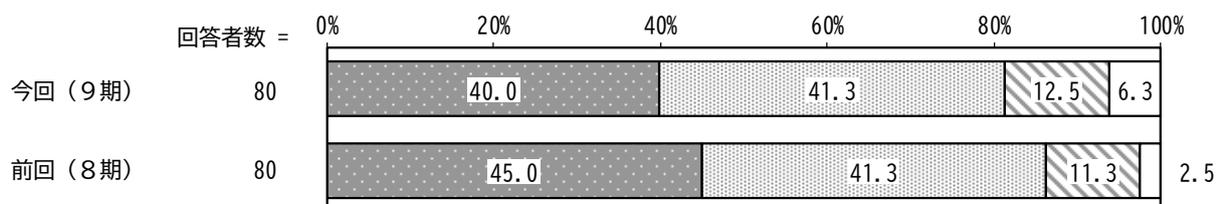
前回と比較すると、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が減少しています。



12. 家族介護者交流事業

「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が41.3%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が40.0%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が12.5%となっています。

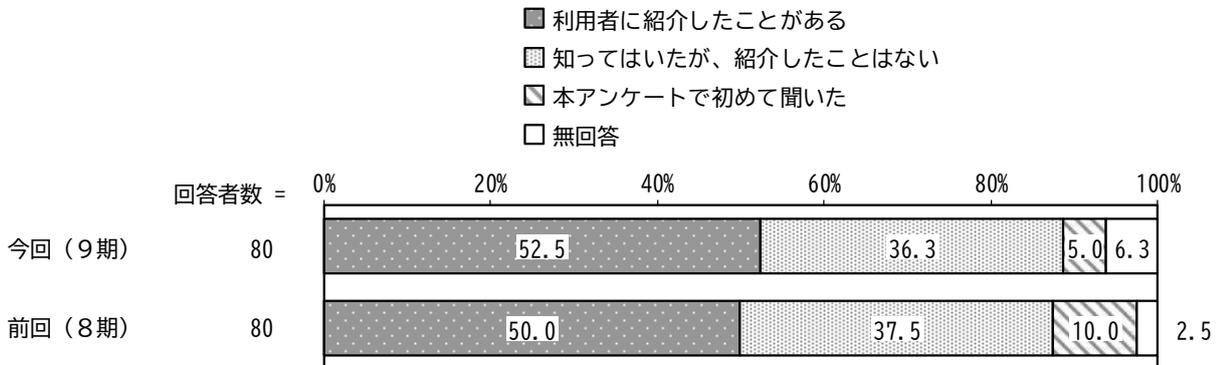
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



13. 街なかふれあいサロン事業・いきがいサロン事業

「利用者に紹介したことがある」の割合が52.5%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が36.3%となっています。

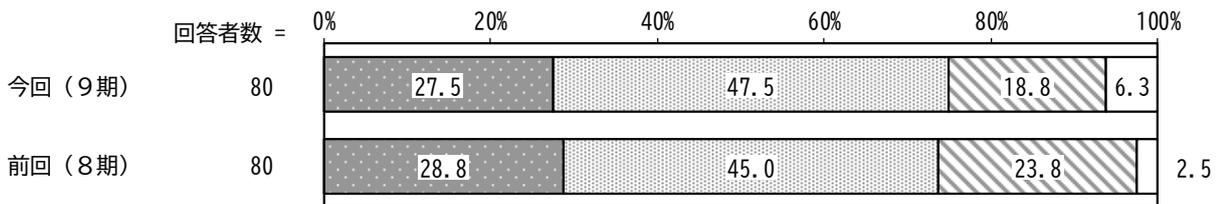
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



14. 多世代交流カフェ

「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が27.5%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が18.8%となっています。

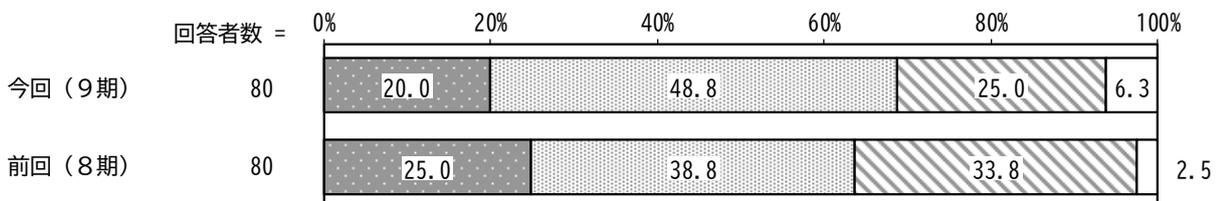
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



15. シニアボランティアスタンプ制度

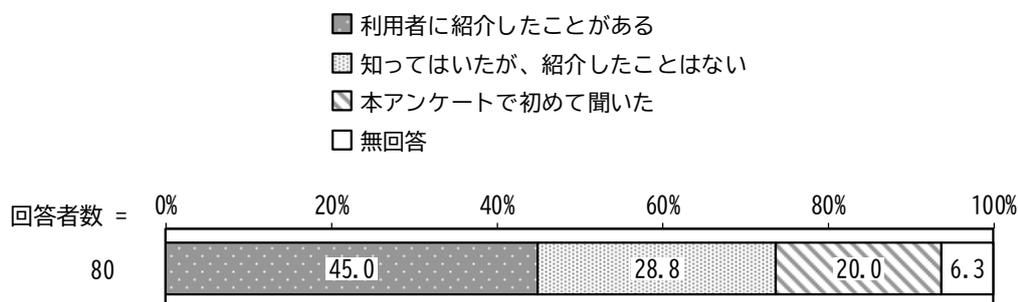
「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が48.8%と最も高く、次いで「本アンケートで初めて聞いた」の割合が25.0%、「利用者に紹介したことがある」の割合が20.0%となっています。

前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が増加しています。一方、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が減少しています。



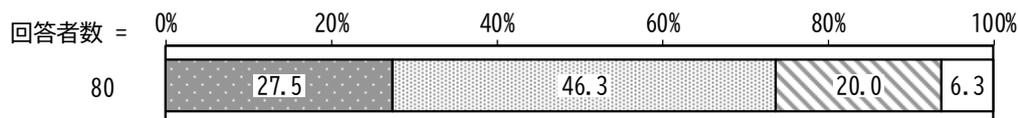
16. 短期集中予防サービス（サービスC）

「利用者に紹介したことがある」の割合が45.0%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が28.8%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が20.0%となっています。



17. フレイルチェック

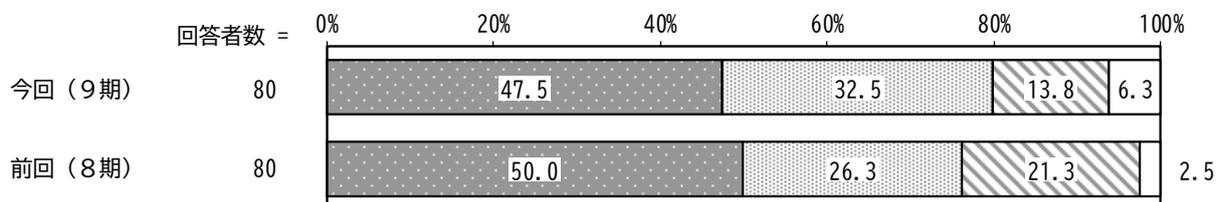
「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が46.3%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が27.5%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が20.0%となっています。



18. いろは百歳体操

「利用者に紹介したことがある」の割合が47.5%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が32.5%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が13.8%となっています。

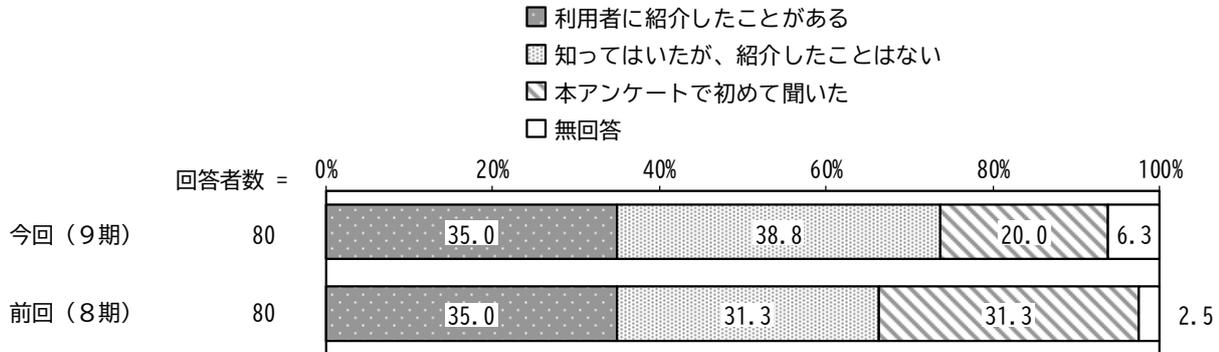
前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が増加しています。一方、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が減少しています。



19. ふれあい健康交流会

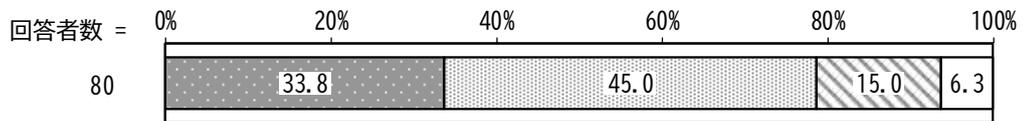
「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が38.8%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が35.0%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が20.0%となっています。

前回と比較すると、「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が増加しています。一方、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が減少しています。



20. もの忘れ訪問相談支援事業（認知症初期集中支援チーム事業）

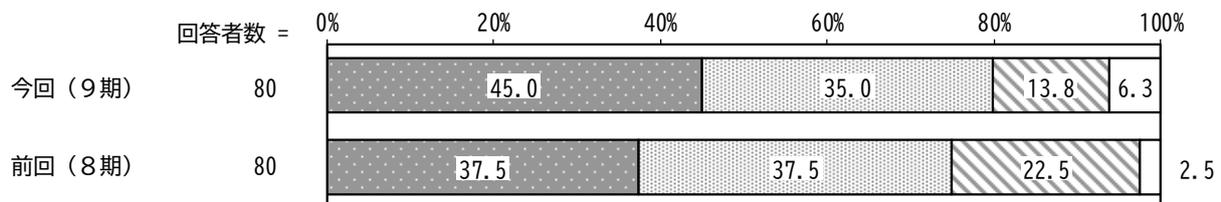
「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「利用者に紹介したことがある」の割合が33.8%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が15.0%となっています。



21. 元気づくり事業

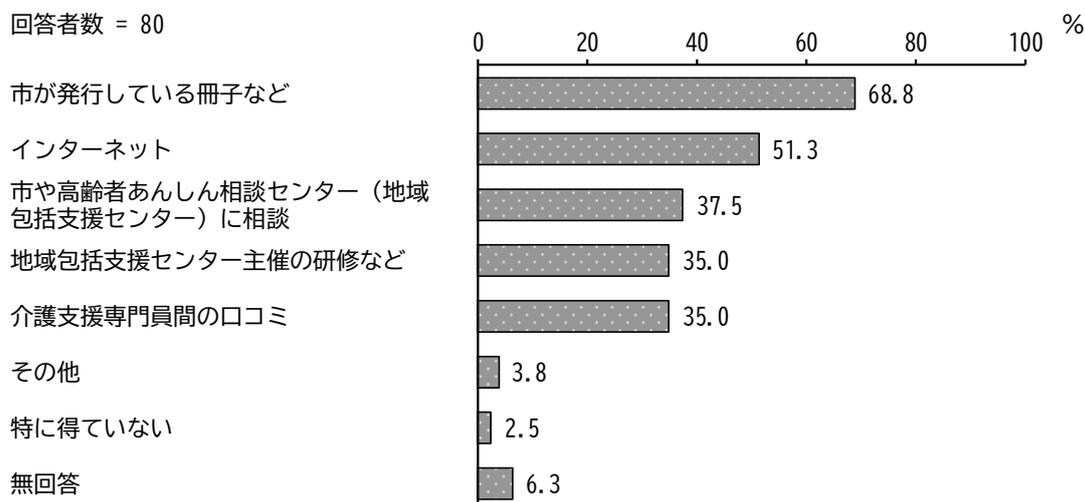
「利用者に紹介したことがある」の割合が45.0%と最も高く、次いで「知ってはいたが、紹介したことはない」の割合が35.0%、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が13.8%となっています。

前回と比較すると、「利用者に紹介したことがある」の割合が増加しています。一方、「本アンケートで初めて聞いた」の割合が減少しています。



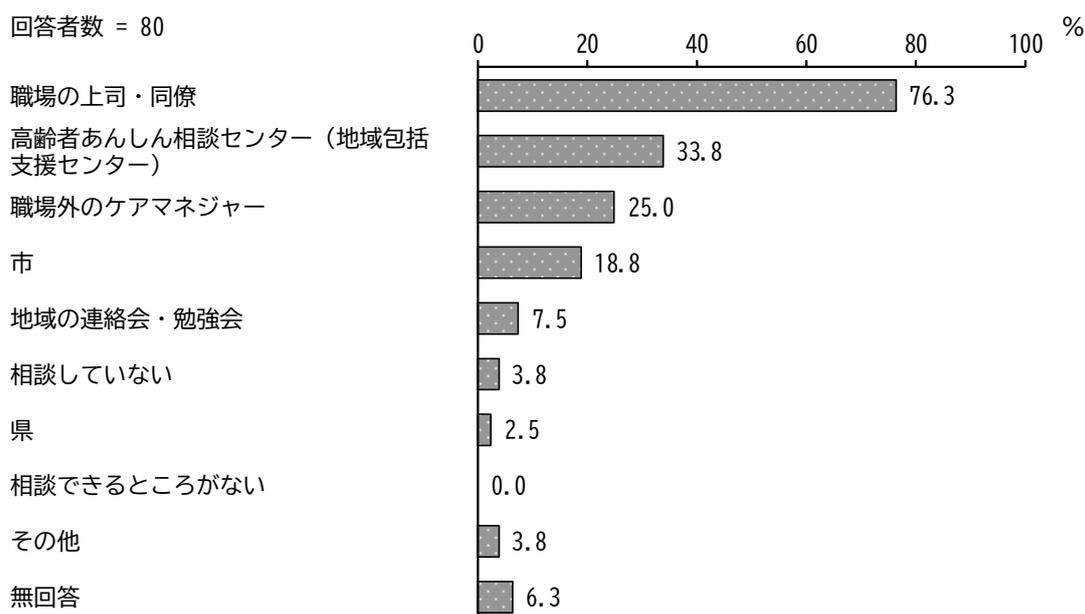
（2）介護保険サービス以外の情報をどのように得ていますか。
（あてはまるものをすべて選んでください。）

「市が発行している冊子など」の割合が68.8%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が51.3%、「市や高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）に相談」の割合が37.5%となっています。



（3）あなたは、ケアプランに関して悩んだときなどに、だれに相談することが多いですか。
（あてはまるものをすべて選んでください。）

「職場の上司・同僚」の割合が76.3%と最も高く、次いで「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」の割合が33.8%、「職場外のケアマネジャー」の割合が25.0%となっています。



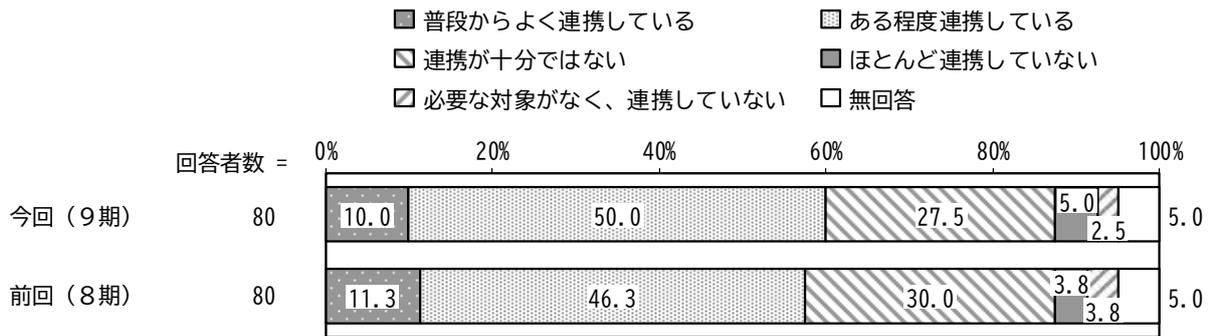
4 医療と介護の連携について

(1) 医療と円滑に連携ができていると思いますか。各機関等との連携状況について、最もよくあてはまるものを選んでください。

1. 診療所（医院、クリニック）

「ある程度連携している」の割合が50.0%と最も高く、次いで「連携が十分ではない」の割合が27.5%、「普段からよく連携している」の割合が10.0%となっています。

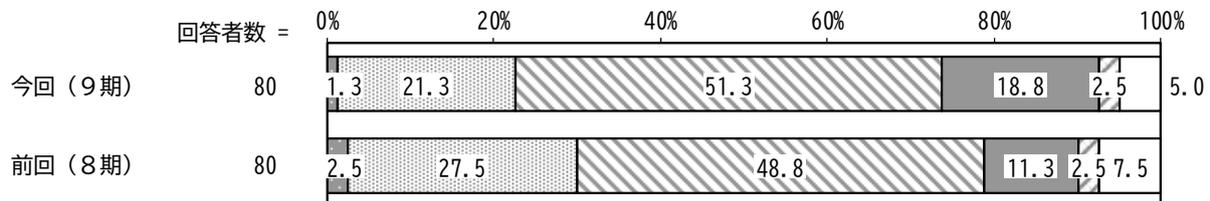
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



2. 病院（医師）

「連携が十分ではない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「ある程度連携している」の割合が21.3%、「ほとんど連携していない」の割合が18.8%となっています。

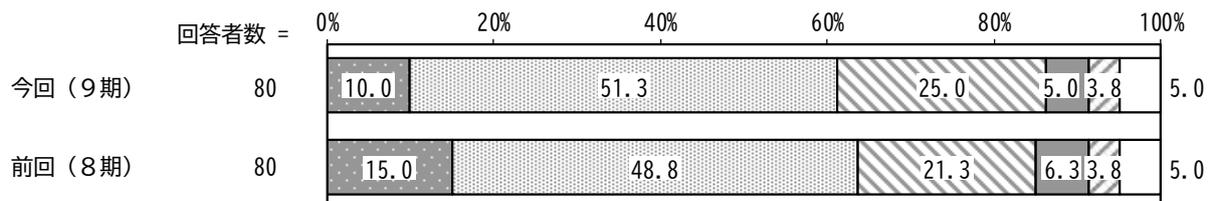
前回と比較すると、「ほとんど連携していない」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」の割合が減少しています。



3. 病院（地域連携担当）

「ある程度連携している」の割合が51.3%と最も高く、次いで「連携が十分ではない」の割合が25.0%、「普段からよく連携している」の割合が10.0%となっています。

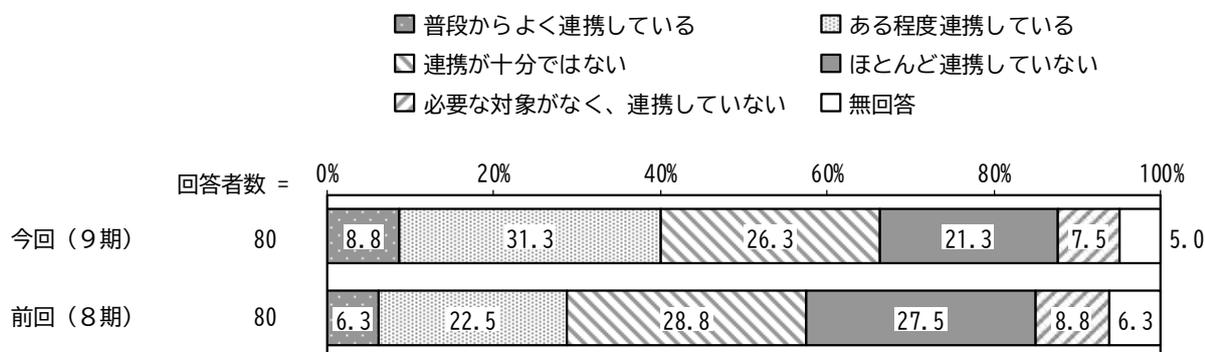
前回と比較すると、大きな変化はみられません。



4. 歯科診療所（歯科医院、クリニック）

「ある程度連携している」の割合が31.3%と最も高く、次いで「連携が十分ではない」の割合が26.3%、「ほとんど連携していない」の割合が21.3%となっています。

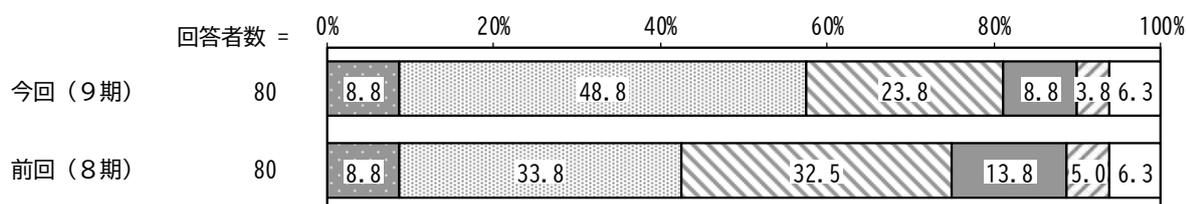
前回と比較すると、「ある程度連携している」の割合が増加しています。一方、「ほとんど連携していない」の割合が減少しています。



5. 薬局

「ある程度連携している」の割合が48.8%と最も高く、次いで「連携が十分ではない」の割合が23.8%となっています。

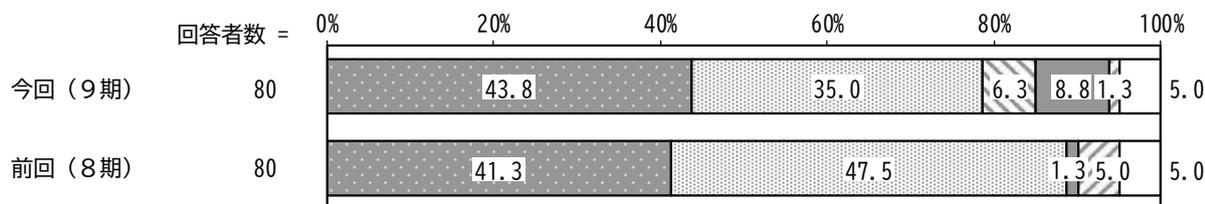
前回と比較すると、「ある程度連携している」の割合が増加しています。一方、「連携が十分ではない」の割合が減少しています。



6. 訪問看護ステーション

「普段からよく連携している」の割合が43.8%と最も高く、次いで「ある程度連携している」の割合が35.0%となっています。

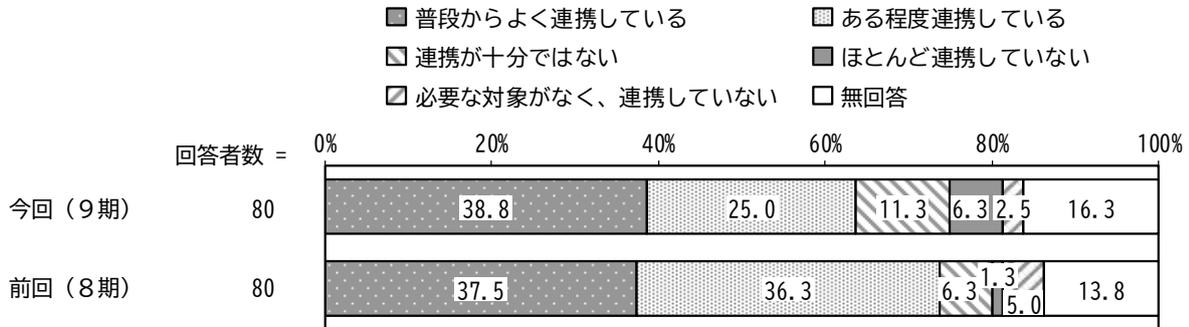
前回と比較すると、「連携が十分ではない」「ほとんど連携していない」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」の割合が減少しています。



7. 高齢者あんしん相談センター

「普段からよく連携している」の割合が38.8%と最も高く、次いで「ある程度連携している」の割合が25.0%、「連携が十分ではない」の割合が11.3%となっています。

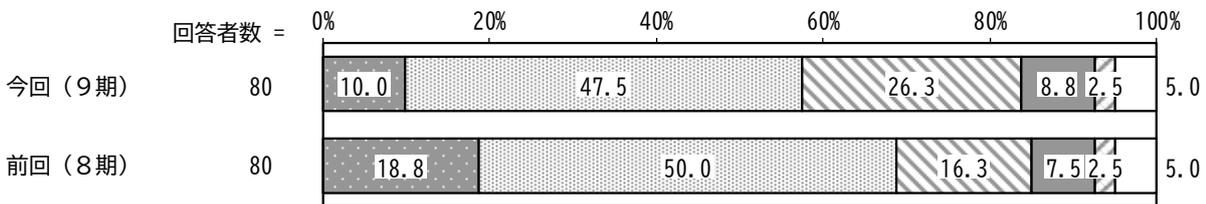
前回と比較すると、「連携が十分ではない」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」の割合が減少しています。



8. 他の居宅介護支援事業所

「ある程度連携している」の割合が47.5%と最も高く、次いで「連携が十分ではない」の割合が26.3%、「普段からよく連携している」の割合が10.0%となっています。

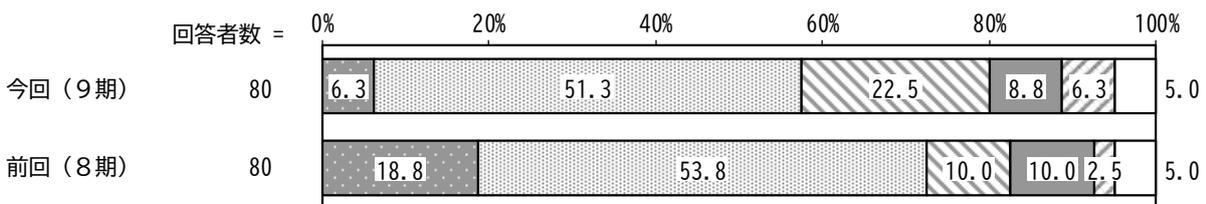
前回と比較すると、「連携が十分ではない」の割合が増加しています。一方、「普段からよく連携している」の割合が減少しています。



9. 介護施設等

「ある程度連携している」の割合が51.3%と最も高く、次いで「連携が十分ではない」の割合が22.5%となっています。

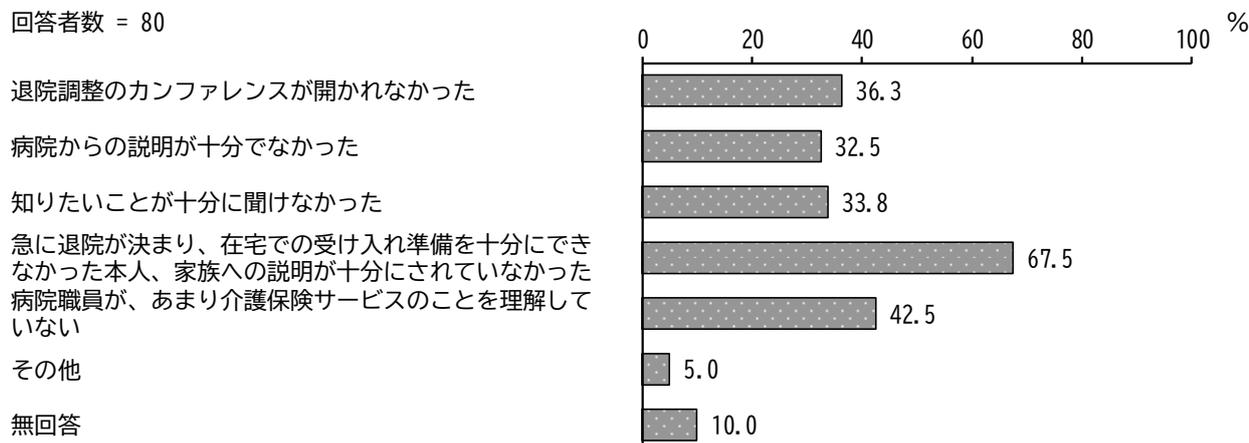
前回と比較すると、「連携が十分ではない」の割合が増加しています。一方、「普段からよく連携している」の割合が減少しています。



（2）退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか。
（あてはまるものをすべて選んでください。）

「急に退院が決まり、在宅での受け入れ準備を十分にできなかった本人、家族への説明が十分にされていない」の割合が67.5%と最も高く、次いで「病院職員が、あまり介護保険サービスのことを理解していない」の割合が42.5%、「退院調整のカンファレンスが開かれなかった」の割合が36.3%となっています。

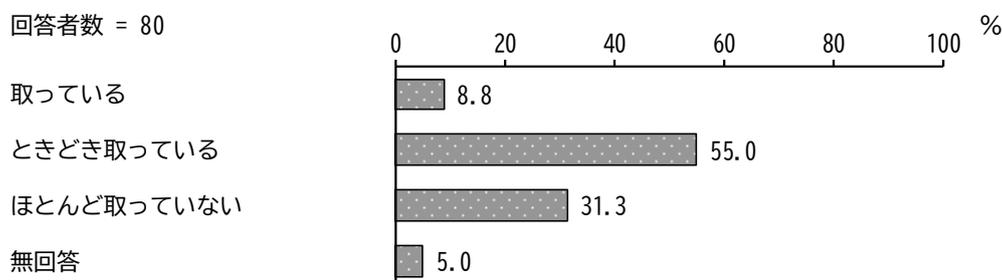
回答者数 = 80



（3）利用者の病状や健康状態について主治医と連絡を取っていますか。（○はひとつ）

「ときどき取っている」の割合が55.0%と最も高く、次いで「ほとんど取っていない」の割合が31.3%となっています。

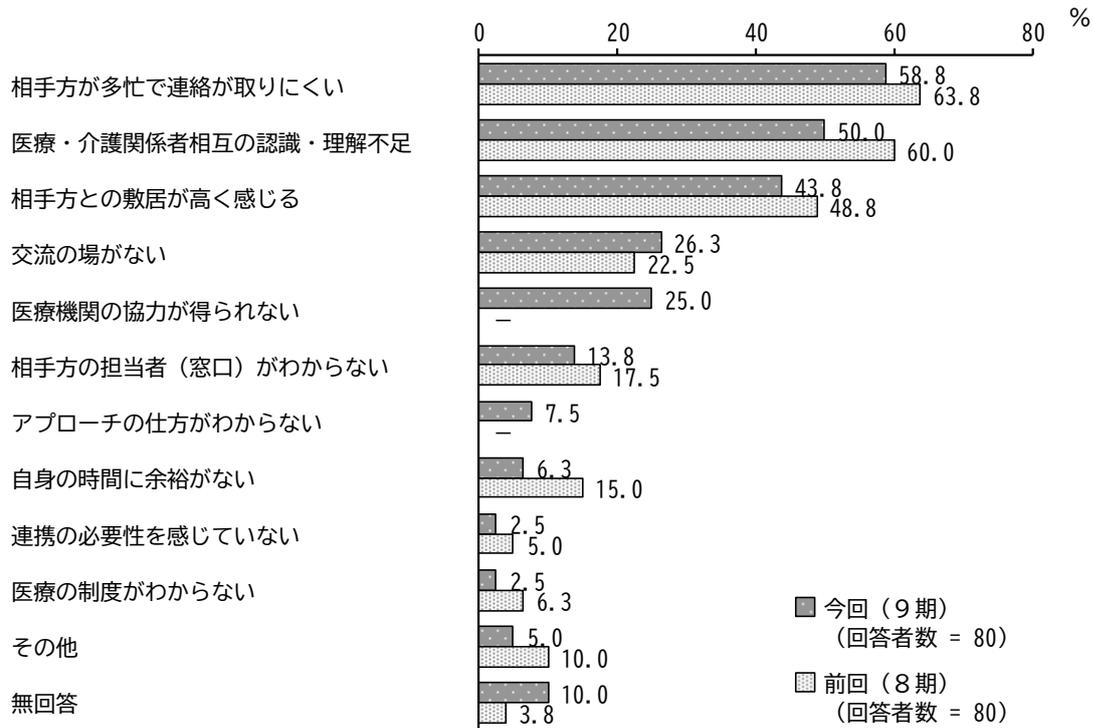
回答者数 = 80



（4）医療と介護の連携が取りにくい理由はなぜだと思いますか。
（該当する上位3つを選んでください。）

「相手方が多忙で連絡が取りにくい」の割合が58.8%と最も高く、次いで「医療・介護関係者相互の認識・理解不足」の割合が50.0%、「相手方との敷居が高く感じる」の割合が43.8%となっています。

前回と比較すると、「相手方が多忙で連絡が取りにくい」「自身の時間に余裕がない」「医療・介護関係者相互の認識・理解不足」の割合が減少しています。

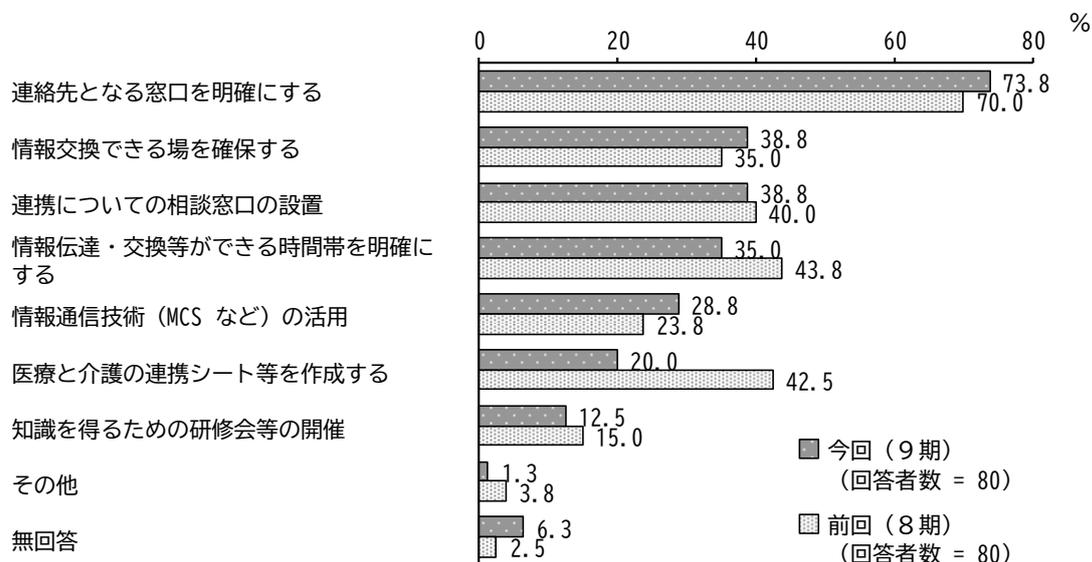


※前回の調査では「アプローチの仕方がわからない」と「医療機関の協力が得られない」の選択肢はありませんでした。

（5）医療と介護の連携を推進するために必要だと思われることは何ですか。
（該当する上位3つを選んでください。）

「連絡先となる窓口を明確にする」の割合が73.8%と最も高く、次いで「情報交換できる場を確保する」、「連携についての相談窓口の設置」の割合が38.8%となっています。

前回と比較すると、「医療と介護の連携シート等を作成する」「情報伝達・交換等ができる時間帯を明確にする」の割合が減少しています。



（6）医療と連携が取りにくいと感じた、または実際に取りえなかった経験がありましたら、ご記入ください。

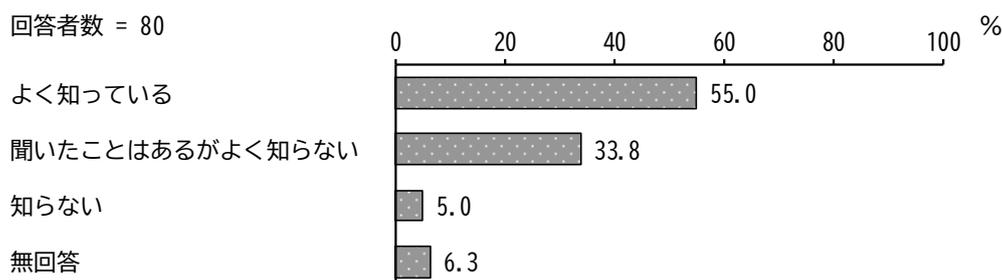
医療と連携がとりにくいと感じた、または実際に取りえなかった経験について聞いたところ、21件の回答が挙げられた。一部を抜粋する。

- ・退院カンファレンスで医療職からの報告が全て専門用語のためわからない時があり、もう少し家族の理解度を考えた説明をしてほしいと思った。
- ・整形外科入院時、ご本人の様子等うかがうために、担当の看護師（相談員つながらず）に電話するも、個人情報理由に断られた。連携できず、退院後慌てて福祉用具の設定を行った。
- ・相談員が病院都合で利用者、家族の意向も聞かず「指示」していること。とても医療、介護連携ができる状態ではない。もっと相手に敬意をもってお互い専門職として対等な立場で協力していきたいと思ったことがある。
- ・本人の意向や意思を確認することなく自宅での生活について相談してくることがある。とりあえず介護保険の申請をすればいいと思っている相談員もいる。上記等からの連携ではなく丸投げのようなことがある。
- ・医療と介護の連携シートを作成し、送っても返信等がない。
- ・医療系サービスを利用するにあたり、書面にて主治医の同意が必要だが理解してもらえず何度も説明した。
- ・医療側が介護保険のことを知らない。家族の意向に耳を傾けない。
- ・ご利用者のかかりつけ医を訪問し、名刺を渡して病状などを伺いたいのでお時間をいただきたいとクリニックの受付で話したところ連絡をいただくことはできなかった。
- ・主治医の意見書をなくされたことがあった。また覚えてない、来ていない、と言われた。
- ・相談員の介護保険の知識が低く、高齢者が退院すると必ずケアマネジャーが必要と思い、サービスの必要性や介護力等、情報が薄い。
- ・訪問介護のヘルパー不足がさらに深刻になっている印象です。資格取得や就職支援等を市で積極的に行っていただき、人材確保をしていただきたい。
- ・相手方がケースワーカーだったり看護師だったり、ケースによって違う時があり、特に看護師だと情報が統一しない時がある。
- ・入院時情報の件で相談員あての連絡をしたが、必要があれば連絡するのではいらないと言われた。退院時に介護側へは何も連絡なく退院しておりサービスにすぐにつなげられなかった。そのため、家族・本人の負担が増大した。
- ・ご本人が認知機能の低下で、今後の診療について（病院に行くことになったため。）ケアマネジャー同席をお願いしても断られた。そのため、病院の相談員を通して話を伺った。その後、その方の放射線治療の病院等の説明を聞きに行ったりしたが、最初の病院の医師だけは今の医療介護、家族関係の理解をされてなかった。とても残念でした。
- ・窓口がわからず問い合わせるもあちらこちらに回され、結局どこか何かわからないまま電話を切られた。
- ・相談員の知識不足（在宅介護）で現実的なカンファレンスにつながらず、退院してからの生活で調整していくことが多い。

- ・主治医のご意見が必要な例外給付などの必要があり、あらかじめ連絡し、郵送したが、返信がしばらくなく、最終的にご利用者が受診時に主治医の先生に聞いてもらい対応した。
- ・突然退院したり、介護保険をよく知らない病棟看護師が「包括に連絡しろ」と伝え、家族が何を相談したらよいかわからない。こちらも情報が無いのに対応が困難。
- ・連絡なく退院していて家族から急に介護サービスを求められた。市内の病院ではないが、一方的に介護サービス内容をアセスメントもしていない会ったこともない利用者人の指定を受け付けたが、サービス内容が本人、家族の意向と不一致があり困惑したことがあった。
- ・介護保険利用に関し、必要性が周知されていない。（医療系サービス利用時、主治医からケアマネジャーが意見をもらうことを医療側が知らず無視される）
- ・病院内での連携が不十分なため、問い合わせに苦労した。（いろいろな科に回された）

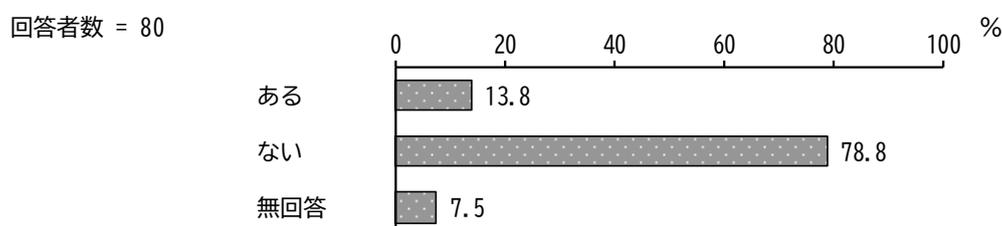
（7）あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。（○はひとつ）

「よく知っている」の割合が55.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」の割合が33.8%となっています。



（8）ACPを実施したことがありますか。（○はひとつ）

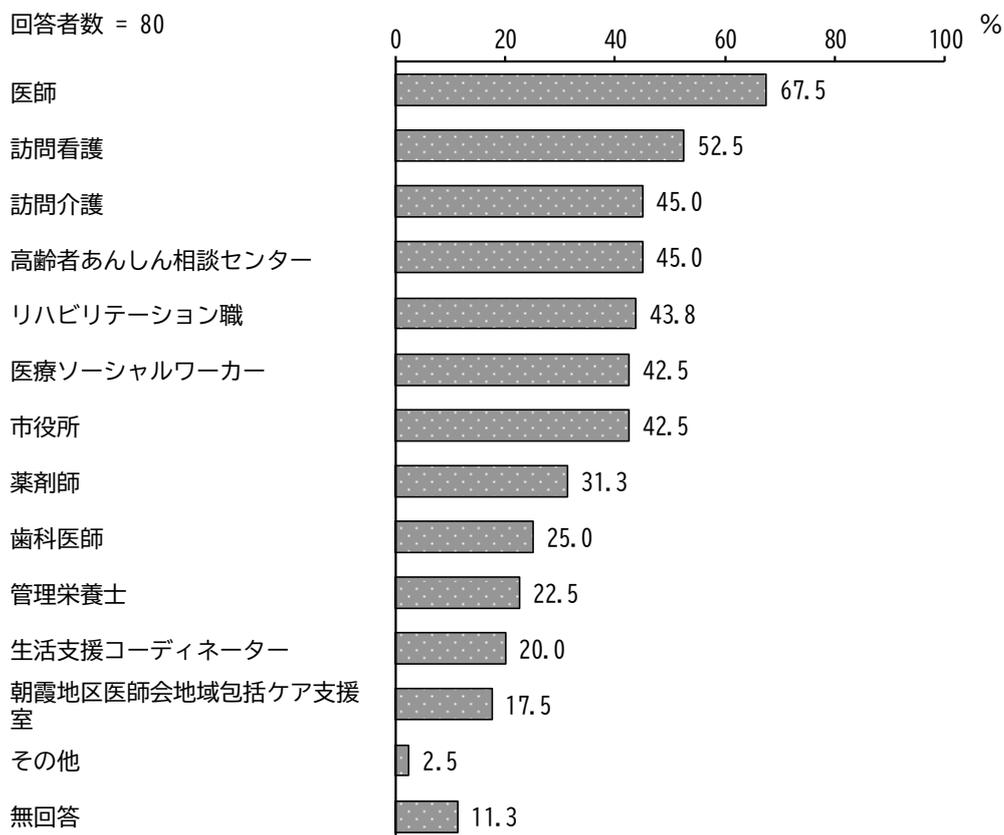
「ある」の割合が13.8%、「ない」の割合が78.8%となっています。



5 地域包括ケアについて

（1）利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。
（あてはまるものをすべて選んでください。）

「医師」の割合が67.5%と最も高く、次いで「訪問看護」の割合が52.5%、「訪問介護」、「高齢者あんしん相談センター」の割合が45.0%となっています。

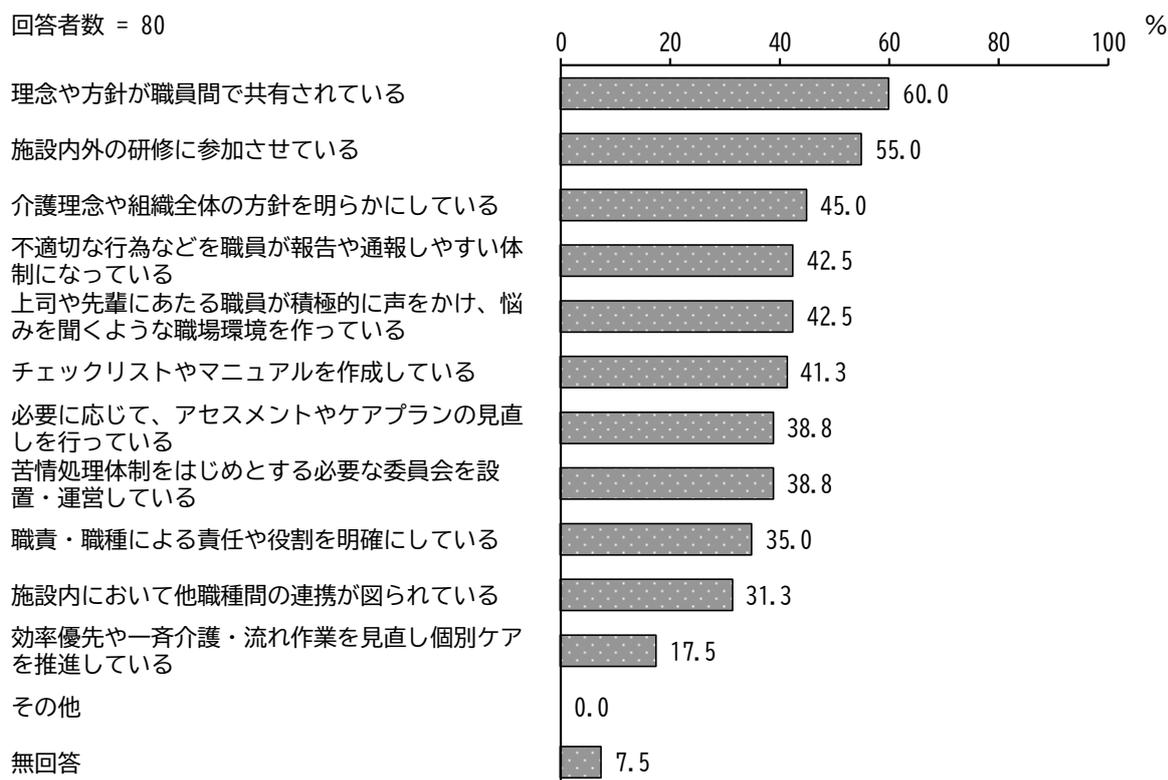


6 高齢者虐待について

（１）虐待に対して防止策や対応策として取り組んでいることはありますか。
（あてはまるものをすべて選んでください。）

「理念や方針が職員間で共有されている」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「施設内外の研修に参加させている」の割合が 55.0%、「介護理念や組織全体の方針を明らかにしている」の割合が 45.0%となっています。

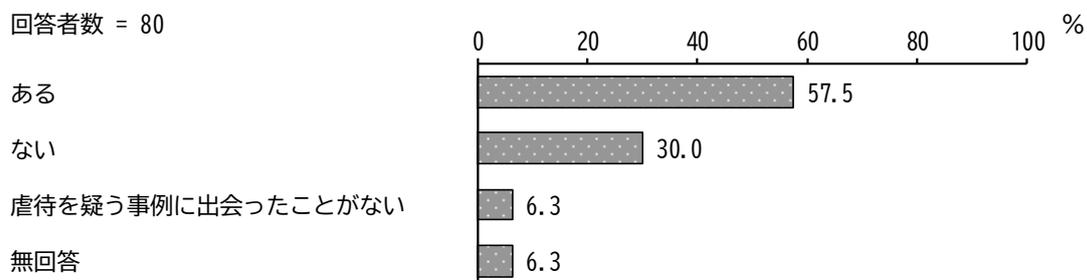
回答者数 = 80



（２）家庭内における高齢者虐待の事例を経験（担当）したことがありますか。
（○はひとつ）

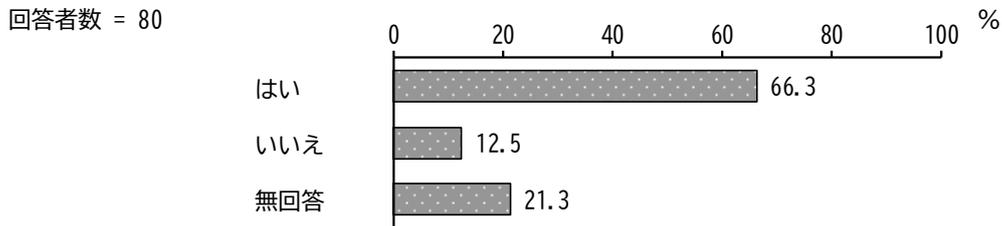
「ある」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「ない」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 80



（3）今までに高齢者虐待を疑う事例に出会ったとき、市や高齢者あんしん相談センターへ相談（通報）しましたか。（○はひとつ）

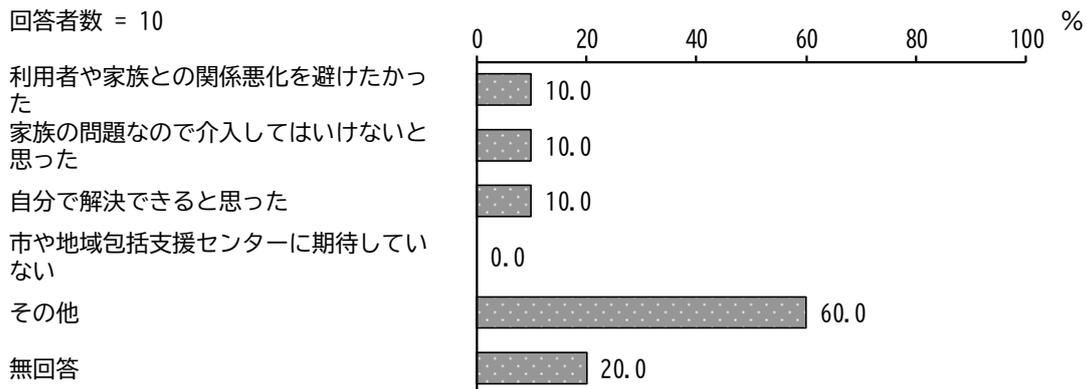
「はい」の割合が66.3%、「いいえ」の割合が12.5%となっています。



《（3）で「いいえ」と答えた方のみ》

（4）相談（通報）しなかった理由は何ですか。
（あてはまるものをすべて選んでください。）

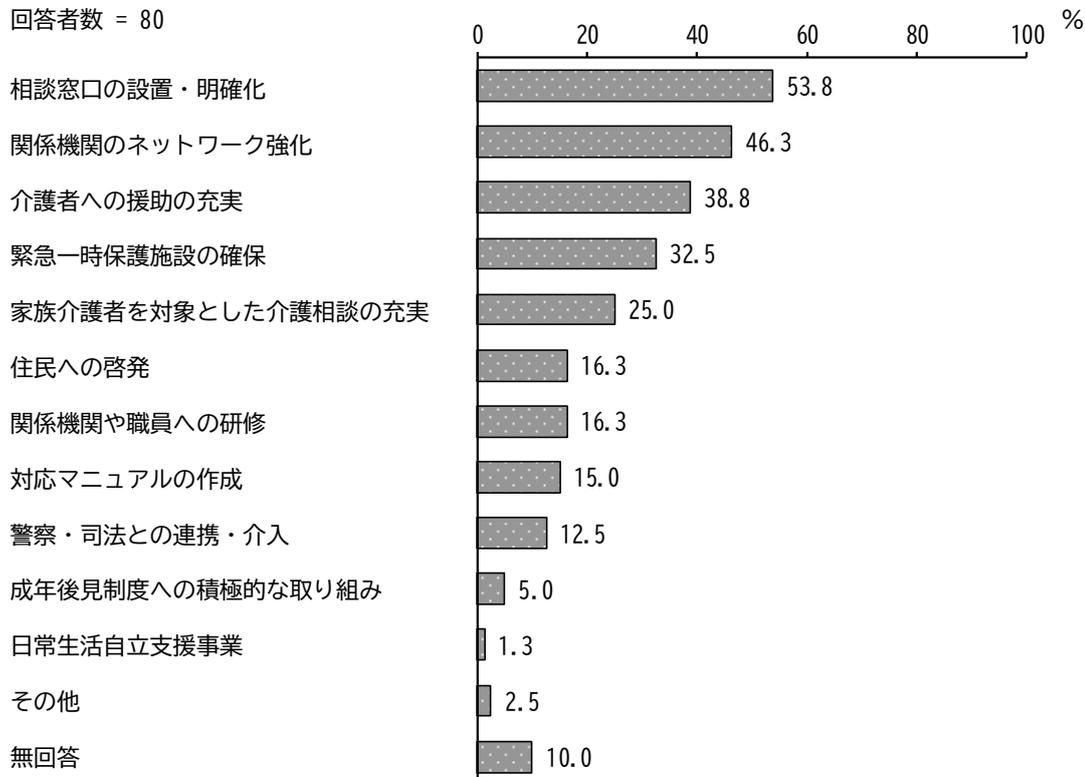
「利用者や家族との関係悪化を避けたかった」、「家族の問題なので介入してはいけないと思った」、「自分で解決できると思った」の割合が10.0%と最も高くなっています。



（5）高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。
（該当する上位3つを選んでください。）

「相談窓口の設置・明確化」の割合が53.8%と最も高く、次いで「関係機関のネットワーク強化」の割合が46.3%、「介護者への援助の充実」の割合が38.8%となっています。

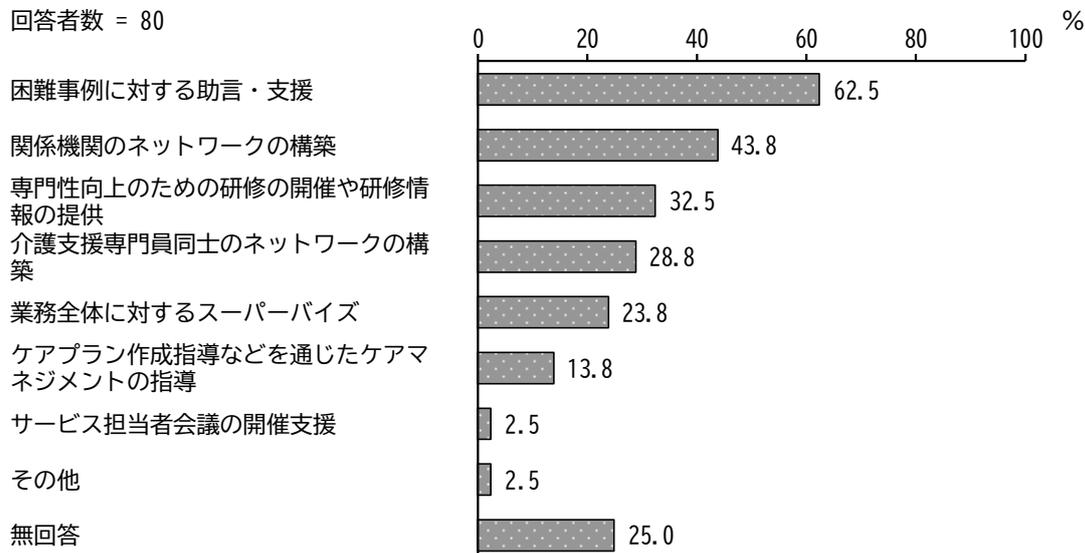
回答者数 = 80



（6）高齢者あんしん相談センターにどのような役割を期待していますか。
（あてはまるものをすべて選んでください。）

「困難事例に対する助言・支援」の割合が62.5%と最も高く、次いで「関係機関のネットワークの構築」の割合が43.8%、「専門性向上のための研修の開催や研修情報の提供」の割合が32.5%となっています。

回答者数 = 80



7 その他

認定を受けた方の機能の維持、改善を図るためにケアマネジメントにおいて心掛けるべきと考える事項は、何ですか。（自由記載）

ケアマネジメントにおいて心掛けるべきと考える事項について聞いたところ、41件の回答が挙げられた。

- ・何かを「できる」「できない」だけで判断しないこと。〇〇をすればできる、〇〇があればできる、どんな時（時間帯や天候など）ならできる等までアセスメントするよう心掛けていると思います。
- ・本人、家族の意向。リハビリ。
- ・アセスメントの重要性。関係サービス事業所からの情報収集。家族の介護状況。
- ・自立支援、ADL維持向上を心掛けたケアプラン作成。（運動など）利用者さんのできる能力を引き出すこと。今できていることの継続、役割を持てるようなプラン作成。日々の生活の中に楽しみや生きがいを持てるようなプラン作成。
- ・目標を明確にする。各事業所の連携をしっかりと行う。
- ・尊厳保持、その人らしさでありながら自立支援の考えを本人だけでなく、家族にも理解していただくこと。家族の出番は増えていくことから、家族関係が疎遠であれば関係構築の支援を心掛けていく。
- ・ICFの考えに基づいたストレングスモデルに注目する。目標を明確にし、達成状況の予想が可能かの共有可能なプラン。本人の意向、家族の意向のいずれか一方に引っ張られ過ぎない支援。本人の自立を主眼において、その人らしく老いることができるように支援していく。そのために本人の人生観や終末期の過ごし方まで聞き取る。
- ・自立支援についての利用者への理解促進。過剰支援にならないようにしている。
- ・機能の維持、改善を図るためにはリハビリ等を行うことも大切だが、その人が今まで行えたことまでも支援し、奪ってしまうのではなく、できるかぎりできることは継続して行ってもらおうように心掛けている。
- ・介護サービスありきで話を進めない。まずは地域の活動の場や短期集中支援で状況が改善するかを考える。地域の社会資源の情報収集をしておくことが重要。できないところばかり見ない。できるところをのばしていけるように働きかける。
- ・自立支援の視点
- ・ご本人、ご家族のニーズの適切な把握と関係機関との連携
- ・利用者様の生活、人生を尊重し、できる限り自立した生活を送れるように支援する。
- ・自立支援、自己決定、情報の共有
- ・本人の生活歴の把握、アセスメントの重要性、意向の確認、意思決定支援
- ・認定を受けた方の身体機能の評価、助言、指導、リハビリの相談などどこに問い合わせたよいか迷うことがあります。在宅のご利用者様であれば訪問リハビリテーションや通所リハを週何回、どのような内容で進めていくか、主治医の意見も取り入れて行うことが大切だと思います。身体の機能だけでなく、生活でのやりがいや楽しみも毎日の生活に必要であると思います。

- ・利用者の残存能力をしっかりと見極めての介護サービス利用と考えます。家族の意向も大切ですが、あくまでも本人意向が最重視されるべきと考えます。本人が少しでも自立できるような介護サービスを考えていくことが必要と思います。
- ・必要なサービスの選定
- ・自立支援、家族の休息
- ・家事を行う、運動を行うなど、とにかく今よりも定期的に体を動かすことの機会を生活の中に取り入れるように心がけております。（ご本人の希望があると良いのですが）
- ・サービスの性質上、認知症の利用者さんが多数いらっしゃいますが、維持できている機能については更なる向上を、不足している機能については無理に全介助にするのではなく、少しでもご自身でがんばってもらえるような支援方法を心がけています。そのために、生活歴や趣味等を把握して、本人がやる気になるよう工夫しています。
- ・認定を受けた方のアセスメントをしっかりと行っていく。その方を理解して支援につながっていく。
- ・ご本人の性格を知ること。家族関係等も。機能の維持改善はリハビリ等が必要と思うが、ご本人がその気にならなければ進まない。生活改善の明記、ご本人の希望等を聞きながら進めるとよいと思います。
- ・在宅生活での目標を具体的にともに考え、実現できる方法を提案していけるよう、関係サービスとの連携を深めることだと考えます。
- ・利用者本位の具体的なプランをつくる事。
- ・その方の残存能力を見極めたうえで、適切なサービス内容が出来るプランニングをすること
- ・ご利用者の意志を尊重すること。地域の各事業所等との連携に努めること。
- ・現在できる部分はできるだけ、今後も行っていたき、現状のADLの維持できるようにプランを立てる。「このサービスを使うとどうですか」と提案しても、本人が強く拒否した際は、その後は関係づくりを崩さないためにも受け入れて、できる部分にアプローチできる内容のプランとして作成するようにしている。
- ・自立支援の考え方。医療・リハビリ職との連携。家族関係の把握。年金の種類と額、預金額など（介護にねん出できる費用）の把握。
- ・本人について知ること。同じような病気・身体状況でも様々な角度からアセスメントを行い、本人の意向を十分に取り入れ、個々にあったケアマネジメントを提供する。
- ・本人の生活の流れを崩さないように支援する。必ず地域のサロンや体操教室を案内する。介護保険サービス以外のサービスを説明し本人に選択させる。
- ・本人、家族の意向を聞いて、どのように進めていくか方向性を合わせて行き都度変更等ないか確認、修正を行って、提案をしています。
- ・本人家族の困りごとに焦点をあててしまいがち。そうでなく、どのような暮らしをしたいのかという未来志向で考える視点をもつよう心がけています。
- ・受診と転倒防止の予防
- ・ご本人が努力できるようなプラン。「掃除をしてほしい、おいしい食事をつくってほしい」という希望は介護保険ではなく、家事代行サービスで、自分で家事ができるようになりたい方への支援と理解してもらいたいが難しいです。ヘルパーさんを頼めば何でもやってくると助言される方も多くいます。

- ・その方が、維持、改善しようと思えるきっかけとなるものは傾聴し、意欲、身体ともに改善するために必要なサービス検討しています。
- ・本人家族へのアセスメントをする中で、どうしたいかの気持ちに寄り添い、信頼関係を作りながら、自立支援に向けての調整をしていく。
- ・問題点があれば各連携機関へ速やかに情報共有をすることです。
- ・介護保険制度やサービス利用の目的をきちんと利用者、家族へ伝えていくようにしている。
- ・利用者さんがのぞむ生活をおききし、本人が出来ることを明確にし、参加してもらえようなプランを作成するよう心がけている。
- ・自立支援できるプランを作成できる様、心がけています。

その他、介護保険制度や高齢者をめぐる課題、市への意見、要望等がありましたらご記入ください。

介護保険制度や高齢者をめぐる課題、市への意見、要望等について聞いたところ、24件の回答が挙げられた。なお、表現・表記方法については原則として回答を尊重し、そのままの掲載としているが、内容については意見の趣旨を損なわないよう、一部要約したものもある。

- ・サ高住に住んでいる方を多く担当しておりますが、ほとんどの方が（他市）保険者です。（住所地特例の方も住所を移していない方も）制度についての質問もそれぞれの市区町村で対応が違うこともあります。例：手続きの方法、保険外サービス内容など。介護保険制度としてローカルルールと言われているものをすべての地区で統一していただけるとよいと思っております。（それぞれの土地での習慣や生活、財政…難しいとは理解しておりますの本当にささいな希望です）
- ・高齢者の認知症の増加、それに伴う施設等の設備。高齢者の転倒、骨折への対応、訪問、通所リハビリテーションの整備。困難ケースへの対応。相談できる地域包括支援センターを希望します。
- ・朝霞市を中心に居宅支援を行っているため、志木市の利用者様は1人しかいません。転居され、引き続き担当しています。志木市のサービスについてはよく知らなかったのですが、市役所で冊子をいただき、様々なサービスがあるとわかりました。デマンドタクシーや私の想いを伝えるノートは朝霞市にはないものでとても良い制度だと思いました。
- ・訪問介護が在宅介護の中心ですが、今後ヘルパー不足が深刻化してくると、在宅介護が崩壊する。超高齢化社会で担い手が不足することは全産業においても発生しており、特に介護分野ではその傾向が著しい。ヘルパーがパートタイムでも、正職員でも仕事をして生活が成立するような処遇改善が絶対的に必要です。
- ・市役所内各課同士の連携強化もお願いします。
- ・定期巡回随時対応型訪問介護看護を希望します。
- ・介護認定申請書類、市町村特別給付や負担限度額、認定申請書類、例外給付申請書類など、申請書類が全て手書き記入しかできなかつたり、かなり古いフォーマットのものがあり、使いにくい。ダウンロードしたらパソコン画面で入力して書類が作成できるようにしてもらいたいです。

- ・緊急時連絡システム・高齢者見守り通報システムの貸与や現在位置を確認するGPS端末などの貸与はどこの窓口でお願いしたらよいのか。貸与の期間など詳しく知りたいです。いきがいサロン事業や多世代交流カフェなど他者との交流にはとても良いのですが、コロナ禍でどこまで参加していただけるものか心配になります。どこの市町村でもサークルや趣味活動の場をインフォーマルサービスで用意していても、感染対策の関係でどこまでご利用者様に提案していけるのかもアドバイスなどお願いできればと思います。
- ・絶対に介護保険の単位数が足りず、必要なサービスが受けられないとわかっているにもかかわらずそれを補足していただけるしくみがないと思う。
- ・生活保護者の教育を強化していただけますと幸いに存じます。すべての生活保護者の方とは言えないのですが、ご自分の口座から手にするお金は私たちが毎日納入している税金であることの意識がとても薄く感じます。悲しい事件も起こってしまっています。私もこの事件の前に、生活保護者に刃物を出されたことがあります。今後もまた起こりうるのかと思いますので、何か今までとは違う政策がありますと安心して生活保護の高齢者を担当し、業務にあたることができますので幸いに存じます。
- ・認定日が遅くなりその前にサービスを必要とする人がいる場合困る。（特に、支援か介護になるか判断が難しい時は特に）
- ・ケアマネジャーは相談する方々によってそれぞれ忙しさが違ってきます。月に何度も訪問したりショート調整等、緊急対応等が入ると、本当にあっという間に終わってしまいます。福祉用具の貸与のみの方は月1回の訪問だけで何年も担当している人がいます。これをケアマネジャーが1か月分の支払い分をいただいています。福祉用具のみなら、包括や役所で対応するだけでよいと思います。それ以上のサービスが必要になったらケアマネジャーが担当する。又、居宅の事業所加算、訪問介護の事業所加算は必要ないと思います。研修等は義務化してその加算分は他の予算に使ってほしい。現在、支援、総合事業の訪問介護の依頼をしても断られます。それは、単位数が安いからです。単位数を下げるより、利用者の負担を多くしたりすることも良いと思います。今後、高齢者が増える中、若い人が減少しています。高齢者にだけお金を使ってほしくありません。子どもにもお金を使ってください。
- ・介護をする人への支援はないのかとよく聞かれることがある。直接的な支援を望む人も増えているように思えます。
- ・市役所にはその都度お聞きしているので今は特にありません。
- ・市に対しての意見はいつも対応してくださっていることから特にありません。制度や課題については介護保険制度が開始されて20年以上が経ちますが、制度利用者の増加にサービス提供体制が追い付いていないように感じます。
- ・ケアマネジャー業務で感じることは、介護保険サービスだけにとどまらず、生活支援も必要な場合があります。そんな時には誰もが、介護保険以外のことを相談にのってもらえる、アドバイスしてもらえる相談窓口が明確にあると安心です。また、平均寿命が延びたことにより、介護者が高齢になるケースが増えてきています。介護状態にならないようにすることや、将来について元気なうちに話し合っていくことが必要になると思います。
- ・地域ケア会議の目的を“地域包括ケアシステムの構築”とよくきくが、はっきりと介護給付費の抑制と言ってもらいたい。原資がないとできないということを理解した上に良いケアマネジメントがあると思います。きれいごとではないのですから。

- ・介護保険制度の活用だけでは自立できない世帯が増えてきている。介護保険の第四条について周知していくようにしているが、行政になんとかしてもらおうという方が多く、なかなか理解がむずかしい。次回介護保険の冊子を作る時に大きく第四条が見えるようにしてほしいです。
- ・「介護保険料を納めているのだから使わないと損」と話される高齢者ご家族の多さに驚いています。市民に「要支援にならない方が得」と思えるような働きかけが必要だと思いません。
- ・介護保険を卒業してもメリットがないという利用者からの意見がありました。
- ・介護予防事業にどう取り組んでいくかは、包括担当課だけでなく、市として連動していくことが重要と考えます。包括の少人数の中では支援を要する人への対応におわれてしまっているのが現状です。
- ・相談内容を伺ってみると、市役所へ相談したところ、地域包括支援センターへ相談するように言われたというケースで市役所側で対応できるものがあります。最初の窓口の段階で相談内容を聞いてもらえると助かります。
- ・認定結果が本人の状態から見て家族、ケアマネジャー、サービス事業者が予想していたより、軽い介護度がでたため、すぐに区分変更申請をしたケースが何件かありました。調査の時は本人もがんばってしまったり、普段できないことをできると言うこともあるのでその場の状態だけでなく、総合的に見て判断していただけると助かります。
- ・要支援の方の通所先が少ない。支援は〇人までと制限を設けている所があり、利用者が選択できる事業所が少ない。軽度の方を受け入れる総合事業がひろがっていかないと、重度の人も含めサービス利用がすぐにできない状況が広がると思う。ヘルパーについてはどこも人手が足りず、受けてくれるところが減っているため、早急にサービスAの拡大が必要であると思う。

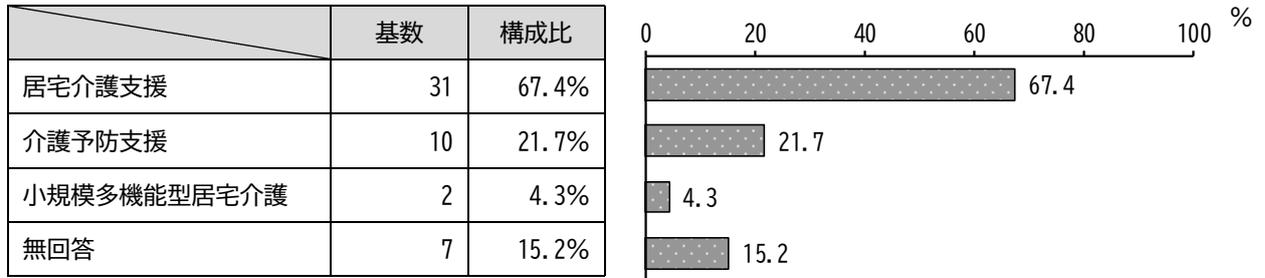
第6章 ケアマネジャー実態調査（事業所）

1 事業所の状況について

（1）事業所のサービス種別

志木市内で提供しているサービス

「居宅介護支援」の割合が67.4%と最も高く、次いで「介護予防支援」の割合が21.7%となっています。



（2）事業所の状況

【問1】 貴事業所の状況についてお伺いします。

【問2】 貴事業所において、過去1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の間に、自宅等から居場所を変更した利用者数を、要介護度別にお答えください。

【問3】 貴事業所において、過去1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の間に、自宅等から居場所を変更した利用者数を、行き先別にお答えください。
※一時的に入院して自宅等以外の場所に移った場合は、退院後の居場所としてください。

	所属する ケアマネジャーの人数	自宅等（※） にお住いの利用者数	サ高住・住宅型有料・ 軽費老人ホーム にお住いの利用者数
全体（n）	46	46	46
合計	146人	2,205人	196人
平均	3.2人	56.5人	5.2人

※サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホーム以外にお住まいの方

自宅等から居場所を変更した利用者数 介護度別

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
全体（n）	46	46	46	46	46	46	46	46
合計	17人	23人	130人	77人	78人	60人	47人	432人
平均	1.2人	1.5人	5.7人	4.1人	3.9人	2.9人	2.4人	10.5人
比率	3.9%	5.3%	30.1%	17.8%	18.1%	13.9%	10.9%	100.0%

第6章 ケアマネジャー実態調査（事業所）

自宅等から居場所を変更した利用者数 退居先別

全体の人数

	兄弟姉妹・子・親戚等の家	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム（特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設
全体（n）	46	46	46	46	46	46	46	46
合計	15人	7人	0人	29人	9人	20人	0人	41人
平均	0.9人	0.5人	0.0人	1.2人	0.6人	1.3人	0.0人	2.1人
比率	2.8%	1.3%	0.0%	5.4%	1.7%	3.7%	0.0%	7.7%

	介護医療院・介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない	死亡（搬送先での死亡を含みます）	合計
全体（n）	46	46	46	46	46	46	46
合計	21人	35人	0人	171人	8人	178人	534人
平均	1.4人	1.8人	0.0人	13.2人	1.6人	7.4人	11.6人
比率	3.9%	6.6%	0.0%	32.0%	1.5%	33.3%	100.0%

うち、志木市の被保険者

	兄弟姉妹・子・親戚等の家	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム（特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設
全体（n）	46	46	46	46	46	46	46	46
合計	6人	4人	0人	13人	7人	3人	0人	20人
平均	0.8人	0.6人	0.0人	1.2人	0.8人	0.6人	0.0人	2.2人
割合※	40.0%	57.1%	0.0%	44.8%	77.8%	15.0%	0.0%	48.8%

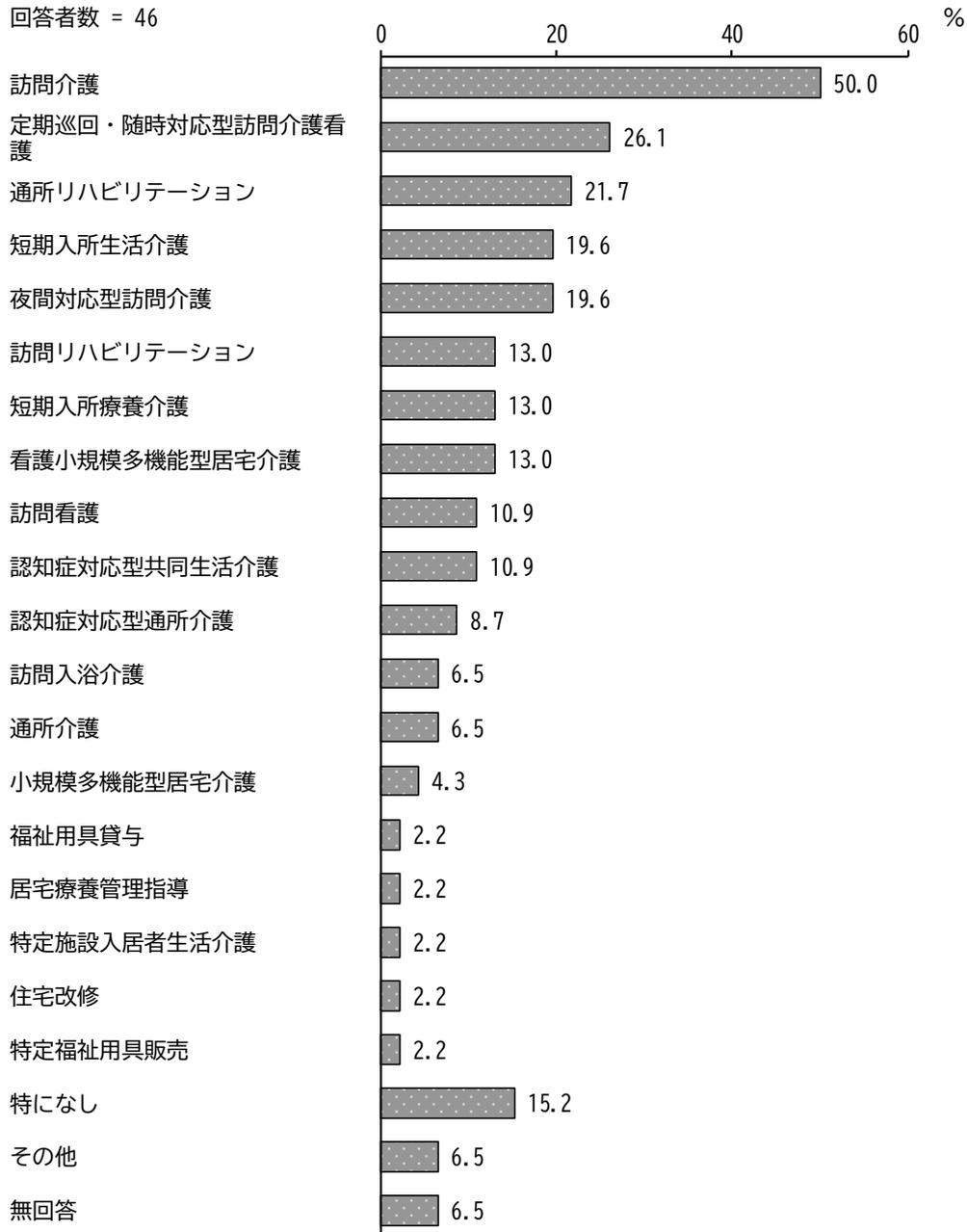
	介護医療院・介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない	死亡（搬送先での死亡を含みます）	合計
全体（n）	46	46	46	46			
合計	8人	15人	0人	154人			
平均	1.0人	1.7人	0.0人	25.7人			
割合※	38.1%	42.9%	0.0%	90.1%			

※全体に占める志木市被保険者の割合

2 介護サービスについて

【問1】本市の介護保険サービスの中で、供給が不足していると感じられるサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

「訪問介護」の割合が50.0%と最も高く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が26.1%、「通所リハビリテーション」の割合が21.7%となっています。

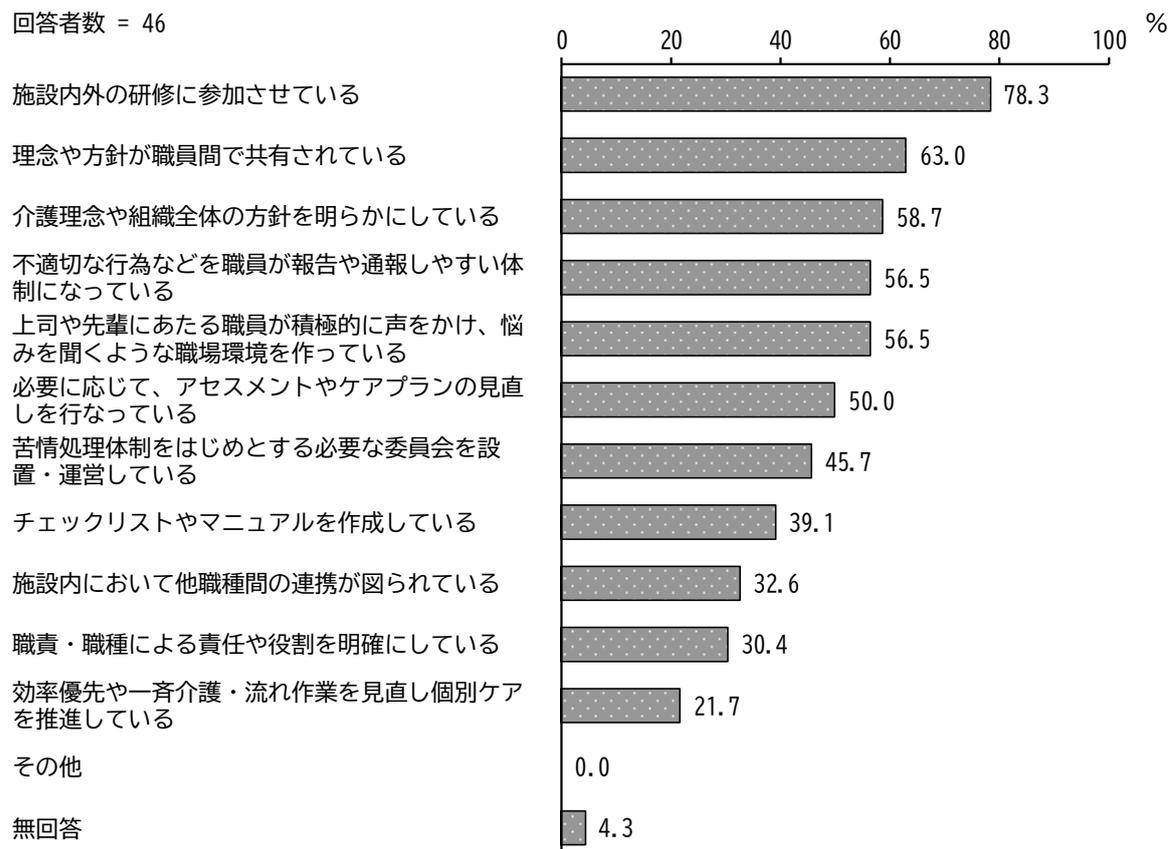


3 虐待防止について

【問1】虐待に対して防止策や対応策として取り組んでいることはありますか。
 (〇はいくつでも)

「施設内外の研修に参加させている」の割合が78.3%と最も高く、次いで「理念や方針が職員間で共有されている」の割合が63.0%、「介護理念や組織全体の方針を明らかにしている」の割合が58.7%となっています。

回答者数 = 46

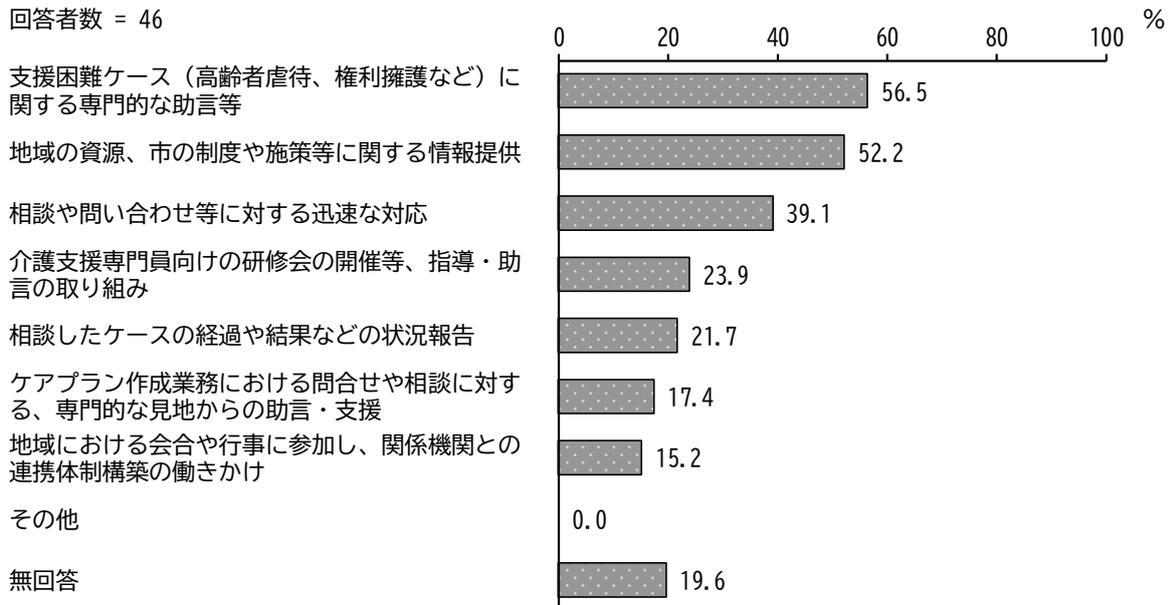


4 地域包括ケアについて

【問1】 地域包括支援センターに何の機能を強化してほしいですか。（〇はいくつでも）

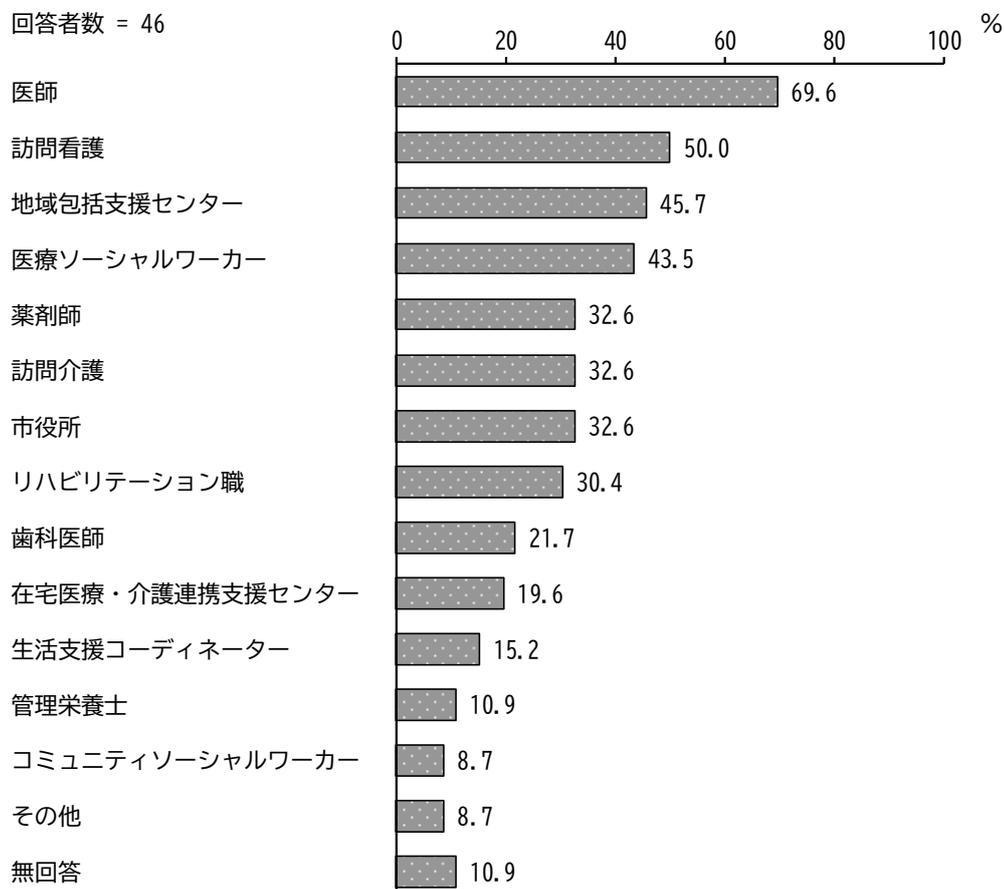
「支援困難ケース（高齢者虐待、権利擁護など）に関する専門的な助言等」の割合が56.5%と最も高く、次いで「地域の資源、市の制度や施策等に関する情報提供」の割合が52.2%、「相談や問い合わせ等に対する迅速な対応」の割合が39.1%となっています。

回答者数 = 46



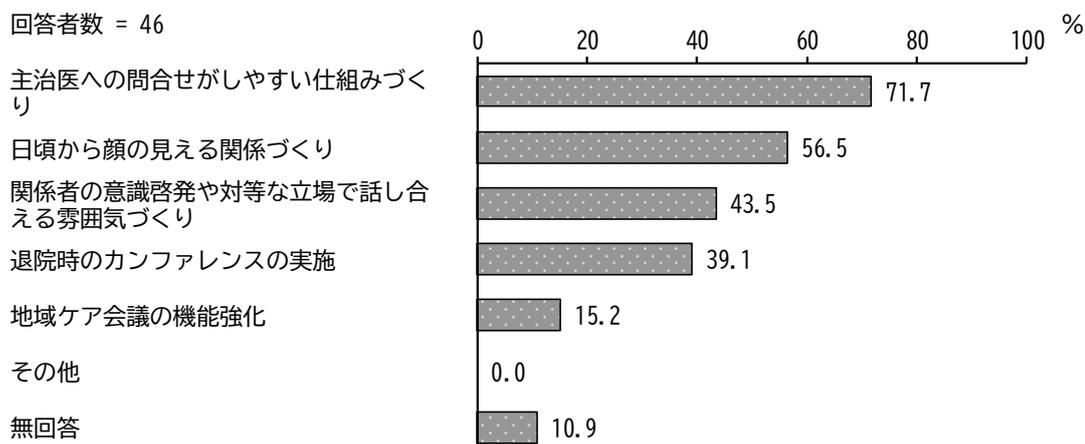
【問2】 利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。
（〇はいくつでも）

「医師」の割合が69.6%と最も高く、次いで「訪問看護」の割合が50.0%、「地域包括支援センター」の割合が45.7%となっています。



【問3】 介護従事者と医療関係者等が多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題がありますか。（〇はいくつでも）

「主治医への問合せがしやすい仕組みづくり」の割合が71.7%と最も高く、次いで「日頃から顔の見える関係づくり」の割合が56.5%、「関係者の意識啓発や対等な立場で話し合える雰囲気づくり」の割合が43.5%となっています。



第7章 介護サービス事業所

1 事業所の状況について

(1) 該当するサービス種別をご回答ください。【在宅／居宅・施設】

事業所のサービス種別【在宅】

「訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、訪問看護）」の割合が45.8%と最も高く、次いで「通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護）」の割合が37.5%となっています。

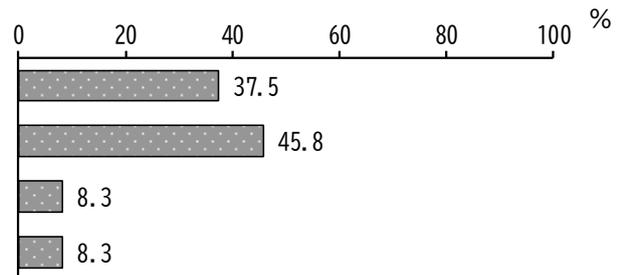
回答者数 = 24

通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、
通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護）

訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴介護、
訪問リハビリテーション、訪問看護）

小規模多機能型居宅介護

無回答



事業所のサービス種別【居宅・施設】

「グループホーム」の割合が35.7%と最も高く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設の指定を受けていない）」の割合が21.4%、「特定施設」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 14

住宅型有料老人ホーム

軽費老人ホーム（特定施設の指定を受けていない）

サービス付き高齢者向け住宅（特定施設の指定を受けていない）

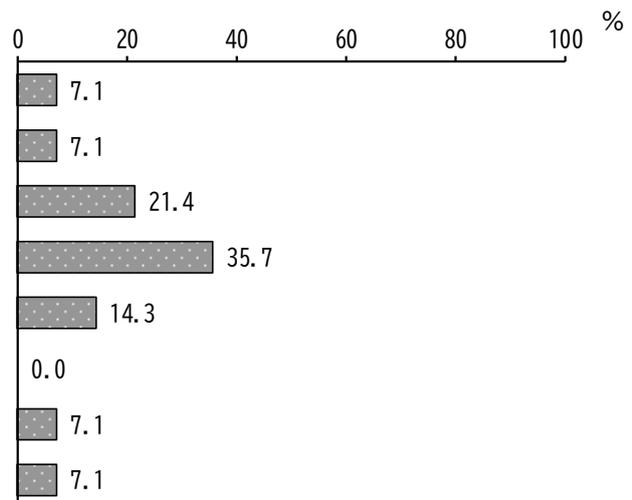
グループホーム

特定施設

介護老人保健施設

特別養護老人ホーム

無回答



(2) 概要についてお伺いします。【居宅・施設】

	A	B	C	D	E	F
	定員数	入所・入居者数	稼働率 (B/A)	施設等の待機者数	入居者のうち、特養への申し込み者数	入居者のうち、特養への申し込み率 (E/B)
全体 (n)	14	14	14	14	14	14
合計	427人	428人	100.2%	17人	6人	1.4%
平均	32.8人	30.6人		1.7人	0.5人	

(3) 介護度別入居者数についてご記入ください。【居宅・施設】

全体の人数

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	合計
全体 (n)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	15人	16人	10人	76人	61人	83人	90人	77人	0人	428人
平均	1.4人	1.6人	0.9人	5.8人	4.7人	5.9人	6.4人	5.5人	0.0人	30.6人
比率	3.5%	3.7%	2.3%	17.8%	14.3%	19.4%	21.0%	18.0%	0.0%	100.0%

うち、志木市の被保険者

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	合計
全体 (n)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	4人	10人	8人	53人	33人	50人	48人	43人	0人	249人
平均	0.7人	1.4人	1.0人	4.4人	2.8人	3.8人	4.0人	3.9人	0.0人	19.2人
比率	2.4%	6.0%	4.8%	31.5%	19.6%	29.8%	28.6%	25.6%	0.0%	100.0%
割合※	26.7%	62.5%	80.0%	69.7%	54.1%	60.2%	53.3%	55.8%	0.0%	58.2%

※全体に占める志木市被保険者の割合

(4) 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。【居宅・施設】

	点滴の 管理	中心静脈 栄養	透析	スーパ の処置	酸素療法	レスピ レーター	気管切開 の処置	疼痛の 看護
対象者のい る事業所数	0	0	2	3	3	0	0	0
対象者のい る事業所率	0.0%	0.0%	14.3%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%
対象者合計	0人	0人	6人	4人	3人	0人	0人	0人

	経管栄養	モニター 測定	褥瘡の 処置	カテー テル	喀痰吸引	インスリ ン注射	その他
対象者のい る事業所数	4	0	5	2	2	5	1
対象者のい る事業所率	28.6%	0.0%	35.7%	14.3%	14.3%	35.7%	7.1%
対象者合計	10人	0人	8人	6人	7人	10人	23人

※対象者のいる事業所率＝対象者のいる事業所÷14事業所（居宅・施設系の回答総数）

2 過去1年間の新規入所・入居者について

(1) 過去1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日）に、貴施設等に新規で入所・入居した方の人数をお答えください。【居宅・施設】

(2) (1) でご記入いただいた過去1年間の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をお答えください。【居宅・施設】

		自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム (特定施設除く)	サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設
A	全体 (n)	14	14	14	14	14	14	14
B	項目合計	52人	1人	0人	3人	1人	1人	0人
C	市内の項目合計	29人	1人	0人	1人	0人	0人	0人
D	市外の項目合計	23人	0人	0人	2人	1人	1人	0人
E	市内の割合 (C÷B)	55.8%	100.0%	/	33.3%	0.0%	0.0%	/
F	項目の比率 (B÷合計のB※)	43.3%	0.8%	0.0%	2.5%	0.8%	0.8%	0.0%

		介護老人保健施設	介護療養型医療施設・介護医療院 市内	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない	合計
A	全体 (n)	14	14	14	14	14	14	14
B	項目合計	25人	3人	5人	0人	29人	0人	120人※
C	市内の項目合計	13人	3人	5人	0人	6人	/	/
D	市外の項目合計	12人	0人	0人	0人	23人	/	/
E	市内の割合 (C÷B)	52.0%	100.0%	100.0%	/	20.7%	/	/
F	項目の比率 (B÷合計のB※)	20.8%	2.5%	4.2%	0.0%	24.2%	/	/

3 過去1年間の退居者について

- (1) 過去1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日）に、貴施設等を退居した方の人数をお答えください。【居宅・施設】
- (2) 介護度別退居者数についてご記入ください。※区分変更申請中の方は、変更前の区分としてください。【居宅・施設】

介護度別

全体の人数

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	死亡	合計
全体 (n)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	1人	1人	4人	8人	13人	14人	19人	15人	0人	21人	96人
平均	0.5人	0.5人	1.0人	1.1人	2.2人	1.8人	2.4人	2.5人	0.0人	2.3人	6.9人
比率	1.0%	1.0%	4.2%	8.3%	13.5%	14.6%	19.8%	15.6%	0.0%	21.9%	100.0%

うち、志木市の被保険者

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	死亡	合計
全体 (n)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	0人	1人	3人	4人	3人	6人	11人	6人	0人	5人	39人
平均	0.0人	0.5人	1.0人	0.8人	1.0人	1.2人	1.8人	1.5人	0.0人	1.7人	3.9人
比率	0.0%	2.6%	7.7%	10.3%	7.7%	15.4%	28.2%	15.4%	0.0%	12.8%	100.0%
割合※	0.0%	100.0%	75.0%	50.0%	23.1%	42.9%	57.9%	40.0%	0.0%	23.8%	40.6%

※全体に占める志木市被保険者の割合

(3)(2)でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退居先別の人数をお答えください。【居宅・施設】

退去先別

全体の人数

	自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム(特定施設除く)	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設
全体(n)	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	3人	1人	0人	6人	0人	0人	0人	0人
平均	0.4人	0.2人	0.0人	0.8人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
比率	2.8%	0.9%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療院 介護療養型医療施設・介護	介護療養型医療施設・介護 医療院を除く病院・診療所	特別養護老人ホーム	ホーム 地域密着型特別養護老人	その他	行き先を把握していない	死亡	合計
全体(n)	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	3人	32人	11人	2人	1人	2人	46人	107人
平均	0.5人	2.5人	0.9人	0.3人	0.2人	0.7人	3.5人	7.6人
比率	2.8%	29.9%	10.3%	1.9%	0.9%	1.9%	43.0%	100.0%

うち、志木市の被保険者

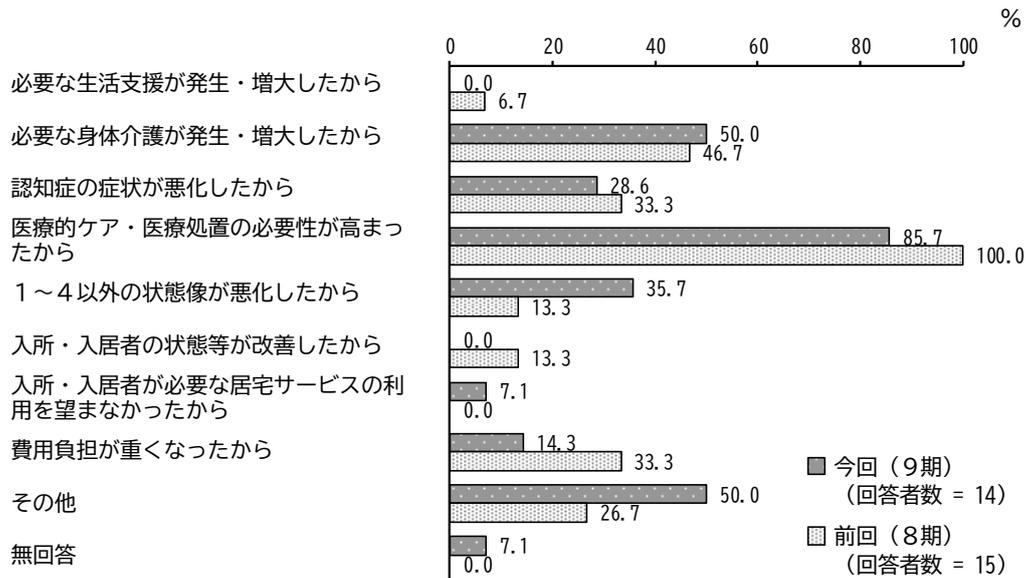
	自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム(特定施設除く)	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設
全体(n)	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	1人	1人	0人	2人	0人	0人	0人	0人
平均	0.3人	0.3人	0.0人	0.7人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
割合※	33.3%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療院 介護療養型医療施設・介護	医療院を除く病院・診療所 介護療養型医療施設・介護	特別養護老人ホーム	ホーム 地域密着型特別養護老人	その他	行き先を把握していない	死亡	合計
全体(n)	14	14	14	14	14			
合計	2人	7人	6人	1人	0人			
平均	0.7人	1.8人	1.0人	0.3人	0.0人			
割合※	66.7%	21.9%	54.5%	50.0%	0.0%			

※全体に占める志木市被保険者の割合

(4) 貴施設等の入居者・入所者が退居する理由は何ですか。退居理由として多い上位3つまで選んで、○を付けてください。【居宅・施設】

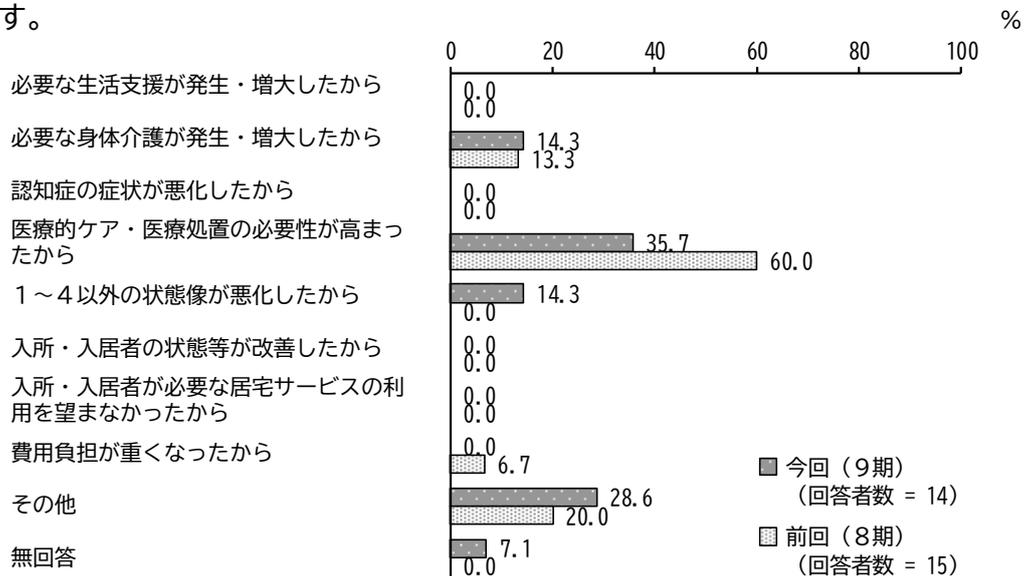
入居者・入所者が退去する理由について聞いたところ、上位3位までのいずれかに回答した割合としては、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」の割合が85.7%と最も高く、次いで「必要な身体介護が発生・増大したから」の割合が50.0%、「1～4以外の状態像が悪化したから」の割合が35.7%となっています。

前回と比較すると、「1～4以外の状態像が悪化したから」「入所・入居者が必要な居宅サービスの利用を望まなかったから」の割合が増加しています。一方、「必要な生活支援が発生・増大したから」「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」「入所・入居者の状態等が改善したから」「費用負担が重くなったから」の割合が減少しています。



上位3つのうち、第1位についてみると、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」の割合が35.7%と最も高く、次いで「必要な身体介護が発生・増大したから」、「1～4以外の状態像が悪化したから」の割合が14.3%となっています。

前回と比較すると、「1～4以外の状態像が悪化したから」の割合が増加しています。一方、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」「費用負担が重くなったから」の割合が減少しています。



4 職員の状況について

※ここでの「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員のことを指し、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用職員のことを指します。また、賃金の支払いを受けている方とし、ボランティアの方は含めないでください。

(1) 介護職員の総数についてお伺いします。【共通】

	正規職員	非正規職員	合計
在職事業所	34	29	35
在職率	89.5%	76.3%	92.1%
合計	245人	261人	506人
平均	7.2人	9.0人	14.5人

※在職率＝在職事業所÷38事業所（回答総数）

(2) 過去1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の、介護職員の採用者数と離職者数をお答えください。【共通】

(3) (2)の採用者、離職者について、正規・非正規の別、年齢別を記入してください。【共通】

		採用	離職
A	実施事業所	27	21
B	人数合計	115人	80人
C	採用実施率／離職率	71.1%	55.3%
D	採用者／離職者がいた事業所における平均人数	4.3人	3.8人

※採用実施率／離職率＝在職事業所÷38事業所（回答総数）

雇用形態・年齢別の比率【採用】

雇用形態	正規								合計
	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計	1人	7人	7人	24人	16人	4人	0人	0人	59人
比率	0.9%	6.1%	6.1%	20.9%	13.9%	3.5%	0.0%	0.0%	51.3%
雇用形態	非正規								合計
	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計	0人	9人	9人	20人	12人	6人	0人	0人	56人
比率	0.0%	7.8%	7.8%	17.4%	10.4%	5.2%	0.0%	0.0%	48.7%

第7章 介護サービス事業所

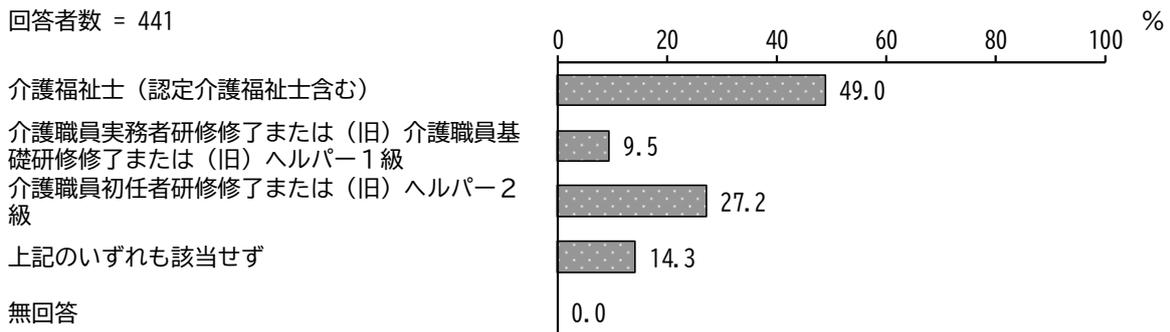
雇用形態・年齢別の比率【離職】

雇用形態	正規								
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計	1人	6人	3人	11人	6人	3人	0人	0人	30人
比率	1.3%	7.5%	3.8%	13.8%	7.5%	3.8%	0.0%	0.0%	37.5%
雇用形態	非正規								
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計	0人	7人	8人	14人	9人	8人	4人	0人	50人
比率	0.0%	8.8%	10.0%	17.5%	11.3%	10.0%	5.0%	0.0%	62.5%

(4) 介護職員の方の個別状況についてお伺いします。全職員の資格の取得状況等について、下記の表に職員ごとにお答えください。対象となる利用者様が30名を超える場合は、お手数をおかけしますが、必要分に応じてコピーなどをお取りください。【共通】

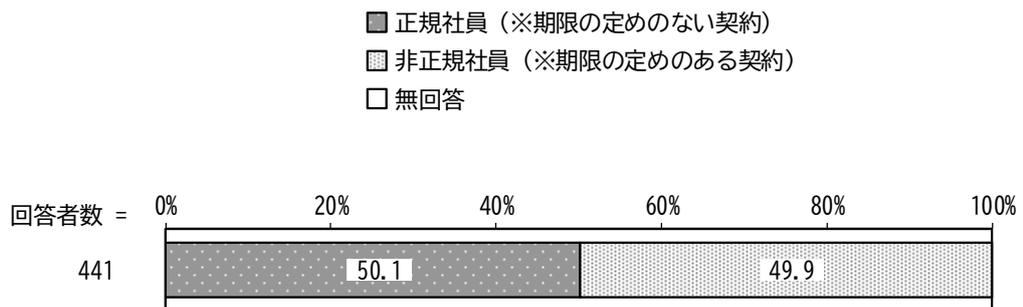
資格の取得、研修の終了の状況

「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」の割合が49.0%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了または（旧）ヘルパー2級」の割合が27.2%、「上記のいずれも該当せず」の割合が14.3%となっています。



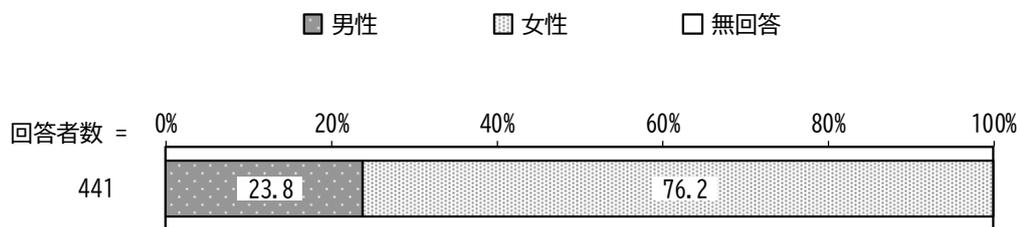
雇用形態

「正規社員（※期限の定めのない契約）」の割合が50.1%、「非正規社員（※期限の定めのある契約）」の割合が49.9%となっています。



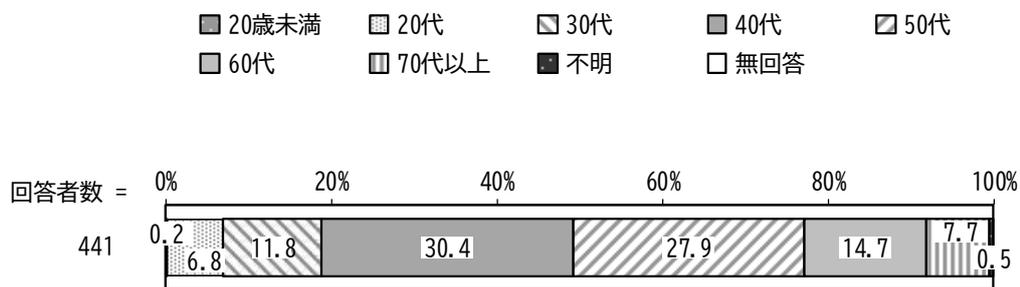
性別

「男性」の割合が23.8%、「女性」の割合が76.2%となっています。



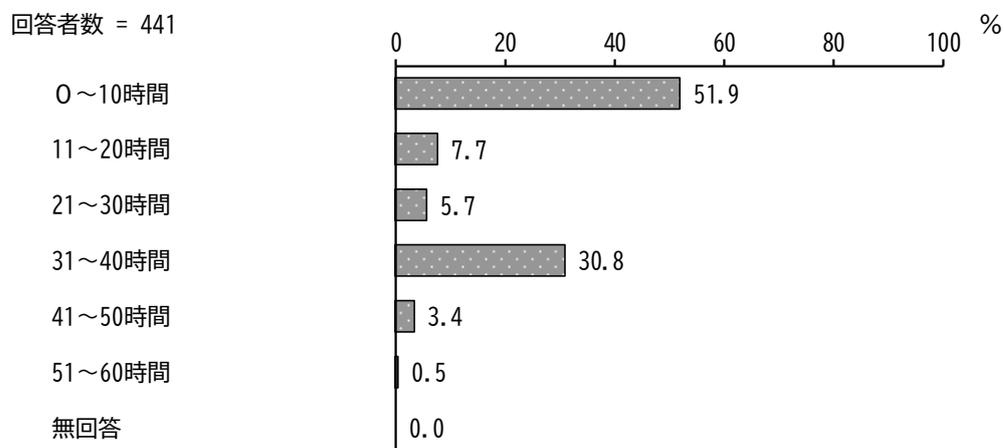
年齢

「40代」の割合が30.4%と最も高く、次いで「50代」の割合が27.9%、「60代」の割合が14.7%となっています。



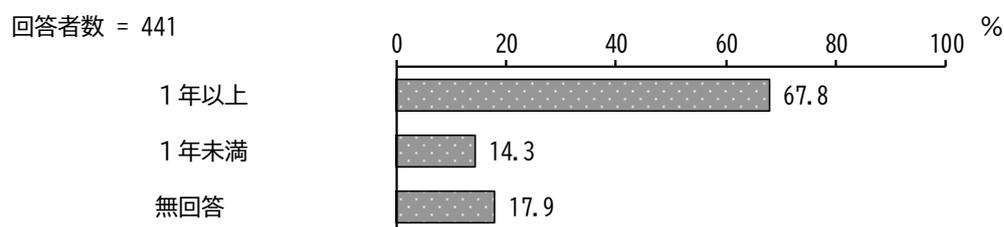
過去1週間の勤務時間 ※残業時間を含む。休業時間は除く。

「0～10時間」の割合が51.9%と最も高く、次いで「31～40時間」の割合が30.8%、「11～20時間」の割合が7.7%となっています。



現在の施設等での勤務年数

「1年以上」の割合が67.8%、「1年未満」の割合が14.3%となっています。

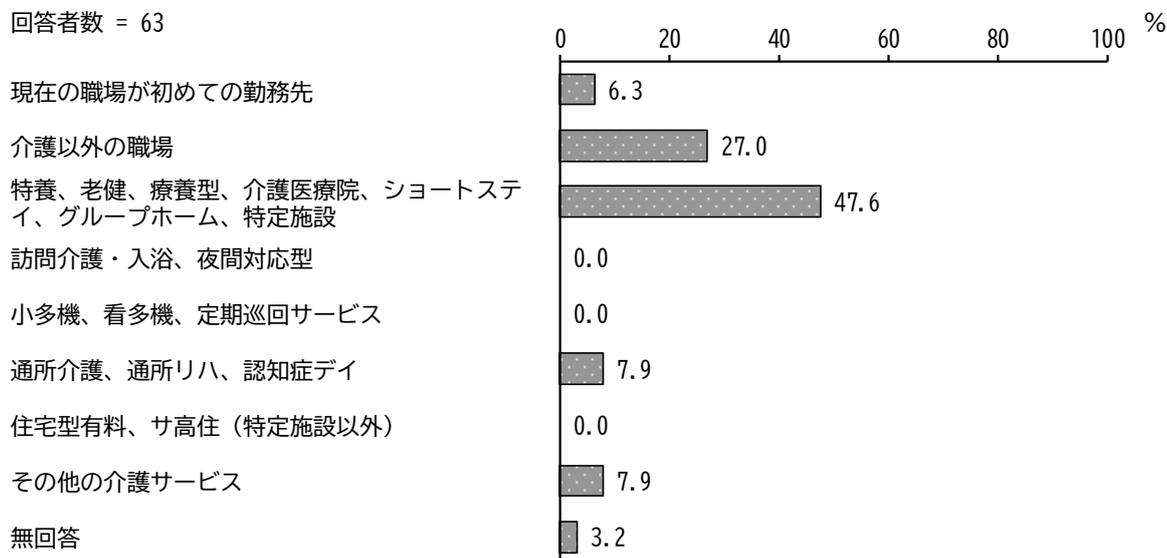


第7章 介護サービス事業所

過去1週間の勤務時間

「特養、老健、療養型、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」の割合が47.6%と最も高く、次いで「介護以外の職場」の割合が27.0%となっています。

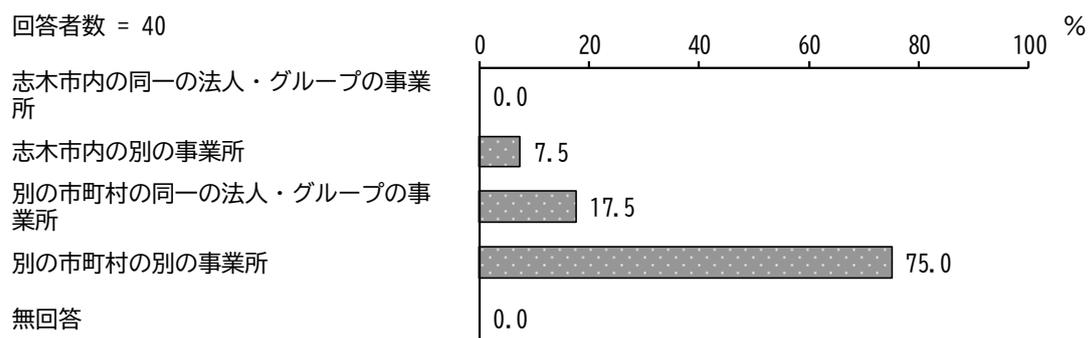
回答者数 = 63



直前の職場について

「別の市町村の別の事業所」の割合が75.0%と最も高く、次いで「別の市町村の同一の法人・グループの事業所」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 40



5 看護職員の状況について

※ここでの「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員のことを指し、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用職員のことを指します。また、賃金の支払いを受けている方とし、ボランティアの方は含めないでください。

(1) 職員の総数についてお伺いします。【在宅】

	正規職員	非正規職員	合計
在職事業所	6	8	11
在職率	25.0%	33.3%	45.8%
合計	20人	16人	36人
平均	3.3人	2.0人	3.3人

在職率 = 在職事業所 ÷ 24 事業所 (在宅系の回答総数)

(2) 過去1年間(令和3年1月1日～令和3年12月31日)の、看護職員の採用者数と離職者数をお答えください。【在宅】

(3) (2)の採用者、離職者について、正規・非正規の別、年齢別を記入してください。【在宅】

		採用	非採用
A	実施事業所	5	3
B	人数合計	9人	3人
C	採用実施率/離職率	20.8%	12.5%
D	採用者/離職者がいた事業者における平均人数	1.8人	1.0人

※採用実施率/離職率 = 実施事業所 ÷ 24 事業所 (在宅系の回答総数)

雇用形態・年齢別の比率【採用】

雇用形態	正規									
	年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計		0人	0人	1人	2人	1人	1人	0人	0人	5人
比率		0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	55.6%
雇用形態	非正規									
	年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計		0人	0人	1人	0人	3人	0人	0人	0人	4人
比率		0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%

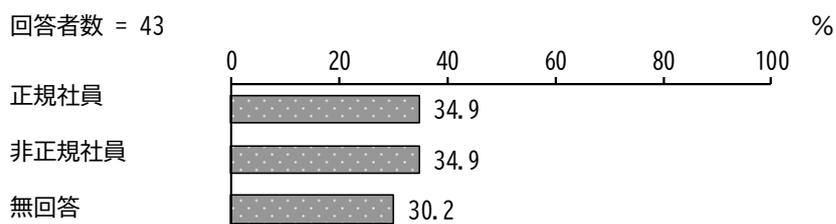
雇用形態・年齢別の比率【離職】

雇用形態	正規								
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	2人
比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%
雇用形態	非正規								
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
合計	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人
比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

(4) 看護職員の方の個別状況についてお伺いします。全職員の状況等について、次ページの表に職員ごとにお答えください。対象となる利用者様が30名を超える場合は、お手数をおかけしますが、必要分に依じてコピーなどをお取りください。【在宅】

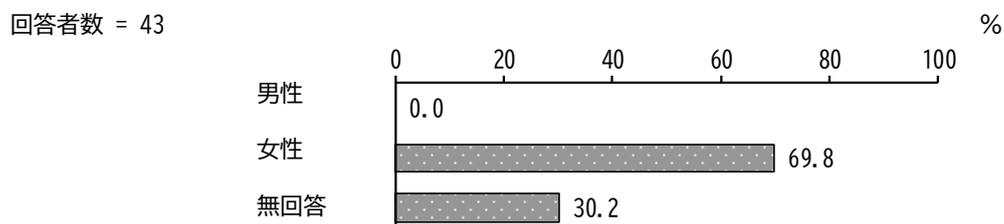
雇用形態

「正規社員（※期限の定めのない契約）」の割合が34.9%、「非正規社員（※期限の定めのある契約）」の割合が34.9%となっています。



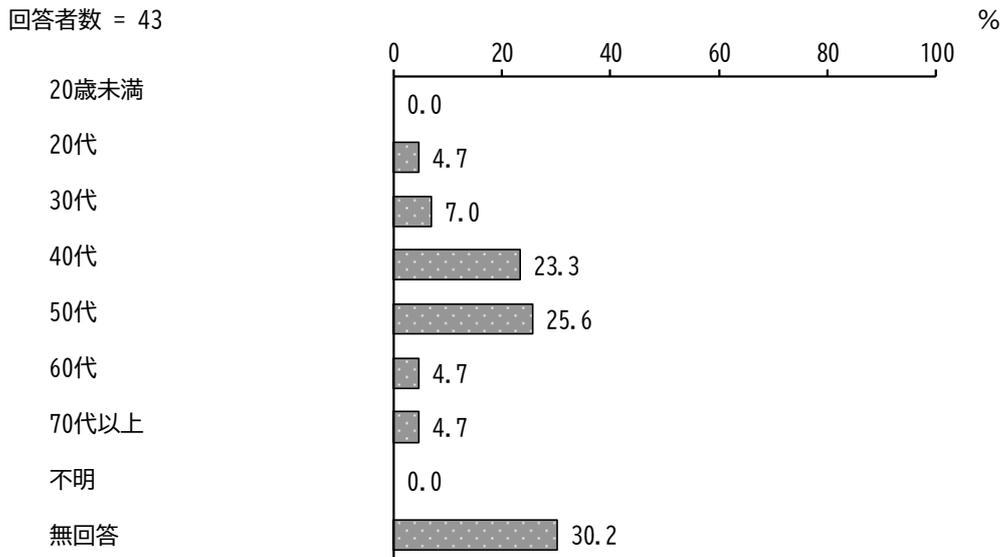
性別

「女性」の割合が69.8%となっています。



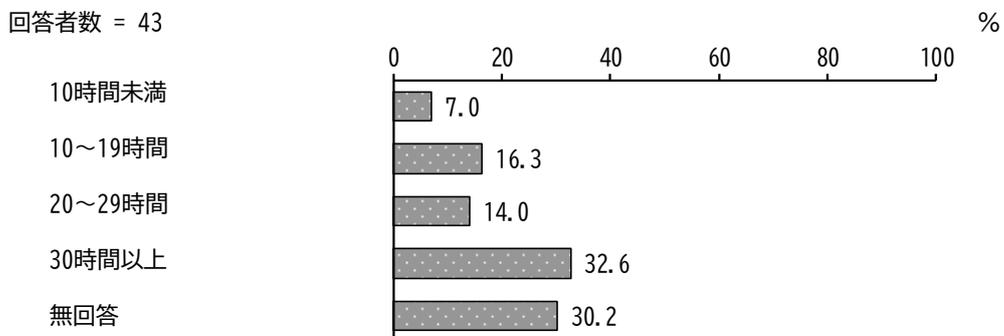
年齢

「50代」の割合が25.6%と最も高く、次いで「40代」の割合が23.3%となっています。



過去1週間の勤務時間

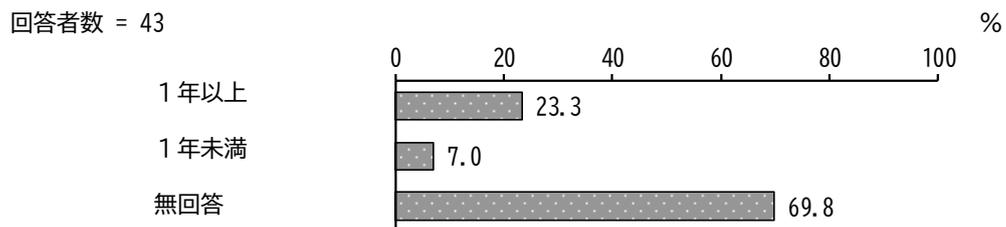
「30時間以上」の割合が32.6%と最も高く、次いで「10～19時間」の割合が16.3%、「20～29時間」の割合が14.0%となっています。



第7章 介護サービス事業所

現在の施設等での勤務年数

「1年以上」の割合が23.3%、「1年未満」の割合が7.0%となっています。



過去1週間の勤務時間

「通所介護、通所リハ、認知症デイ」、「その他の介護サービス」、「医療機関」が1件となっています。

直前の職場について

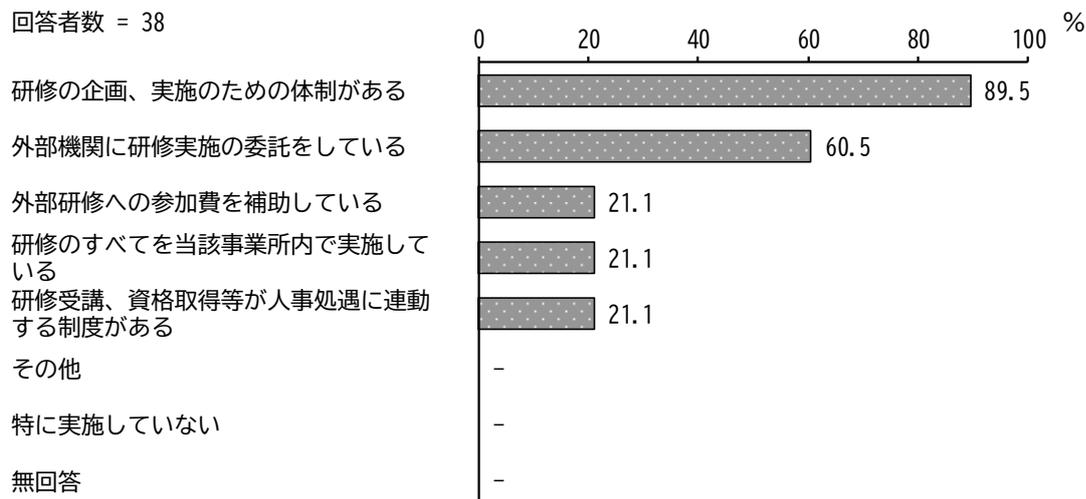
「別の市町村の別の事業所」が2件となっています。

6 サービスの質の向上に関する取組について

1 (1) 貴事業所が実施している職員への研修、資格取得支援についてお答えください。
(あてはまるものすべて)【共通】

「研修の企画、実施のための体制がある」の割合が 89.5%と最も高く、次いで「外部機関に研修実施の委託をしている」の割合が 60.5%となっています。

回答者数 = 38



1 (2) (1) で「特に実施していない」と回答した場合にお尋ねします。
特に実施していない理由は、何ですか。(あてはまるものすべて)【共通】

有効回答がありませんでした。

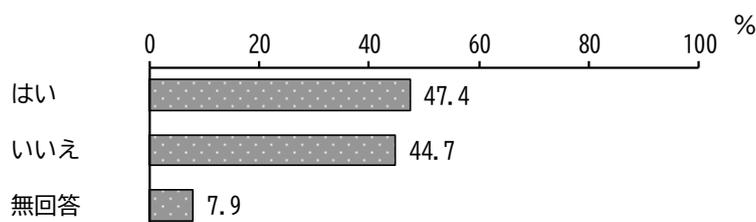
2 (1) 貴事業所が実施している介護サービス向上のための次の取組について、実施の有無をお答えください。【共通】

「はい」と回答した割合が高い項目については、『4. サービス提供困難事例等の検討会実施』(68.4%)、『5. 情報技術の活用による現場スタッフの事務軽減』(55.3%)となっています。

一方、「はい」と回答した割合が低い項目については『6. 介護機器等の活用』(34.2%)、『2. 外部評価機関への第三者評価委託』(26.3%)となっています。

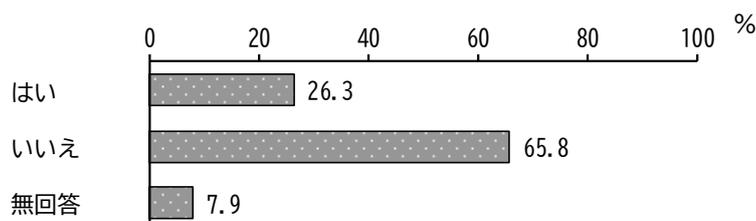
1. 利用者、家族への満足度調査

回答者数 = 38



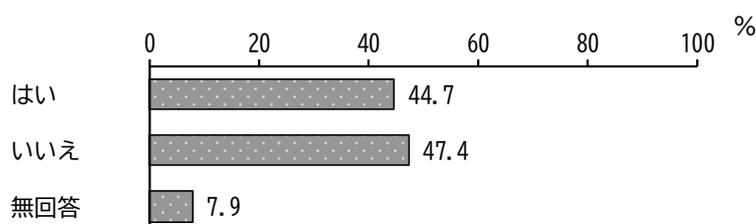
2. 外部評価機関への第三者評価委託

回答者数 = 38



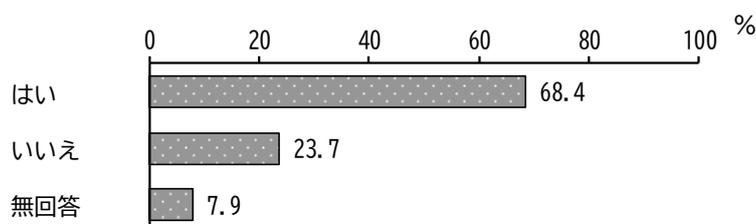
3. 事業所による内部評価の実施

回答者数 = 38



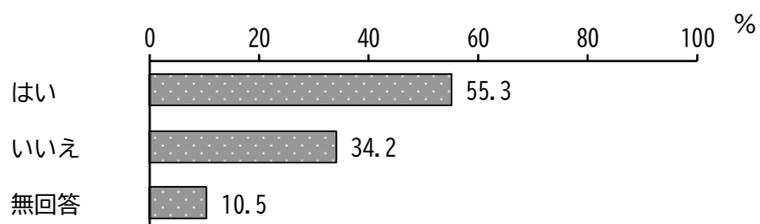
4. サービス提供困難事例等の検討会実施

回答者数 = 38



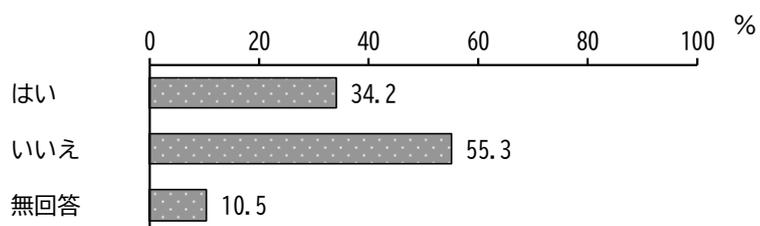
5. 情報技術の活用による現場スタッフの事務軽減

回答者数 = 38



6. 介護機器等の活用

回答者数 = 38

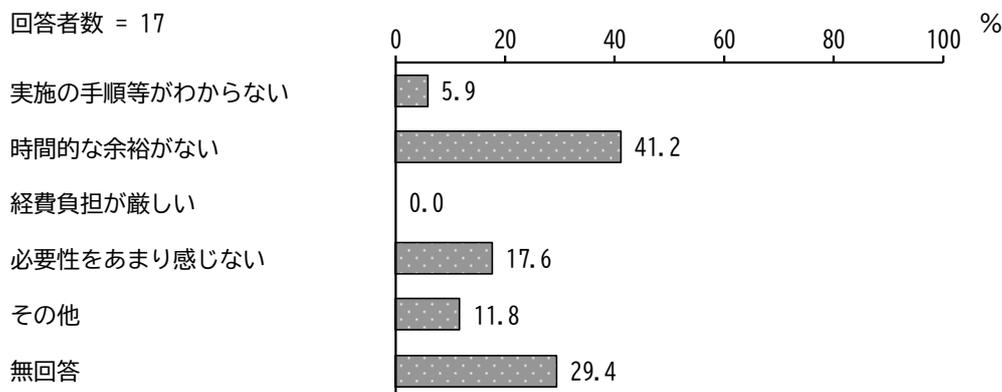


2 (2) 「いいえ」を選んだ場合の理由 (あてはまるものすべて) 【共通】

項目1～4の取組を実施していない理由については、『1. 利用者、家族への満足度調査』『4. サービス提供困難事例等の検討会実施』で「時間的な余裕がない」が最も高くなっている。

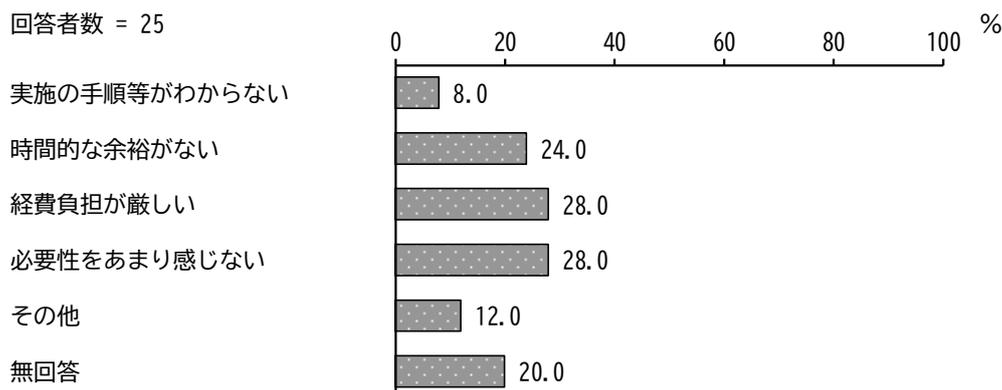
1. 利用者、家族への満足度調査

回答者数 = 17



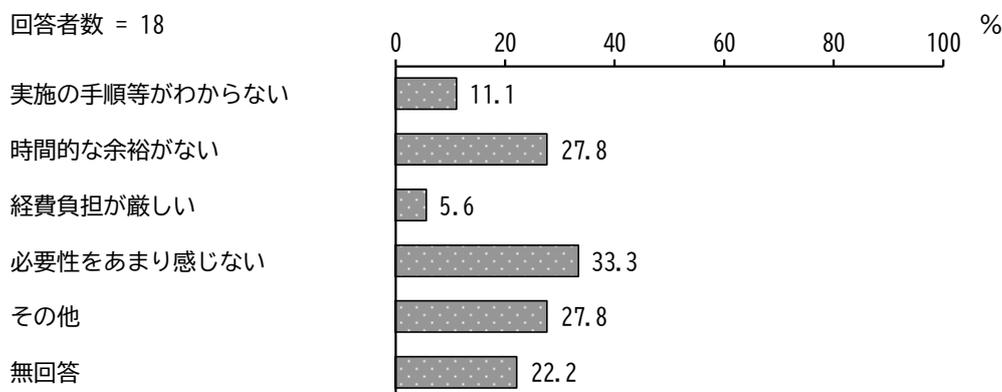
2. 外部評価機関への第三者評価委託

回答者数 = 25

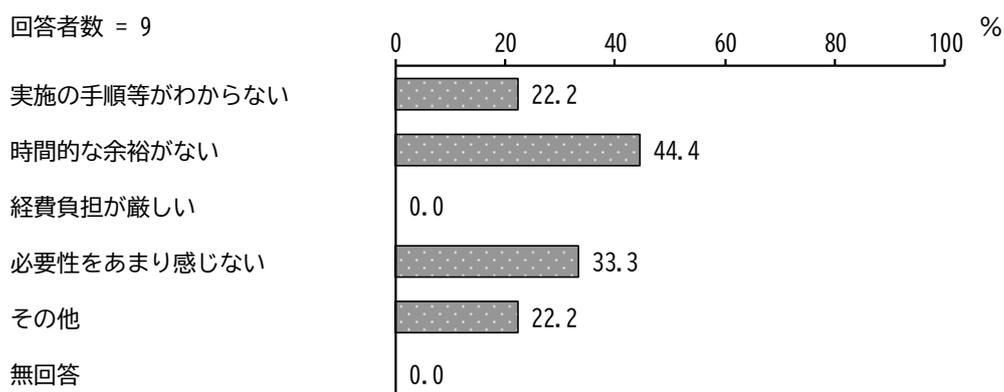


3. 事業所による内部評価の実施

回答者数 = 18

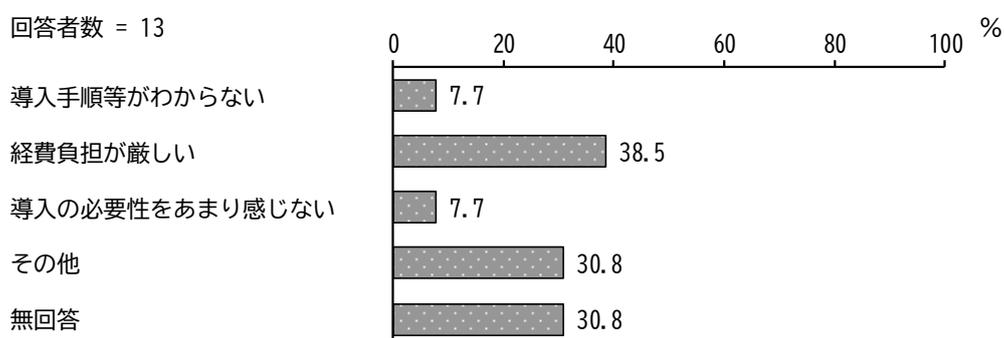


4. サービス提供困難事例等の検討会実施

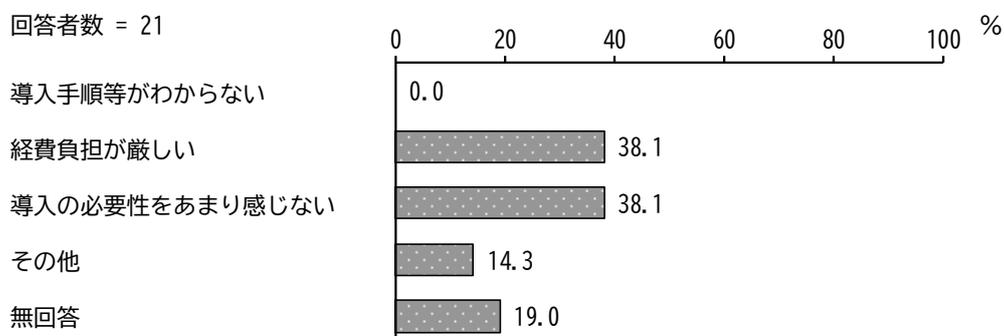


項目5～6の取組を実施していない理由については、『5. 情報技術の活用による現場スタッフの事務軽減』で「経費負担が厳しい」が最も高く、『6. 介護機器等の活用』で「経費負担が厳しい」「導入の必要性をあまり感じない」が最も高くなっている。

5. 情報技術の活用による現場スタッフの事務軽減



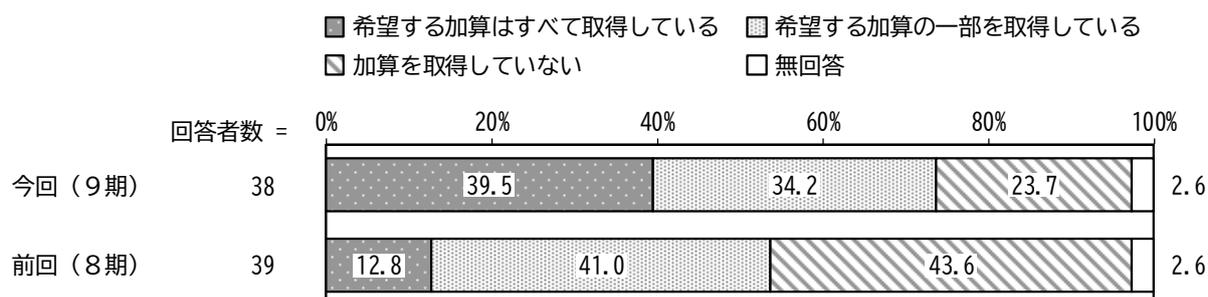
6. 介護機器等の活用



3 (1) 貴事業所では、利用者へより質の高いサービスを提供することを目的として、各種加算（特定事業所加算や生活機能向上訓練加算など）の取得要件を満たすための取組を行っていますか。（※介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算は除きます。）（ひとつだけに○）【共通】

「希望する加算はすべて取得している」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「希望する加算の一部を取得している」の割合が 34.2%、「加算を取得していない」の割合が 23.7%となっています。

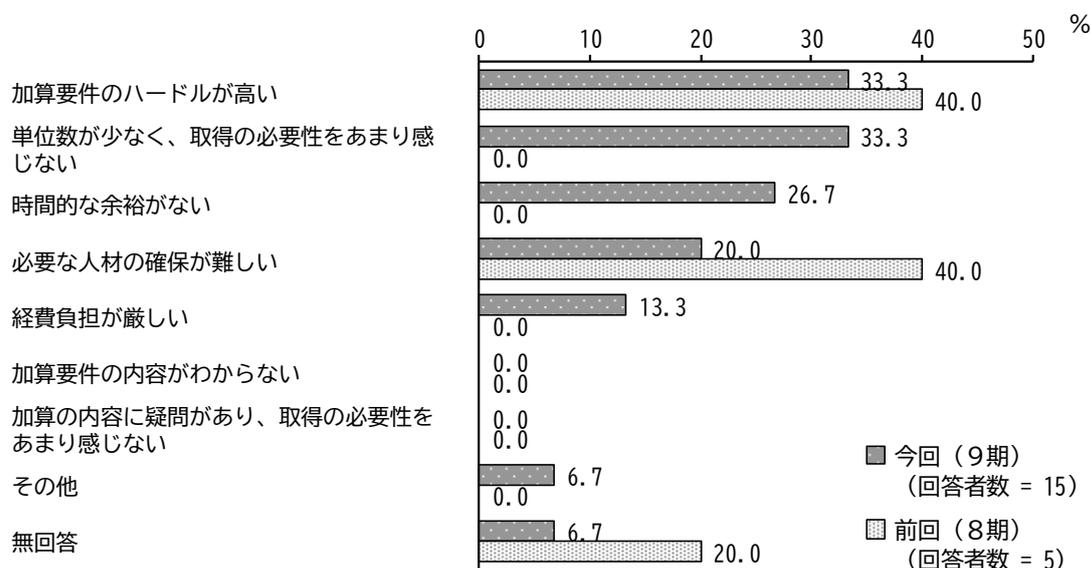
前回と比較すると、「希望する加算はすべて取得している」の割合が増加しています。一方、「希望する加算の一部を取得している」「加算を取得していない」の割合が減少しています。



3 (2) (1) で「希望する加算はすべて取得している」を選んだ場合にお尋ねします。取得済の加算以外を希望していない理由をお答えください。（あてはまるものすべて）【共通】

「加算要件のハードルが高い」「単位数が少なく、取得の必要性をあまり感じない」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「時間的な余裕がない」が 26.7%、「必要な人材の確保が難しい」が 20.0%となっています。

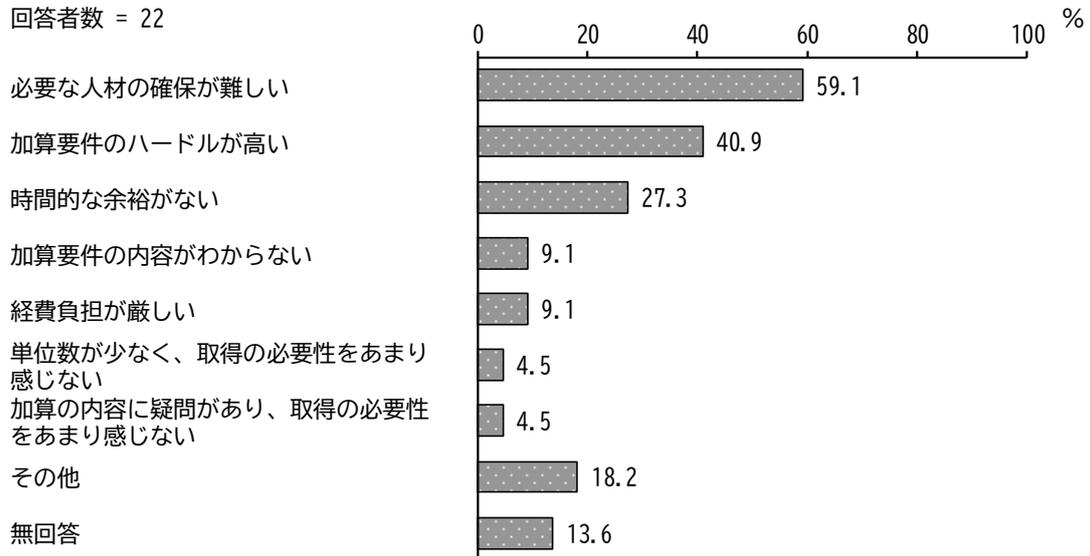
前回と比較すると、「時間的な余裕がない」「経費負担が厳しい」「単位数が少なく、取得の必要性をあまり感じない」の割合が増加しています。一方、「必要な人材の確保が難しい」「加算要件のハードルが高い」の割合が減少しています。



3 (3) (1) で「希望する加算の一部を取得している」「加算を取得していない」を選んだ場合にお尋ねします。
 希望する他の加算を取得しない・できない理由を教えてください。
 (あてはまるものすべて)【共通】

「必要な人材の確保が難しい」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「加算要件のハードルが高い」が 40.9%、「時間的な余裕がない」が 27.3%となっています。

回答者数 = 22



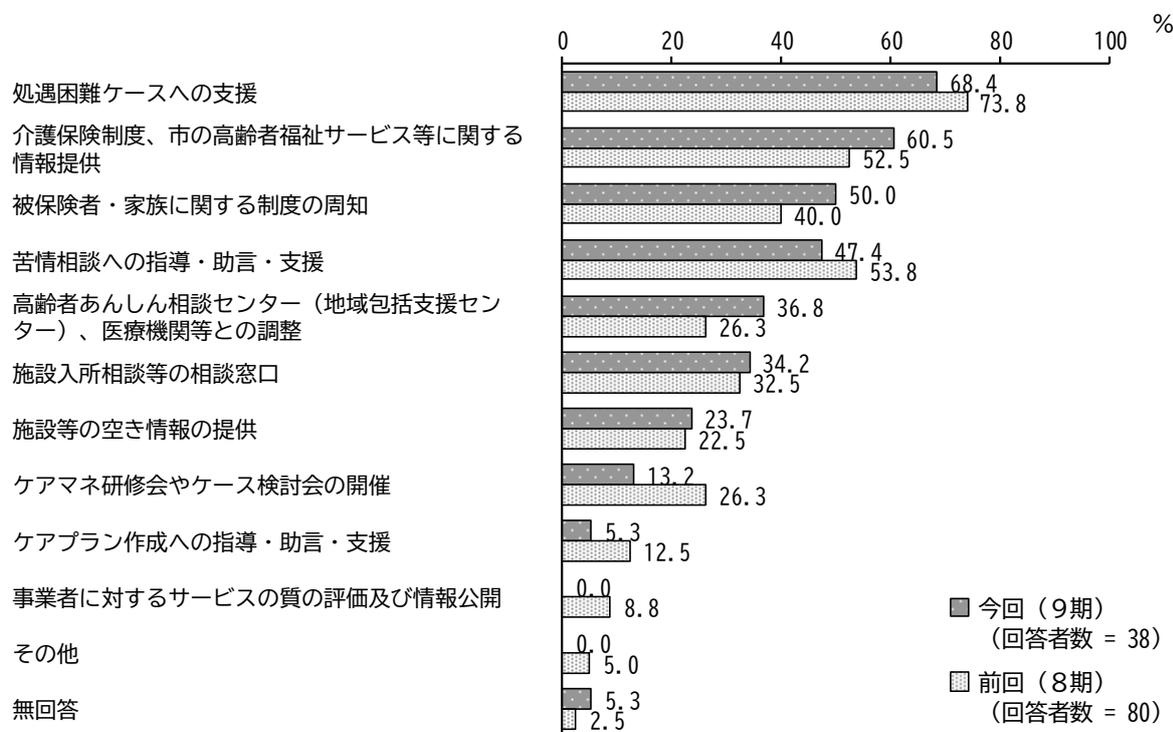
7 保険者（志木市）との連携について

保険者との連携に期待することは何ですか。

（あてはまるものをすべて選んでください。）【共通】

「処遇困難ケースへの支援」の割合が68.4%と最も高く、次いで「介護保険制度、市の高齢者福祉サービス等に関する情報提供」の割合が60.5%、「被保険者・家族に関する制度の周知」の割合が50.0%となっています。

前回と比較すると、「介護保険制度、市の高齢者福祉サービス等に関する情報提供」「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）、医療機関等との調整」「被保険者・家族に関する制度の周知」の割合が増加しています。一方、「苦情相談への指導・助言・支援」「ケアプラン作成への指導・助言・支援」「処遇困難ケースへの支援」「ケアマネ研修会やケース検討会の開催」「事業者に対するサービスの質の評価及び情報公開」の割合が減少しています。



8 医療と介護の連携について

(1) 医療と円滑に連携ができていると思いますか。各機関等との連携状況について、最もよくあてはまるものを選んでください。【在宅】

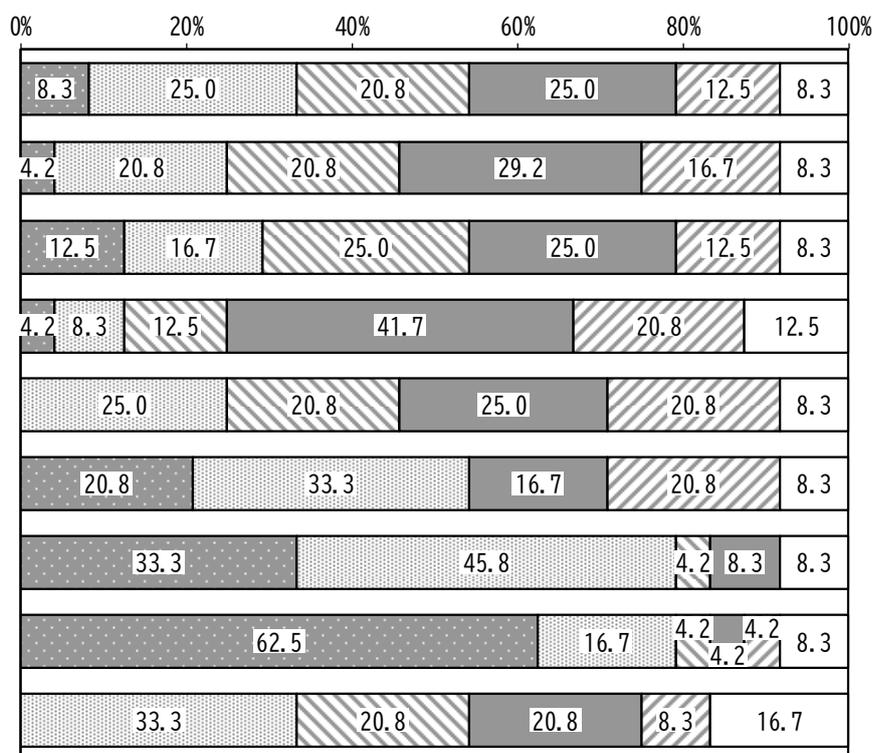
「普段からよく連携している」と「ある程度連携している」をあわせた“連携が進んでいる”と回答した割合が高い項目については、『8. 他の居宅介護支援事業所』(79.2%)、『7. 高齢者あんしん相談センター』(79.1%)、『6. 訪問看護ステーション』(54.1%)となっている。

一方、「連携が充分ではない」と「ほとんど連携していない」をあわせた“連携が進んでいない”と回答した割合が高い項目については、『4. 歯科診療所(歯科医院、クリニック)』(54.2%)、『2. 病院(医師)』・『3. 病院(地域連携担当)』(ともに50.0%)となっている。

- 普段からよく連携している
- ある程度連携している
- 連携が十分ではない
- ほとんど連携していない
- 必要な対象がなく、連携していない
- 無回答

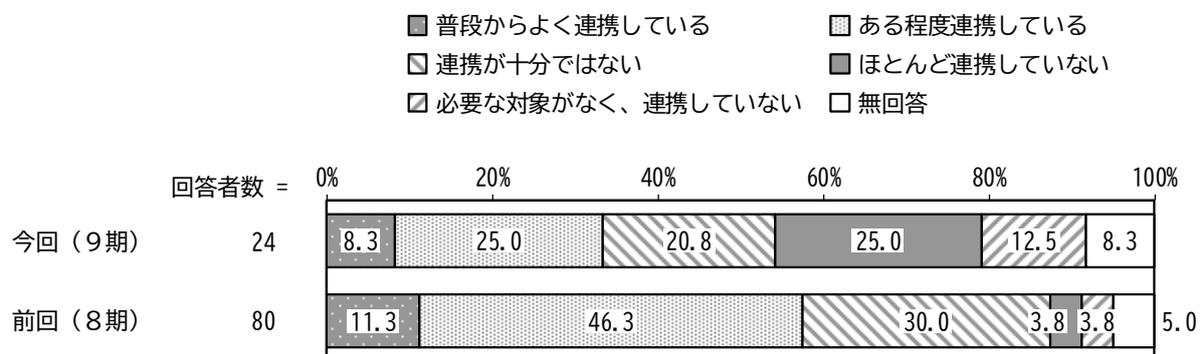
回答者数 = 24

1. 診療所
(医院、クリニック)
2. 病院(医師)
3. 病院(地域連携担当)
4. 歯科診療所(歯科医院、
クリニック)
5. 薬局
6. 訪問看護ステーション
7. 高齢者あんしん
相談センター
8. 他の居宅介護支援事業所
9. 介護施設等



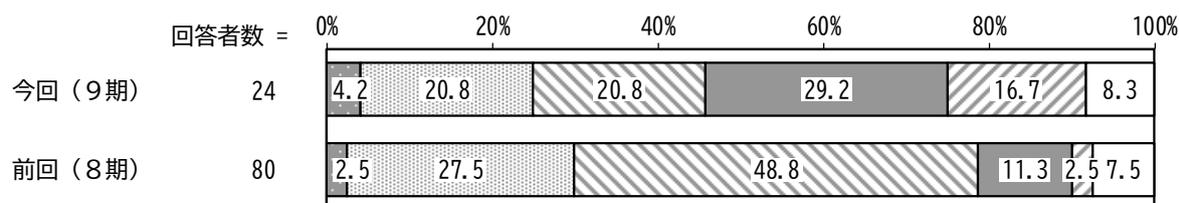
1. 診療所（医院、クリニック）

前回と比較すると、「ほとんど連携していない」「必要な対象がなく、連携していない」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」「連携が十分ではない」の割合が減少しています。



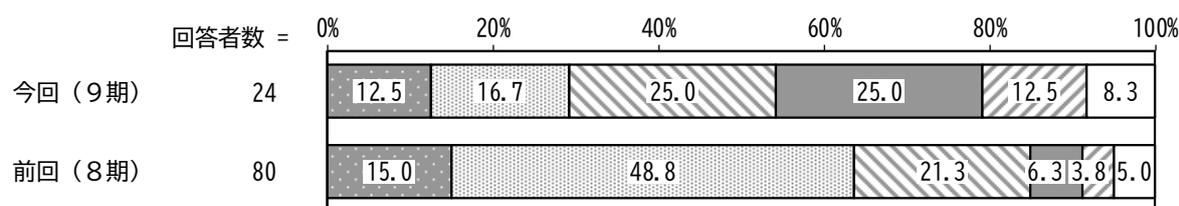
2. 病院（医師）

前回と比較すると、「ほとんど連携していない」「必要な対象がなく、連携していない」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」「連携が十分ではない」の割合が減少しています。



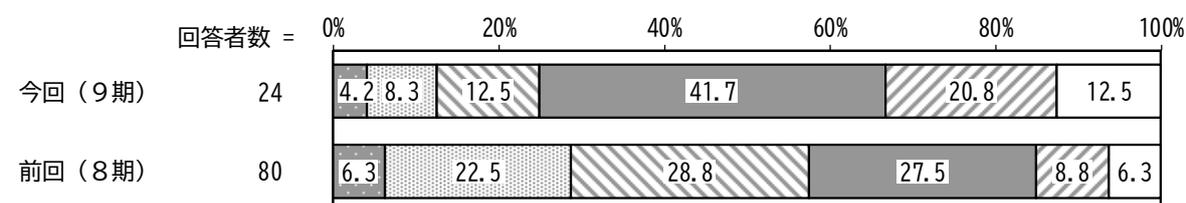
3. 病院（地域連携担当）

前回と比較すると、「ほとんど連携していない」「必要な対象がなく、連携していない」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」の割合が減少しています。



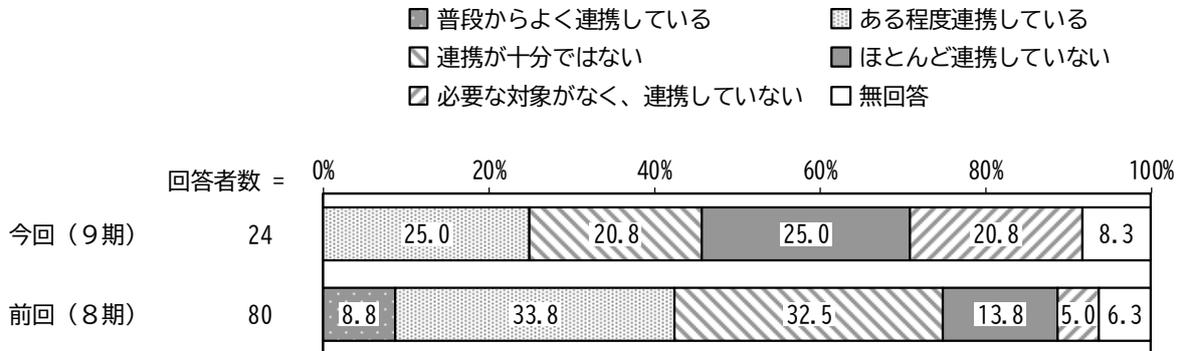
4. 歯科診療所（歯科医院、クリニック）

前回と比較すると、「ほとんど連携していない」「必要な対象がなく、連携していない」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」「連携が十分ではない」の割合が減少しています。



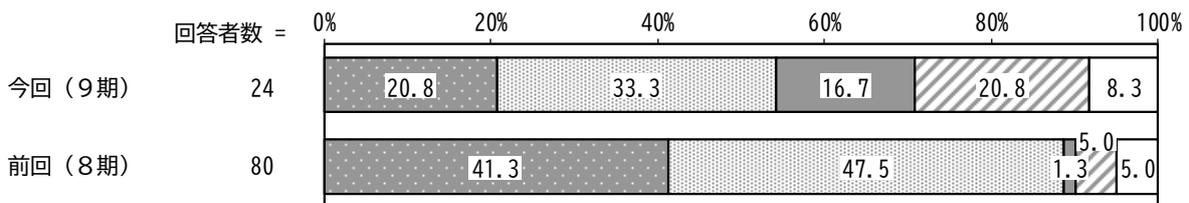
5. 薬局

前回と比較すると、「ほとんど連携していない」「必要な対象がなく、連携していない」の割合が増加しています。一方、「普段からよく連携している」「ある程度連携している」「連携が十分ではない」の割合が減少しています。



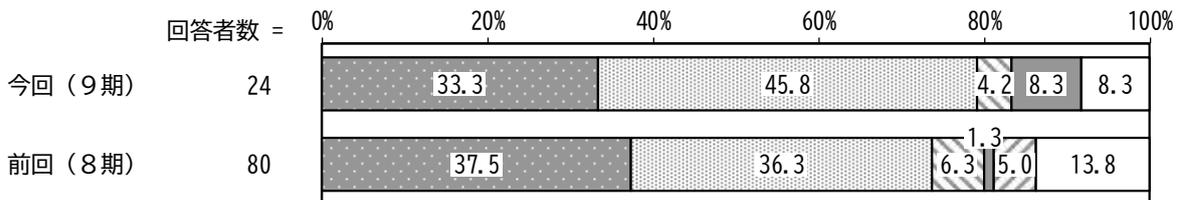
6. 訪問看護ステーション

前回と比較すると、「ほとんど連携していない」「必要な対象がなく、連携していない」の割合が増加しています。一方、「普段からよく連携している」「ある程度連携している」の割合が減少しています。



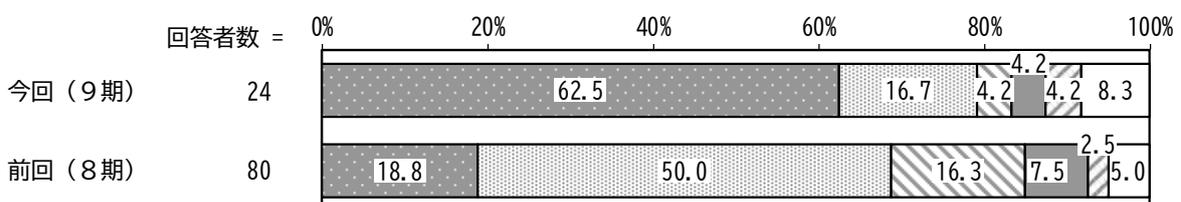
7. 高齢者あんしん相談センター

前回と比較すると、「ある程度連携している」「ほとんど連携していない」の割合が増加しています。



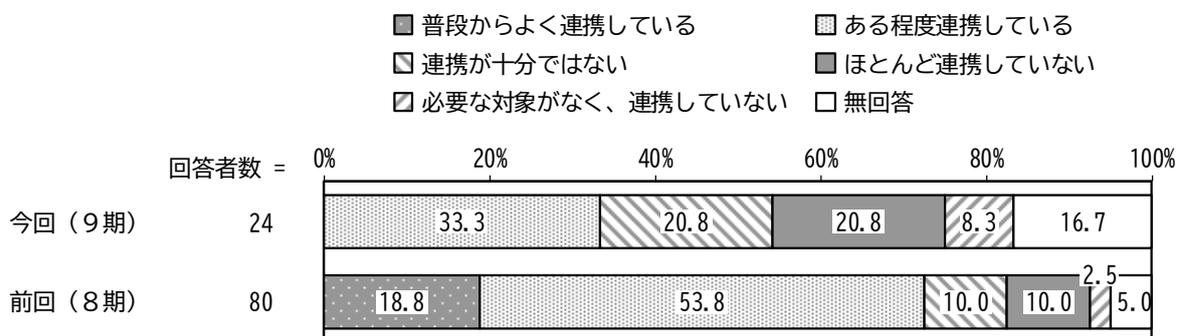
8. 他の居宅介護支援事業所

前回と比較すると、「普段からよく連携している」の割合が増加しています。一方、「ある程度連携している」「連携が十分ではない」の割合が減少しています。



9. 介護施設等

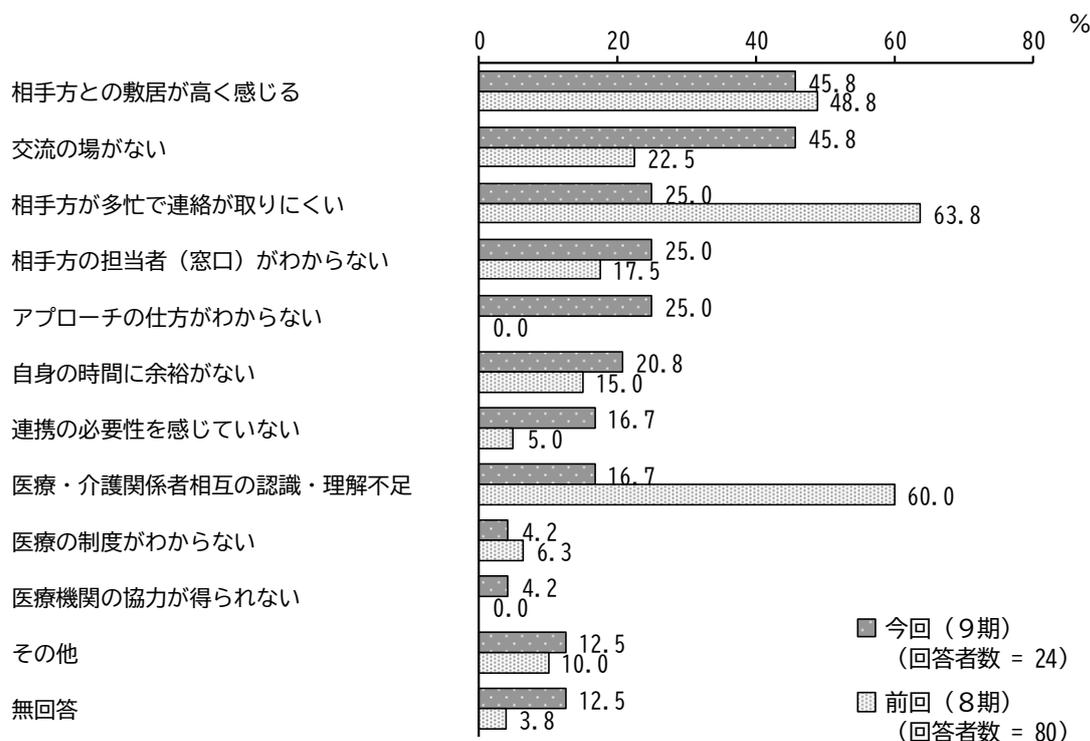
前回と比較すると、「連携が十分ではない」「ほとんど連携していない」「必要な対象がなく、連携していない」の割合が増加しています。一方、「普段からよく連携している」「ある程度連携している」の割合が減少しています。



(2) 医療と介護の連携が取りにくい理由は何だと思えますか。
(該当する上位3つを選んでください。)【在宅】

「相手方との敷居が高く感じる」、「交流の場がない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「相手方が多忙で連絡が取りにくい」、「相手方の担当者（窓口）がわからない」の割合が25.0%となっています。

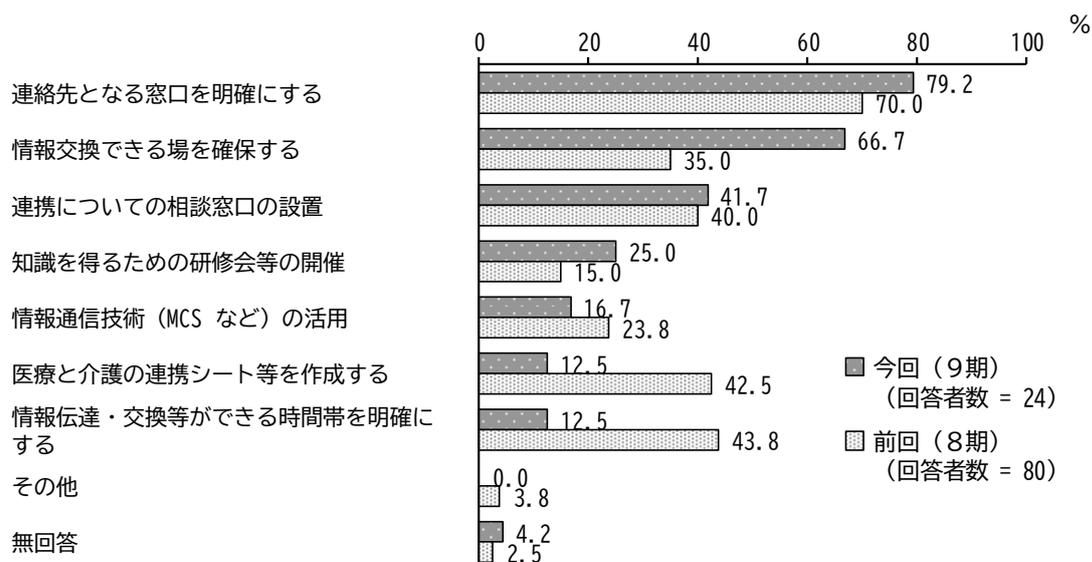
前回と比較すると、「連携の必要性を感じていない」「自身の時間に余裕がない」「相手方の担当者（窓口）がわからない」「交流の場がない」「アプローチの仕方がわからない」の割合が増加しています。一方、「相手方が多忙で連絡が取りにくい」「医療・介護関係者相互の認識・理解不足」の割合が減少しています。



(3) 医療と介護の連携を推進するために必要だと思われることは何ですか。(該当する上位3つを選んでください。)【在宅】

「連絡先となる窓口を明確にする」の割合が79.2%と最も高く、次いで「情報交換できる場を確保する」の割合が66.7%、「連携についての相談窓口の設置」の割合が41.7%となっています。

前回と比較すると、「連絡先となる窓口を明確にする」「情報交換できる場を確保する」「知識を得るための研修会等の開催」の割合が増加しています。一方、「情報通信技術（MCS など）の活用」「医療と介護の連携シート等を作成する」「情報伝達・交換等ができる時間帯を明確にする」の割合が減少しています。



(4) 医療と連携が取りにくいと感じた、または実際には取れなかった経験がありましたら、ご記入ください。【在宅】

医療と連携が取りにくいと感じた、または実際には取れなかった経験について聞いたところ、5件の回答が挙げられた。

- ・直接医療との連携はほとんどなくケアマネジャーさんを通しての連携がほとんどです。特に今まで困ったことはありません。
- ・介護者も高齢の場合が多くみられる。服用している薬の情報が不明でケアマネジャーにきいても不明で困った事があった。（腹痛があり下痢をしているのに下剤を服用しているようだった）
- ・コロナワクチン等の対応に忙しいためか、電話が全くつながらない時が多い。
- ・主治医に意識レベルが低下した際、電話をしたが全く対応してもらえなかった
- ・MCS を利用しているが、訪問介護から医療への敷居が高く、最小限の連携となってしまう。医療よりケアマネジャーの方が連携が取りやすい。

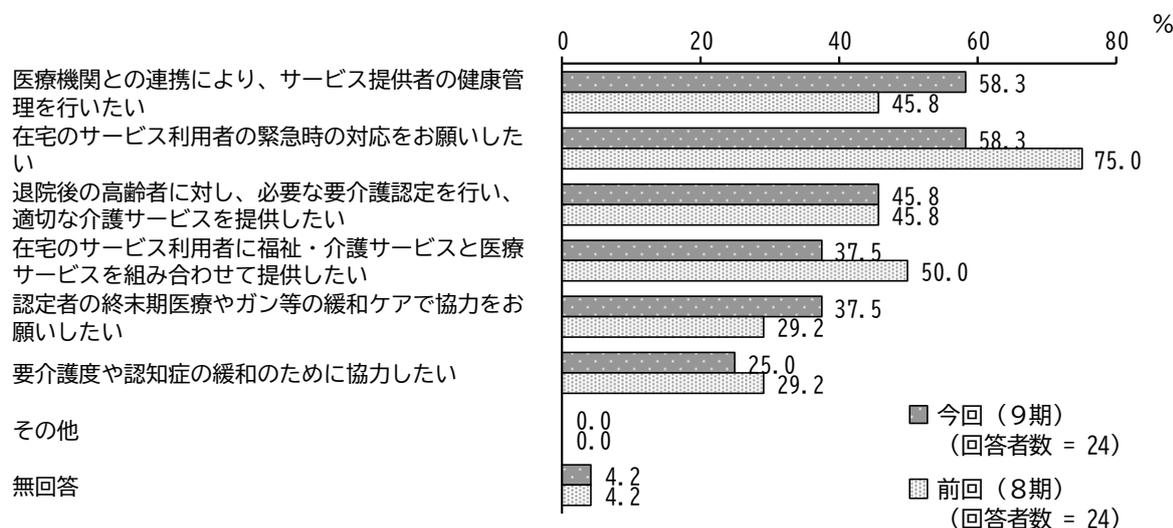
9 医療機関との連携について

(1) 貴事業所において、今後、医療機関とどのような関係を持っていきたいと思えますか。(あてはまるものをすべて選んでください。)【在宅／居宅・施設】

【在宅系】

「医療機関との連携により、サービス提供者の健康管理を行いたい」、「在宅のサービス利用者の緊急時の対応をお願いしたい」の割合が58.3%と最も高く、次いで「退院後の高齢者に対し、必要な要介護認定を行い、適切な介護サービスを提供したい」の割合が45.8%となっています。

前回と比較すると、「医療機関との連携により、サービス提供者の健康管理を行いたい」「認定者の終末期医療やガン等の緩和ケアで協力をお願いしたい」の割合が増加しています。一方、「在宅のサービス利用者に福祉・介護サービスと医療サービスを組み合わせて提供したい」「在宅のサービス利用者の緊急時の対応をお願いしたい」の割合が減少しています。



【居宅・施設】※医師が配置されていない施設等のみ

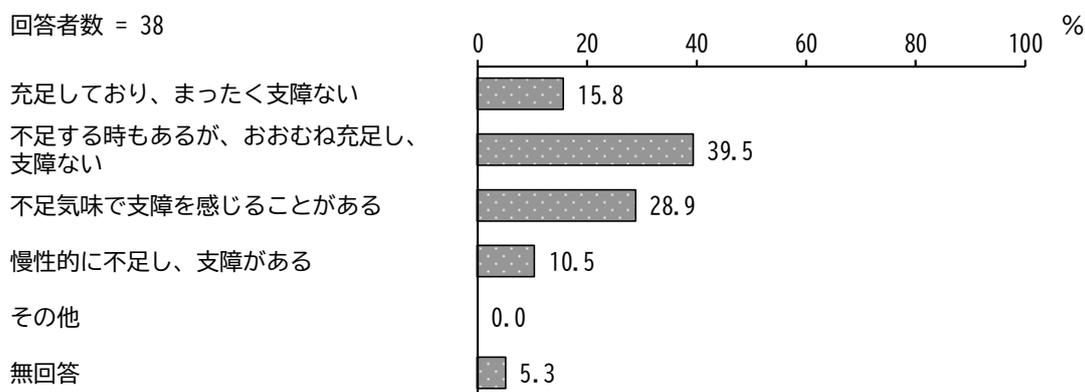
今後、医療機関とどのような関係を持っていきたいかについて、自由記述できいたところ、4件の意見が挙げられた。

- ・すべて本社の運営指示にて対応しておりますのでわかりかねます。
- ・訪問診療との連携や地域医療との連携の重要性
- ・認知症のある方が、何らかの理由で精神状態上、他入居者と共同生活を送ることが困難になったとき、本人の希望（表現できれば）家族の希望、施設の状況など広い視野で一緒に考え、ご本人にとってベストな状態を作ることに取り組んでほしい。そのためには投薬治療も必要だと考えます。介護職の関わり方、医療の関わり方、個々に独立させるのではなく、協力し連携していきたいです。
- ・応診時など、医療機関との連携は良好です。現在の状況を維持できるように努めていきたい。

10 介護人材の確保・定着について

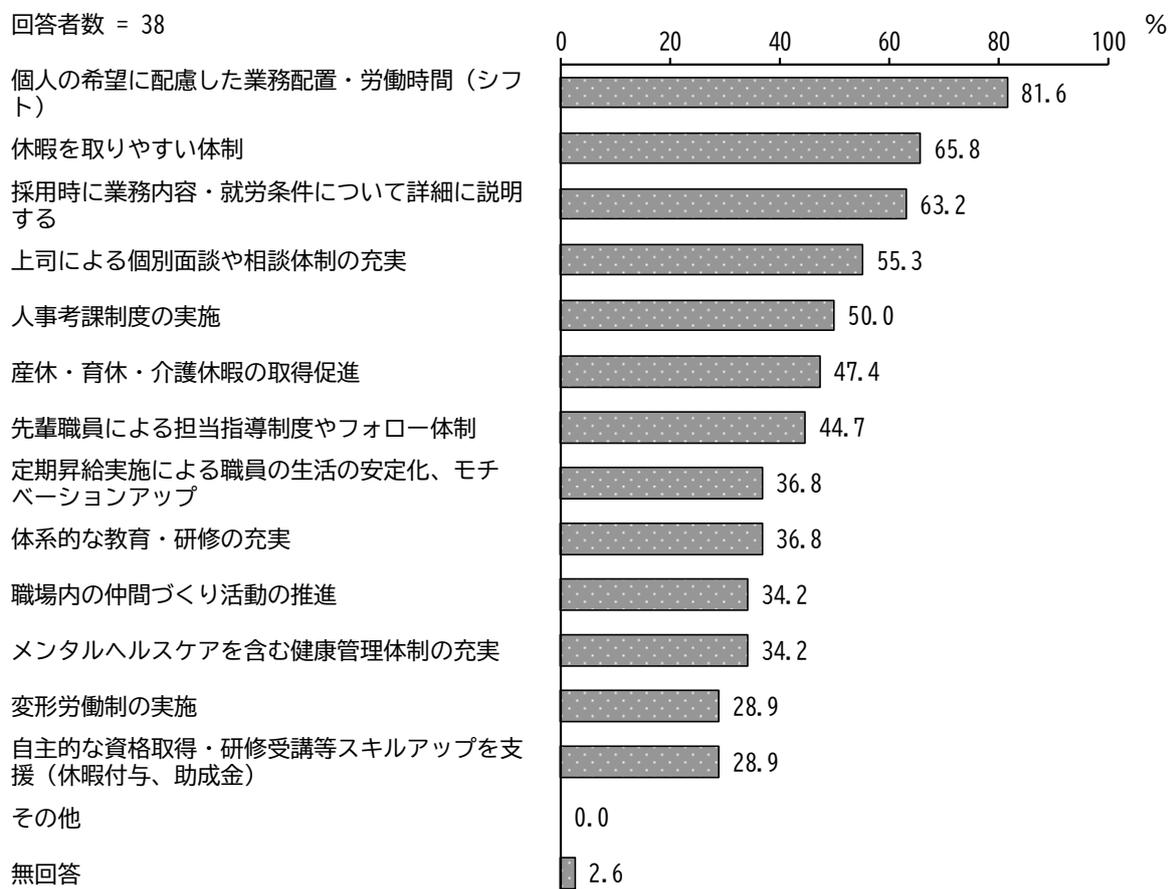
(1) 現在の職員の過不足の状況についてお尋ねします。(ひとつだけに○)【共通】

「不足する時もあるが、おおむね充足し、支障ない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「不足気味で支障を感じることもある」の割合が28.9%、「充足しており、まったく支障ない」の割合が15.8%となっています。



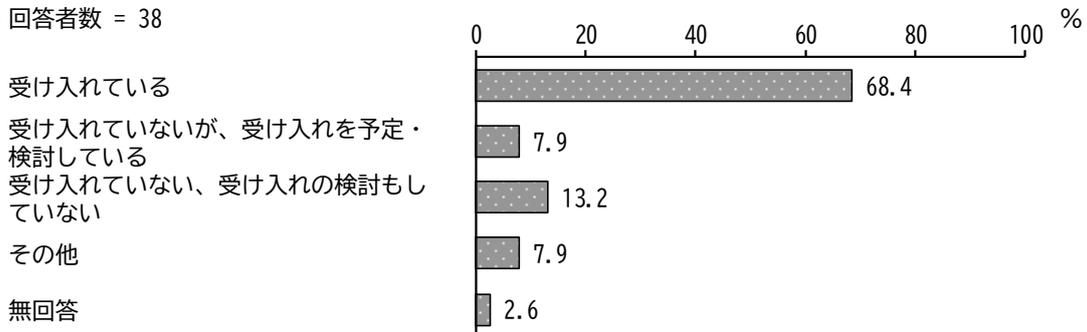
(2) 職員定着のために行っている取組は何ですか。(あてはまるものすべて)【共通】

「個人の希望に配慮した業務配置・労働時間（シフト）」の割合が81.6%と最も高く、次いで「休暇を取りやすい体制」の割合が65.8%、「採用時に業務内容・就労条件について詳細に説明する」の割合が63.2%となっています。



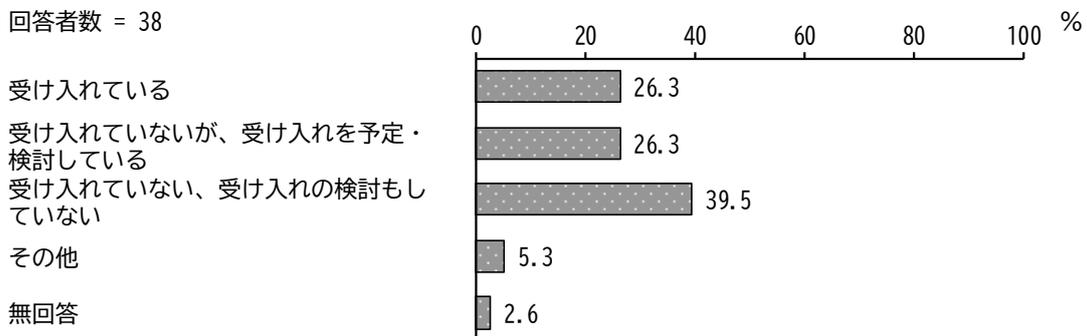
(3) 高齢労働者（おおむね 65 歳以上）の受け入れについてどのように考えていますか。
（ひとつだけに○）【共通】

「受け入れている」の割合が 68.4%と最も高くなっています。



(4) 外国人労働者を受け入れていますか。（ひとつだけに○）【共通】

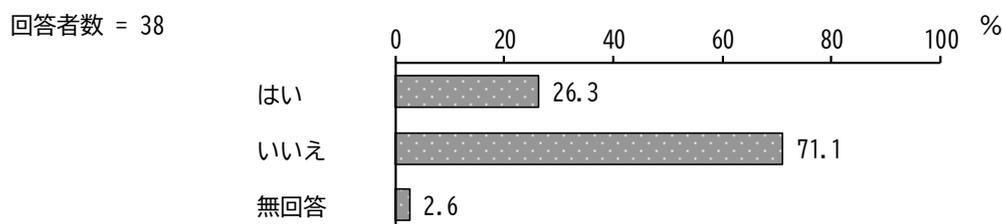
「受け入れているが、受け入れの検討もしていない」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「受け入れている」「受け入れているが、受け入れを予定・検討している」の割合が 26.3%となっています。



11 感染症に対する取組について

(1) 貴事業所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応して、休業等を行いましたか。(ひとつだけに○)【共通】

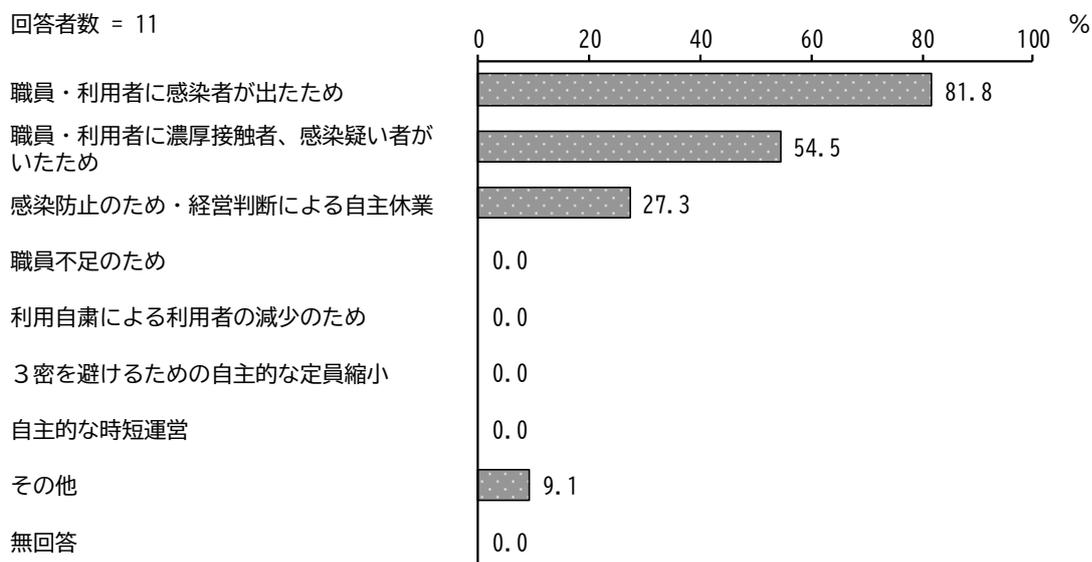
「はい」の割合が26.3%、「いいえ」の割合が71.1%となっています。



(1) で「はい」を選んだ場合にお尋ねします。

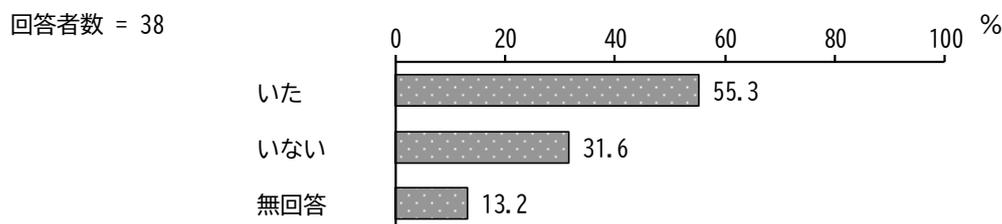
(2) 休業等を行った理由についてうかがいます。
(あてはまるものをすべて選んでください。)【共通】

「職員・利用者に感染者が出たため」の割合が81.8%と最も高く、次いで「職員・利用者に濃厚接触者、感染疑い者がいたため」の割合が54.5%、「感染防止のため・経営判断による自主休業」の割合が27.3%となっています。



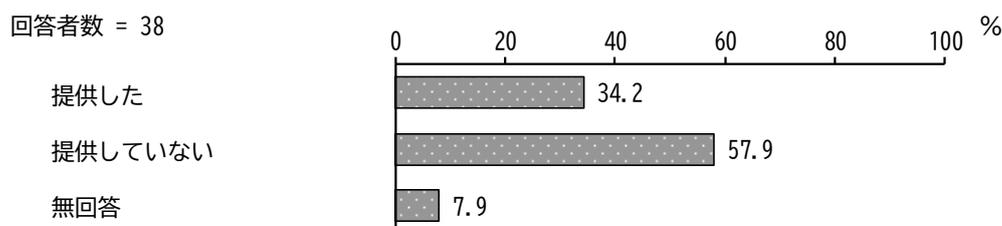
(3) 自主的に貴事業所の利用を控えた利用者はいましたか。(ひとつだけに○)
【共通】

「いた」の割合が 55.3%、「いない」の割合が 31.6%となっています。



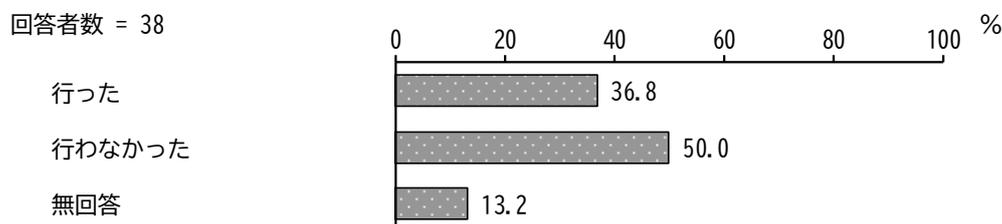
(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者宅を訪問してサービスを提供しましたか。(ひとつだけに○) 【共通】

「提供した」の割合が 34.2%、「提供していない」の割合が 57.9%となっています。



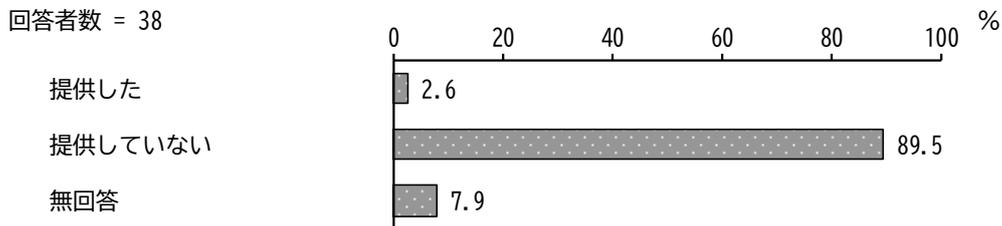
(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、電話（利用者宅への訪問を除く）による安否確認を行いましたか。(ひとつだけに○) 【共通】

「行った」の割合が 36.8%、「行わなかった」の割合が 50.0%となっています。



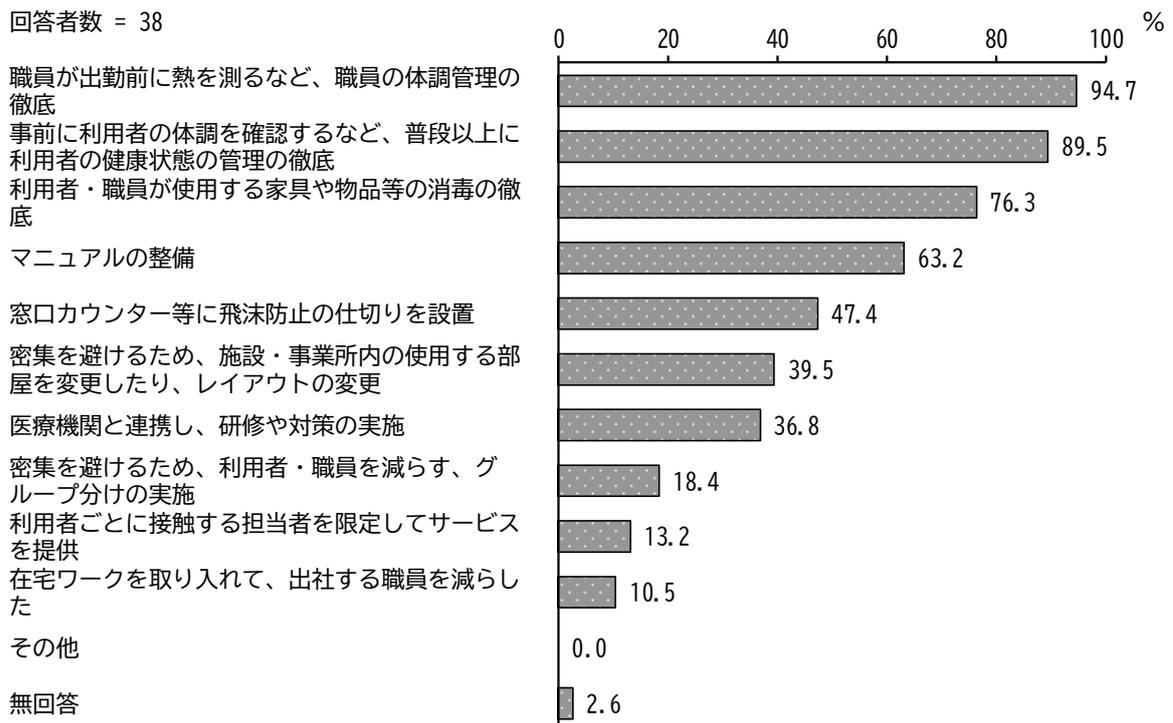
(6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業所以外の場所（利用者宅を除く）にてサービスを提供しましたか。（ひとつだけに○）【共通】

「提供した」の割合が2.6%、「提供していない」の割合が89.5%となっています。



(7) 貴事業所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応して、具体的にどのような対応を徹底するようにしていますか。（あてはまるものをすべて選んでください。）【共通】

「職員が出勤前に熱を測るなど、職員の体調管理の徹底」の割合が94.7%と最も高く、次いで「事前に利用者の体調を確認するなど、普段以上に利用者の健康状態の管理の徹底」の割合が89.5%、「利用者・職員が使用する家具や物品等の消毒の徹底」の割合が76.3%となっています。



(8) 貴事業所が新型コロナウイルス感染症対応に関連して直面している主な課題は何ですか。管理者の立場だけでなく、法人の立場を踏まえたうえで回答ください。
【共通】

新型コロナウイルス感染症対応に関連して直面している主な課題について、自由記述できいたところ、18件の意見が挙げられた。

- ・施設療養での重症化時の対応。
- ・確定診断（抗原で陽性であった場合のPCR検査）を行う場合に医療機関まで送迎することが困難。
- ・陽性の入居者を陽性の職員が介護するという悲惨な状況です。幸いどちらも軽症でしたが、これが重症化する場合であったら、グループホームは機能できません。法人内他事業所より応援をもらうということもありましたが、現実そのような余剰人員は抱えていません。又、防護用物品にかかるお金が予算をはるかに上回り、これがいつまで続くのか先が見えません。
- ・職員が感染した場合や自宅待機の対応をとった場合、現場の職員の確保や勤務体制が難しい。
- ・市で全サービスに抗原検査など定期的に配布があると、コロナ禍でも多少の安心をもって業務にあたれると思う。
- ・感染対策として、居室対応（隔離）やユニット封鎖を行うことにより、入居者のADL低下を招く。介護度が上がることは入居者の不利益も然りであるが、職員の負担も増大する。また感染による新入居の中止（延期）で稼働率が下がり、経営に影響が出る。職員のメンタル低下も否めない。
- ・訪問介護員がコロナに感染してしまった場合、2日前までに訪問した利用者さんへ全員に安否確認をしているが、連絡をしたことでとても不安になる利用者さんがおられる。どうしようもないことだが濃厚接触者にあたらなければ連絡する必要はあるのか。感染者、濃厚接触者にペルパーがなってしまった場の補償手当の負担が大きい。
- ・事業所側で感染拡大した時、代替りのスタッフを配置できずサービスの提供が止まってしまう。
- ・感染した職員が出勤停止になった場合の給与補償。
- ・グループホーム内で認知症対応型通所介護を行っているためグループホーム内に陽性者が出たら、通所を閉鎖するしかなくなる。閉鎖が長びくと家族のストレスがたまり、当施設相談員へ「どうにかならないか」とTELが来る。この場合、相談先は担当ケアマネジャーではないのか。利用者への代替えサービスの提供が難しい。
- ・コロナワクチンやマスクの有効性があるのか無いのかの判断がまちまちである。
- ・利用器具などの消毒など、今までの職員体制では人員不足のため、職員の増員が必要となっている。
- ・職員本人及び家族に感染者が出るとスタッフの人員不足のため休業せざるをえない。スタッフの人員増は経営的に難しい。ヘルプを頼もうにも、リハビリや整体はだれにでもできるものではなく、訓練が必要。
- ・確定診断（抗原で陽性であった場合のPCR検査）を行う場合に医療機関までに送迎することが困難。

- ・感染対策を徹底しているが職員・利用者様の家族感染の難しさを痛感した。
- ・感染拡大による濃厚接触者・陽性者の発生に伴う業績の悪化。感染拡大対策感染拡大防止のための周知をお願いしたいです。
- ・ご利用者様が複数の施設を利用され、症状がでないまま当サービスをご利用し、後日感染が発覚するケースがでている。
- ・職員の陽性・濃厚接触等による人材不足。精神的肉体的のストレス。利益率の低価からの収入の減少。

(9) 今回の対応で得た知見を活かし、再度感染症が流行した場合でも適切かつ迅速な対応ができる運営体制を構築するためには、どのような課題がありますか。【共通】

再度感染症が流行した場合でも適切かつ迅速な対応ができる運営体制を構築するためには、どのような課題があるかについて、自由記述できいたところ、16件の意見が挙げられた。

- ・備品の確保。スタッフの理解。
- ・無症状であったり、容易に感染することから、感染を拡大させないためにはサービスの一時停止しか有効な方法はないと考える。その方法の理解（利用者家族）を「一般的な考え」とする必要があると思う。
- ・施設内にコロナウイルス陽性者が出た場合に備えて、特殊部隊が必要です。通常はいない職員で有事のみ5日間泊まり込みのできる職員。最初の5日間で感染は止まります。今は妄想ですが、実現できるようになってほしいです。実感したことです。データはありませんが、6日目よりいつもいる職員が入って通常運営ができます。
- ・法人内での事業所の連携。早期の感染症対策（職員、利用者ともに）。医療機関との連携。
- ・コロナを恐れて、守りに入ることが逆に入居者の健康を悪化させるのであれば、感染のリスクとのバランスをとりながら解除の方法をゆるくするのも方法の1つだと思う。どこの会社でも学校でも、クラスターが発生するのに高齢者施設でクラスターが発生すると、大騒ぎとなる。世間の動向も課題だと思う。
- ・ヘルパー不足のため、代替えができない場合は、サービス提供責任者が訪問となり、かなりの訪問量となる。事務処理にも支障がおきてしまう。
- ・人員体制の確立。
- ・職員1人ひとりが感染症についての知識を持つこと。冷静な判断と行動をとることが重要だと思います。
- ・居宅ケアマネジャーとの連携が大きな課題である。次の課題はサービス閉鎖による収入減。短い期間で感染と療養を治める必要がある。
- ・他の事業所を拝見していると、やはり人員の確保が必要だと思います。
- ・職員の確保。小規模のデイでは、人員ギリギリで稼働している所も多く、職員の確保が一番の課題。
- ・職員・利用者様日常生活行動等への理解すること。
- ・教育。感染拡大防止のために継続的な啓もう活動が必要だと感じている。

- ・コロナ感染（陽性者・濃厚接触者）に対しての隔離期間については国が決めることであって、それに従うしかない。大きな施設であればBCPなど作成し、対応策を考えられるが、地域密着型の小さなデイサービスでは、BCP作成そのものが無意味であり、効果もない（時間を費やすだけ無駄と思う）。
- ・人員不足。
- ・その他サービスや施設・ケアマネジャーとの更なる連携をはかること

その他、介護保険制度や高齢者をめぐる課題、市への意見、要望等がありましたらご記入ください。【共通】

介護保険制度や高齢者をめぐる課題、市への意見、要望等について聞いたところ、7件の回答が挙げられた。なお、表現・表記方法については原則として回答を尊重し、そのままの掲載としているが、内容については意見の趣旨を損なわないよう、一部要約したのものもある。

- ・全国的にヘルパーが不足していますが、市としてはどのような対策をして頂けますか。応募をかけていますが全く連絡がきません。
- ・いつもお世話になっております。今後ともよろしく願いいたします。
- ・いつも相談にのっていただきありがとうございます。認知症の方々が住み慣れた場所で生活するという当たり前の事が難しくなっています。在宅生活が続けられるよう、サービスを提供していきます。
- ・介護人材が少ないことをロボットやIT化で何とかしようと考えているようであるが、これを導入して点数が上がったとしても実際の介護現場の中身（本質的な介護の部分）が良くなるとは思えない。働くスタッフの膂力は軽減できたとしても、介護を受けられる方々のとらえ方はどうなのだろうか。
- ・管理者・サービス提供責任者がゆとりを持ち、いざという時に代行できるようにする必要ある（なかなかサービスが多く、余裕を持つことが大変）
- ・まだまだ介護認定を受けて介護サービスを利用した方がいい方がたくさんいらっしゃる、ご自身ではどうしてよいかわからず機能が低下する一方という方が今後増えてきそうです。そういう方たちをうまくサービスにつなげたいと考えておりますが、なかなか思うようにいきません。
- ・入所施設ですが「大きな家族」という視点で入居者が安心して暮らせるようなサービスを提供します。コロナ禍はいつ終わるのでしょうか。志木市役所が新しくなり、お祭りが行われているのを見て「お客様も連れて来たい」と思いました。好きな物を食べ、笑い、コミュニティに参加する。マスクのできない認知症の方々は、まだまだ参加できません。職員も「with コロナ」とはいかず、まだまだ感染予防を徹底した生活です。抗原検査ではなく、PCR検査を受けられるようにしてほしいです。PCR検査が手軽にでき、陽性の職員が休める世界になりますように。コロナ治療薬が開発されますように。
- ・全国的に問題となっているヤングケアラーについて、いろいろな調査によって大きな課題として取り組んでいかなければならないと思いますが、まだまだ具体的にどのようにすればよいか明確になっていないように感じていて、私達施設も含め、取り組み方を考えていければと思います。

第8章 調査票

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

志木市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

平素より、市行政に多大なるご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 このたび、志木市では、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「志木市高齢者保健福祉計画及び志木市第9期介護保険事業計画」を策定します。その基礎資料とするため、皆様の生活実態や生活ニーズなどをお伺いするアンケートを実施させていただくこととしました。対象者は、市内にお住まいの満65歳以上で、要介護認定を受けていない方から無作為で選ばせていただきました。
 つきましては、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、お手数ですが回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。
 なお、この調査票の発送、回収及び集計作業につきましては、志木市が株式会社名豊に業務委託をしております。

令和4年12月

志木市

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。ご確認ください。
 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和5年1月17日（火）までに投函してください。

インターネット利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
 右の二次元コードを読み込むか、下記のURL にアクセスしてください。
<https://questant.jp/q/OMS5FTH1>



【ID：●●●●●】（回答の際にご入力ください）

※ この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】志木市 福祉部 長寿店課
 電話 048-473-1111（内線 1085）

<受託者の概要>

株式会社 名豊（代表取締役：小池 武史、本社：名古屋市中区松原二丁目2番 33号）

今回、「志木市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」をはじめ、多くの自治体の各種行政計画の策定支援業務を受託しています。

記入日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄)	
3. その他	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。【○は1つだけ】

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 1人暮らし | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 5. その他 () |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかからの介護・介助が必要ですか。【○は1つだけ】

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

<<(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ。>

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【○はいくつでも】

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 9. 腎疾患(透析) |
| 2. 心臓病 | 10. 視覚・聴覚障がい |
| 3. がん(悪性新生物) | 11. 骨折・転倒 |
| 4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) | 12. 脊椎損傷 |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 13. 高齢による衰弱 |
| 6. 認知症(アルツハイマー病等) | 14. その他 () |
| 7. パーキンソン病 | 15. 不明 |
| 8. 糖尿病 | |

<(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ。>
 ②主にどなたの介護・介助を受けていますか。【○はいくつでも】

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 5. 孫 |
| 2. 息子 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 3. 娘 | 7. 介護サービスのヘルパー |
| 4. 子の配偶者 | 8. その他 () |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 4. ややゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 5. 大変ゆとりがある |
| 3. ふつう | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。【○は1つだけ】
 ※公営住宅以外の家を借りている場合、一般的な賃貸借契約がある場合は4または5、それ以外は6を選択してください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 持家(一戸建て) | 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) |
| 2. 持家(集合住宅) | 6. 借家 |
| 3. 公営賃貸住宅 | 7. その他 () |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。【○は1つだけ】

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。【○は1つだけ】

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。【○は1つだけ】

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

第8章 調査票

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。【○は1つだけ】

- | |
|----------|
| 1. 何度もある |
| 2. 1度ある |
| 3. ない |

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. とても不安である | 3. あまり不安でない |
| 2. やや不安である | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上外出していますか。【○は1つだけ】

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 3. 週2~4回 |
| 2. 週1回 | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても減っている | 3. あまり減っていない |
| 2. 減っている | 4. 減っていない |

(8) 外出を控えていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

◀(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ▶

①外出を控えている理由は、次のどれですか。【○はいくつでも】

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 病氣 | 7. 外での楽しみがない |
| 2. 障がい(脳卒中の後遺症など) | 8. 経済的に出られない |
| 3. 足腰などの痛み | 9. 交通手段がない |
| 4. トイレの心配(失禁など) | 10. 新型コロナウイルス感染症等の感染が怖いから |
| 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) | 11. その他() |
| 6. 目の障がい | |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。【○はいくつでも】

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 8. 病院や施設のバス |
| 2. 自転車 | 9. 車いす |
| 3. バイク | 10. 電動車いす(カート) |
| 4. 自動車(自分で運転) | 11. 歩行器・シルバーカー |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 12. タクシー |
| 6. 電車 | 13. その他() |
| 7. 路線バス | |

4

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか(同居家族含む)。【○は1つだけ】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 4. 年に何度がある |
| 2. 週に何度がある | 5. ほとんどない |
| 3. 月に何度がある | |

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) バスや電車で使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)【○は1つだけ】

- | |
|---------------|
| 1. できるし、している |
| 2. できるけどしていない |
| 3. できない |

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。【○は1つだけ】

- | |
|---------------|
| 1. できるし、している |
| 2. できるけどしていない |
| 3. できない |

(6) 自分で食事の用意をしていますか。【○は1つだけ】

- | |
|---------------|
| 1. できるし、している |
| 2. できるけどしていない |
| 3. できない |

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。【○は1つだけ】

- | |
|---------------|
| 1. できるし、している |
| 2. できるけどしていない |
| 3. できない |

6

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長				cm	体重				kg
----	--	--	--	----	----	--	--	--	----

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 口の渇きが気になりますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。【○は1つだけ】
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

- | |
|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

①噛み合わせは良いですか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

◀②~④は(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」
「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ▶

②毎日入れ歯の手入れをしていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

③(入れ歯を利用して)食事は食べやすいですか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

④(入れ歯を利用して)痛みはありますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

5

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。【○は1つだけ】

- | |
|---------------|
| 1. できるし、している |
| 2. できるけどしていない |
| 3. できない |

(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(10) 新聞を読んでいますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(11) 本や雑誌を読んでいますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(13) 友人の家を訪ねていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(15) 病人を見舞うことができますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(16) 趣味はありますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-----------|-------|
| 1. 趣味あり | → () |
| 2. 思いつかない | |

7

(17) 生きがいがありますか。【○は1つだけ】

1. 生きがいあり ()
2. 思いつかない

(18) 現在の生活で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手がいない	8. 季節の変化に伴う準備 (衣替えなど)
2. ゴミ出し	9. 買物
3. 電球の交換	10. お金の管理
4. 庭の手入れ	11. 通院
5. 食事の準備	12. 服薬
6. 掃除	13. その他
7. 洗濯	14. 特になし

(19) その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を判断できますか。【○は1つだけ】

1. 困難なくできる
2. いくらか困難があるが、できる
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要
4. ほとんど判断できない

(20) 人に自分の考えをうまく伝えられますか。【○は1つだけ】

1. 困難なく伝えられる
2. いくらか困難があるが、伝えられる
3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない

8

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思えますか。【○は1つだけ】

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

◀(4)において「1. 是非参加したい」の方のみ、▶

(5) 次に掲げるものうち、企画・運営の世話役やサービスの担い手などとして参加してみたいと思うものがあれば挙げてください。【○はいくつでも】

1. 高齢者の話し相手や安否確認等の見守り活動
2. 体操、運動等の活動や趣味を通じた居場所づくりとしてのサロンの運営
3. 買い物、調理、掃除などの家事支援
4. 児童の登下校の見守り活動や保育の補助
5. その他 ()

(6) 見守りや介護が必要な人に対してボランティア活動などをしてみたいと思えますか。【○は1つだけ】

1. 無償・有償にかかわらずしてみたい
2. 有償であればしてみたい
3. 興味がない
4. したくない(できない)

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。【○はいくつでも】

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。【○はいくつでも】

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

10

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。【○はそれぞれに1つ】

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 ※1～5に○の方は(2)へ、6に○の方は(3)へお進みください。	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

◀(1)⑤において「1～5」に○を回答した方のみ▶

(2) 通っている介護予防の通いの場はどこですか。【○はいくつでも】

1. いろは百歳体操(場所:)
2. サロン(名称:)
3. 認知症カフェ(場所:)
4. 福祉センター
5. 第二福祉センター
6. その他(名称:)

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思えますか。【○は1つだけ】

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

9

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。【○はいくつでも】

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしなくてはならない人。【○はいくつでも】

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。【○はいくつでも】

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場
6. その他 ()
7. そのような人はいない

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。【○は1つだけ】

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。【○は1つだけ】

1. 0人(いない)
2. 1～2人
3. 3～5人
4. 6～9人
5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【○はいくつでも】

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 ()
8. いない

11

第8章 調査票

(9) 近所づきあいがありますか。

1. 近所づきあいはほとんどない	5. 互いの家を行き来する
2. あいさつ程度だけある	6. 趣味や外出を共にする
3. 外でちょっとした立ち話をする程度はある	7. 物をおすそ分けする
4. お茶や食事を一緒にする	8. 家事やちょっとした用事をしたり、してもらったりする

◀(9)で「1. 近所づきあいはほとんどない」「2. あいさつ程度だけある」と答えた方のみ。▶

(10) その理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 近所と付き合うきっかけがない	6. 同世代の人が近くにいない
2. 近所にどんな人があるのかわからない	7. 転入して間もない
3. 仕事や家事で忙しく時間がない	8. 近所づきあいはわずらわしいため避けている
4. 気の合う人や話が合う人がいない	9. 必要性を感じない
5. 周囲が留守がちで顔を合わせない	10. その他 ()

12

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【○はいくつでも】

1. ない	11. 外傷(転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん(悪性新生物)
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症(アルツハイマー病等)
6. 高脂血症(脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他 ()
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	

問8 認知症の支援について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。【○は1つだけ】

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【○は1つだけ】

1. はい	2. いいえ
-------	--------

◀(2)で「1. はい」と答えた方のみ。▶

(3) それはどこですか。【○はいくつでも】

1. 高齢者あんしん相談センター	4. 認知症疾患医療センター
2. かかりつけ医	5. その他
3. 医療機関の認知症専門医	()

14

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【○は1つだけ】

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。【○は1つだけ】

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1点	9点
2点	8点
3点	7点
4点	6点
5点	5点
6点	4点
7点	3点
8点	2点
9点	1点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。【○は1つだけ】

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくなりましたか。【○は1つだけ】

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) お酒は飲みますか。【○は1つだけ】

1. ほぼ毎日飲む	3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む	4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか。【○は1つだけ】

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

13

(4) 市で行っている認知症にかかわる事業を知っていますか。【○はそれぞれに1つ】

	知っている	知らない
①認知症サポーター養成講座 認知症の方や家族を見守るサポーターを養成します。	1	2
②認知症SOS声掛け模擬訓練 認知症の方が道に迷われた場合を想定した訓練を行っています。	1	2
③もの忘れ訪問支援事業 認知症の方やその疑いのある方のお宅に認知症の専門医や相談員が訪問し必要に応じた支援を行います。	1	2
④認知症カフェ(オレンジカフェ) 認知症の方やそのご家族、地域住民が集い、交流や情報交換をしています。	1	2
⑤位置探索サービス・認知症SOSステッカー交付 認知症の方が道に迷われた場合に早く発見できるようにGPS機器やステッカーを交付します。	1	2
⑥認知症ガイドブック「知ってつながる認知症」の配布 認知症に関するサービスや支援についてまとめた冊子を発行しています。	1	2
⑦後見ネットワークセンター(基幹福祉相談センター) 認知症等により金銭管理や契約行為が困難になった方が利用する成年後見制度について法律・福祉の専門家が相談を受けます。	1	2

(5) もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますが。【○は1つだけ】

1. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
2. 認知症になると、身の回りのことができない等、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設が必要なサポートを利用しながら暮らしたい
3. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
4. 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないように、ひとりで暮らしていきたい
5. 分からない
6. その他 ()

15

問9 在宅医療・介護について

(1) 「在宅医療（訪問医療や訪問看護）」とは、医師のほか、訪問看護師や薬剤師、理学療法士（リハビリ）等の関係者が、患者さんの自宅や入所施設などに定期的に訪問して医療を行うことですが、あなたは「在宅医療」について知っていますか。【〇は1つだけ】

1. よく知っている
2. 少し知っている（聞いたことがある）
3. 知らない

(2) 在宅医療・介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか。

※①～⑩それぞれに回答してください。【〇はそれぞれに1つ】

	そう思う	とても思う	やや思う	あまり思わない	思わない
① 在宅でどのような医療が受けられるかわからない	1	2	3	4	
② 在宅でどのような介護サービスが受けられるかわからない	1	2	3	4	
③ 急に病状が変わった時の対応ができない	1	2	3	4	
④ 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい	1	2	3	4	
⑤ 訪問看護でどんなサービスが受けられるかわからない	1	2	3	4	
⑥ 家族に負担がかかる	1	2	3	4	
⑦ 療養できる部屋や風呂・トイレなど住環境を整っている必要がある	1	2	3	4	
⑧ 費用が高額になる	1	2	3	4	
⑨ 今ではガン末期でも痛みのコントロールをしながら在宅で過ごすことが出来る	1	2	3	4	
⑩ 在宅でも満足いく最期を迎えられる	1	2	3	4	

16

(7) あなたが人生の最期を迎えようとするときに備えて、今から何か準備をしていますか。【〇は1つだけ】

1. はい 2. いいえ

＜(7)で「1. はい」を選択した方のみ＞

①どのようなことをしていますか。【〇はいくつでも】

1. 遺言状やエンディングノートの作成 4. 自身の葬儀や墓の準備
2. 身の整理・片付け 5. 延命治療や療養に対する意思表示
3. 保険、遺産、相続などのお金の手続き 6. その他 ()

(8) あなたは、終末期医療についてどう思いますか。【〇は1つだけ】

1. 延命治療を受けられるなら、受けたい 3. 家族等の判断に任せる
2. 延命治療は受けたくない 4. わからない

(9) 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。【〇は1つだけ】

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している 3. 一応話し合ったことがある
2. 詳しく話し合っている 4. 全く話し合ったことがない

(10) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。【〇は1つだけ】

1. よく知っている 3. 知らない
2. 聞いたことはあるがよく知らない

(11) このような話し合いを進めることについて、あなたはどう思いますか。【〇は1つだけ】

1. 賛成である 3. わからない
2. 反対である

(12) あなたが意識のない状態や認知症などで正常な判断ができなくなった場合に備えて、代理で希望を伝えたり、考えてくれる人を決めていますか。【〇は1つだけ】

1. 決めている 2. 決めていない

18

(3) あなたが要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしたいですか。【〇は1つだけ】

1. 自宅 3. 病院
2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 4. その他 ()

＜(3)で「1. 自宅」以外を選択された方のみ＞

①「1. 自宅」以外を選択された理由は何ですか。【〇はいくつでも】

1. 家族に負担や迷惑をかけるから
2. 家族が仕事と介護の両立が難しいから
3. 介護してくれる家族がいないから
4. 急に病状が変わったときの対応が不安だから
5. 費用等で経済的負担が大きいから
6. 自宅療養できる部屋や風呂、トイレなど住環境が整っていないから
7. 訪問看護や訪問介護（ヘルパー）の体制が不十分だから
8. 訪問診療をしてくれる医師がいない（又は知らない）から
9. 医師や看護師等の訪問が精神的負担になるから
10. その他 ()

(4) あなたの家族が、要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしてもらいたいですか。【〇は1つだけ】

1. 自宅 3. 病院
2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 4. その他 ()

(5) あなたが人生の最期を迎えようとする時、どこで最期を迎えたいですか。【〇は1つだけ】

1. 自宅 4. 医療が確保されている高齢者向け住宅等
2. 病院 5. その他 ()
3. 特別養護老人ホームなどの介護施設

(6) (5)で選択した理由は何か。【〇はいくつでも】

1. 自宅（住み慣れた居住の場）がいいから 5. 家族がいいから
2. 家族に看取られたいから 6. 最期まで十分な医療を受けたいから
3. 過剰な医療は受けたくないから 7. 最期まで十分な介護サービスを受けたいから
4. 自宅でいくなときに迷惑がかかるから 8. その他 ()

17

問10 その他

(1) 市では、高齢者の生活全般の相談窓口として「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を、市内を5つの圏域に分けて、圏域ごとに1か所ずつ設置しています。あなたが高齢者あんしん相談センターについてご存じなことに、最も近いものを選んでください。【〇は1つだけ】

1. センターの存在や機能は知っており、住所地を担当するセンターも知っている。
2. センターの存在や機能は知っているが、住所地を担当するセンターがどこにあるのかまでは知らない。
3. センターの名前を聞いたことはあるが、センターが何をするとどこかはよくわからない。
4. センターの存在をこのアンケートで初めて知った。

(2) 市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何か。【あてはまるもの3つまでに〇】

1. 雇用機会の拡充 9. 地域交通の整備
2. 生涯学習、生涯スポーツ等の振興 10. 公共的施設のバリアフリー化の推進
3. ボランティア活動に対する支援 11. 地域の見守り活動等に対する支援
4. 世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充 12. 緊急時、災害時の支援システムの充実
5. 健康づくり対策の推進 13. 判断機能が低下した場合の支援体制の充実
6. 介護予防・認知症予防に関する事業の充実 14. 敬老意識の啓発
7. 在宅福祉サービスの充実 15. 住まいに関する支援体制の充実
8. 福祉に関する総合相談体制の充実 16. その他 ()

(3) あなたやあなたのご家族にひきこもり状態の方はおられますか。また、ひきこもり状態の方に対して、どのような支援を期待しますか。【〇はいくつでも】

ひきこもり状態の方の有無

1. 10歳代 4. 50歳以上
2. 20歳代 5. いらない
3. 30～40歳代

19

第8章 調査票

ひきこもり状態の方への支援

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 当事者・家族の相談相手 | 4. 就労・就学支援 |
| 2. 相談先窓口や家族会等の情報提供 | 5. その他 () |
| 3. 当事者の居場所づくり | |

(4) 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか。【〇はいくつでも】

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 外出しなくなった | 6. 人とのつながりの大切さを知ることができた |
| 2. 人と会わなくなった | 7. 医療機関への受診を控えるようになった |
| 3. 人や物に触るのが怖くなった | 8. その他 () |
| 4. 不安になることが多くなった | 9. 特にない |
| 5. 健康に気を付けるようになった | |

(5) その他、介護保険制度や保健福祉サービスなどについて、ご意見やご要望がございましたらご自由にお書きください。

*** 調査にご協力いただきありがとうございました ***

在宅介護実態調査

在宅介護実態調査

【調査票】

はじめに

皆様にはまずまずご難務のこととお喜び申し上げます。
日頃から、志木市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本調査は、志木市の高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、生活の実態や生活支援ニーズなどをお伺いするものです。アンケート調査をお願いする方は、市内にお住まいの要介護認定を受けている方を対象に選ばせていただきました。
つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、**ご署名**とともに、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
なお、収集した個人情報、志木市個人情報保護条例に基づき適正に取扱いをいたします。
令和4年12月

志 木 市

志木市長 香川 武文

**「在宅介護実態調査」に係る
要介護認定データの活用に係る同意書**

私は、「在宅介護実態調査」に係る要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）の活用について、以下の事項を確認のうえ、同意します。

記

■ 要介護認定データの利用目的について
今回、実施する認定調査に係る、要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、要介護認定及び当市における高齢者等支援施策の検討の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本人の許可なく、目的以外での使用はいたしません。

■ アンケート調査の回答内容の取扱いについて
アンケート調査でご回答いただいた内容（被保険者番号を含む）は、集計・分析を委託する民間事業者に預託しますが、情報は適切に管理させていただきます。

上記に同意いただける場合、あて名の方のご署名をお願いします

令和 年 月 日

ご署名 本人 _____
代筆者 _____
(続柄)

調査実施 志木市 長寿応援課
電話 (048) 473-1111 (代表)

※代筆の場合は、代筆者と本人の署名をお願いします。

★記入に際してのお願い★

- このアンケートは、ご本人の意見をお聞きするものですので、なるべくご本人がお答えください。（B票については、介護を主に行う方）
- ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人への聞き取り、あるいはご本人の立場に立ってご記入ください。
- 回答は、令和4年12月から令和5年3月までの間の、ご記入される日現在の状況でお答えください。
- 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけていただくもの、ご意見の記入をいただくものの2種類があります。また「その他」に○をつけた場合は、なるべく具体的に内容をご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、介護認定調査員が介護認定調査に向った際に、直接渡してください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- 本調査の分析は、志木市より、委託された業者が行います。
- 調査の主旨にご理解をいただき、表紙の署名欄にご署名をお願いいたします。

【A票にご記入いただいたのは、どなたですか】 (いくつでも)

1. 調査対象者本人 3. 主な介護者以外の家族・親族
2. 主な介護者となっている家族・親族 4. その他 ()

A票 あて名のご本人についてお伺いします

問1 世帯類型について、ご回答ください (○は1つ)

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他 ()

問2 ご家族やご親族からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (○は1つ)

1. ない 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 問8へ
3. 週に1~2日ある 問3~問7へ
4. 週に3~4日ある
5. ほぼ毎日ある

問3 主な介護者は、どなたですか (○は1つ)

1. 配偶者 4. 孫
2. 子 5. 兄弟・姉妹
3. 子の配偶者 6. その他 ()

問4 主な介護者の性別について、ご回答ください (○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問5 主な介護者の年齢について、ご回答ください (○は1つ)

1. 20歳未満 4. 40代 7. 70代
2. 20代 5. 50代 8. 80歳以上
3. 30代 6. 60代 9. わからない

問6 現在、主な介護者が行っている介護等について、ご回答ください (いくつでも)

身体介護	1. 日中の排泄	生活介護 その他	12. 食事の準備 (調理等)
	2. 夜間の排泄		13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
	3. 食事の介助 (食べる時)		14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
	4. 入浴・洗身		15. その他 ()
	5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)		16. わからない
	6. 衣服の着脱		
	7. 屋内の移乗・移動		
	8. 外出の付き添い、送迎等		
	9. 服薬		
	10. 認知症状への対応		
	11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)		

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人 (認定調査対象者) の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか (現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (いくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族は少ない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問8 ご家族で成人していて (学生は除く) 働いていない (所得のない) ご家族はおられますか (○は1つ)

1. いる (歳) 2. いない

【皆様にお伺いします】

問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください (いくつでも)

1. 配食 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
2. 調理 8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯 9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物 (宅配は含まない) 10. その他 ()
5. ゴミ出し 11. 利用していない
6. 外出同行 (通院、買い物など)

※ 移送サービス (介護・福祉タクシー等) とは、後台・車椅子専用車両で通院のみに使えるサービスです。

問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください (いくつでも)

1. 配食 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
2. 調理 8. 圖書の配達サービス
3. 掃除・洗濯 9. 見守り、声かけ
4. 買い物 (宅配は含まない) 10. サロンなどの定期的な通いの場
5. ゴミ出し 11. その他 ()
6. 外出同行 (通院、買い物など) 12. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください (○は1つ)

1. 入所・入居は検討していない 3. すでに入所・入居申し込みをしている
2. 入所・入居を検討している

※ 「施設等」とは、特設養老老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設 (有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

第8章 調査票

問12 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中）	10. パーキンソン病
2. 心疾患（心臓病）	11. 難病（パーキンソン病を除く）
3. 悪性新生物（がん）	12. 糖尿病
4. 呼吸器疾患	13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
5. 腎疾患（透析）	14. その他（ ）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、肩こり・腰痛等）	15. なし
7. 膠原病（関節リウマチ含む）	16. わからない
8. 変形性関節症	
9. 認知症	

問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）

1. 利用している（月 回） 2. 利用していない

※訪問診療や居宅療養管理指導等を含みません。

問14 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（○は1つ）

1. 利用している → 問15へ 2. 利用していない → 問18へ

問15 新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用状況は変化しましたか。また、それに伴う身体の変化はありますか。（○は1つ）

【サービスの利用状況】

1 増えた 2 減った 3 変わらない

【身体の状態】

1 良くなった 2 悪化した 3 変わらない

問16 今のケアプランについて、あなたはどの程度満足していますか。（○は1つ）

1. 満足している } 問17-1へ

2. ほぼ満足している } 問17-2へ

3. あまり満足していない

4. 満足していない

5. わからない

問16で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

問17-1 ケアプランの満足している理由は何ですか。（いくつでも）

1. 自分自身の状態や希望に沿ったプランになっている

2. プランの目的・内容が十分理解できている

3. サービスの見直しが行われている

4. 介護者の負担軽減になっている

5. その他（ ）

問16で「3」「4」と回答した方にお伺いします。

問17-2 ケアプランの満足していない理由は何ですか。（いくつでも）

1. 自分自身の状態や希望に沿ったプランではない

2. プランの目的・内容が十分理解できていない

3. サービスの見直しが行われていない

4. 介護者の負担軽減になっていない

5. その他（ ）

問14で「2」と回答した方にお伺いします。

問18 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない

2. 本人にサービス利用の希望がない

3. 家族が介護をするため必要ない

4. 以前、利用していたサービスに不満があった

5. 利用料を支払うのが難しい

6. 利用したいサービスが利用できない、身辺にない

7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため

8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない

9. その他（ ）

※ご家族やご親族の方から介護を受けている方は、B票（主な介護者向け）アンケートにお答えください。

【B票 主な介護者について】

※主に介護を担当している方もしくはご本人様から、ご回答（調査票の該当する番号に○）をお願いします。

問1 主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

1. フルタイムで働いている } 問2~5へ

2. パートタイムで働いている

3. 働いていない

4. 主な介護者に相談しないと、わからない } 問5へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（いくつでも）

1. 特に行っていない

2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている

3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている

4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている

5. 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている

6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない

2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実

3. 制度を利用しやすい職場づくり

4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）

5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）

6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供

7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置

8. 介護をしている従業員への経済的な支援

9. その他（ ）

10. 特になし

11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

1. 問題なく、続けていける 4. 続けていくのは、かなり難しい

2. 問題はあるが、何とか続けていける 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

3. 続けていくのは、やや難しい

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

生活援助	1. 日中の排泄	12. 食事の準備（調理等）
	2. 夜間の排泄	13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
その他	3. 食事の介助（食べる時）	14. 金銭管理や生活に必要な手続き
	4. 入浴・洗身	15. その他（ ）
身体介護	5. 身だしなみ（洗頭・歯磨き等）	16. 不安に感じていることは、特になし
	6. 衣服の着脱	17. 主な介護者に確認しないと、わからない
	7. 屋内の移乗・移動	
	8. 外出の付き添い、送迎等	
	9. 服薬	
	10. 認知症状への対応	
	11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	

問6 介護や看病などの世話をする人が大変と感じていることは何ですか（いくつでも）

1. 介護者も高齢化しており、今後も在宅で介護を継続していくのが不安である

2. どのように世話をすることがよいのか、また、今の世話の仕方が適切なのが不安に思う

3. 高齢者から目を離すことができず、休む時間がない

4. 高齢者の介護とともに、子育てにも手がかかる（ダブルケア）ため、休む時間がない

5. 様々な心配ことがある中で、適切に相談できる窓口がない（または、わからない）

6. 医療や介護に多くの費用がかかり、家計に与える負担が大きい（または、負担がかからないようサービスの利用を抑えている）

7. その他（ ）

【自由記載】（スペースが足りない場合は、裏面をご活用ください）

第8章 調査票

4. 自由な時間が持てない
5. 仕事との両立が難しい
9. 先の見通しが立たない
10. その他 ()

(6) 将来、ご家族のどなたかが介護が必要となった状況を想像した場合、どのようにお考えですか。身体機能や認知機能の状況、本人の意向にもよるとは思いますが、現時点でのお考え（または状況）に最も近いものを選んでください。【〇は1つだけ】

1. 必要な介護サービスを入れるなどして、可能な限り自宅で生活してもらいたい。
2. 施設等で行き届いた介護を受けて生活してもらいたい。
3. 親や兄弟、配偶者の親などの年長者の家族がいないため、将来的にも家族の介護が必要となる状況は考えにくい。

問3 ご自分が介護が必要となったときについて伺います。

(1) 将来、ご自分が介護が必要となった状況を想像した場合、どのようにお考えですか。身体機能や認知機能の状況にもよるとは思いますが、現時点でのお考えに最も近いものを選んでください。【〇は1つだけ】

1. 可能な限り、介護サービスを受けずに自宅で生活したい。
2. 可能な限り、介護サービスを受けながら自宅で生活したい。
3. 施設等に人として介護サービスを受けて生活したい。

◀※1または2と答えた方は(2)へ、3と答えた方は(3)へ進んでください。▶

(2) (1) で1または2を選んだ理由を教えてください。【あてはまるもの全てに〇】

1. 住み慣れた環境をなるべく変えたくない。
2. 他人の世話になるのには抵抗がある。
3. 他人との共同生活を望んでいない。
4. 自由な生活ができなくなる。
5. 経済的に施設等への入所が困難である。
6. 施設等をよく知らないため、なんとなく不安である。
7. 施設等に良くないイメージを持っている。
8. その他 ()

4

9. 特にない
10. その他 ()

6

(3) (1) で3を選んだ理由を教えてください。【あてはまるもの全てに〇】

1. 専門的な介護が受けられる。
2. 緊急時の対応に安心感がある。
3. 自宅で受けられる介護サービスをよく知らないで、なんとなく不安である。
4. 家族に肉体的、精神的負担を掛けてしまう。
5. 家族関係が悪化してしまう恐れがある。
6. 他人の世話になる方が気楽である。
7. 家族がいない。
8. その他 ()

問4 介護予防への関心について伺います。

(1) 介護が必要にならないために、日常生活で心がけている生活習慣はありますか。【〇はいくつでも】

1. 食べ過ぎないようにしている。(カロリー制限)
2. 麺類の汁を残す、調味料や漬物を減らすなど、減塩を心がけている。
3. お酒(アルコール)を飲み過ぎないようにしている。
4. 運動をするようにしている。
5. 睡眠で休養を十分にとるようにしている
6. 気分転換・ストレスを解消するようにしている。
7. 特にない
8. その他 ()

(2) 介護予防の取り組みの中で、どのようなことに関心がありますか。【〇はいくつでも】

1. 食生活や栄養のバランス
2. 適切な運動
3. ストレス解消の方法
4. 歯と健康の関係
5. 脳卒中、糖尿病などの生活習慣病予防や寝たきりの予防
6. いきいき・楽しみづくり
7. 認知症予防
8. 地域のグループやサークルへの参加

5

問5 介護保険制度全般について

(1) あなたは、満40歳になると、介護が必要となった原因に一定の制約はあるものの、介護保険のサービスを利用できることをご存じですか。【〇は1つだけ】

1. はい
2. いいえ

(2) あなたは、満40歳になると、満65歳になる月の前月分まで、加入している医療保険(職場の健康保険、国民健康保険など)の保険料に上乗せされる形で、介護保険料を納めていることをご存じですか。【〇は1つだけ】

1. はい
2. いいえ

問6 仕事と介護の両立のための制度について

(1) 雇用されている方については、家族が介護が必要となった場合でも、仕事を辞めることなく両立できるよう、法律に基づき様々な制度が設けられています。あなたは、以下の制度についてご存じですか。【〇はいくつでも】

1. 介護休業制度
介護が必要な家族1人について、通算93日まで3回を上限として休業できる制度
2. 介護休暇制度
(介護が必要な家族1人について、1年度に5日まで(対象者が2人以上の方は10日まで)、介護休業や年次有給休暇とは別に1日または半日単位で利用できる制度)
3. 短時間勤務等の制度
(事業主は、従業員の家族介護を支援するため、次のいずれかの制度を設けなければならないとされています。)
- ・短時間勤務制度
 - ・フレックスタイム制度
 - ・時差出勤制度
 - ・介護サービスの費用の助成またはそれに準ずる制度
4. 介護のための所定外労働の制限(介護が終了するまで、残業免除の制度)
5. 深夜業の制限(介護が終了するまで、深夜帯の労働の制限)
6. 不利益取扱いの禁止(介護休業等の申出や取得を理由とした解雇などの禁止)
7. ハラスメント防止措置(介護休業等の取得を理由とした上司、同僚等からの嫌がらせ防止措置の義務づけ)

7

1. 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5
<p>1. 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目1】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目2】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目3】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目4】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目5】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p>	<p>【項目1】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目2】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目3】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目4】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目5】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p>	<p>【項目1】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目2】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目3】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目4】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目5】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p>	<p>【項目1】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目2】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目3】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目4】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目5】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p>	<p>【項目1】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目2】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目3】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目4】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p> <p>【項目5】 福祉サービス提供体制、主要施設等の概要について、下記の項目を記入してください。</p>

【問2】サービスの提供体制についてお伺いします。

介護サービスについて、日々の業務を通じて利用者のニーズに対して、最もよくあてはまるものを選んでください。
※予防サービスを含みます。

	十分足りている	足りている	ほぼ足りていない	やや不足している	不足している	わからない
1. 訪問介護	1	2	3	4	5	
2. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	
3. 訪問看護	1	2	3	4	5	
4. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	
5. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	
6. 通所介護（地域密着型通所介護を含みます）	1	2	3	4	5	
7. 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	
8. 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	
9. 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	
10. 特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	
11. 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	
13. 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	
14. 療養通所介護	1	2	3	4	5	
15. 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	
16. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
17. 認知症対応型共同生活介護	1	2	3	4	5	
18. 地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	
19. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	
20. 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
21. 介護老人福祉施設	1	2	3	4	5	
22. 介護老人保健施設	1	2	3	4	5	
23. 介護療養型医療施設・介護医療院	1	2	3	4	5	
24. 居宅介護支援・介護予防支援	1	2	3	4	5	
25. 総合事業（訪問型サービス）	1	2	3	4	5	
26. 総合事業（通所型サービス）	1	2	3	4	5	
27. 住宅改修	1	2	3	4	5	
28. 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	

【問3】保険者（志木市）との連携についてお伺いします。

保険者との連携に期待することは何ですか。（あてはまるものをすべて選んでください。）

- 苦情相談への指導・助言・支援
- 施設入所相談等の相談窓口
- ケアプラン作成への指導・助言・支援
- 施設等の空き情報の提供
- 処遇困難ケースへの支援
- 介護保険制度、市の高齢者福祉サービス等に関する情報提供
- ケアマネ研修会やケース検討会の開催
- 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）、医療機関等との調整
- 被保険者・家族に関する制度の周知
- 事業者に対するサービスの質の評価及び情報公開
- その他（ ）

【問4】介護保険サービス以外の高齢者サービスについてお伺いします。

(1) あなたは、介護保険サービス以外の高齢者サービスで行っている高齢者サービスについてご存じですか。また、利用者に紹介したことはありますか。それぞれの項目で、当てはまる番号にひとつ〇をつけてください。

	利用者に紹介したことがある	紹介したことはない	初めて聞いた
1. 配食サービスの補助（食事の支度が困難な方、見守りが必要な方への昼食の配達。費用の一部を市が補助）	1	2	3
2. 緊急時連絡システム・高齢者見守り通報システムの貸与（身体の不変時に消防署へ直通連絡がされる機器の貸与）	1	2	3
3. 徘徊高齢者家族支援事業（現在位置を確認する小型専用端末の貸与、靴・衣類等に貼り付けるステッカーの交付）	1	2	3
4. 要介護高齢者手当（在宅の要介護者がいる非課税世帯への手当支給 ※介護度の制限あり）	1	2	3
5. 介護用品支給事業（在宅の要介護者がいる非課税世帯への紙おむつ等の支給 ※介護度の制限あり）	1	2	3
6. 訪問理美容サービス（理髪店や美容院へ行くことが困難なため、自宅へ理美容師を呼ぶ場合の出張費用の助成 ※介護度の制限あり）	1	2	3

	利用者に紹介したことがある	紹介したことはない	初めて聞いた
7. 日常生活用具給付等事業（在宅ひとり暮らしの高齢者に対する、電磁調理器等の給付）	1	2	3
8. 救急医療情報キット配布事業（緊急時に迅速な救急活動を行えるよう、かかりつけ医療機関や持病等の情報を記載した紙を入れて冷蔵庫へ保管できる専用容器の配布）	1	2	3
9. 成年後見制度利用支援（身寄りがなく経済的支援を必要とする認知症高齢者等が、成年後見制度を利用するにあたって必要な費用の助成）	1	2	3
10. たんぽぽサービス事業（社会福祉協議会で実施している会員相互の助け合い事業。調理、買い物、掃除、洗濯等のサービスの実施）	1	2	3
11. 権利擁護事業（判断能力が十分でない高齢者等に対し、日常の金銭管理や福祉サービスの利用に関する相談などを受け、解決に向けて権利を侵害されないよう相談員が援助を実施）	1	2	3
12. 家族介護者交流事業（介護者相互の情報交換の場の提供）	1	2	3
13. 街なかれあいサロン事業・いきがいサロン事業（空き店舗や学校の空き教室を利用した、高齢者が集う憩いの場）	1	2	3
14. 多世代交流カフェ（子どもから高齢者までのさまざまな世代がふれあう交流事業）	1	2	3
15. シニアボランティアスタンプ制度（65歳以上の方が、市が指定する地域貢献活動や介護施設でのボランティア活動等に参加した場合にスタンプを加算し、スタンプ数に応じて買い物券に交換できる制度）	1	2	3
16. 短期集中予防サービス（サービスC）（要支援者等を対象に、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士が個別に支援プログラムを立て、3～6か月の短期間集中的に支援するサービス）	1	2	3
17. フレイルチェック（握力計などの測定機器や質問票などを用いて、フレイル状態を確認する事業）	1	2	3
18. いろは百歳体操（おもむきを使った体操、住民主体の自主的な介護予防活動）	1	2	3
19. ふれあい健康交流会（地域のボランティアの方に軽食を用意していただいたり、レクリエーションなどをしたりして親睦を図る会）	1	2	3
20. もの忘れ訪問相談支援事業（認知症初期集中支援チーム事業）（認知症やその疑いのある方を対象に、認知症専門医や相談員が訪問し、必要に応じた支援を行う事業）	1	2	3
21. 元気づくり事業（高齢者あんしん相談センターが行う、主に要支援者を対象とする介護予防、健康づくり事業）	1	2	3

第8章 調査票

(2) 介護保険サービス以外の情報をどのように得ていますか。
(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 市が発行している冊子など	
2. 地域包括支援センター主催の研修など	
3. 市や高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）に相談	
4. インターネット	
5. 介護支援専門員間の口コミ	
6. その他（ ）	
7. 特に得ていない	

(3) あなたは、ケアプランに関して悩んだときなどに、だれに相談することが多いですか。
(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 県	
2. 市	
3. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）	
4. 地域の連絡会・勉強会	
5. 職場の上司・同僚	
6. 職場外のケアマネジャー	
7. 相談できるところがない	
8. 相談していない	
9. その他（ ）	

【問5】医療と介護の連携についてお伺いします。

(1) 医療と円滑に連携ができていると思えますか。各機関等との連携状況について、最もよくあてはまるものを選んでください。

	連携している	連携している程度	十分ではない	ほとんど連携していない	必要な対象がなく、連携していない
1. 診療所（医院、クリニック）	1	2	3	4	5
2. 病院（医師）	1	2	3	4	5
3. 病院（地域連携担当）	1	2	3	4	5

7

(4) 医療と介護の連携が取りにくい理由はなぜだと思いますか。
(該当する上位3つを選んでください。)

1. 連携の必要性を感じていない	
2. 自身の時間に余裕がない	
3. 相手方が多忙で連絡が取りにくい	
4. 相手方の担当者（窓口）がわからない	
5. 相手方との敷居が高く感じる	
6. 医療の制度がわからない	
7. 医療・介護関係者相互の認識・理解不足	
8. 交流の場がない	
9. アプローチの仕方がわからない	
10. 医療機関の協力が得られない	
11. その他（ ）	

(5) 医療と介護の連携を推進するために必要だと思うことは何ですか。
(該当する上位3つを選んでください。)

1. 連絡先となる窓口を明確にする	
2. 情報交換できる場を確保する	
3. 知識を得るための研修会等の開催	
4. 情報通信技術（MCS など）の活用	
5. 医療と介護の連携シート等を作成する	
6. 連携についての相談窓口の設置	
7. 情報伝達・交換等ができる時間帯を明確にする	
8. その他（ ）	

(6) 医療と連携が取りにくいと感じた、または実際に取れなかった経験がありましたら、ご記入ください。

--

9

	連携している	連携している程度	十分ではない	ほとんど連携していない	必要な対象がなく、連携していない
4. 歯科診療所（歯科医院、クリニック）	1	2	3	4	5
5. 薬局	1	2	3	4	5
6. 訪問看護ステーション	1	2	3	4	5
7. 高齢者あんしん相談センター	1	2	3	4	5
8. 他の居宅介護支援事業所	1	2	3	4	5
9. 介護施設等	1	2	3	4	5

(2) 退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか。
(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 退院調整のカンファレンスが開かれなかった	
2. 病院からの説明が十分でなかった	
3. 知りたいことが十分に聞けなかった	
4. 急に退院が決まり、在宅での受け入れ準備を十分にできなかった本人、家族への説明が十分にされていなかった	
5. 病院職員が、あまり介護保険サービスのことを理解していない	
6. その他（ ）	

(3) 利用者の病状や健康状態について主治医と連絡を取っていますか。(○はひとつ)

1. 取っている	
2. ときどき取っている	
3. ほとんど取っていない	

8

(7) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。
(○はひとつ)

1. よく知っている	
2. 聞いたことはあるがよく知らない	
3. 知らない	

(8) ACPを実施したことがありますか。(○はひとつ)

1. ある	
2. ない	

【問6】地域包括ケアについて

(1) 利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。
(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 医師	8. 管理栄養士
2. 歯科医師	9. 高齢者あんしん相談センター
3. 薬剤師	10. 朝霞地区医師会地域包括ケア支援室
4. 医療ソーシャルワーカー	11. 生活支援コーディネーター
5. 訪問看護	12. 市役所
6. 訪問介護	13. その他（ ）
7. リハビリテーション職	

10

ケアマネジャー実態調査（事業所）

ケアマネジャー実態調査（事業所票）

◆ 調査にご協力ください ◆

平素より、当市の高齢者福祉行政に関しまして多大なるご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 このたび、志本市では令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「志木市高齢者保健福祉計画及び志木市第9期介護保険事業計画」を策定します。その基礎資料とするため、志木市の被保険者を担当されているケアマネジャーの皆様を対象に、利用者の実態や、現場での意見などをお伺いするためのアンケートを実施させていただきます。
 つきましては、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、お手数ですがご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。
 なお、この調査票の発送、回収及び集計作業につきましては、志木市が株式会社 名豊に業務委託をしております。

令和4年 12月 志木市

記入に際してのお願い

1. 管理者の方がお答えください。
2. 特に注釈のない場合、**令和4年12月1日**現在の状況について、ご回答願います。
3. **本市の被保険者**についてご回答願います。（他市の被保険者については、除いてください。）
4. 内容に関する問い合わせや、今後必要に応じてヒアリング等を行う場合もあるため、事業所名のご記入をお願いします。結果につきましては、事業所を特定する形で対外的に公表することはありません。

ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**令和5年1月17日(火)**までに投函してください。

※ この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
志木市 福祉部 長寿応援課
電話 048-473-1111（内線 1085）

12. その他	人	人
13. 把握していない		人
14. 死亡（搬送先での死亡を含みます）		人

※ 1～12までの合計と、問2の★が一致することを確認してください。

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
志木市内で提供しているサービス	居宅介護支援・介護予防支援・小規模多機能型居宅介護
電話	連絡先（ご担当者）

ケアマネジャー向けアンケート【事業所票】

【問1】貴事業所の状況についてお伺いします。

(1) 所属するケアマネジャーの人数	人
(2) 自宅等（※）にお住いの利用者数	人
(3) サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームにお住いの利用者数	人

※ (3)以外にお住いの方は、(2)に含めてください。

【問2】貴事業所において、過去1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の間に、自宅等から居場所を変更した利用者数を、要介護度別にお答えください。

要支援1	人	要介護3	人
要支援2	人	要介護4	人
要介護1	人	要介護5	人
要介護2	人	合計	人★

【問3】貴事業所において、過去1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の間に、自宅等から居場所を変更した利用者数を、行き先別にお答えください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の場所に移った場合は、退院後の居場所としてください。

	市内	市外
1. 兄弟姉妹・子・親戚等の家	人	人
2. 住宅型有料老人ホーム	人	人
3. 軽費老人ホーム（特定施設除く）	人	人
4. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	人	人
5. 認知症高齢者グループホーム	人	人
6. 特定施設	人	人
7. 地域密着型特定施設	人	人
8. 介護老人保健施設	人	人
9. 介護医療院・介護療養型医療施設	人	人
10. 特別養護老人ホーム	人	人
11. 地域密着型特別養護老人ホーム	人	人

介護サービスについて

【問1】本市の介護保険サービスの中で、供給が不足していると感じられるサービスはありますか。（〇はいくつでも）

1. 訪問介護	12. 住宅改修
2. 訪問入浴介護	13. 特定福祉用具販売
3. 訪問看護	14. 小規模多機能型居宅介護
4. 訪問リハビリテーション	15. 認知症対応型通所介護
5. 通所介護	16. 認知症対応型共同生活介護
6. 通所リハビリテーション	17. 夜間対応型訪問介護
7. 福祉用具貸付	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
8. 居宅療養管理指導	19. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 短期入所生活介護	20. 特になし
10. 短期入所療養介護	21. その他（ ）
11. 特定施設入居者生活介護	

虐待防止について

【問1】虐待に対して防止策や対応策として取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも）

1. 介護理念や組織全体の方針を明らかにしている
2. 理念や方針が職員間で共有されている
3. 職務・職種による責任や役割を明確にしている
4. チェックリストやマニュアルを作成している
5. 不適切な行為などを職員が報告や通報しやすい体制になっている
6. 施設内外の研修に参加させている
7. 効率優先や一斉介護・流れ作業を見直し個別ケアを推進している
8. 必要に応じて、アセスメントやケアプランの見直しを行なっている
9. 施設内において他職種間の連携が図られている
10. 上司や先輩にあたる職員が積極的に声をかけ、悩みを聞くような職場環境を作っている
11. 苦情処理体制をはじめとする必要な委員会を設置・運営している
12. その他（ ）

地域包括ケアについて

【問1】地域包括支援センターに何の機能を強化してほしいですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 相談や問い合わせ等に対する迅速な対応 |
| 2. 相談したケースの経過や結果などの状況報告 |
| 3. ケアプラン作成業務における問合せや相談に対する、専門的な見地からの助言・支援 |
| 4. 支援困難ケース（高齢者虐待、権利擁護など）に関する専門的な助言等 |
| 5. 地域の資源、市の制度や施策等に関する情報提供 |
| 6. 介護支援専門員向けの研修会の開催等、指導・助言の取り組み |
| 7. 地域における会合や行事に参加し、関係機関との連携体制構築の働きかけ |
| 8. その他 () |

【問2】利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい機関・窓口はどこですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 医師 | 8. 管理栄養士 |
| 2. 歯科医師 | 9. 地域包括支援センター |
| 3. 薬剤師 | 10. 在宅医療・介護連携支援センター |
| 4. 医療ソーシャルワーカー | 11. 生活支援コーディネーター |
| 5. 訪問看護 | 12. コミュニティソーシャルワーカー |
| 6. 訪問介護 | 13. 市役所 |
| 7. リハビリテーション職 | 14. その他 () |

【問3】介護従事者と医療関係者等が多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題がありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 日頃からの見える関係づくり |
| 2. 主治医への問合せがしやすい仕組みづくり |
| 3. 関係者の意識啓発や対等な立場で話し合える雰囲気づくり |
| 4. 退院時のカンファレンスの実施 |
| 5. 地域ケア会議の機能強化 |
| 6. その他 () |

*** 調査にご協力いただきありがとうございました ***
 管理者の方は、ケアマネ個人票にもご回答願います。

介護サービス事業所(施設・居住系サービス)

志木市介護サービス (施設・居住系サービス) 事業所調査

◆ 調査にご協力ください ◆

平素より、当市の高齢者福祉行政に関しまして多大なるご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 このたび、志木市では令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「志木市高齢者保健福祉計画及び志木市第9期介護保険事業計画」を策定します。その基礎資料とするため、志木市内のサービス提供事業所の皆様を対象に、利用者の実態や、現場での意見などをお伺いするためのアンケートを実施させていただきます。
 つきましては、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、お手数ですがご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。
 なお、この調査票の発送、回収及び集計作業につきましては、志木市が株式会社 名豊に業務委託しております。

令和4年12月

志木市

記入に際してのお願い

1. 管理者の方がお答えください。
2. 特に注釈のない場合、**令和4年12月1日**現在の状況について、ご回答願います。
3. 内容に関する問い合わせや、今後必要に応じてヒアリング等を行う場合もあるため、事業所名のご記入をお願いします。結果につきましては、事業所を特定する形での対外的公表することはありません。

ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和5年1月17日(火)までに投函してください。

※ この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 志木市 福祉部 長寿応援課
 電話 048-473-1111 (内線 1085)

貴事業所についてご記入ください。

事業所名		
電話		連絡先 (ご担当者)

申請中	人	人
合計(★)	人	人

※合計が、(2) 3の★と一致することを確認してください。
 ※区分変更の場合は、変更前の介護度としてください。

(4) 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。

1. 点滴の管理 (人)	9. 経管栄養 (人)
2. 中心静脈栄養 (人)	10. モニター測定 (人)
3. 透析 (人)	11. 褥瘡の処置 (人)
4. ストーマの処置 (人)	12. カテーテル (人)
5. 酸素療法 (人)	13. 喀痰吸引 (人)
6. レスビレーター (人)	14. インスリン注射 (人)
7. 気管切開の処置 (人)	15. その他 (人)
8. 疼痛の看護 (人)	

【問2】過去1年間の新規入所・入居者についてお伺いします。

(1) 過去1年間(令和3年1月1日～令和3年12月31日)に、貴施設等に新規で入所・入居した方の人数をお答えください。

※元々貴施設に入所・入居していた方で、一時的な入院等を経て戻ってきた方は含めないでください。

人 ★

(2) (1) でご記入いただいた過去1年間の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をお答えください。

	市内	市外
1. 自宅(兄弟姉妹・子・親戚等の家を含む)	人	人
2. 住宅型有料老人ホーム	人	人
3. 経費老人ホーム(特定施設除く)	人	人
4. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	人	人
5. グループホーム	人	人
6. 特定施設	人	人
7. 地域密着型特定施設	人	人
8. 介護老人保健施設	人	人
9. 介護療養型医療施設・介護医療院	人	人
10. 特別養護老人ホーム	人	人

<受託者の概要>

株式会社 名豊(代表取締役:小池 武史、本社:名古屋市中区松原二丁目2番33号)
 今回、「志木市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」をはじめ、多くの自治体の各種行政計画の策定支援業務を受託しています。

【問1】貴事業所の状況についてお伺いします。

(1) 該当するサービス種別をご回答ください。

1. 住宅型有料老人ホーム	
2. 経費老人ホーム(特定施設の指定を受けていない)	
3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設の指定を受けていない)	
4. グループホーム	
5. 特定施設	
6. 介護老人保健施設	
7. 特別養護老人ホーム	

(2) 概要についてお伺いします。

1. 施設等の名称	()
2. 定員数	() 人(戸・室)
3. 入所・入居者数	() 人★
4. 貴施設等の付帯者数	() 人
5. (特養以外の施設等のみ)入居者のうち、特養への申し込み者数	() 人

※5は、特養については回答不要です。
 ※不明な場合は「不明」と、該当者がいない場合は「0」と記入してください。

(3) 介護度別入居者数についてご記入ください。

	人数	うち志木市の被保険者
自立	人	人
要支援1	人	人
要支援2	人	人
要介護1	人	人
要介護2	人	人
要介護3	人	人
要介護4	人	人
要介護5	人	人

11. 地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
12. その他	人	人
13. 入居・入所する前の居場所を把握していない		人
合計(★)		人

※合計が、(1)の★と一致することを確認してください。

【問3】過去1年間の退居者についてお伺いします。

(1) 過去1年間(令和3年1月1日～令和3年12月31日)に、貴施設等を退居した方の人数をお答えください。

※元々貴施設に入所・入居していた方で、一時的な入院中の方(契約が継続している方は含めないでください)。

人 ★

※(死亡者、搬送先死亡者を含む)死亡については、介護度にかかわらず死亡の欄に記載してください。

(2) 介護度別退居者数についてご記入ください。

※区分変更申請中の方は、変更前の区分としてください。

	人数	うち志木市の被保険者
自立	人	人
要支援1	人	人
要支援2	人	人
要介護1	人	人
要介護2	人	人
要介護3	人	人
要介護4	人	人
要介護5	人	人
申請中	人	人
死亡	人	人
合計(★)	人	人

※合計が、(1)の★と一致することを確認してください。

回答方法	※番号を1つ記入		
	(6) 現在の施設等での勤務年数	(7) 過去1週間の勤務時間	(8) 直前の職場について
選択肢	1. 1年以上 ⇒【回答終了】 2. 1年未満 ⇒【(7)へ】	1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2. 特養、老健、療養型、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 3. 短期介護・入居、夜間対応型 4. 訪問介護、巡回サービス 5. 小多機、若多機、定常巡回サービス 6. 巡回介護、巡回リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、半高住（特定施設以外） 8. その他の介護サービス ⇒【(3.1～7.8.）の場合は(8)へ】	1. 志本市内の同一の法人・グループの事業所 2. 志本市内の別の事業所 3. 別の市町村の同一の法人・グループの事業所 4. 別の市町村の別の事業所
記入例	1	1	1
	01		
	02		
	03		
	04		
	05		
	06		
	07		
	08		
	09		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

8

【問5】サービスの質の向上に関する取組についてお伺いします。

1 (1) 貴事業所が実施している職員への研修、資格取得支援についてお答えください。(あてはまるものすべて)

1. 研修の企画、実施のための体制がある
2. 外部機関に研修実施の委託をしている
3. 外部研修への参加費を補助している
4. 研修のすべてを当該事業所内で実施している
5. 研修受講等が人事考課等に連動する制度がある
6. その他 ()
7. 特に行ってない

1 (2) (1)で「7. 特に行ってない」と回答した場合にお尋ねします。特に実施していない理由は、何ですか。(あてはまるものすべて)

1. どのような研修を実施して良いかわからない
2. 外部研修で行われている内容がわからない
3. 外部研修への具体的な参加方法がわからない
4. 外部研修や資格取得支援に係る経費負担が厳しい
5. 職員を研修へ参加させる時間的余裕がない
6. その他 ()

2 貴事業所が実施している介護サービス向上のための次の取組について、実施の有無をお答えください。また、「2 いいえ」を選んだ場合、その理由もお答えください。

	取組の有無	「2 いいえ」を選んだ場合の理由 (あてはまるものすべて)
1. 利用者、家族への満足度調査	1 はい 2 いいえ	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()
2. 外部評価機関への第三者評価委託	1 はい 2 いいえ	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()

9

	取組の有無	「2 いいえ」を選んだ場合の理由 (あてはまるものすべて)
3. 事業所による内部評価の実施	1 はい 2 いいえ	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()
4. サービス提供困難事例等の検討会実施	1 はい 2 いいえ	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()
5. 情報技術の活用による現場スタッフの事務軽減 (※例：介護経過記録の電子化)	1 はい 2 いいえ	1 導入手順等がわからない 2 経費負担が厳しい 3 導入の必要性をあまり感じない 4 その他 ()
6. 介護機器等の活用	1 はい 2 いいえ	1 導入手順等がわからない 2 経費負担が厳しい 3 導入の必要性をあまり感じない 4 その他 ()

3 (1) 貴事業所では、利用者へより質の高いサービスを提供することを目的として、各種加算（特定事業所加算や生活機能向上訓練加算など）の取得要件を満たすための取組を行っていますか。(※介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算は除きます。)(ひとつだけに)

1. 希望する加算はすべて取得している
2. 希望する加算の一部を取得している
3. 加算を取得していない

(1)で「1 希望する加算はすべて取得している」を選んだ場合にお尋ねします。
3 (2) 取得済の加算以外を希望していない理由をお答えください。(あてはまるものすべて)

1. 加算要件の内容がわからない
2. 時間的な余裕がない
3. 経費負担が厳しい
4. 必要な人材の確保が難しい
5. 加算要件のハードルが高い
6. 単位数が少なく、取得の必要性をあまり感じない
7. 加算の内容に疑問があり、取得の必要性をあまり感じない
8. その他 ()

(1)で「2 希望する加算の一部を取得している」「3 加算を取得していない」を選んだ場合にお尋ねします。

3 (3) 希望する他の加算を取得しない・できない理由を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 加算要件の内容がわからない
2. 時間的な余裕がない
3. 経費負担が厳しい
4. 必要な人材の確保が難しい
5. 加算要件のハードルが高い
6. 単位数が少なく、取得の必要性をあまり感じない
7. 加算の内容に疑問があり、取得の必要性をあまり感じない
8. その他 ()

10

【問6】保険者（志木市）との連携についてお伺いします。

保険者との連携に期待することは何ですか。(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 苦情相談への指導・助言・支援
2. 施設入所相談等の相談窓口
3. ケアプラン作成への指導・助言・支援
4. 施設等の空き情報の提供
5. 処遇困難ケースへの支援
6. 介護保険制度、市の高齢者福祉サービス等に関する情報提供
7. ケアマネ研修会やケース検討会の開催
8. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）、医療機関等との調整
9. 被保険者・家族に関する制度の周知
10. 事業者に対するサービスの質の評価及び情報公開
11. その他 ()

【問7】医療機関との連携についてお伺いします。

※医師が配置されていない施設等のみご回答ください。

貴事業所において、今後、医療機関とどのような関係を持っていきたいと思えますか。

11

【問8】介護人材の確保・定着についてお伺いします。

(1) 現在の職員の過不足の状況についてお尋ねします。(ひとつだけに○)

1. 充足しており、まったく支障ない
2. 不足する時もあるが、おおむね充足し、支障ない
3. 不足気味で支障を感じることがある
4. 慢性的に不足し、支障がある
5. その他

(2) 職員定着のためにしている取組は何ですか。(あてはまるものすべて)

1. 採用時に業務内容・就労条件について詳細に説明する
2. 個人の希望に配慮した業務配置・労働時間(シフト)
3. 定期昇給実施による職員の生活の安定化、モチベーションアップ
4. 人事考課制度の実施
5. 変形労働制の実施
6. 上司による個別面談や相談体制の充実
7. 先輩職員による担当指導制度やフォロー体制
8. 職場内の仲間づくり活動の推進
9. 体系的な教育・研修の充実
10. 自主的な資格取得・研修受講等スキルアップを支援(休暇付与、助成金)
11. メンタルヘルスマスクを含む健康管理体制の充実
12. 産休・育休・介護休暇の取得促進
13. 休暇を取りやすい体制
14. その他

(3) 高齢労働者(おおむね65歳以上)の受け入れについてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

1. 受け入れている
2. 受け入れていないが、受け入れを予定・検討している
3. 受け入れていない、受け入れの検討もしていない
4. その他

(4) 外国人労働者を受け入れていますか。(ひとつだけに○)

1. 受け入れている
2. 受け入れていないが、受け入れを予定・検討している
3. 受け入れていない、受け入れの検討もしていない
4. その他

12

13

【問9】感染症に対する取組についてお伺いします。

(1) 貴事業所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応して、休業等を行いましたか。(ひとつだけに○)

1. はい
2. いいえ

(2) 休業等を行った理由についてうかがいます。(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 職員・利用者に感染者が出たため
2. 職員・利用者に濃厚接触者、感染疑い者がいたため
3. 感染防止のため・経営判断による自主休業
4. 職員不足のため
5. 利用自粛による利用者の減少のため
6. 3密を避けるための自主的な定員縮小
7. 自主的な時短運営
8. その他 ()

(3) 自主的に貴事業所の利用を控えた利用者はいましたか。(ひとつだけに○)

1. いた
2. いない

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者宅を訪問してサービスを提供しましたか。(ひとつだけに○)

1. 提供した
2. 提供していない

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、電話(利用者宅への訪問を除く)による安否確認を行いましたか。(ひとつだけに○)

1. 行った
2. 行わなかった

(6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業所以外の場所(利用者宅を除く)にてサービスを提供しましたか。(ひとつだけに○)

1. 提供した
2. 提供していない

14

(7) 貴事業所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応して、具体的にどのような対応を徹底するようにしていますか。(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 利用者・職員が使用する家具や物品等の消毒の徹底
2. 密集を避けるため、利用者・職員を減らす、グループ分けの実施
3. 密集を避けるため、施設・事業所内の使用する部屋を変更したり、レイアウトの変更
4. 窓口カウンター等に飛沫防止の仕切りを設置
5. 在宅ワークを取り入れて、出社する職員を減らした
6. 利用者ごとに接触する担当者を限定してサービスを提供
7. 事前に利用者の体調を確認するなど、普段以上に利用者の健康状態の管理の徹底
8. 職員が出発前に熱を測るなど、職員の体調管理の徹底
9. マニュアルの整備
10. 医療機関と連携し、研修や対策の実施
11. その他 ()

(8) 貴事業所が新型コロナウイルス感染症対応に関連して直面している主な課題は何ですか。管理者の立場だけでなく、法人の立場を踏まえたうえで回答ください。

自由記載

(9) 今回の対応で得た知見を活かし、再度感染症が流行した場合でも適切かつ迅速な対応ができる運営体制を構築するためには、どのような課題がありますか。

15

介護サービス事業所(在宅)

志木市介護サービス(在宅)事業所調査

◆ 調査にご協力ください ◆

平素より、当市の高齢者福祉行政に関しまして多大なるご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、志木市では令和6年度から令和8年度まで計画期間とする「志木市高齢者保健福祉計画及び志木市第9期介護保険事業計画」を策定します。その基礎資料とするため、志木市内のサービス提供事業所の皆様を対象に、利用者の実態や、現場での意見などをお伺いするためのアンケートを実施させていただきます。

つきましては、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、お手数ですが回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査票の発送、回収及び集計作業につきましては、志木市が株式会社 名豊に業務委託しております。

令和4年 12月

志木市

記入に際してのお願い

1. 管理者の方がお答えください。
2. 特に注釈のない場合、**令和4年12月1日**現在の状況について、ご回答願います。
※内容に関する問い合わせや、今後必要に応じてヒアリング等を行う場合もあるため、事業所名の記入をお願いいたします。結果につきましては、事業所を特定する形で対外的に公表することはありません。

ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和5年1月17日(火)までに投函してください。

※ この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 志木市 福祉部 長寿応援課
電話 048-473-1111(内線 1085)

貴事業所についてご記入ください。

事業所名			
電話		連絡先 (ご担当者)	

<受託者の概要>

株式会社 名豊 (代表取締役: 小池 武史、本社: 名古屋市中区松原二丁目2番33号)
今回、「志木市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」をはじめ、多くの自治体

の各種行政計画の策定支援業務を受託しています。

【問1】貴事業所の状況についてお伺いします。

(1) 該当するサービス種別をご回答ください。

1. 通所系サービス
(通所介護(地域密着型含む)、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護)
2. 訪問系サービス
(訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、訪問看護)
3. 小規模多機能型居宅介護

【問2】介護職員の状況についてお伺いします。

※この中で「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員のことを指し、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用職員のことを指します。また、賃金の支払いを受けている方とし、ボランティアの方は含めなくてください。

(1) 介護職員の総数についてお伺いします。

正規職員	人	非正規職員	人
------	---	-------	---

(2) 過去1年間(令和3年1月1日~令和3年12月31日)の、介護職員の採用者数と離職者数をお答えください。

採用者数	人(★)	離職者数	人(★)
------	------	------	------

(3) (2)の採用者、離職者について、正規・非正規の別、年齢別を記入してください。

年齢(採用・離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規	非正規	正規	非正規
~19	人	人	人	人
20~29	人	人	人	人
30~39	人	人	人	人
40~49	人	人	人	人
50~59	人	人	人	人
60~69	人	人	人	人
70~	人	人	人	人
不明	人	人	人	人
合計(★)	人	人	人	人

※合計が、(2)の★と一致することを確認してください。

(4) 介護職員の方の個別状況についてお伺いします。全職員の資格の取得状況等について、下記の表に職員ごとにお答えください。対象となる利用者様が30名を超える場合は、お手数をおかけしますが、必要分に応じてコピーなどをお取りください。

回答方法	※番号を1つ選択				※数値を記入
設問	(1)資格の取得、研修の終了状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の勤務時間
強弱	1.介護福祉士(認定介護福祉士含む) 2.介護職員実務者研修修了または (甲)介護職員基礎研修修了 または (乙)ヘルパー1級 3.介護職員初任者研修修了または (甲)ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当せず	1.正規社員 (※期間の定めのない契約) 2.非正規社員 (※期間の定めのある契約)	1.男性 2.女性	1.30歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代以上 8.不明	※残業時間を含む、休業時間は除く。
記入例	1	1	1	3	40
01					時間
02					時間
03					時間
04					時間
05					時間
06					時間
07					時間
08					時間
09					時間
10					時間
11					時間
12					時間
13					時間
14					時間
15					時間
16					時間
17					時間
18					時間
19					時間
20					時間
21					時間
22					時間
23					時間
24					時間
25					時間
26					時間
27					時間

28						時間
29						時間
30						時間

回答方法	※番号を1つ記入		
設問	(6) 現在の施設等での勤務年数	(7) 過去1週間の勤務時間	(8) 職前の職場について
選択肢	1. 1年以上 ⇒【回答終了】 2. 1年未満 ⇒【(7)へ】	1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2. 特養、老健、療養型、介護施設、ショートステイ、グループホーム、特定施設 3. 訪問介護・入浴、夜間対応型 4. 小多岐、養多岐、定期巡回サービス 5. 通所介護、訪問リハ、認知症デイ 6. 住定型有料、学高住（特定施設以外） 7. その他の介護サービス ⇒【(8)～(8)】の場合は(8)へ	1. 志本市内の同一の法人・グループの事業所 2. 志本市内の別の事業所 3. 別の市町村の同一の法人・グループの事業所 4. 別の市町村の別の事業所
記入例	1	1	1
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

4

【問3】看護職員の状況についてお伺いします。

※ここでの「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員のことを指し、「非正規職員」とは期間の定めのある有期雇用職員のことを指します。また、資金の支払いを受けている方とし、ボランティアの方はいりません。

(1) 職員の総数についてお伺いします。

正規職員	人	非正規職員	人
------	---	-------	---

(2) 過去1年間(令和3年1月1日～令和3年12月31日)の、看護職員の採用者数と離職者数をお答えください。

採用者数	人(★)	離職者数	人(★)
------	------	------	------

(3) (2)の採用者、離職者について、正規・非正規の別、年齢別を記入してください。

年齢(採用・離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規	非正規	正規	非正規
～19	人	人	人	人
20～29	人	人	人	人
30～39	人	人	人	人
40～49	人	人	人	人
50～59	人	人	人	人
60～69	人	人	人	人
70～	人	人	人	人
不明	人	人	人	人
合計(★)	人	人	人	人

※合計が、(2)の★と一致することを確認してください。

(4) 看護職員の方の個別状況についてお伺いします。全職員の状況等について、次ページの表に職員ごとにお答えください。対象となる利用者様が30名を超える場合は、お手数をおかけしますが、必要分に応じてコピーなどをお取りください。

5

29					時間
30					時間

回答方法	※番号を1つ選択			※数値を記入
設問	(1) 雇用形態	(2) 性別	(3) 年齢	(4) 過去1週間の勤務時間
選択肢	1. 正社員 (※期間の定めのない契約) 2. 非正社員 (※期間の定めのある契約)	1. 男性 2. 女性	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上 8. 不明	※残業時間を含む 休業時間は除く。
記入例	1	1	3	40
01				時間
02				時間
03				時間
04				時間
05				時間
06				時間
07				時間
08				時間
09				時間
10				時間
11				時間
12				時間
13				時間
14				時間
15				時間
16				時間
17				時間
18				時間
19				時間
20				時間
21				時間
22				時間
23				時間
24				時間
25				時間
26				時間
27				時間
28				時間

6

7

第8章 調査票

回答方法	※番号を1つ記入		
	(a) 現在の施設等での勤務年数	(b) 過去1週間の勤務時間	(c) 職員の職種について
選択肢	1. 1年以上 ⇒【回答終了】 2. 1年未満 ⇒【(b)へ】	1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2. 介護、医療機関以外の職種 ⇒【回答終了】 3. 介護、老健、療養型、介護民間施設、ショートステイ、グループホーム、特設施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多岐、看護、定額型サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 在宅型有料、学童館（特設施設以外） 8. その他の介護サービス ⇒【「3」～「8」の場合は(c)へ】 9. 医療機関	1. 志本市内の同一の法人・グループの事業所 2. 志本市内の別の事業所 3. 別の市町村の同一の法人・グループの事業所 4. 別の市町村の別の事業所
記入例	1	1	1
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

8

【問4】サービスの質の向上に関する取組についてお伺いします。

1(1) 貴事業所が実施している職員への研修、資格取得支援についてお答えください。(あてはまるものすべて)

1. 研修の企画、実施のための体制がある
2. 外部機関に研修実施の委託をしている
3. 外部研修への参加費を補助している
4. 研修のすべてを当該事業所内で実施している
5. 研修受講、資格取得等が人事処遇に連動する制度がある
6. その他 ()
7. 特に実施していない

(1)で「7 特に実施していない」を選んだ場合にお尋ねします。

(2) 特に実施していない理由は、何ですか。(あてはまるものすべて)

1. どのような研修を実施して良いかわからない
2. 外部研修で行われている内容がわからない
3. 外部研修への具体的参加方法がわからない
4. 外部研修や資格取得支援に係る経費負担が厳しい
5. 職員を研修へ参加させる時間的余裕がない
6. その他 ()

9

2 貴事業所が実施している介護サービス向上のための取組の実施状況についてお答えください。また、理由も併せてお答えください。(いくつでも)

	取組の有無	「2 いいえ」を選んだ場合の理由
1. 利用者、家族への満足度調査	1 はい	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()
	2 いいえ	
2. 外部評価機関への第三者評価委託	1 はい	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()
	2 いいえ	
3. 事業所による内部評価の実施	1 はい	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()
	2 いいえ	
4. サービス提供困難事例等の検討会実施	1 はい	1 実施の手順等がわからない 2 時間的な余裕がない 3 経費負担が厳しい 4 必要性をあまり感じない 5 その他 ()
	2 いいえ	
5. 情報技術の活用による現場スタッフの事務軽減(※例：介護経過記録の電子化)	1 はい	1 導入手順等がわからない 2 経費負担が厳しい 3 導入の必要性をあまり感じない 4 その他 ()
	2 いいえ	
6. 介護機器等の活用	1 はい	1 導入手順等がわからない 2 経費負担が厳しい 3 導入の必要性をあまり感じない 4 その他 ()
	2 いいえ	

10

3(1) 貴事業所では、利用者へより質の高いサービスを提供することを目的として、各種加算(特定事業所加算や生活機能向上訓練加算などの取得要件を満たすための取組を行っています)。(※介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算は除きます。)

(ひとつだけ○)

1. 希望する加算はすべて取得している
2. 希望する加算の一部を取得している
3. 加算を取得していない

(1)で「1 希望する加算はすべて取得している」を選んだ場合にお尋ねします。

(2) 取得済の加算以外を希望していない理由をお答えください。(あてはまるものすべて)

1. 加算要件の内容がわからない
2. 時間的な余裕がない
3. 経費負担が厳しい
4. 必要な人材の確保が難しい
5. 加算要件のハードルが高い
6. 単位数が少なく、取得の必要性をあまり感じない
7. 加算の内容に疑問があり、取得の必要性をあまり感じない
8. その他 ()

(1)で「2 希望する加算の一部を取得している」

「3 加算を取得していない」を選んだ場合にお尋ねします。

(3) 希望する他の加算を取得しないできない理由をお答えください。(あてはまるものすべて)

1. 加算要件の内容がわからない
2. 時間的な余裕がない
3. 経費負担が厳しい
4. 必要な人材の確保が難しい
5. 加算要件のハードルが高い
6. 単位数が少なく、取得の必要性をあまり感じない
7. 加算の内容に疑問があり、取得の必要性をあまり感じない
8. その他 ()

11

9. 介護施設等	1	2	3	4	5
----------	---	---	---	---	---

【問5】保険者(志木市)との連携についてお伺いします。

(1) 保険者との連携に期待することは何ですか。(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 苦情相談への指導・助言・支援
2. 施設入所相談等の相談窓口
3. ケアプラン作成への指導・助言・支援
4. 施設等の空き情報の提供
5. 処遇困難ケースへの支援
6. 介護保険制度、市の高齢者福祉サービス等に関する情報提供
7. ケアマネ研修会やケース検討会の開催
8. 高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)、医療機関等との調整
9. 被保険者・家族に関する制度の周知
10. 事業者に対するサービスの質の評価及び情報公開
11. その他 ()

【問6】医療と介護の連携についてお伺いします。

(1) 医療と円滑に連携ができていますか。各機関等との連携状況について、最もよくあてはまるものを選んでください。

	よく連携している	普通か連携している	ある程度連携している	分度で連携はな	ほとんど連携していない	連携が全くない	必要な対応
1. 診療所(医院、クリニック)	1	2	3	4	5		
2. 病院(医師)	1	2	3	4	5		
3. 病院(地域連携担当)	1	2	3	4	5		
4. 歯科診療所(歯科医院、クリニック)	1	2	3	4	5		
5. 薬局	1	2	3	4	5		
6. 訪問看護ステーション	1	2	3	4	5		
7. 高齢者あんしん相談センター	1	2	3	4	5		
8. 他の居宅介護支援事業所	1	2	3	4	5		

12

13

(2) 医療と介護の連携が取りにくい理由は何だと思えますか。(該当する上位3つを選んでください。)

1. 連携の必要性を感じていない
2. 自身の時間に余裕がない
3. 相手方が多忙で連絡が取りにくい
4. 相手方の担当者(窓口)がわからない
5. 相手方との敷居が高く感じる
6. 医療の制度がわからない
7. 医療・介護関係者相互の認識・理解不足
8. 交流の場がない
9. アプローチの仕方がわからない
10. 医療機関の協力が得られない
11. その他 ()

(3) 医療と介護の連携を推進するために必要だと思われることは何ですか。(該当する上位3つを選んでください。)

1. 連絡先となる窓口を明確にする
2. 情報交換できる場を確保する
3. 知識を得るための研修会等の開催
4. 情報通信技術(MCSなど)の活用
5. 医療と介護の連携シート等を作成する
6. 連携についての相談窓口の設置
7. 情報伝達・交換等ができる時間帯を明確にする
8. その他 ()

(4) 医療と連携が取りにくいと感じた、または実際に取れなかった経験がありましたら、ご記入ください。

14

【問7】医療機関との連携についてお伺いします。

(1) 貴事業所において、今後、医療機関とどのような関係を持っていきたいと思えますか。(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 在宅のサービス利用者に福祉・介護サービスと医療サービスを組み合わせて提供したい
2. 退院後の高齢者に対し、必要な介護認定を行い、適切な介護サービスを提供したい
3. 医療機関との連携により、サービス提供者の健康管理を行いたい
4. 在宅のサービス利用者の緊急時の対応をお願いしたい
5. 要介護度や認知症の緩和のために協力したい
6. 認定者の終末期医療やがん等の緩和ケアで協力をお願いしたい
7. その他 ()

15

【問8】介護人材の確保・定着についてお伺いします。

(1) 現在の職員の過不足の状況についてお尋ねします。(ひとつだけに○)

1. 充足しており、まったく支障ない 2. 不足する時もあるが、おおむね充足し、支障ない 3. 不足気味で支障を感じることがある 4. 慢性的に不足し、支障がある 5. その他
--

(2) 職員定着のためにやっている取組は何ですか。(あてはまるものすべて)

1. 採用時に業務内容・勤務条件について詳細に説明する 2. 個人の希望に配慮した業務配置・労働時間(シフト) 3. 定期昇給実態による職員の生活の安定化、モチベーションアップ 4. 人事考課制度の実施 5. 変形労働制の実施 6. 上司による個別面談や相談体制の充実 7. 先輩職員による担当指導制度やフォロー体制 8. 職場内の仲間づくり活動の推進 9. 体系的な教育・研修の充実 10. 自主的な資格取得・研修受講等スキルアップを支援(休暇付与、助成金) 11. メンタルヘルスマスクを含む健康管理体制の充実 12. 産休・育休・介護休暇の取得促進 13. 休暇を取りやすい体制 14. その他

(3) 高齢労働者(おおむね65歳以上)の受け入れについてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

1. 受け入れている 2. 受け入れているが、受け入れを予定・検討している 3. 受け入れていない、受け入れの検討もしていない 4. その他

(4) 外国人労働者を受け入れていますか。(ひとつだけに○)

1. 受け入れている 2. 受け入れているが、受け入れを予定・検討している 3. 受け入れていない、受け入れの検討もしていない

16

4. その他

【問9】感染症に対する取組についてお伺いします。

(1) 貴事業所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応して、休業等を行いましたか。(ひとつだけに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(1)で1 はいを選んだ場合にお尋ねします。

(2) 休業等を行った理由についてうかがいます。(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 職員・利用者に感染者が出たため 2. 職員・利用者に濃厚接触者、感染疑い者がいたため 3. 感染防止のため・経営判断による自主休業 4. 職員不足のため 5. 利用自粛による利用者の減少のため 6. 3密を避けるための自主的な定員縮小 7. 自主的な時短運営 8. その他 ()
--

(3) 自主的に貴事業所の利用を控えた利用者はいましたか。(ひとつだけに○)

1. いた	2. いない
-------	--------

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者宅を訪問してサービスを提供しましたか。(ひとつだけに○)

1. 提供した	2. 提供していない
---------	------------

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、電話(利用者宅への訪問を除く)による安否確認を行いましたか。(ひとつだけに○)

1. 行った	2. 行わなかった
--------	-----------

(6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業所以外の場所(利用者宅を除く)にてサービスを提供しましたか。(ひとつだけに○)

1. 提供した	2. 提供していない
---------	------------

17

(7) 貴事業所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応して、具体的にどのような対応を徹底するようにしていますか。(あてはまるものをすべて選んでください。)

1. 利用者・職員が使用する家具や物品等の消毒の徹底 2. 密集を避けるため、利用者・職員を減らす、グループ分けの実施 3. 密集を避けるため、施設・事業所内の使用する部屋を変更したり、レイアウトの変更 4. 窓口カウンター等に飛沫防止の仕切りを設置 5. 在宅ワークを取り入れて、出社する職員を減らした 6. 利用者ごとに接触する担当者を限定してサービスを提供 7. 事前に利用者の体調を確認するなど、普段以上に利用者の健康状態の管理の徹底 8. 職員が出発前に熱を測るなど、職員の体調管理の徹底 9. マニュアルの整備 10. 医療機関と連携し、研修や対策の実施 11. その他 ()

(8) 貴事業所が新型コロナウイルス感染症対応に関連して直面している主な課題は何ですか。管理者の立場だけでなく、法人の立場を踏まえたうえで回答ください。

自由記載

(9) 今回の対応で得た知見を活かし、再度感染症が流行した場合でも適切かつ迅速な対応ができる運営体制を構築するためには、どのような課題がありますか。

自由記載

18

19

志木市第9期計画用ニーズ調査等報告書
令和5年9月

発行：志木市 福祉部 長寿応援課
電話：048-473-1111（代表）
FAX：048-471-7092